

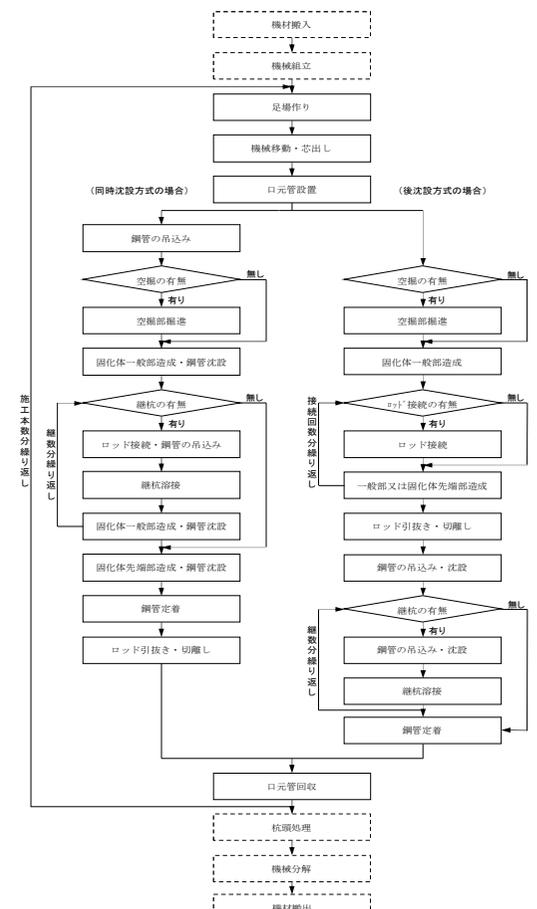
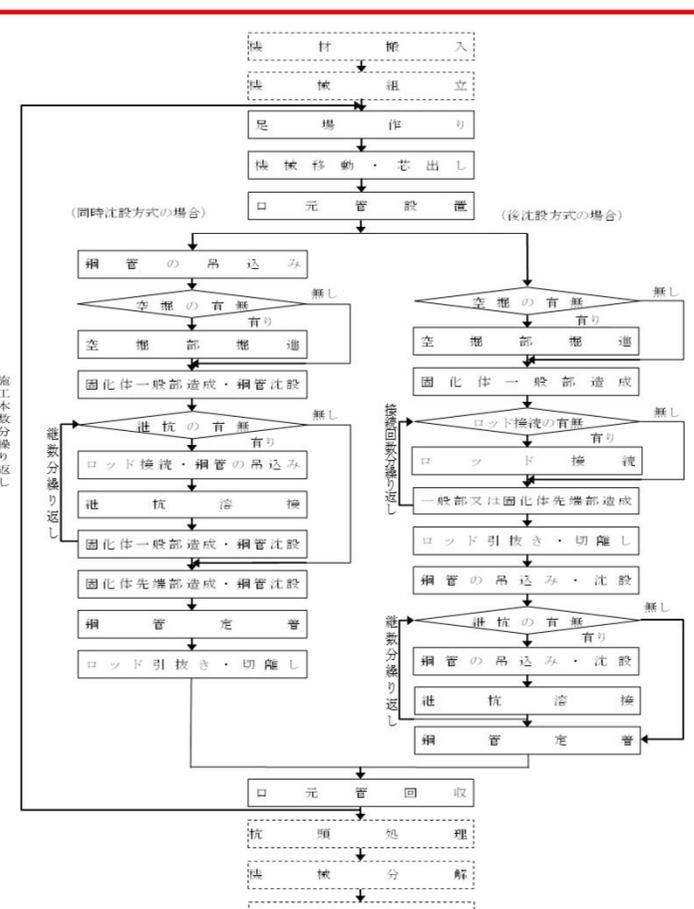
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
<p>鋼管ソイルセメント杭工</p>	<p>①-3 鋼管ソイルセメント杭工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、鋼管ソイルセメント杭工法に適用する。杭径は900～1,500mm、掘進長の適用範囲は次図とする。</p> <p>(注) 1. 最大板厚は現場で行う継杭溶接の最大板厚とする。なお、異なる板厚を溶接する工場溶接は含まない。 2. 現場で継杭溶接を行わない杭も適用できる。</p> <p style="text-align: center;">図1-1 適用掘進長</p>	<p>①-3 鋼管ソイルセメント杭工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、鋼管ソイルセメント杭工法に適用する。杭径は900～1,500mm、鋼管径は700～1,200mm、掘進長の適用範囲は次図とする。</p> <p>(注) 1. 最大板厚は現場で行う継杭溶接の最大板厚とする。なお、異なる板厚を溶接する工場溶接は含まない。 2. 現場で継杭溶接を行わない杭も適用できる。</p> <p style="text-align: center;">図1-1 適用掘進長</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
<p>鋼管ソイルセメント杭工</p>	<p>2. 施 工 概 要 2-1 施工内容</p> <p>鋼管ソイルセメント杭工は、原地盤中にセメントミルクを注入し、攪拌混合して造成した固化体（ソイルセメント柱）に外面突起付鋼管を沈設し、両者を一体化させる杭工法である。なお、鋼管の沈設方式はソイルセメント柱を造成しながら沈設（同時沈設方式）と造成後に沈設（後沈設方式）がある。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>掘 進 長 $L_0 = \text{空掘長 } L_1 + \text{固化体一般部長 } L_2 + \text{固化体先端部長 } L_3$ 先 端 部 長 $L_3 = 1.5D_p + 0.5D_s$ 余 裕 長 $L_0 = 0.5D_s$</p> <p style="text-align: center;">図2-1 鋼管ソイルセメント杭のモデル図</p>	<p>2. 施 工 概 要 2-1 施工内容</p> <p>鋼管ソイルセメント杭工は、原地盤中にセメントミルクを注入し、攪拌混合して造成した固化体（ソイルセメント柱）に外面突起付鋼管を沈設し、両者を一体化させる杭工法である。なお、鋼管の沈設方式はソイルセメント柱を造成しながら沈設（同時沈設方式）と造成後に沈設（後沈設方式）がある。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>掘 進 長 $L_0 = \text{空掘長 } L_1 + \text{固化体一般部長 } L_2 + \text{固化体先端部長 } L_3$ 先 端 部 長 $L_3 = 1.5D_p + 0.5D_s$ 余 裕 長 $L_0 = 0.5D_s$</p> <p style="text-align: center;">図2-1 鋼管ソイルセメント杭のモデル図</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
<p>鋼管ソイルセメント杭工</p>	<p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-2 施工フロー</p>	<p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-2 施工フロー</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																													
鋼管ソイルセメント杭工	<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th colspan="2">継杭の有無</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>無 し</th> <th>有 り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～180kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型（第1次基準値）</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）</td> <td>標準型・排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.5m³（平積0.4m³）</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラリプラント（全自動）</td> <td>能力40m³/h</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）継杭とは、現場で行う継杭溶接とし、工場で行う継杭溶接は含めない。</p> <p>4. 日 当 り 編 成 人 員 日 当 り 編 成 人 員 は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日 当 り 編 成 人 員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>とび工</th> <th>特殊作業員</th> <th>溶接工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2 (1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 継杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。 なお、現場で行う継杭溶接が1箇所/本の場合は溶接工を計上するが溶接時間は計上しない。 2. 鋼管径が800mm未満については、（ ）内の数値を計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	継杭の有無		摘 要	無 し	有 り	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～180kW	台	1	○	○		クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型（第1次基準値）	”	1	○			油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）	”	1		○		バックホウ（クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	”	1	○	○		スラリプラント（全自動）	能力40m ³ /h	”	1	○	○		土木一般世話役	とび工	特殊作業員	溶接工	1	2	1	2 (1)	<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th colspan="2">継杭の有無</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>無 し</th> <th>有 り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>【鋼管ソイルセメント杭打機】 杭径 φ900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～180kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>【ディーゼルエンジン駆動・排出ガス規制対象外】 定格容量（50/60Hz）550/600kVA</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>オーガ用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クレーン</td> <td>【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 最大吊上能力70t吊</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 最大吊上能力90t吊</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）</td> <td>【後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 バケット容量0.5m³</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラリプラント（全自動）</td> <td>プラント純能力40m³/h</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）継杭とは、現場で行う継杭溶接とし、工場で行う継杭溶接は含めない。</p> <p>4. 日 当 り 編 成 人 員 日 当 り 編 成 人 員 は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日 当 り 編 成 人 員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>とび工</th> <th>特殊作業員</th> <th>溶接工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2 (1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 継杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。 なお、現場で継杭溶接を行う場合は、溶接工の計上とあわせて、「5-3 杭1本当りの継杭溶接時間」により溶接時間も計上する。 2. 鋼管径が800mm未満については、（ ）内の数値を計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	継杭の有無		摘 要	無 し	有 り	クローラ式杭打機	【鋼管ソイルセメント杭打機】 杭径 φ900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～180kW	台	1	○	○		発動発電機	【ディーゼルエンジン駆動・排出ガス規制対象外】 定格容量（50/60Hz）550/600kVA	”	1	○	○	オーガ用	クレーン	【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 最大吊上能力70t吊	”	1	○			【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 最大吊上能力90t吊	”	1		○		バックホウ（クローラ型）	【後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 バケット容量0.5m ³	”	1	○	○		スラリプラント（全自動）	プラント純能力40m ³ /h	”	1	○	○		土木一般世話役	とび工	特殊作業員	溶接工	1	2	1	2 (1)	
	機 械 名					規 格	単 位		数 量	継杭の有無		摘 要																																																																																																				
無 し		有 り																																																																																																														
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～180kW	台	1	○	○																																																																																																											
クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型（第1次基準値）	”	1	○																																																																																																												
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）	”	1		○																																																																																																											
バックホウ（クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	”	1	○	○																																																																																																											
スラリプラント（全自動）	能力40m ³ /h	”	1	○	○																																																																																																											
土木一般世話役	とび工	特殊作業員	溶接工																																																																																																													
1	2	1	2 (1)																																																																																																													
機 械 名	規 格	単 位	数 量	継杭の有無		摘 要																																																																																																										
				無 し	有 り																																																																																																											
クローラ式杭打機	【鋼管ソイルセメント杭打機】 杭径 φ900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～180kW	台	1	○	○																																																																																																											
発動発電機	【ディーゼルエンジン駆動・排出ガス規制対象外】 定格容量（50/60Hz）550/600kVA	”	1	○	○	オーガ用																																																																																																										
クレーン	【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 最大吊上能力70t吊	”	1	○																																																																																																												
	【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 最大吊上能力90t吊	”	1		○																																																																																																											
バックホウ（クローラ型）	【後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 バケット容量0.5m ³	”	1	○	○																																																																																																											
スラリプラント（全自動）	プラント純能力40m ³ /h	”	1	○	○																																																																																																											
土木一般世話役	とび工	特殊作業員	溶接工																																																																																																													
1	2	1	2 (1)																																																																																																													

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																								
鋼管ソイルセメント杭工	<p>5. 施 工 歩 掛</p> <p>杭1本当り施工時間 (T_c) は、次式による。</p> $T_c = T_a + T_s + T_v$ <p>T_c : 杭1本当り施工時間 (min/本)</p> <p>T_a : " 固化体部造成時間 (min/本)</p> <p>T_s : " 準備時間 (min/本)</p> <p>T_v : " 継杭溶接時間 (min/本)</p> <p>5-1 杭1本当りの固化体造成時間</p> $T_g = T_{g1} + T_{g2} + T_{g3}$ <p>T_g : 杭1本当り固化体造成時間 (min/本)</p> <p>T_{g1} : " 空掘部造成時間 (min/本)</p> <p>T_{g2} : " 一般部造成時間 (min/本)</p> <p>T_{g3} : " 先端部造成時間 (min/本)</p> <p>T_{g1} : 杭1本当り空掘部造成時間 (min/本)</p> $T_{g1} = L_1 / V_{g1}$ <p>L₁ : 空掘長 (m)</p> <p>V_{g1} : 空掘部掘進速度 (m/min) (表5.1)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 空掘部(V_{g1})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>杭径 (mm) \ 加重平均N値</th> <th>N < 10</th> <th>10 ≤ N < 30</th> <th>30 ≤ N < 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900 ~ 1,400</td> <td>0.50</td> <td>0.45</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>1,500</td> <td>0.47</td> <td>0.43</td> <td>0.39</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 加重平均N値は、空掘部のN値を加重平均する。</p> <p>T_{g2} : 杭1本当り一般部造成時間 (min/本)</p> $T_{g2} = L_2 / V_{g2}$ <p>L₂ : 一般部長 (m)</p> <p>V_{g2} : 一般部掘進速度 (m/min) (表5.2)</p> <p style="text-align: center;">表5.2 一般部(V_{g2})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>杭径 (mm) \ 加重平均N値</th> <th>N < 10</th> <th>10 ≤ N < 30</th> <th>30 ≤ N < 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900</td> <td>0.50</td> <td>0.45</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>1,000</td> <td>0.46</td> <td>0.41</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>1,100</td> <td>0.41</td> <td>0.37</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>0.37</td> <td>0.33</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>1,300</td> <td>0.33</td> <td>0.30</td> <td>0.26</td> </tr> <tr> <td>1,400</td> <td>0.29</td> <td>0.25</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>1,500</td> <td>0.26</td> <td>0.22</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 加重平均N値は、一般部のN値を加重平均する。</p>	杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50	900 ~ 1,400	0.50	0.45	0.41	1,500	0.47	0.43	0.39	杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50	900	0.50	0.45	0.41	1,000	0.46	0.41	0.38	1,100	0.41	0.37	0.33	1,200	0.37	0.33	0.30	1,300	0.33	0.30	0.26	1,400	0.29	0.25	0.22	1,500	0.26	0.22	0.20	<p>5. 施 工 歩 掛</p> <p>杭1本当り施工時間 (T_c) は、次式による。</p> $T_c = T_a + T_s + T_v$ <p>T_c : 杭1本当り施工時間 (min/本)</p> <p>T_a : " 固化体部造成時間 (min/本)</p> <p>T_s : " 準備時間 (min/本)</p> <p>T_v : " 継杭溶接時間 (min/本)</p> <p>5-1 杭1本当りの固化体造成時間</p> $T_g = T_{g1} + T_{g2} + T_{g3}$ <p>T_g : 杭1本当り固化体造成時間 (min/本)</p> <p>T_{g1} : " 空掘部造成時間 (min/本)</p> <p>T_{g2} : " 一般部造成時間 (min/本)</p> <p>T_{g3} : " 先端部造成時間 (min/本)</p> <p>T_{g1} : 杭1本当り空掘部造成時間 (min/本)</p> $T_{g1} = L_1 / V_{g1}$ <p>L₁ : 空掘長 (m)</p> <p>V_{g1} : 空掘部掘進速度 (m/min) (表5.1)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 空掘部(V_{g1})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>杭径 (mm) \ 加重平均N値</th> <th>N < 10</th> <th>10 ≤ N < 30</th> <th>30 ≤ N < 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900 ~ 1,400</td> <td>0.50</td> <td>0.45</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>1,500</td> <td>0.47</td> <td>0.43</td> <td>0.39</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 加重平均N値は、空掘部のN値を加重平均する。</p> <p>T_{g2} : 杭1本当り一般部造成時間 (min/本)</p> $T_{g2} = L_2 / V_{g2}$ <p>L₂ : 一般部長 (m)</p> <p>V_{g2} : 一般部掘進速度 (m/min) (表5.2)</p> <p style="text-align: center;">表5.2 一般部(V_{g2})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>杭径 (mm) \ 加重平均N値</th> <th>N < 10</th> <th>10 ≤ N < 30</th> <th>30 ≤ N < 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900</td> <td>0.50</td> <td>0.45</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>1,000</td> <td>0.46</td> <td>0.41</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>1,100</td> <td>0.41</td> <td>0.37</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>0.37</td> <td>0.33</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>1,300</td> <td>0.33</td> <td>0.30</td> <td>0.26</td> </tr> <tr> <td>1,400</td> <td>0.29</td> <td>0.25</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>1,500</td> <td>0.26</td> <td>0.22</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 加重平均N値は、一般部のN値を加重平均する。</p>	杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50	900 ~ 1,400	0.50	0.45	0.41	1,500	0.47	0.43	0.39	杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50	900	0.50	0.45	0.41	1,000	0.46	0.41	0.38	1,100	0.41	0.37	0.33	1,200	0.37	0.33	0.30	1,300	0.33	0.30	0.26	1,400	0.29	0.25	0.22	1,500	0.26	0.22	0.20	
杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50																																																																																								
900 ~ 1,400	0.50	0.45	0.41																																																																																								
1,500	0.47	0.43	0.39																																																																																								
杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50																																																																																								
900	0.50	0.45	0.41																																																																																								
1,000	0.46	0.41	0.38																																																																																								
1,100	0.41	0.37	0.33																																																																																								
1,200	0.37	0.33	0.30																																																																																								
1,300	0.33	0.30	0.26																																																																																								
1,400	0.29	0.25	0.22																																																																																								
1,500	0.26	0.22	0.20																																																																																								
杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50																																																																																								
900 ~ 1,400	0.50	0.45	0.41																																																																																								
1,500	0.47	0.43	0.39																																																																																								
杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50																																																																																								
900	0.50	0.45	0.41																																																																																								
1,000	0.46	0.41	0.38																																																																																								
1,100	0.41	0.37	0.33																																																																																								
1,200	0.37	0.33	0.30																																																																																								
1,300	0.33	0.30	0.26																																																																																								
1,400	0.29	0.25	0.22																																																																																								
1,500	0.26	0.22	0.20																																																																																								

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																			
鋼管ソイルセメント杭工	<p>T_{g3} : 杭1本当り先端部造成時間 (min/本)</p> $T_{g3} = L_3 / V_{g3}$ <p>L_3 : 先端部長 (m)</p> <p>V_{g3} : 先端部掘進速度 (m/min) (表5. 3)</p> <p style="text-align: center;">表5. 3 先端部(V_{g3})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>杭径 (mm) \ 加重平均N値</th> <th>N < 40</th> <th>40 ≤ N < 50</th> <th>50 ≤ N < 60</th> <th>60 ≤ N < 80</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900 ~ 1,500</td> <td>0.20</td> <td>0.19</td> <td>0.17</td> <td>0.15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 対象地盤の最大N値が50を超えるものについては、次式により換算N値を求めたうえで適用する。 $\text{換算N値} = \frac{1,500}{\text{落下50回当り貫入量 (cm)}}$ 3. 加重平均N値は、先端部のN値を加重平均する。</p> <p>5-2 杭1本当り準備時間</p> <p>杭1本当り準備時間は、足場作り、機械の据付及び移動、ロ元管設置・回収、芯出し、鋼管の吊込み、鋼管キャップ取付け、鋼管定着、ロッド接続・切離し等の時間であり次式による。 なお、ロッド接続・切離し時間については、掘進長24m以下は計上しない。</p> <p>T_s : 杭1本当りの準備時間 (min/本)</p> $T_s = 110 + L_p \times 0.3 + n_s \times 21$ <p>L_p : 鋼管長 (m)</p> <p>n_s : ロッド接続回数 (回) (表5. 4)</p> <p style="text-align: center;">表5. 4 ロッド接続回数(n_s)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘進長</th> <th>24m以下</th> <th>24m超え42m以下</th> <th>42m超え45m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 40	40 ≤ N < 50	50 ≤ N < 60	60 ≤ N < 80	900 ~ 1,500	0.20	0.19	0.17	0.15	掘進長	24m以下	24m超え42m以下	42m超え45m以下	回数	0回	1回	2回	<p>T_{g3} : 杭1本当り先端部造成時間 (min/本)</p> $T_{g3} = L_3 / V_{g3}$ <p>L_3 : 先端部長 (m)</p> <p>V_{g3} : 先端部掘進速度 (m/min) (表5. 3)</p> <p style="text-align: center;">表5. 3 先端部(V_{g3})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>杭径 (mm) \ 加重平均N値</th> <th>N < 40</th> <th>40 ≤ N < 80</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900 ~ 1,300</td> <td>0.11</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>1,400 ~ 1,500</td> <td colspan="2">0.09</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 対象地盤の最大N値が50を超えるものについては、次式により換算N値を求めたうえで適用する。 $\text{換算N値} = \frac{1,500}{\text{落下50回当り貫入量 (cm)}}$ 3. 加重平均N値は、先端部のN値を加重平均する。</p> <p>5-2 杭1本当り準備時間</p> <p>杭1本当り準備時間は、足場作り、機械の据付及び移動、ロ元管設置・回収、芯出し、鋼管の吊込み、鋼管キャップ取付け、鋼管定着、ロッド接続・切離し等の時間であり次式による。 なお、ロッド接続・切離し時間については、掘進長24m以下は計上しない。</p> <p>T_s : 杭1本当りの準備時間 (min/本)</p> $T_s = 110 + L_p \times 0.3 + n_s \times 21$ <p>L_p : 鋼管長 (m)</p> <p>n_s : ロッド接続回数 (回) (表5. 4)</p> <p style="text-align: center;">表5. 4 ロッド接続回数(n_s)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘進長</th> <th>24m以下</th> <th>24m超え42m以下</th> <th>42m超え45m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 40	40 ≤ N < 80	900 ~ 1,300	0.11	0.10	1,400 ~ 1,500	0.09		掘進長	24m以下	24m超え42m以下	42m超え45m以下	回数	0回	1回	2回	
杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 40	40 ≤ N < 50	50 ≤ N < 60	60 ≤ N < 80																																		
900 ~ 1,500	0.20	0.19	0.17	0.15																																		
掘進長	24m以下	24m超え42m以下	42m超え45m以下																																			
回数	0回	1回	2回																																			
杭径 (mm) \ 加重平均N値	N < 40	40 ≤ N < 80																																				
900 ~ 1,300	0.11	0.10																																				
1,400 ~ 1,500	0.09																																					
掘進長	24m以下	24m超え42m以下	42m超え45m以下																																			
回数	0回	1回	2回																																			

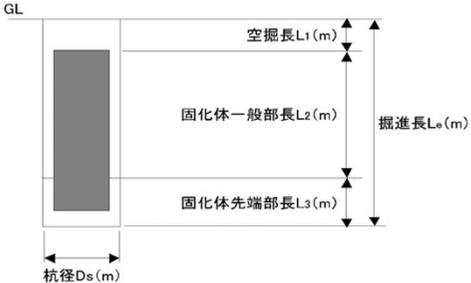
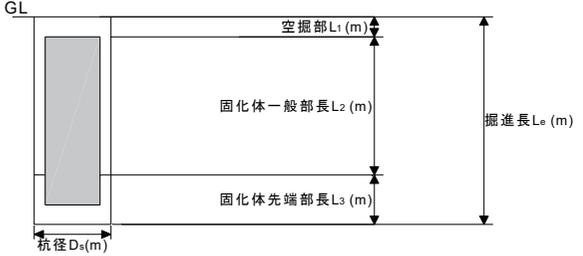
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																		
鋼管ソイルセメント杭工	<p>5-3 杭1本当りの継杭溶接時間 杭1本当り継杭溶接時間は、次式による。なお、継杭溶接1箇所目は、準備及び固化体造成時間内に溶接作業を行うため、2箇所目を降計上する。 $T_s = \Sigma (t_{wi} \times \alpha)$ T_s : 杭1本当りの継杭溶接時間 (min/本) t_{wi} : 1箇所目を除き2箇所目以降の継杭1箇所当りの溶接時間 (表5.5) α : 鋼管板厚補正係数 (表5.6)</p> <p style="text-align: center;">表5.5 継杭1箇所当りの溶接時間 (min/箇所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>鋼管径 (mm)</th> <th>1箇所当りの溶接時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>800~900</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,100</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 鋼管径φ800mm以上は、溶接機2台を使用する溶接時間である。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 鋼管板厚補正係数(α)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>鋼管板厚(mm)</th> <th>9~10</th> <th>11~12</th> <th>13~14</th> <th>15~17</th> <th>18~19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係数</td> <td>0.61</td> <td>0.79</td> <td>1.00</td> <td>1.37</td> <td>1.82</td> </tr> </tbody> </table>	鋼管径 (mm)	1箇所当りの溶接時間	700	59	800~900	46	1,000~1,100	57	1,200	65	鋼管板厚(mm)	9~10	11~12	13~14	15~17	18~19	係数	0.61	0.79	1.00	1.37	1.82	<p>5-3 杭1本当りの継杭溶接時間 杭1本当り継杭溶接時間は、次式による。なお、継杭溶接1箇所目は、準備及び固化体造成時間内に溶接作業を行うため、準備及び固化体造成時間を超過した時間を計上する。 $T_s = t_{wa} + \Sigma t_{wi}$ T_s : 杭1本当りの継杭溶接時間 (min/本) t_{wa} : 1箇所目の継杭1箇所当りの溶接加算時間 (表5.5) t_{wi} : 1箇所目を除き2箇所目以降の継杭1箇所当りの溶接時間 (表5.6)</p> <p style="text-align: center;">表5.5 1箇所目の継杭1箇所当りの溶接加算時間(t_{wa}) (min/箇所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">鋼管径 (mm)</th> <th colspan="10">鋼管板厚 (mm)</th> </tr> <tr> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>13</th> <th>14</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> <th>19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>800~900</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>34</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,100</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>54</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 鋼管径φ800mm以上は、溶接機2台を使用する溶接時間である。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 2箇所目以降の継杭1箇所当りの溶接時間(t_{wi}) (min/箇所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">鋼管径 (mm)</th> <th colspan="10">鋼管板厚 (mm)</th> </tr> <tr> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>13</th> <th>14</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> <th>19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>107</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>800~900</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>84</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,100</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>104</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>89</td> <td>89</td> <td>89</td> <td>118</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 鋼管径φ800mm以上は、溶接機2台を使用する溶接時間である。</p>	鋼管径 (mm)	鋼管板厚 (mm)										9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	700	-	-	-	-	9	9	31	31	31	57	57	800~900	-	-	-	-	-	-	13	13	13	34	34	1,000~1,100	-	-	-	-	7	7	28	28	28	54	54	1,200	-	-	-	-	15	15	39	39	39	68	68	鋼管径 (mm)	鋼管板厚 (mm)										9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	700	36	36	47	47	59	59	81	81	81	107	107	800~900	28	28	36	36	46	46	63	63	63	84	84	1,000~1,100	35	35	45	45	57	57	78	78	78	104	104	1,200	40	40	51	51	65	65	89	89	89	118	118	
鋼管径 (mm)	1箇所当りの溶接時間																																																																																																																																																																				
700	59																																																																																																																																																																				
800~900	46																																																																																																																																																																				
1,000~1,100	57																																																																																																																																																																				
1,200	65																																																																																																																																																																				
鋼管板厚(mm)	9~10	11~12	13~14	15~17	18~19																																																																																																																																																																
係数	0.61	0.79	1.00	1.37	1.82																																																																																																																																																																
鋼管径 (mm)	鋼管板厚 (mm)																																																																																																																																																																				
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19																																																																																																																																																										
700	-	-	-	-	9	9	31	31	31	57	57																																																																																																																																																										
800~900	-	-	-	-	-	-	13	13	13	34	34																																																																																																																																																										
1,000~1,100	-	-	-	-	7	7	28	28	28	54	54																																																																																																																																																										
1,200	-	-	-	-	15	15	39	39	39	68	68																																																																																																																																																										
鋼管径 (mm)	鋼管板厚 (mm)																																																																																																																																																																				
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19																																																																																																																																																										
700	36	36	47	47	59	59	81	81	81	107	107																																																																																																																																																										
800~900	28	28	36	36	46	46	63	63	63	84	84																																																																																																																																																										
1,000~1,100	35	35	45	45	57	57	78	78	78	104	104																																																																																																																																																										
1,200	40	40	51	51	65	65	89	89	89	118	118																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
<p>鋼管ソイルセメント杭工</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> </div> <div> <p>(例) 鋼管径1,000mm, 3箇所^の継杭溶接の場合 (「下杭」「中杭①」「中杭②」「上杭」)</p> <p>1箇所目(「下杭」「中杭①」) 板厚10mm・・・準備・固化体造成時間内に溶接作業を行うため計上しない。</p> <p>2箇所目(「中杭①」「中杭②」) 板厚10mm・・・$tw1$</p> <p>3箇所目(「中杭②」「上杭」) 板厚10mm・・・$tw2$</p> <p>$tw1 \times \alpha = 57 \times 0.61 = 34.77 \approx 35\text{min}$ (小数第1位を四捨五入する)</p> <p>$tw2 \times \alpha = 57 \times 0.61 = 34.77 \approx 35\text{min}$ (小数第1位を四捨五入する)</p> <p>$T_s = tw1 + tw2 = 35\text{min} + 35\text{min} = 70\text{min}$</p> </div> </div> <p>図5-1 参考図(継杭溶接箇所)</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> </div> <div> <p>(例1) 鋼管径1,000mm, 板厚10mm, 3箇所^の継杭溶接の場合 (「下杭」「中杭①」「中杭②」「上杭」)</p> <p>1箇所目(「下杭」「中杭①」) 板厚10mm・・・twa(準備・固化体造成時間内に溶接作業を行うため超過した時間のみ計上する。)</p> <p>2箇所目(「中杭①」「中杭②」) 板厚10mm・・・$tw1$</p> <p>3箇所目(「中杭②」「上杭」) 板厚10mm・・・$tw2$</p> <p>$T_s = twa + tw1 + tw2 = 0\text{min} + 35\text{min} + 35\text{min} = 70\text{min}$</p> </div> </div> <p>図5-1 参考図(継杭溶接箇所)</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> </div> <div> <p>(例2) 鋼管径1,000mm, 板厚13mm, 3箇所^の継杭溶接の場合 (「下杭」「中杭①」「中杭②」「上杭」)</p> <p>1箇所目(「下杭」「中杭①」) 板厚13mm・・・twa(準備・固化体造成時間内に溶接作業を行うため超過した時間のみ計上する。)</p> <p>2箇所目(「中杭①」「中杭②」) 板厚13mm・・・$tw1$</p> <p>3箇所目(「中杭②」「上杭」) 板厚13mm・・・$tw2$</p> <p>$T_s = twa + tw1 + tw2 = 7\text{min} + 57\text{min} + 57\text{min} = 121\text{min}$</p> </div> </div> <p>図5-2 参考図(継杭溶接箇所)</p> <p>5-4 杭頭処理</p> <p>杭頭処理における、ずれ止め、ずれ止め用ストッパーの現場溶接作業については、「第2編4章基礎工④鋼管・既製コンクリート杭打工①-1パイルハンマ工5-2杭頭処理」及び鋼管内外のはつり作業については、「土木工事標準単価 構造物とこわし工」により別途計上する。なお、ずれ止め、ずれ止め用ストッパーの材料については、別途計上する。</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用												
鋼管ソイルセメント杭工	<p>6. 材 料 使 用 量 使用するセメント使用量、添加材使用量は、次式を標準とする。</p> <p>6-1 セメント使用量 図6-1に表わす部位毎に、セメント量を計上し、各部位の使用量合計が杭1本当りのセメント使用量となる。 なお、高炉セメントB種を標準とする。</p>  <p style="text-align: center;">図6-1 施工した杭の部位名</p> <p>$Q_1 = C_1 + C_2 + C_3 \dots$式6. 1 Q_1 : 杭1本当りセメント使用量 (t/本) C_1 : 空掘部セメント使用量 (t/本) C_2 : 固化体一般部セメント使用量 (t/本) C_3 : 固化体先端部セメント使用量 (t/本) (注) C_3のセメント使用量には、引上げ注入時のセメントも含まれる。 C_1 : 空掘部セメント使用量 $C_1 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_1 \times 0.15 \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L_1 : 空掘部長 K_1 : ロス率 (表6. 2) C_2 : 固化体一般部セメント使用量 $C_2 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_2 \times (q / 1,000) \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L_2 : 固化体一般部長 q : 土1m³当り固化材添加量 (kg/m³) (表6. 1) K_1 : ロス率 (表6. 2) C_3 : 固化体先端部セメント使用量 $C_3 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_3 \times 1.5 \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L_3 : 固化体先端部長 K_1 : ロス率 (表6. 2)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表6. 1 固化体一般部の土1m³当り固化材添加量(q) (kg/m³)</caption> <tr> <td>固化材添加量</td> <td>300</td> <td>350</td> <td>400</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表6. 2 ロス率(K₁)</caption> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.15</td> </tr> </table>	固化材添加量	300	350	400	ロス率	+0.15	<p>6. 材 料 使 用 量 使用するセメント使用量、添加材使用量は、次式を標準とする。</p> <p>6-1 セメント使用量 図6-1に表わす部位毎に、セメント量を計上し、各部位の使用量合計が杭1本当りのセメント使用量となる。 高炉セメントB種を標準とする。なお、配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等が必要な場合は、別途計上する。</p>  <p style="text-align: center;">図6-1 施工した杭の部位名</p> <p>$Q_1 = C_1 + C_2 + C_3 \dots$式6. 1 Q_1 : 杭1本当りセメント使用量 (t/本) C_1 : 空掘部セメント使用量 (t/本) C_2 : 固化体一般部セメント使用量 (t/本) C_3 : 固化体先端部セメント使用量 (t/本) (注) C_3のセメント使用量には、引上げ注入時のセメントも含まれる。 C_1 : 空掘部セメント使用量 $C_1 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_1 \times 0.15 \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L_1 : 空掘部長 K_1 : ロス率 (表6. 2) C_2 : 固化体一般部セメント使用量 $C_2 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_2 \times (q / 1,000) \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L_2 : 固化体一般部長 q : 土1m³当り固化材添加量 (kg/m³) (表6. 1) K_1 : ロス率 (表6. 2) C_3 : 固化体先端部セメント使用量 $C_3 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_3 \times 1.5 \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L_3 : 固化体先端部長 K_1 : ロス率 (表6. 2)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表6. 1 固化体一般部の土1m³当り固化材添加量(q) (kg/m³)</caption> <tr> <td>固化材添加量</td> <td>300</td> <td>350</td> <td>400</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表6. 2 ロス率(K₁)</caption> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.15</td> </tr> </table>	固化材添加量	300	350	400	ロス率	+0.15	
固化材添加量	300	350	400												
ロス率	+0.15														
固化材添加量	300	350	400												
ロス率	+0.15														

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																
鋼管ソイルセメント杭工	<p>6-2 添加材使用量 図6-1に表わす部位毎に、添加材使用係数をセメント量に乗じて部位毎使用量を計上し、その使用量の合計が、杭1本当りの添加材使用量となる。なお、硬化遅延剤を標準とする。 $Q_2 = Q_1 \times 1,000 \times K_2 \dots \dots$式6. 2 Q_2: 添加材使用量 (kg/本) Q_1: 杭1本当りセメント使用量 (t/本) K_2: 添加材使用係数 (表6. 3)</p> <p style="text-align: center;">表6. 3 添加材使用係数(K₂)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>掘進長 (Le)</td> <td>0~10m未満</td> <td>10~20m未満</td> <td>20~30m未満</td> <td>30~45m以下</td> </tr> <tr> <td>添加材使用係数</td> <td>0.005</td> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> </tr> </table> <p>(注) 掘進長 (L₀) とは、図6-1のL₁+L₂+L₃とする。</p> <p>7. 諸 雑 費 諸雑費は、電力に関する経費、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、溶接機と付属機材及び溶接材料の費用、口元管、ヤットコ、掘削攪拌ヘッド及びびロッド、鋼管キャップ・カラー、ロッドスタビライザ、スタビライザブラケット、下部振れ止め、ロッド吊金具、高圧洗浄機等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表7. 1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>継杭の有無</td> <td>諸雑費率</td> </tr> <tr> <td>継杭無し</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td>27</td> </tr> </table>	掘進長 (Le)	0~10m未満	10~20m未満	20~30m未満	30~45m以下	添加材使用係数	0.005	0.01	0.02	0.03	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	26	継杭有り	27	<p>6-2 添加材使用量 図6-1に表わす部位毎に、添加材使用係数をセメント量に乗じて部位毎使用量を計上し、その使用量の合計が、杭1本当りの添加材使用量となる。なお、硬化遅延剤を標準とし、ペントナイト等の添加材が必要な場合には別途計上する。 $Q_2 = Q_1 \times 1,000 \times K_2 \dots \dots$式6. 2 Q_2: 添加材使用量 (kg/本) Q_1: 杭1本当りセメント使用量 (t/本) K_2: 添加材使用係数 (表6. 3)</p> <p style="text-align: center;">表6. 3 添加材使用係数(K₂)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>掘進長 (Le)</td> <td>0~10m未満</td> <td>10~20m未満</td> <td>20~30m未満</td> <td>30~45m以下</td> </tr> <tr> <td>添加材使用係数</td> <td>0.005</td> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> </tr> </table> <p>(注) 掘進長 (L₀) とは、図6-1のL₁+L₂+L₃とする。</p> <p>7. 諸 雑 費 諸雑費は、オーガ以外の電力に関する経費、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、溶接機と付属機材及び溶接材料の費用、口元管、ヤットコ、掘削攪拌ヘッド及びびロッド、鋼管キャップ・カラー、ロッドスタビライザ、スタビライザブラケット、ロッド吊金具、高圧洗浄機、吊ワイヤ等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表7. 1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>継杭の有無</td> <td>諸雑費率</td> </tr> <tr> <td>継杭無し</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td>19</td> </tr> </table>	掘進長 (Le)	0~10m未満	10~20m未満	20~30m未満	30~45m以下	添加材使用係数	0.005	0.01	0.02	0.03	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	13	継杭有り	19	
掘進長 (Le)	0~10m未満	10~20m未満	20~30m未満	30~45m以下																															
添加材使用係数	0.005	0.01	0.02	0.03																															
継杭の有無	諸雑費率																																		
継杭無し	26																																		
継杭有り	27																																		
掘進長 (Le)	0~10m未満	10~20m未満	20~30m未満	30~45m以下																															
添加材使用係数	0.005	0.01	0.02	0.03																															
継杭の有無	諸雑費率																																		
継杭無し	13																																		
継杭有り	19																																		

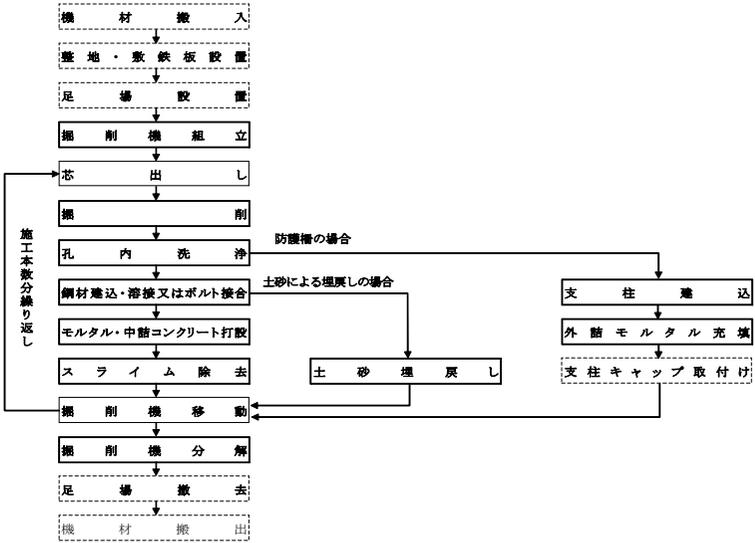
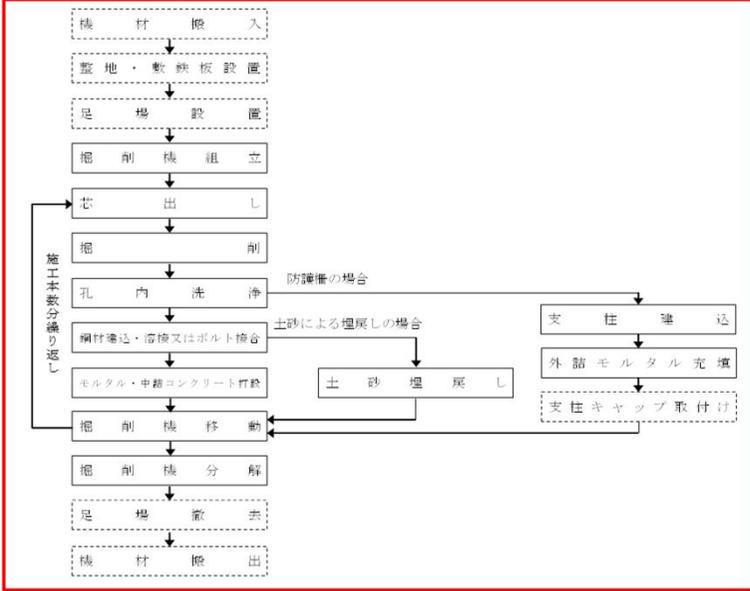
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																
鋼管ソイルセメント杭工	<p>8. 単 価 表 (1) 鋼管ソイルセメント杭1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$</td> <td>継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機 運</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180kW</td> <td>h</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第〇次基準値) 〇〇t吊</td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力40m³/h</td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>セメント材料費</td> <td>高炉セメントB種</td> <td>t</td> <td>Q₁</td> <td>式6.1, 表6.1, 表6.2</td> </tr> <tr> <td>添加材料費</td> <td></td> <td>kg</td> <td>Q₂</td> <td>式6.2, 表6.3</td> </tr> <tr> <td>鋼管杭</td> <td>突起(リブ)付</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T=鋼管ソイルセメント杭打機運転日当り運転時間は、5.8h/日とする。 2. 鋼管径が800mm未満については、()の人工を計上する。</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180 kW</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→13</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 60~65t吊</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→12</td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 90t吊</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→18</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 9.2</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1	溶接工		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による	とび工		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1	特殊作業員		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	"	クローラ式杭打機 運	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	クローラクレーン 運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第〇次基準値) 〇〇t吊	"	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	バックホウ (クローラ型)運	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	"	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	"	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表7.1	セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q ₁	式6.1, 表6.1, 表6.2	添加材料費		kg	Q ₂	式6.2, 表6.3	鋼管杭	突起(リブ)付	本	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180 kW	機-1	運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→13	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 60~65t吊	機-1	運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→12	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 90t吊	機-1	運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→18	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 9.2	<p>8. 単 価 表 (1) 鋼管ソイルセメント杭1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$</td> <td>継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機 運</td> <td>[鋼管ソイルセメント杭打機] 杭径 φ900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180kW</td> <td>h</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>発動発電機運</td> <td>[ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス規制対象外] 定格容量 (50/60Hz) 550/600kVA</td> <td>日</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力〇〇t吊</td> <td>h</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運</td> <td>[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] バケット容量0.5m³</td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>プラント線能力40m³/h</td> <td>"</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>セメント材料費</td> <td>高炉セメントB種</td> <td>t</td> <td>Q₁</td> <td>式6.1, 表6.1, 表6.2</td> </tr> <tr> <td>添加材料費</td> <td></td> <td>kg</td> <td>Q₂</td> <td>式6.2, 表6.3</td> </tr> <tr> <td>鋼管杭</td> <td>突起(リブ)付</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管杭付属品</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>(注) 3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T=鋼管ソイルセメント杭打機運転日当り運転時間は、5.4h/日とする。 2. 鋼管径が800mm未満については、()の人工を計上する。 3. 鋼管杭付属品には、鋼管吊具、裏当てリング及びブロッカー、鋼バンドを含む。</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>[鋼管ソイルセメント杭打機] 杭径 φ900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180 kW</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→18</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>[ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス規制対象外] 定格容量 (50/60Hz) 550/600kVA</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量→340</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラクレーン</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→16</td> </tr> <tr> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力90t吊</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→18</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] バケット容量0.5m³</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→ 9.8</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1	溶接工		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による	とび工		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1	特殊作業員		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	"	クローラ式杭打機 運	[鋼管ソイルセメント杭打機] 杭径 φ900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	発動発電機運	[ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス規制対象外] 定格容量 (50/60Hz) 550/600kVA	日	$\frac{T_c}{(60 \times T)}$	表3.1 機械損料	クローラクレーン 運	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力〇〇t吊	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	バックホウ (クローラ型)運	[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] バケット容量0.5m ³	"	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	スラリプラント (全自動)	プラント線能力40m ³ /h	"	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q ₁	式6.1, 表6.1, 表6.2	添加材料費		kg	Q ₂	式6.2, 表6.3	鋼管杭	突起(リブ)付	本	1		鋼管杭付属品		式	1	(注) 3	諸 雑 費		"	1	表7.1	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	クローラ式杭打機	[鋼管ソイルセメント杭打機] 杭径 φ900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180 kW	機-1	運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→18	発動発電機	[ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス規制対象外] 定格容量 (50/60Hz) 550/600kVA	機-12	燃料消費量→340	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力70t吊	機-1	運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→16	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力90t吊	機-1	運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→18	バックホウ (クローラ型)	[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] バケット容量0.5m ³	機-1	運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→ 9.8	
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																														
土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1																																																																																																																																																																																															
溶接工		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による																																																																																																																																																																																															
とび工		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1																																																																																																																																																																																															
特殊作業員		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	"																																																																																																																																																																																															
クローラ式杭打機 運	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
クローラクレーン 運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第〇次基準値) 〇〇t吊	"	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
バックホウ (クローラ型)運	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	"	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	"	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表7.1																																																																																																																																																																																															
セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q ₁	式6.1, 表6.1, 表6.2																																																																																																																																																																																															
添加材料費		kg	Q ₂	式6.2, 表6.3																																																																																																																																																																																															
鋼管杭	突起(リブ)付	本	1																																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																																			
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180 kW	機-1	運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→13																																																																																																																																																																																																
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 60~65t吊	機-1	運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→12																																																																																																																																																																																																
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 90t吊	機-1	運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→18																																																																																																																																																																																																
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 9.2																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1																																																																																																																																																																																															
溶接工		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による																																																																																																																																																																																															
とび工		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1																																																																																																																																																																																															
特殊作業員		"	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	"																																																																																																																																																																																															
クローラ式杭打機 運	[鋼管ソイルセメント杭打機] 杭径 φ900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
発動発電機運	[ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス規制対象外] 定格容量 (50/60Hz) 550/600kVA	日	$\frac{T_c}{(60 \times T)}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
クローラクレーン 運	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力〇〇t吊	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
バックホウ (クローラ型)運	[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] バケット容量0.5m ³	"	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
スラリプラント (全自動)	プラント線能力40m ³ /h	"	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																															
セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q ₁	式6.1, 表6.1, 表6.2																																																																																																																																																																																															
添加材料費		kg	Q ₂	式6.2, 表6.3																																																																																																																																																																																															
鋼管杭	突起(リブ)付	本	1																																																																																																																																																																																																
鋼管杭付属品		式	1	(注) 3																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		"	1	表7.1																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																			
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																
クローラ式杭打機	[鋼管ソイルセメント杭打機] 杭径 φ900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~180 kW	機-1	運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→18																																																																																																																																																																																																
発動発電機	[ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス規制対象外] 定格容量 (50/60Hz) 550/600kVA	機-12	燃料消費量→340																																																																																																																																																																																																
クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力70t吊	機-1	運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→16																																																																																																																																																																																																
	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力90t吊	機-1	運転労務数量→ 0.19 燃料消費量→18																																																																																																																																																																																																
バックホウ (クローラ型)	[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] バケット容量0.5m ³	機-1	運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→ 9.8																																																																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現行	改定	適用																																																																																										
<p>ダウンザホールハンマ工</p>	<p>②-3 ダウンザホールハンマ工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、ダウンザホールハンマによる場所打杭工（山留工、地すべり抑止杭、基礎杭（構造物、仮設物）、防護柵）の施工に適用する。ただし、防護柵については、吸収エネルギーが750～1,000kJ程度の高エネルギー吸収柵の支柱設置のみ適用する。</p> <p>適用範囲は、設計杭径170mm以上580mm以下、掘削長30m以下とする。ただし、防護柵については、設計杭径270mm超え320mm以下、掘削長8m以下とする。また、杭の頭出しを行う場合にも適用する。</p> <p>なお、鋼管・H形鋼の頭出しの長さは、6m以下とし、防護柵の頭出しの長さは、4m以下とする。</p> <p>継杭は地中部のみとし、地上部の継杭は場所打杭工の対象としない。</p> <p>表1.1 設計杭径及び削孔径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計杭径 (mm)</th> <th>170以上 220以下</th> <th>220超え 270以下</th> <th>270超え 320以下</th> <th>320超え 360以下</th> <th>360超え 430以下</th> <th>430超え 510以下</th> <th>510超え 580以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔径 (mm)</td> <td></td> <td>300</td> <td>350</td> <td>400</td> <td>450</td> <td>500</td> <td>550</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td>設計杭径は、H形鋼の対角線長とする。</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>鋼管</td> <td>設計杭径は、鋼管の外径とする。</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>防護柵</td> <td>設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。</td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table> <p>図1-1 施工図</p>	項目	設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220超え 270以下	270超え 320以下	320超え 360以下	360超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下	削孔径 (mm)		300	350	400	450	500	550	600	H形鋼	設計杭径は、H形鋼の対角線長とする。								鋼管	設計杭径は、鋼管の外径とする。								防護柵	設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。								<p>②-3 ダウンザホールハンマ工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、ダウンザホールハンマによる場所打杭工（山留工、地すべり抑止杭、基礎杭（構造物、仮設物）、防護柵）の施工に適用する。ただし、防護柵については、吸収エネルギーが750～1,000kJ程度の高エネルギー吸収柵の支柱設置のみ適用する。なお、比較的稳定した地盤で孔壁保護を行わずに施工する場合に適用し、孔壁保護を行う場合には、別途考慮する。</p> <p>適用範囲は、設計杭径170mm以上580mm以下、掘削長30m以下とする。ただし、防護柵については、設計杭径270mm超え320mm以下、掘削長8m以下とする。また、杭の頭出しを行う場合にも適用する。</p> <p>なお、鋼管・H形鋼の頭出しの長さは、6m以下とし、防護柵の頭出しの長さは、4m以下とする。</p> <p>継杭は地中部のみとし、地上部の継杭は場所打杭工の対象としない。</p> <p>表1.1 設計杭径及び削孔径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計杭径 (mm)</th> <th>170以上 220以下</th> <th>220超え 270以下</th> <th>270超え 320以下</th> <th>320超え 360以下</th> <th>360超え 430以下</th> <th>430超え 510以下</th> <th>510超え 580以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔径 (mm)</td> <td>H形鋼 鋼管・防護柵</td> <td>300 300</td> <td>350 350</td> <td>400 400</td> <td>450 450</td> <td>500 500</td> <td>550 550</td> <td>600 600</td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td>設計杭径は、H形鋼の対角線長とする。</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>鋼管</td> <td>設計杭径は、鋼管の外径とする。</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>防護柵</td> <td>設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。</td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table> <p>図1-1 施工図</p>	項目	設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220超え 270以下	270超え 320以下	320超え 360以下	360超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下	削孔径 (mm)	H形鋼 鋼管・防護柵	300 300	350 350	400 400	450 450	500 500	550 550	600 600	H形鋼	設計杭径は、H形鋼の対角線長とする。								鋼管	設計杭径は、鋼管の外径とする。								防護柵	設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。								
項目	設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220超え 270以下	270超え 320以下	320超え 360以下	360超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下																																																																																					
削孔径 (mm)		300	350	400	450	500	550	600																																																																																					
H形鋼	設計杭径は、H形鋼の対角線長とする。																																																																																												
鋼管	設計杭径は、鋼管の外径とする。																																																																																												
防護柵	設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。																																																																																												
項目	設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220超え 270以下	270超え 320以下	320超え 360以下	360超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下																																																																																					
削孔径 (mm)	H形鋼 鋼管・防護柵	300 300	350 350	400 400	450 450	500 500	550 550	600 600																																																																																					
H形鋼	設計杭径は、H形鋼の対角線長とする。																																																																																												
鋼管	設計杭径は、鋼管の外径とする。																																																																																												
防護柵	設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。																																																																																												

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
<p>ダウンザホールハンマエ</p>	<p>2. 施 工 概 要 本工法は、クレーン又は大口径ボーリングマシンに取付けたダウンザホールハンマの打撃により地盤を掘削し、鋼管又はH形鋼を建込み、中詰材・外詰材の注入等の一連作業で杭を形成するものである。 なお、本工法は比較的安定した地盤で孔壁保護を行わずに施工する場合に適用し、孔壁保護を行う場合には、本工法の適用外とし別途考慮する。</p> <p>2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>1) A工法（クレーン工法）</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については、別途計上する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	<p>2. 施 工 概 要 本工法は、クレーン又は大口径ボーリングマシンに取付けたダウンザホールハンマの打撃により地盤を掘削し、鋼管、H形鋼等を建込み、中詰材・外詰材の注入等の一連作業で杭を形成するものである。</p> <p>2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>1) A工法（クレーン工法）</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については、別途計上する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	

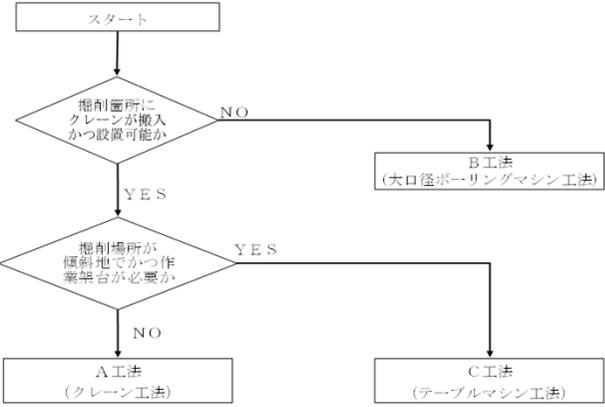
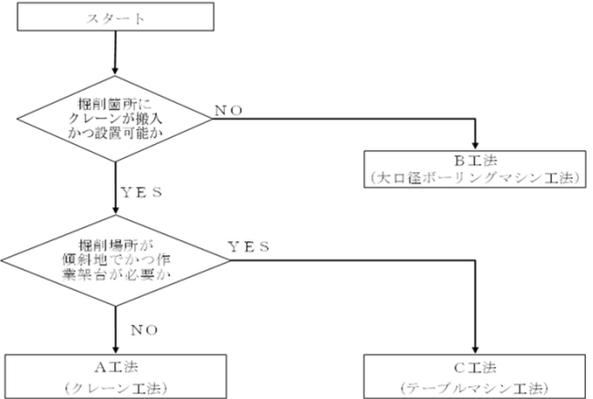
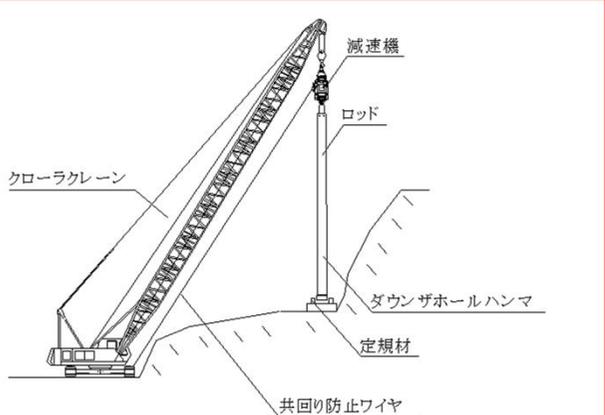
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ダウンザホールハンマエ	<p>2) B工法（大口径ボーリングマシン工法）</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については、別途計上する。 4. 傾斜地等で仮設足場が必要な場合、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー</p>	<p>2) B工法（大口径ボーリングマシン工法）</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については、別途計上する。 4. 傾斜地等で作業架台が必要な場合、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー</p>	

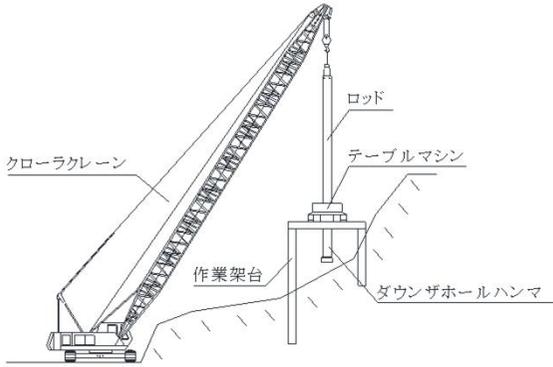
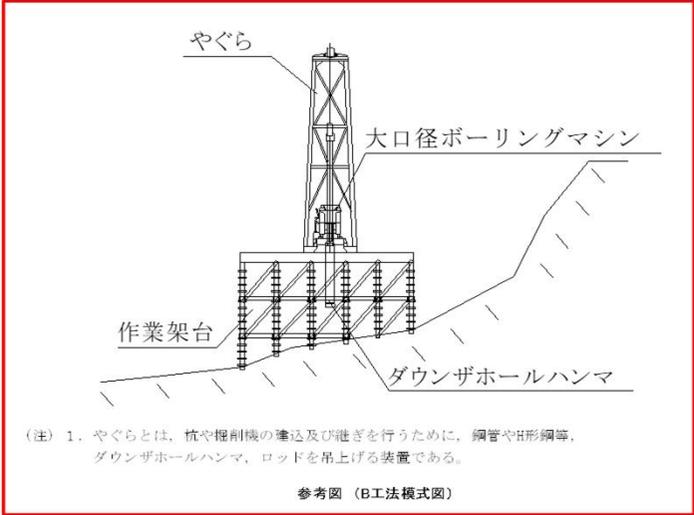
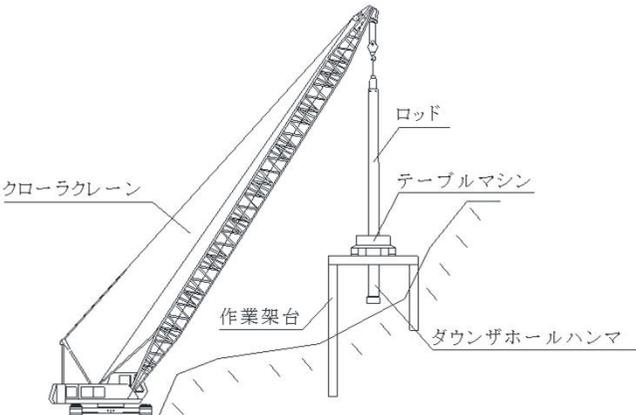
土木工事標準歩掛の改定

工種名	現行	改定	適用
<p>ダウンザホールハンマエ</p>	<p>3) C工法 (テーブルマシン工法)</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については、別途計上する。 4. 作業架台の設置・撤去は別途計上とする。</p> <p>図2-3 施工フロー</p>	<p>3) C工法 (テーブルマシン工法)</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については、別途計上する。 4. 作業架台の設置・撤去は別途計上とする。</p> <p>図2-3 施工フロー</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ダウンザホールハンマエ	<p>2-2 工法の選定 工法の選定は、図2-4による。</p>  <p style="text-align: center;">図2-4 工法の選定</p>	<p>2-2 工法の選定 工法の選定は、図2-4による。</p>  <p style="text-align: center;">図2-4 工法の選定</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-top: 20px;">  <p style="text-align: center;">参考図 (A工法模式図)</p> </div>	

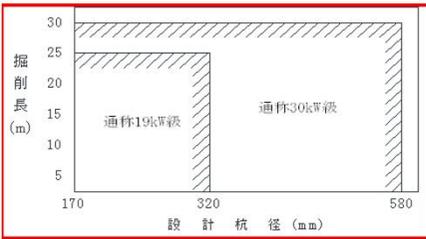
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ダウンザホールハンマエ	 <p>(注) 1. テーブルマシンとは、クレーンで吊下げたダウンザホールハンマを回転させる装置である。 2. テーブルマシンの据付け及び移動は、クレーン（掘削用）を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">参考図（C工法模式図）</p>	 <p>(注) 1. やぐらとは、杭や掘削機の運込及び継ぎを行うために、鋼管やH形鋼等、ダウンザホールハンマ、ロッドを吊上げる装置である。</p> <p style="text-align: center;">参考図（B工法模式図）</p>  <p>(注) 1. テーブルマシンとは、クレーンで吊下げたダウンザホールハンマを回転させる装置である。 2. テーブルマシンの据付け及び移動は、クレーン（掘削用）を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">参考図（C工法模式図）</p>	適用

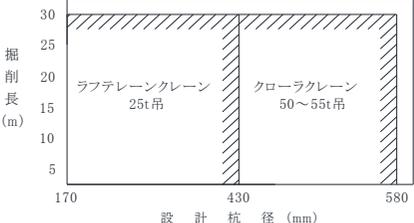
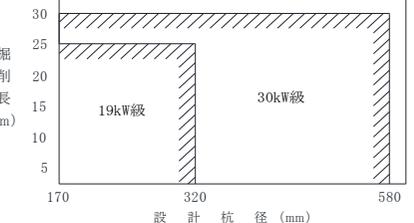
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																										
ダウンザホールハンマ工	<p>3. 機種 の 選 定 3-1 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定 (A工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>クレーン(掘削用)</td> <td></td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図3-1, 表3.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td>空圧式</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>鋼管杭・H形鋼杭建込用、掘削機組立・分解用</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭, H形鋼杭の建込み, クレーン(掘削用)の組立(リーダ, 減速機の取付け)・分解時については, ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型25t吊)を標準とするが, 現場条件により上表により難しい場合は, 別途考慮する。 2. 空気圧縮機は, 賃料とする。 3. 粉塵対策が必要な場合には, 給水ポンプ, 集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要		クレーン(掘削用)		台	1	図3-1, 表3.4		ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1	表3.5		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	必要台数	表3.6	鋼管杭・H形鋼杭建込用、掘削機組立・分解用	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	〃	1		<p>3. 機種 の 選 定 3-1 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定 (A工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設計杭径 430mm以下</th> <th>設計杭径 430mm超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘 削 用</td> <td>ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ</td> <td>[アースオーガ(油圧式)及びモ ンケン架装]ベースマシン35t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>掘 削 用</td> <td>クローラクレーン</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td>[空圧式]</td> <td>〃</td> <td colspan="2">1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">必要台数</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>鋼管杭・H 形杭等建込 用、掘削機 組立・分解 用</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>〃</td> <td colspan="2">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭, H形鋼杭等の建込み, クレーン(掘削用)の組立(リーダ, 減速機の取付け)・分解時については, ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型最大吊上能力25t吊)を標準とするが, 現場条件により上表により難しい場合は, 別途考慮する。 2. 粉塵対策が必要な場合には, 給水ポンプ, 集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要	設計杭径 430mm以下	設計杭径 430mm超え	掘 削 用	ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ	[アースオーガ(油圧式)及びモ ンケン架装]ベースマシン35t吊	台	1	-		掘 削 用	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	〃	-	1			ダウンザホールハンマ	[空圧式]	〃	1		表3.4		空 気 圧 縮 機		〃	必要台数		表3.5	鋼管杭・H 形杭等建込 用、掘削機 組立・分解 用	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	1			
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																								
	クレーン(掘削用)		台	1	図3-1, 表3.4																																																																								
	ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1	表3.5																																																																								
	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	必要台数	表3.6																																																																								
鋼管杭・H形鋼杭建込用、掘削機組立・分解用	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	〃	1																																																																									
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																							
				設計杭径 430mm以下	設計杭径 430mm超え																																																																								
掘 削 用	ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ	[アースオーガ(油圧式)及びモ ンケン架装]ベースマシン35t吊	台	1	-																																																																								
掘 削 用	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	〃	-	1																																																																								
	ダウンザホールハンマ	[空圧式]	〃	1		表3.4																																																																							
	空 気 圧 縮 機		〃	必要台数		表3.5																																																																							
鋼管杭・H 形杭等建込 用、掘削機 組立・分解 用	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	1																																																																									

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																												
ダウンザホールハンマエ	<p style="text-align: center;">表3.2 機種を選定(B工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>大口径ボーリングマシン</td> <td></td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図3-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td>空圧式</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>資材等現場内小運搬、掘削機の移動、鋼管杭、H形鋼杭建込</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じてラフテレーンクレーン(補助クレーン用)を別途計上する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭、H形鋼杭の建込み、掘削機の移動については、大口径ボーリングマシン付属のウインチで施工することを標準とする。 2. 現場、作業条件が下記に該当する場合は、必要に応じて補助クレーンを別途計上する。 ① 工事場所により10m以内に材料置場を設けることが出来ない場合。 ② 民家、構造物、その他の施設等を破損又は危険にさらす恐れのある場合。 ③ 現場条件等により、大口径ボーリングマシン付属のウインチによる施工が困難な場合。 3. 補助クレーンの場合、作業は準備作業までとする。 4. 空気圧縮機、ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 粉塵対策が必要な場合には、給水ポンプ、集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要		大口径ボーリングマシン		台	1	図3-2		ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1	表3.5		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	必要台数	表3.6	資材等現場内小運搬、掘削機の移動、鋼管杭、H形鋼杭建込	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	〃	1	必要に応じてラフテレーンクレーン(補助クレーン用)を別途計上する。	<p style="text-align: center;">2) B工法</p> <p style="text-align: center;">表3.2 機種を選定(B工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">作業種別</th> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">設計杭径 320mm以下</th> <th>設計杭径 320mm超え</th> </tr> <tr> <th>掘削長 25m以下</th> <th>掘削長 25m超え</th> <th>掘削長 30m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>大口径ボーリングマシン</td> <td>通称19kW級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>図3-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td>[空圧式]</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="3">必要台数</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>資材等現場内小運搬、掘削機の移動</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>〃</td> <td colspan="3">1</td> <td>必要に応じてラフテレーンクレーン(補助クレーン用)を別途計上する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭、H形鋼杭等の建込み、掘削機の移動については、大口径ボーリングマシン付属のウインチで施工することを標準とする。 2. 現場、作業条件が下記に該当する場合は、必要に応じて補助クレーンを別途計上する。 ① 工事場所により10m以内に材料置場を設けることが出来ない場合。 ② 民家、構造物、その他の施設等を破損又は危険にさらす恐れのある場合。 ③ 現場条件等により、大口径ボーリングマシン付属のウインチによる施工が困難な場合。 3. 補助クレーンの場合、作業は準備作業までとする。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 粉塵対策が必要な場合には、給水ポンプ、集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。</p> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: right;">選定基準 ・通称19kW級 杭 径：320mm以下 掘削長：25m以下 ・通称30kW級 杭 径：320mm超え580mm以下 掘削長：30m以下 及び 杭 径：320mm以下 掘削長：25m超え30m以下</p> </div> <p>(注) 現場条件等により、上図により難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">図3-1 大口径ボーリングマシンの選定</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量			摘 要	設計杭径 320mm以下		設計杭径 320mm超え	掘削長 25m以下	掘削長 25m超え	掘削長 30m以下		大口径ボーリングマシン	通称19kW級	台	1	-	-	図3-1		ダウンザホールハンマ	[空圧式]	〃	-	1	1	表3.4		空 気 圧 縮 機		〃	必要台数			表3.5	資材等現場内小運搬、掘削機の移動	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	1			必要に応じてラフテレーンクレーン(補助クレーン用)を別途計上する。	
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																										
	大口径ボーリングマシン		台	1	図3-2																																																																										
	ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1	表3.5																																																																										
	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	必要台数	表3.6																																																																										
資材等現場内小運搬、掘削機の移動、鋼管杭、H形鋼杭建込	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	〃	1	必要に応じてラフテレーンクレーン(補助クレーン用)を別途計上する。																																																																										
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量			摘 要																																																																								
				設計杭径 320mm以下		設計杭径 320mm超え																																																																									
				掘削長 25m以下	掘削長 25m超え	掘削長 30m以下																																																																									
	大口径ボーリングマシン	通称19kW級	台	1	-	-	図3-1																																																																								
	ダウンザホールハンマ	[空圧式]	〃	-	1	1	表3.4																																																																								
	空 気 圧 縮 機		〃	必要台数			表3.5																																																																								
資材等現場内小運搬、掘削機の移動	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	1			必要に応じてラフテレーンクレーン(補助クレーン用)を別途計上する。																																																																								

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																						
ダウンザホールハンマエ	<p style="text-align: center;">表3.3 機種を選定(C工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>クレーン(掘削用)</td> <td></td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図3-1, 表3.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td>空圧式</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>表3.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭, H形鋼杭の建込みは, クレーン(掘削用)を標準とするが, 現場条件により上表により難しい場合は, 別途考慮する。 2. 空気圧縮機は, 賃料とする。 3. 粉塵対策が必要な場合には, 給水ポンプ, 集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。</p> <p>3-2 掘削機の選定 掘削機の選定は, 次図を標準とする。</p> <p>1) クレーン(掘削用)</p>  <p style="text-align: center;">選定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラフテレーンクレーン (25 t 吊) 杭 径: 430mm以下 掘削長: 30m以下 ・クローラクレーン (50~55 t 吊) 杭 径: 430mm超え580mm以下 掘削長: 30m以下 <p>(注) 現場条件等により, 上図により難しい場合は別途考慮する。 図3-1 クレーン(掘削用)機種選定</p> <p style="text-align: center;">表3.4 クレーン(掘削用)機種・規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55t吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 大口径ボーリングマシン</p>  <p style="text-align: center;">選定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19kW級 杭 径: 320mm以下 掘削長: 25m以下 ・30kW級 杭 径: 320mm超え580mm以下 掘削長: 30m以下 及び 杭 径: 320mm以下 掘削長: 25m超え30m以下 <p>(注) 現場条件等により, 上図により難しい場合は別途考慮する。 図3-2 大口径ボーリングマシンの選定</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要		クレーン(掘削用)		台	1	図3-1, 表3.4		ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1	表3.5		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	必要台数	表3.6	機 械 名	規 格	摘 要	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55t吊		<p style="text-align: center;">3) C工法</p> <p style="text-align: center;">表3.3 機種を選定(C工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設計杭径 360mm以下</th> <th>設計杭径 360mm超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘 削 用</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>掘 削 用</td> <td>クローラクレーン</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td>[空圧式]</td> <td>〃</td> <td colspan="2">1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">必要台数</td> <td>表3.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭, H形鋼杭等の建込みは, クレーン(掘削用)を標準とするが, 現場条件により上表により難しい場合は, 別途考慮する。 2. 粉塵対策が必要な場合には, 給水ポンプ, 集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p style="font-size: 24px; color: red; font-weight: bold;">削除 (3. に統合)</p> </div>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要	設計杭径 360mm以下	設計杭径 360mm超え	掘 削 用	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力25t吊	台	1	-		掘 削 用	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	〃	-	1			ダウンザホールハンマ	[空圧式]	〃	1		表3.4		空 気 圧 縮 機		〃	必要台数		表3.5	
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
	クレーン(掘削用)		台	1	図3-1, 表3.4																																																																				
	ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1	表3.5																																																																				
	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	必要台数	表3.6																																																																				
機 械 名	規 格	摘 要																																																																							
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊																																																																								
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55t吊																																																																								
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																			
				設計杭径 360mm以下	設計杭径 360mm超え																																																																				
掘 削 用	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力25t吊	台	1	-																																																																				
掘 削 用	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	〃	-	1																																																																				
	ダウンザホールハンマ	[空圧式]	〃	1		表3.4																																																																			
	空 気 圧 縮 機		〃	必要台数		表3.5																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																								
ダウンザホールハンマエ	<p>3-3 ダウンザホールハンマの選定 ダウンザホールハンマの選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 ダウンザホールハンマの選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>設計杭径 (mm)</th> <th>170以上 220以下</th> <th>220超え 270以下</th> <th>270超え 320以下</th> <th>320超え 360以下</th> <th>360超え 430以下</th> <th>430超え 510以下</th> <th>510超え 580以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダウンザホールハンマ規格</td> <td>掘削孔径 φ250~ 300mm</td> <td>掘削孔径 φ302~ 381mm</td> <td>掘削孔径 φ382~457mm</td> <td colspan="4">掘削孔径 φ508~762mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 空気圧縮機の選定 空気圧縮機の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 空気圧縮機の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>設計杭径 (mm)</th> <th>170以上 320以下</th> <th>320超え 430以下</th> <th>430超え 510以下</th> <th>510超え 580以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気圧縮機規格・台数</td> <td>18~19m³/min 2台</td> <td>18~19m³/min 3台</td> <td>18~19m³/min 3台 7.5~7.8m³/min 1台</td> <td>18~19m³/min 4台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 空気圧縮機は、可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第2次基準値）とする。 2. 空気圧縮機は、賃料とする。</p>	設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220超え 270以下	270超え 320以下	320超え 360以下	360超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下	ダウンザホールハンマ規格	掘削孔径 φ250~ 300mm	掘削孔径 φ302~ 381mm	掘削孔径 φ382~457mm	掘削孔径 φ508~762mm				設計杭径 (mm)	170以上 320以下	320超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下	空気圧縮機規格・台数	18~19m ³ /min 2台	18~19m ³ /min 3台	18~19m ³ /min 3台 7.5~7.8m ³ /min 1台	18~19m ³ /min 4台	<p>3-2 ダウンザホールハンマの選定 ダウンザホールハンマの選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 ダウンザホールハンマの選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>設計杭径 (mm)</th> <th>170以上 220以下</th> <th>220超え 270以下</th> <th>270超え 320以下</th> <th>320超え 360以下</th> <th>360超え 430以下</th> <th>430超え 510以下</th> <th>510超え 580以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダウンザホールハンマ規格</td> <td>最大掘削径 φ305mm</td> <td>最大掘削径 φ445mm</td> <td>最大掘削径 φ508mm</td> <td colspan="4">最大掘削径 φ650mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 空気圧縮機の選定 空気圧縮機の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 空気圧縮機の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械名</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">数量</th> </tr> <tr> <th>設計杭径 170mm以上 320mm以下</th> <th>設計杭径 320mm超え 360mm以下</th> <th>設計杭径 360mm超え 430mm以下</th> <th>設計杭径 430mm超え 510mm以下</th> <th>設計杭径 510mm超え 580mm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">空 気 圧 縮 機</td> <td>〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 〔高圧・ドライエア仕様〕 吐出量21.0~25.5 m³/min 吐出圧力0.7~1.27MPa</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 〔高圧仕様〕 吐出量37.0~41.0 m³/min 吐出圧力0.7~1.27MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220超え 270以下	270超え 320以下	320超え 360以下	360超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下	ダウンザホールハンマ規格	最大掘削径 φ305mm	最大掘削径 φ445mm	最大掘削径 φ508mm	最大掘削径 φ650mm				機械名	規格	単位	数量					設計杭径 170mm以上 320mm以下	設計杭径 320mm超え 360mm以下	設計杭径 360mm超え 430mm以下	設計杭径 430mm超え 510mm以下	設計杭径 510mm超え 580mm以下	空 気 圧 縮 機	〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 〔高圧・ドライエア仕様〕 吐出量21.0~25.5 m ³ /min 吐出圧力0.7~1.27MPa	台	-	2	1	3	1	3	〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 〔高圧仕様〕 吐出量37.0~41.0 m ³ /min 吐出圧力0.7~1.27MPa	〃	1	-	1	-	1	-	
設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220超え 270以下	270超え 320以下	320超え 360以下	360超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下																																																																				
ダウンザホールハンマ規格	掘削孔径 φ250~ 300mm	掘削孔径 φ302~ 381mm	掘削孔径 φ382~457mm	掘削孔径 φ508~762mm																																																																							
設計杭径 (mm)	170以上 320以下	320超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下																																																																							
空気圧縮機規格・台数	18~19m ³ /min 2台	18~19m ³ /min 3台	18~19m ³ /min 3台 7.5~7.8m ³ /min 1台	18~19m ³ /min 4台																																																																							
設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220超え 270以下	270超え 320以下	320超え 360以下	360超え 430以下	430超え 510以下	510超え 580以下																																																																				
ダウンザホールハンマ規格	最大掘削径 φ305mm	最大掘削径 φ445mm	最大掘削径 φ508mm	最大掘削径 φ650mm																																																																							
機械名	規格	単位	数量																																																																								
			設計杭径 170mm以上 320mm以下	設計杭径 320mm超え 360mm以下	設計杭径 360mm超え 430mm以下	設計杭径 430mm超え 510mm以下	設計杭径 510mm超え 580mm以下																																																																				
空 気 圧 縮 機	〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 〔高圧・ドライエア仕様〕 吐出量21.0~25.5 m ³ /min 吐出圧力0.7~1.27MPa	台	-	2	1	3	1	3																																																																			
	〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 〔高圧仕様〕 吐出量37.0~41.0 m ³ /min 吐出圧力0.7~1.27MPa	〃	1	-	1	-	1	-																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																												
<p>ダウンザホールハンマエ</p>	<p>4. 編 成 人 員 ダウンザホールハンマによる場所打杭工の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工法種別</th> <th>職 種</th> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>と び 工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>溶 接 工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A (クレーン工法)</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B (大口径ボーリングマシン工法)</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>C (テーブルマシン工法)</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭1本当り施工日数 (T_c) 杭1本当り施工日数は、次式による。 鋼管杭の場合：T_c=T₁+T₂+T₃+(T₄・α) (日/本) ……式5.1 H形鋼杭の場合：T_c=T₁+T₂+T₃+T₄ (日/本) ……式5.2 防護柵の場合：T_c=T₁+T₂+T₃ (日/本) ……式5.3 T₁：杭1本当りの削孔日数 (日/本) T₂：杭1本当りの準備・建込み等日数 (日/本) T₃：杭1本当りの充填日数 (日/本) T₄：杭1本当りの溶接・ボルト接合日数 (日/本) α：鋼管板厚補正係数</p> <p>(注) T₄は立継溶接、又はボルト接合(※₁)より継杭を施工する場合に計上する。ただし、ボルト接合は溶接工を計上しない。 なお、機械式継手(※₂)より継杭を施工する場合も適用出来るが、T₄及び溶接工は計上せずに、費用等を別途計上する。 ※₁立継溶接……鋼材をクレーン等で建込みながら溶接する施工方法。 ※₂機械式継手(鋼管杭)……あらかじめ杭の上下端部に工場で溶接取付された継手部材を現地で自重等により嵌合させる構造のもの。</p> <p>① 杭1本当りの削孔日数 (T₁)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 土質毎の削孔日数(T₁) (日/m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>土質・岩質分類</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> <th>レキ質土 岩塊・玉石 軟岩 中硬岩</th> <th>硬岩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔日数</td> <td>0.03</td> <td>0.05</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 杭1本当りの削孔日数(T₁)は、掘削する土質毎に次のとおり加算して算出する。 T₁=T_{a1}×l₁+T_{a2}×l₂+T_{a3}×l₃+T_{a4}×l₄+… T_{am}：各土質毎の削孔日数(日/m) l_m：各土質の掘削長(m) 2. T₁は小数第3位を四捨五入し、第2位とする。</p>	工法種別	職 種	土 木 一 般 世 話 役	と び 工	特殊作業員	普通作業員	溶 接 工	A (クレーン工法)		1	1	1	1	1	B (大口径ボーリングマシン工法)		1	1	1	2	1	C (テーブルマシン工法)		1	1	1	1	1	土質・岩質分類	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 軟岩 中硬岩	硬岩	削孔日数	0.03	0.05	0.06	0.08	<p>4. 編 成 人 員 ダウンザホールハンマによる場所打杭工の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工法種別</th> <th>職 種</th> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>と び 工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>溶 接 工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A (クレーン工法)</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B (大口径ボーリングマシン工法)</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>C (テーブルマシン工法)</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭1本当り施工日数 (T_c) 杭1本当り施工日数は、次式による。 鋼管杭の場合：T_c=T₁+T₂+T₃+(T₄・α) (日/本) ……式5.1 H形鋼杭の場合：T_c=T₁+T₂+T₃+T₄ (日/本) ……式5.2 防護柵の場合：T_c=T₁+T₂+T₃ (日/本) ……式5.3 T₁：杭1本当りの削孔日数 (日/本) T₂：杭1本当りの準備等日数 (日/本) T₃：杭1本当りの建込・充填日数 (日/本) T₄：杭1本当りの溶接・ボルト接合日数 (日/本) α：鋼管板厚補正係数</p> <p>(注) T₄は立継溶接(※₁)、又はボルト接合より継杭を施工する場合に計上する。ただし、ボルト接合は溶接工を計上しない。 なお、機械式継手(※₂)より継杭を施工する場合も適用出来るが、T₄及び溶接工は計上せずに、継施工費及び材料費を別途計上する。 ※₁立継溶接……鋼材をクレーン等で建込みながら溶接する施工方法。 ※₂機械式継手(鋼管杭)……あらかじめ杭の上下端部に工場で溶接取付された継手部材を現地で自重等により嵌合させる構造のもの。</p> <p>① 杭1本当りの削孔日数 (T₁)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 土質毎の削孔日数(T₁) (日/m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>土質・岩質分類</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> <th>レキ質土 岩塊・玉石 軟岩 中硬岩</th> <th>硬岩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔日数</td> <td>0.03</td> <td>0.05</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 杭1本当りの削孔日数(T₁)は、掘削する土質毎に次のとおり加算して算出する。 T₁=T_{a1}×L_{a1}+T_{a2}×L_{a2}+T_{a3}×L_{a3}+T_{a4}×L_{a4}+… T_{am}：各土質毎の削孔日数(日/m) L_{am}：各土質の掘削長(m) 2. T₁は小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位とする。</p>	工法種別	職 種	土 木 一 般 世 話 役	と び 工	特殊作業員	普通作業員	溶 接 工	A (クレーン工法)		1	1	1	1	1	B (大口径ボーリングマシン工法)		1	1	1	2	1	C (テーブルマシン工法)		1	1	1	1	1	土質・岩質分類	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 軟岩 中硬岩	硬岩	削孔日数	0.03	0.05	0.06	0.08	
工法種別	職 種	土 木 一 般 世 話 役	と び 工	特殊作業員	普通作業員	溶 接 工																																																																									
A (クレーン工法)		1	1	1	1	1																																																																									
B (大口径ボーリングマシン工法)		1	1	1	2	1																																																																									
C (テーブルマシン工法)		1	1	1	1	1																																																																									
土質・岩質分類	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 軟岩 中硬岩	硬岩																																																																											
削孔日数	0.03	0.05	0.06	0.08																																																																											
工法種別	職 種	土 木 一 般 世 話 役	と び 工	特殊作業員	普通作業員	溶 接 工																																																																									
A (クレーン工法)		1	1	1	1	1																																																																									
B (大口径ボーリングマシン工法)		1	1	1	2	1																																																																									
C (テーブルマシン工法)		1	1	1	1	1																																																																									
土質・岩質分類	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 軟岩 中硬岩	硬岩																																																																											
削孔日数	0.03	0.05	0.06	0.08																																																																											

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																						
<p>ダウンザホールハンマエ</p>	<p>② 杭1本当りの準備・建込み等日数 (T₂) 杭1本当りの準備 (足場作り、テーブルマシン又は大口径ボーリングマシンの移動、芯出し)、鋼管・H形鋼建込、孔内洗浄、ロッド継足し・引抜き等の施工日数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 杭1本当りの準備・建込み等日数(T₂) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘削長 (m)</th> <th>工 法 名</th> <th>杭 種</th> <th>φ ≤ 10</th> <th>10 < φ ≤ 20</th> <th>20 < φ ≤ 30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H 形 鋼</td> <td rowspan="3">(A)工法 (クレーン工法)</td> <td rowspan="3">H 形 鋼</td> <td>(A)工法 (クレーン工法)</td> <td>0.16</td> <td>0.21</td> <td>0.27</td> </tr> <tr> <td>(B)工法 (大口径ボーリングマシン工法)</td> <td>0.26</td> <td>0.32</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>(C)工法 (テーブルマシン工法)</td> <td>0.20</td> <td>0.26</td> <td>0.32</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼 管 又は 防 護 柵</td> <td rowspan="3">(A)工法 (クレーン工法)</td> <td rowspan="3">鋼 管</td> <td>(A)工法 (クレーン工法)</td> <td>0.17</td> <td>0.25</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>(B)工法 (大口径ボーリングマシン工法)</td> <td>0.27</td> <td>0.35</td> <td>0.44</td> </tr> <tr> <td>(C)工法 (テーブルマシン工法)</td> <td>0.21</td> <td>0.30</td> <td>0.38</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 大口径ボーリングマシンの1回の移動距離は3m以内を標準とし、ブロック間の移動は、別途考慮する。 2. 足場作りとは、テーブルマシン又は大口径ボーリングマシンの下に敷く足場材の敷設とし、全体の仮設足場は含まない。 3. 削孔途中でのロッド引抜きや挿入及びロッドの先端補修を含む。 4. 大口径ボーリングマシンは、補助機械の有無にかかわらず適用出来る。 5. 削孔口周辺が崩壊する場合は、保護対策を別途計上する。</p>	掘削長 (m)	工 法 名	杭 種	φ ≤ 10	10 < φ ≤ 20	20 < φ ≤ 30	H 形 鋼	(A)工法 (クレーン工法)	H 形 鋼	(A)工法 (クレーン工法)	0.16	0.21	0.27	(B)工法 (大口径ボーリングマシン工法)	0.26	0.32	0.38	(C)工法 (テーブルマシン工法)	0.20	0.26	0.32	鋼 管 又は 防 護 柵	(A)工法 (クレーン工法)	鋼 管	(A)工法 (クレーン工法)	0.17	0.25	0.33	(B)工法 (大口径ボーリングマシン工法)	0.27	0.35	0.44	(C)工法 (テーブルマシン工法)	0.21	0.30	0.38	<p>② 杭1本当りの準備等日数 (T₂) 杭1本当りの準備 (足場作り、定規材の設置・撤去、テーブルマシン又は大口径ボーリングマシンの移動、芯出し)、孔内洗浄、ロッド継足し・引抜き、注入管の設置・撤去の施工日数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 杭1本当りの準備等日数(T₂) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘削長 (m)</th> <th>杭 種</th> <th>設計杭径 (mm)</th> <th>工 法 名</th> <th>L₀ ≤ 6</th> <th>6 < L₀ ≤ 15</th> <th>15 < L₀ ≤ 30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">A工法</td> <td rowspan="2">170mm以上 430mm以下</td> <td rowspan="2">H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>0.14</td> <td>0.17</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)</td> <td>0.10</td> <td>0.13</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">430mm超え 580mm以下</td> <td rowspan="2">H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>0.18</td> <td>0.21</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>H形鋼 (土砂埋戻し)</td> <td>0.14</td> <td>0.17</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B工法</td> <td rowspan="2">170mm以上 580mm以下</td> <td rowspan="2">H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>0.28</td> <td>0.28</td> <td>0.31</td> </tr> <tr> <td>H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)</td> <td>0.23</td> <td>0.23</td> <td>0.27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C工法</td> <td rowspan="2">170mm以上 580mm以下</td> <td rowspan="2">H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>0.18</td> <td>0.22</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)</td> <td>0.14</td> <td>0.18</td> <td>0.21</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 大口径ボーリングマシンの1回の移動距離は3m以内を標準とし、ブロック間の移動は、別途考慮する。 2. 足場作りとは、テーブルマシンの下に敷く足場材の敷設とし、全体の作業架台は含まない。 3. 削孔途中でのロッド引抜きや挿入及びロッドの先端補修を含む。 4. 大口径ボーリングマシンは、補助機械の有無にかかわらず適用出来る。 5. 削孔口周辺が崩壊する場合は、保護対策を別途計上する。 6. 防護柵の適用範囲は、設計杭径270mm超え320mm以下とする。</p>	掘削長 (m)	杭 種	設計杭径 (mm)	工 法 名	L ₀ ≤ 6	6 < L ₀ ≤ 15	15 < L ₀ ≤ 30	A工法	170mm以上 430mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.14	0.17	0.20	H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.10	0.13	0.16	430mm超え 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.18	0.21	0.24	H形鋼 (土砂埋戻し)	0.14	0.17	0.20	B工法	170mm以上 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.28	0.28	0.31	H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.23	0.23	0.27	C工法	170mm以上 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.18	0.22	0.25	H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.14	0.18	0.21	
掘削長 (m)	工 法 名	杭 種	φ ≤ 10	10 < φ ≤ 20	20 < φ ≤ 30																																																																																				
H 形 鋼	(A)工法 (クレーン工法)	H 形 鋼	(A)工法 (クレーン工法)	0.16	0.21	0.27																																																																																			
			(B)工法 (大口径ボーリングマシン工法)	0.26	0.32	0.38																																																																																			
			(C)工法 (テーブルマシン工法)	0.20	0.26	0.32																																																																																			
鋼 管 又は 防 護 柵	(A)工法 (クレーン工法)	鋼 管	(A)工法 (クレーン工法)	0.17	0.25	0.33																																																																																			
			(B)工法 (大口径ボーリングマシン工法)	0.27	0.35	0.44																																																																																			
			(C)工法 (テーブルマシン工法)	0.21	0.30	0.38																																																																																			
掘削長 (m)	杭 種	設計杭径 (mm)	工 法 名	L ₀ ≤ 6	6 < L ₀ ≤ 15	15 < L ₀ ≤ 30																																																																																			
A工法	170mm以上 430mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.14	0.17	0.20																																																																																			
			H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.10	0.13	0.16																																																																																			
	430mm超え 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.18	0.21	0.24																																																																																			
			H形鋼 (土砂埋戻し)	0.14	0.17	0.20																																																																																			
	B工法	170mm以上 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.28	0.28	0.31																																																																																		
				H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.23	0.23	0.27																																																																																		
C工法	170mm以上 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.18	0.22	0.25																																																																																			
			H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.14	0.18	0.21																																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																													
ダウンザホールハンマ工	<p>③ 杭1本当りの充填日数 (T₃) 杭1本当りのモルタル及び中詰コンクリート打設日数、土砂埋戻し日数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 H形鋼(モルタル杭)(T₃) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設計杭径 \ 掘削長</th> <th>10m以下</th> <th>10<ℓ≤20</th> <th>20<ℓ≤30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170mm以上320mm以下</td> <td>0.10</td> <td>0.17</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>320mm超え580mm以下</td> <td>0.15</td> <td>0.31</td> <td>0.48</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.4 鋼管(モルタル・コンクリート杭)(T₃) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設計杭径 \ 掘削長</th> <th>10m以下</th> <th>10<ℓ≤20</th> <th>20<ℓ≤30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170mm以上320mm以下</td> <td>0.06</td> <td>0.13</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>320mm超え580mm以下</td> <td>0.11</td> <td>0.27</td> <td>0.43</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. モルタル注入はグラウトポンプにより行い、注入パイプの取付け・取外しを含む日数である。 2. 中詰コンクリートは、トラックミキサ等による打設日数とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 土砂埋戻し(T₃) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設計杭径 \ 掘削長</th> <th>10m以下</th> <th>10<ℓ≤20</th> <th>20<ℓ≤30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170mm以上320mm以下</td> <td>0.03</td> <td>0.09</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>320mm超え580mm以下</td> <td>0.07</td> <td>0.20</td> <td>0.32</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 土砂埋戻しは人力、土砂ホッパ等により行う日数である。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 防護柵(モルタル杭)(T₃) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設計杭径 \ 掘削長</th> <th>8m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>270mm超え320mm以下</td> <td>0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) モルタル注入はグラウトポンプにより行い、外詰モルタル打設日数とする。</p>	設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≤20	20<ℓ≤30	170mm以上320mm以下	0.10	0.17	0.25	320mm超え580mm以下	0.15	0.31	0.48	設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≤20	20<ℓ≤30	170mm以上320mm以下	0.06	0.13	0.20	320mm超え580mm以下	0.11	0.27	0.43	設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≤20	20<ℓ≤30	170mm以上320mm以下	0.03	0.09	0.14	320mm超え580mm以下	0.07	0.20	0.32	設計杭径 \ 掘削長	8m以下	270mm超え320mm以下	0.02	<p>③ 杭1本当りの建込・充填日数 (T₃) 杭1本当りの鋼管・防護柵・H形鋼建込、モルタル及び中詰コンクリート打設又は土砂埋戻しの施工日数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 掘削長1m当りの建込・充填日数(T₃) (日/m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設計杭径 \ 杭種 \ 工法</th> <th>170mm以上 270mm以下</th> <th>270mm超え 360mm以下</th> <th>360mm超え 430mm以下</th> <th>430mm超え 580mm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A・C 工法</td> <td>H形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)</td> <td>0.012</td> <td>0.016</td> <td>0.020</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>0.015</td> <td>0.019</td> <td>0.023</td> <td>0.027</td> </tr> <tr> <td>防護柵(モルタル)</td> <td>—</td> <td>0.014</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B工法</td> <td>H形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)</td> <td>0.014</td> <td>0.019</td> <td>0.023</td> <td>0.034</td> </tr> <tr> <td>鋼管 (モルタル・コンクリート)</td> <td>0.019</td> <td>0.025</td> <td>0.030</td> <td>0.036</td> </tr> <tr> <td>防護柵(モルタル)</td> <td>—</td> <td>0.019</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 杭1本当りの建込・充填日数(T₃)は、次のとおり算出する。 $T_3 = T_1 \times L_2$ T₁: 掘削長1m当りの建込・充填日数(日/m) L₂: 掘削長(m) 2. T₃は小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位とする。 3. H形鋼のモルタル注入及び鋼管の外詰モルタル注入はグラウトポンプにより行い、注入パイプの取付け・取外しは含まない。 4. 土砂埋戻しは人力、土砂ホッパ等による埋戻しを標準とする。 5. 鋼管の中詰コンクリートは、トラックミキサ等による打設を標準とする。 6. 防護柵の適用範囲は、設計杭径270mm超え320mm以下とする。</p>	設計杭径 \ 杭種 \ 工法	170mm以上 270mm以下	270mm超え 360mm以下	360mm超え 430mm以下	430mm超え 580mm以下	A・C 工法	H形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)	0.012	0.016	0.020	0.028	鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.015	0.019	0.023	0.027	防護柵(モルタル)	—	0.014	—	—	B工法	H形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)	0.014	0.019	0.023	0.034	鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.019	0.025	0.030	0.036	防護柵(モルタル)	—	0.019	—	—	
設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≤20	20<ℓ≤30																																																																													
170mm以上320mm以下	0.10	0.17	0.25																																																																													
320mm超え580mm以下	0.15	0.31	0.48																																																																													
設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≤20	20<ℓ≤30																																																																													
170mm以上320mm以下	0.06	0.13	0.20																																																																													
320mm超え580mm以下	0.11	0.27	0.43																																																																													
設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≤20	20<ℓ≤30																																																																													
170mm以上320mm以下	0.03	0.09	0.14																																																																													
320mm超え580mm以下	0.07	0.20	0.32																																																																													
設計杭径 \ 掘削長	8m以下																																																																															
270mm超え320mm以下	0.02																																																																															
設計杭径 \ 杭種 \ 工法	170mm以上 270mm以下	270mm超え 360mm以下	360mm超え 430mm以下	430mm超え 580mm以下																																																																												
A・C 工法	H形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)	0.012	0.016	0.020	0.028																																																																											
	鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.015	0.019	0.023	0.027																																																																											
	防護柵(モルタル)	—	0.014	—	—																																																																											
B工法	H形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)	0.014	0.019	0.023	0.034																																																																											
	鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.019	0.025	0.030	0.036																																																																											
	防護柵(モルタル)	—	0.019	—	—																																																																											

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																				
ダウンザホールハンマエ	<p>④ 杭1本当りの溶接・ボルト接合日数(溶接) (T₄)</p> <p style="text-align: center;">表5.7 H形鋼(溶接)(T₄) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H形鋼規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長</th> <th></th> <th>150~175</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>300</th> <th>350</th> <th>400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L ≤ 12m</td> <td>0回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>12m < L ≤ 24m</td> <td>1回</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> <td>0.13</td> <td>0.19</td> </tr> <tr> <td>24m < L ≤ 30m</td> <td>2回</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> <td>0.12</td> <td>0.16</td> <td>0.26</td> <td>0.38</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.8 鋼管(T₄) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>鋼管規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長</th> <th></th> <th>170以上 300未満</th> <th>300以上 400未満</th> <th>400以上 500未満</th> <th>500以上 580以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L ≤ 12m</td> <td>0回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>12m < L ≤ 24m</td> <td>1回</td> <td>0.04</td> <td>0.08</td> <td>0.10</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>24m < L ≤ 30m</td> <td>2回</td> <td>0.08</td> <td>0.16</td> <td>0.20</td> <td>0.22</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、現場条件により溶接回数(標準)により難い場合は、表5.9より1回当りの溶接日数を加減する。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 1回当りの溶接日数 (日/回)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H形鋼規格(mm)</th> <th>1回当り溶接日数</th> <th>鋼管外径(mm)</th> <th>1回当り溶接日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150~175</td> <td>0.03</td> <td>170以上300未満</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>0.04</td> <td>300以上400未満</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>250</td> <td>0.06</td> <td>400以上500未満</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.08</td> <td>500以上580以下</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>350</td> <td>0.13</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>0.19</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例1) 鋼管外径190mm 杭長30m 溶接回数が3回の場合(標準2回) 0.08(日/本・標準) + 0.04(日/回・1回当り) = 0.12(日/本)</p> <p>(例2) 鋼管外径190mm 杭長9m 溶接回数が1回の場合(標準0回) 0(日/本・標準) + 0.04(日/回・1回当り) = 0.04(日/本)</p> <p>⑤ 鋼管板厚補正係数(α)</p> <p style="text-align: center;">表5.10 鋼管板厚補正係数(α)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>板厚(mm)</th> <th>~14</th> <th>15~17</th> <th>18~21</th> <th>22~25</th> <th>26~30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係数</td> <td>1.00</td> <td>1.41</td> <td>2.00</td> <td>2.76</td> <td>3.84</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 板厚30mmを超えるものについては、別途考慮する。</p>	H形鋼規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		150~175	200	250	300	350	400	L ≤ 12m	0回	-	-	-	-	-	-	12m < L ≤ 24m	1回	0.03	0.04	0.06	0.08	0.13	0.19	24m < L ≤ 30m	2回	0.06	0.08	0.12	0.16	0.26	0.38	鋼管規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		170以上 300未満	300以上 400未満	400以上 500未満	500以上 580以下	L ≤ 12m	0回	-	-	-	-	12m < L ≤ 24m	1回	0.04	0.08	0.10	0.11	24m < L ≤ 30m	2回	0.08	0.16	0.20	0.22	H形鋼規格(mm)	1回当り溶接日数	鋼管外径(mm)	1回当り溶接日数	150~175	0.03	170以上300未満	0.04	200	0.04	300以上400未満	0.08	250	0.06	400以上500未満	0.10	300	0.08	500以上580以下	0.11	350	0.13			400	0.19			板厚(mm)	~14	15~17	18~21	22~25	26~30	係数	1.00	1.41	2.00	2.76	3.84	<p>④ 杭1本当りの溶接・ボルト接合日数(T₄)</p> <p>a) 杭1本当りの溶接日数 杭1本当りの溶接日数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 H形鋼(溶接)(T₄) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H形鋼規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長</th> <th></th> <th>150~175</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>300</th> <th>350</th> <th>400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L₀ ≤ 12m</td> <td>0回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>12m < L₀ ≤ 24m</td> <td>1回</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> <td>0.13</td> <td>0.19</td> </tr> <tr> <td>24m < L₀ ≤ 30m</td> <td>2回</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> <td>0.12</td> <td>0.16</td> <td>0.26</td> <td>0.38</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.5 鋼管(T₄) (日/本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>鋼管規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長</th> <th></th> <th>170以上 300未満</th> <th>300以上 400未満</th> <th>400以上 500未満</th> <th>500以上 580以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L₀ ≤ 12m</td> <td>0回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>12m < L₀ ≤ 24m</td> <td>1回</td> <td>0.04</td> <td>0.08</td> <td>0.10</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>24m < L₀ ≤ 30m</td> <td>2回</td> <td>0.08</td> <td>0.16</td> <td>0.20</td> <td>0.22</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、現場条件により溶接回数(標準)により難い場合は、表5.6より1回当りの溶接日数を加減する。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 1回当りの溶接日数 (日/回)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H形鋼規格(mm)</th> <th>1回当り溶接日数</th> <th>鋼管外径(mm)</th> <th>1回当り溶接日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150~175</td> <td>0.03</td> <td>170以上300未満</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>0.04</td> <td>300以上400未満</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>250</td> <td>0.06</td> <td>400以上500未満</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.08</td> <td>500以上580以下</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>350</td> <td>0.13</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>0.19</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例1) 鋼管外径190mm 杭長30m 溶接回数が3回の場合(標準2回) 0.08(日/本・標準) + 0.04(日/回・1回当り) = 0.12(日/本)</p> <p>(例2) 鋼管外径190mm 杭長9m 溶接回数が1回の場合(標準0回) 0(日/本・標準) + 0.04(日/回・1回当り) = 0.04(日/本)</p>	H形鋼規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		150~175	200	250	300	350	400	L ₀ ≤ 12m	0回	-	-	-	-	-	-	12m < L ₀ ≤ 24m	1回	0.03	0.04	0.06	0.08	0.13	0.19	24m < L ₀ ≤ 30m	2回	0.06	0.08	0.12	0.16	0.26	0.38	鋼管規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		170以上 300未満	300以上 400未満	400以上 500未満	500以上 580以下	L ₀ ≤ 12m	0回	-	-	-	-	12m < L ₀ ≤ 24m	1回	0.04	0.08	0.10	0.11	24m < L ₀ ≤ 30m	2回	0.08	0.16	0.20	0.22	H形鋼規格(mm)	1回当り溶接日数	鋼管外径(mm)	1回当り溶接日数	150~175	0.03	170以上300未満	0.04	200	0.04	300以上400未満	0.08	250	0.06	400以上500未満	0.10	300	0.08	500以上580以下	0.11	350	0.13			400	0.19			
H形鋼規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		150~175	200	250	300	350	400																																																																																																																																																																																
L ≤ 12m	0回	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																
12m < L ≤ 24m	1回	0.03	0.04	0.06	0.08	0.13	0.19																																																																																																																																																																																
24m < L ≤ 30m	2回	0.06	0.08	0.12	0.16	0.26	0.38																																																																																																																																																																																
鋼管規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		170以上 300未満	300以上 400未満	400以上 500未満	500以上 580以下																																																																																																																																																																																		
L ≤ 12m	0回	-	-	-	-																																																																																																																																																																																		
12m < L ≤ 24m	1回	0.04	0.08	0.10	0.11																																																																																																																																																																																		
24m < L ≤ 30m	2回	0.08	0.16	0.20	0.22																																																																																																																																																																																		
H形鋼規格(mm)	1回当り溶接日数	鋼管外径(mm)	1回当り溶接日数																																																																																																																																																																																				
150~175	0.03	170以上300未満	0.04																																																																																																																																																																																				
200	0.04	300以上400未満	0.08																																																																																																																																																																																				
250	0.06	400以上500未満	0.10																																																																																																																																																																																				
300	0.08	500以上580以下	0.11																																																																																																																																																																																				
350	0.13																																																																																																																																																																																						
400	0.19																																																																																																																																																																																						
板厚(mm)	~14	15~17	18~21	22~25	26~30																																																																																																																																																																																		
係数	1.00	1.41	2.00	2.76	3.84																																																																																																																																																																																		
H形鋼規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		150~175	200	250	300	350	400																																																																																																																																																																																
L ₀ ≤ 12m	0回	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																
12m < L ₀ ≤ 24m	1回	0.03	0.04	0.06	0.08	0.13	0.19																																																																																																																																																																																
24m < L ₀ ≤ 30m	2回	0.06	0.08	0.12	0.16	0.26	0.38																																																																																																																																																																																
鋼管規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		170以上 300未満	300以上 400未満	400以上 500未満	500以上 580以下																																																																																																																																																																																		
L ₀ ≤ 12m	0回	-	-	-	-																																																																																																																																																																																		
12m < L ₀ ≤ 24m	1回	0.04	0.08	0.10	0.11																																																																																																																																																																																		
24m < L ₀ ≤ 30m	2回	0.08	0.16	0.20	0.22																																																																																																																																																																																		
H形鋼規格(mm)	1回当り溶接日数	鋼管外径(mm)	1回当り溶接日数																																																																																																																																																																																				
150~175	0.03	170以上300未満	0.04																																																																																																																																																																																				
200	0.04	300以上400未満	0.08																																																																																																																																																																																				
250	0.06	400以上500未満	0.10																																																																																																																																																																																				
300	0.08	500以上580以下	0.11																																																																																																																																																																																				
350	0.13																																																																																																																																																																																						
400	0.19																																																																																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																								
<p>ダウンザホールハンマエ</p>	<p>⑥ 杭1本当りの溶接・ボルト接合日数(ボルト接合) (T₄)</p> <p style="text-align: center;">表5.11 H形鋼(ボルト接合)(T₄) (日/本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>H形鋼規格(mm) 接合回数(標準) 杭長</th> <th></th> <th>300</th> <th>350</th> <th>400</th> </tr> <tr> <td>L ≤ 12m</td> <td>0回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>12m < L ≤ 24m</td> <td>1回</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>24m < L ≤ 30m</td> <td>2回</td> <td>0.12</td> <td>0.16</td> <td>0.20</td> </tr> </table> <p>なお、現場条件により接合回数(標準)により難い場合は、表5.12より1回当りのボルト接合日数を加減する。</p> <p style="text-align: center;">表5.12 1回当りのボルト接合日数 (日/回)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>H形鋼規格(mm)</th> <th>1回当り接合日数</th> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>350</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>0.10</td> </tr> </table> <p>(例1) H350mm 杭長30m 接合回数が3回の場合(標準2回) 0.16(日/本・標準) + 0.08(日/回・1回当り) = 0.24(日/本)</p> <p>(例2) H350mm 杭長9m 接合回数が1回の場合(標準0回) 0(日/本・標準) + 0.08(日/回・1回当り) = 0.08(日/本)</p> <p>6. 杭1本当りモルタル・コンクリート及び購入土(砂)使用数量 杭1本当りモルタル・コンクリート又は購入土(砂)使用数量は、次式による。 ただし、H形鋼を使用する場合は、モルタル杭又は購入土(砂)を標準とする。</p> <p>6-1 モルタルを使用する場合</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D_1^2 \times \ell \times (1 + K_1) \dots\dots\text{式 6.1}$ <p>Q : モルタル使用数量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) ℓ : 打設長 (m) K₁ : モルタルロス率</p> <p style="text-align: center;">表6.1 モルタルロス率(K₁)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>モルタルロス率</td> <td>+0.10</td> </tr> </table>	H形鋼規格(mm) 接合回数(標準) 杭長		300	350	400	L ≤ 12m	0回	-	-	-	12m < L ≤ 24m	1回	0.06	0.08	0.10	24m < L ≤ 30m	2回	0.12	0.16	0.20	H形鋼規格(mm)	1回当り接合日数	300	0.06	350	0.08	400	0.10	モルタルロス率	+0.10	<p>b) 杭1本当りのボルト接合日数 杭1本当りのボルト接合日数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.7 H形鋼(ボルト接合)(T₄) (日/本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>H形鋼規格(mm) 接合回数(標準) 杭長</th> <th></th> <th>300</th> <th>350</th> <th>400</th> </tr> <tr> <td>L₀ ≤ 12m</td> <td>0回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>12m < L₀ ≤ 24m</td> <td>1回</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>24m < L₀ ≤ 30m</td> <td>2回</td> <td>0.12</td> <td>0.16</td> <td>0.20</td> </tr> </table> <p>なお、現場条件により接合回数(標準)により難い場合は、表5.8より1回当りのボルト接合日数を加減する。</p> <p style="text-align: center;">表5.8 1回当りのボルト接合日数(日/回)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>H形鋼規格(mm)</th> <th>1回当り接合日数</th> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>350</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>0.10</td> </tr> </table> <p>(例1) H350mm 杭長30m 接合回数が3回の場合(標準2回) 0.16(日/本・標準) + 0.08(日/回・1回当り) = 0.24(日/本)</p> <p>(例2) H350mm 杭長9m 接合回数が1回の場合(標準0回) 0(日/本・標準) + 0.08(日/回・1回当り) = 0.08(日/本)</p> <p>⑤ 鋼管板厚補正係数(α)</p> <p style="text-align: center;">表5.9 鋼管板厚補正係数(α)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>板厚(mm)</th> <th>~14</th> <th>15~17</th> <th>18~21</th> <th>22~25</th> <th>26~30</th> </tr> <tr> <td>係数</td> <td>1.00</td> <td>1.41</td> <td>2.00</td> <td>2.76</td> <td>3.84</td> </tr> </table> <p>(注) 板厚30mmを超えるものについては、別途考慮する。</p> <p>6. 杭1本当りモルタル・コンクリート及び購入土(砂)使用数量 杭1本当りモルタル・コンクリート又は購入土(砂)使用数量は、次式による。 ただし、H形鋼を使用する場合は、モルタル杭又は購入土(砂)を標準とする。</p> <p>6-1 モルタルを使用する場合</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D_1^2 \times L_0 \times (1 + K_1) \dots\dots\text{式 6.1}$ <p>Q : モルタル使用数量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) L₀ : 打設長 (m) K₁ : モルタルロス率</p> <p style="text-align: center;">表6.1 モルタルロス率(K₁)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>モルタルロス率</td> <td>+0.10</td> </tr> </table>	H形鋼規格(mm) 接合回数(標準) 杭長		300	350	400	L ₀ ≤ 12m	0回	-	-	-	12m < L ₀ ≤ 24m	1回	0.06	0.08	0.10	24m < L ₀ ≤ 30m	2回	0.12	0.16	0.20	H形鋼規格(mm)	1回当り接合日数	300	0.06	350	0.08	400	0.10	板厚(mm)	~14	15~17	18~21	22~25	26~30	係数	1.00	1.41	2.00	2.76	3.84	モルタルロス率	+0.10	
H形鋼規格(mm) 接合回数(標準) 杭長		300	350	400																																																																							
L ≤ 12m	0回	-	-	-																																																																							
12m < L ≤ 24m	1回	0.06	0.08	0.10																																																																							
24m < L ≤ 30m	2回	0.12	0.16	0.20																																																																							
H形鋼規格(mm)	1回当り接合日数																																																																										
300	0.06																																																																										
350	0.08																																																																										
400	0.10																																																																										
モルタルロス率	+0.10																																																																										
H形鋼規格(mm) 接合回数(標準) 杭長		300	350	400																																																																							
L ₀ ≤ 12m	0回	-	-	-																																																																							
12m < L ₀ ≤ 24m	1回	0.06	0.08	0.10																																																																							
24m < L ₀ ≤ 30m	2回	0.12	0.16	0.20																																																																							
H形鋼規格(mm)	1回当り接合日数																																																																										
300	0.06																																																																										
350	0.08																																																																										
400	0.10																																																																										
板厚(mm)	~14	15~17	18~21	22~25	26~30																																																																						
係数	1.00	1.41	2.00	2.76	3.84																																																																						
モルタルロス率	+0.10																																																																										

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																								
ダウンザホールハンマエ	<p>6-2 コンクリート（生コンクリート）を使用する場合</p> $Q_1 = \frac{\pi}{4} \times (D_1^2 - D_2^2) \times \ell \times (1 + K_2) \dots \text{式 6. 2}$ $Q_2 = \frac{\pi}{4} \times D_2^2 \times \ell \times (1 + K_3) \dots \text{式 6. 3}$ <p> Q₁ : モルタル使用数量 (m³/本) Q₂ : 中詰コンクリート使用数量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) D₂ : 設計杭径 (m) ℓ : 打設長 (m) K₂ : モルタルロス率 K₃ : 中詰コンクリートロス率 </p> <div style="text-align: center;"> <p>表6.2 モルタルロス率(K₂)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>モルタルロス率</td> <td style="text-align: center;">+0.10</td> </tr> </table> <p>表6.3 中詰コンクリートロス率(K₃)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>中詰コンクリートロス率</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> </table> <p>(注) 防護柵の場合は、D₂を支柱外径とし、Q₁(モルタル)のみ計上する。</p> </div> <p>6-3 購入土（砂）を使用する場合</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D_1^2 \times \ell \dots \text{式 6. 4}$ <p> Q : 購入土（砂）使用数量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) ℓ : 打設長 (m) </p> <p>7. やぐらの設置・撤去 やぐらの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 ただし、搬入搬出時及びやぐらの解体をしなければ移動出来ない場合に計上する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>表7.1 やぐらの設置・撤去歩掛(ラフテレーンクレーン使用の場合) (1基1回当たり)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> </div>	モルタルロス率	+0.10	中詰コンクリートロス率	+0.02	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	と び 工		〃	1.0	特 殊 作 業 員		〃	2.0	普 通 作 業 員		〃	2.0	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1.0	<p>6-2 コンクリート（生コンクリート）を使用する場合</p> $Q_1 = \frac{\pi}{4} \times (D_1^2 - D_2^2) \times L_n \times (1 + K_2) \dots \text{式 6. 2}$ $Q_2 = \frac{\pi}{4} \times D_2^2 \times L_n \times (1 + K_3) \dots \text{式 6. 3}$ <p> Q₁ : モルタル使用数量 (m³/本) Q₂ : 中詰コンクリート使用数量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) D₂ : 設計杭径 (m) L_n : 打設長 (m) K₂ : モルタルロス率 K₃ : 中詰コンクリートロス率 </p> <div style="text-align: center;"> <p>表6.2 モルタルロス率(K₂)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>モルタルロス率</td> <td style="text-align: center;">+0.10</td> </tr> </table> <p>表6.3 中詰コンクリートロス率(K₃)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>中詰コンクリートロス率</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> </table> <p>(注) 防護柵の場合は、D₂を支柱外径とし、Q₁(モルタル)のみ計上する。</p> </div> <p>6-3 購入土（砂）を使用する場合</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D_1^2 \times L_n \dots \text{式 6. 4}$ <p> Q : 購入土（砂）使用数量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) L_n : 打設長 (m) </p> <p>7. やぐらの設置・撤去 やぐらの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 ただし、搬入搬出時及びやぐらの解体をしなければ移動出来ない場合に計上する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>表7.1 やぐらの設置・撤去歩掛 (1基1回当たり)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> </div>	モルタルロス率	+0.10	中詰コンクリートロス率	+0.02	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	と び 工		〃	1.0	特 殊 作 業 員		〃	2.0	普 通 作 業 員		〃	2.0	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	1.0	
	モルタルロス率	+0.10																																																									
中詰コンクリートロス率	+0.02																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0																																																								
と び 工		〃	1.0																																																								
特 殊 作 業 員		〃	2.0																																																								
普 通 作 業 員		〃	2.0																																																								
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1.0																																																								
モルタルロス率	+0.10																																																										
中詰コンクリートロス率	+0.02																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0																																																								
と び 工		〃	1.0																																																								
特 殊 作 業 員		〃	2.0																																																								
普 通 作 業 員		〃	2.0																																																								
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	1.0																																																								

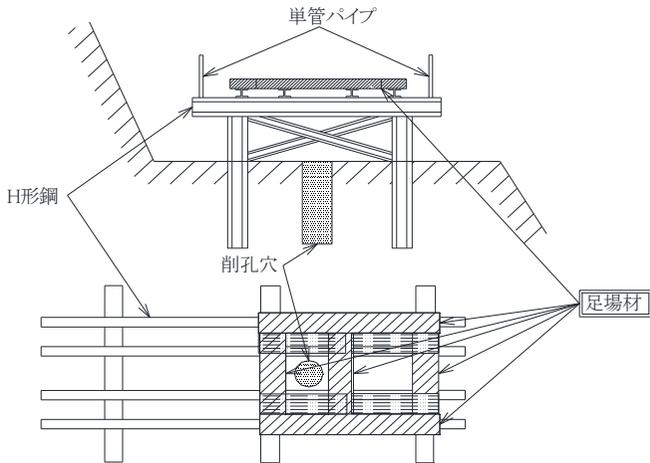
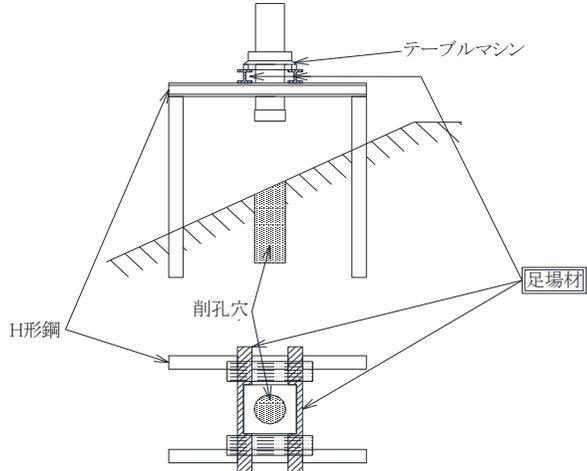
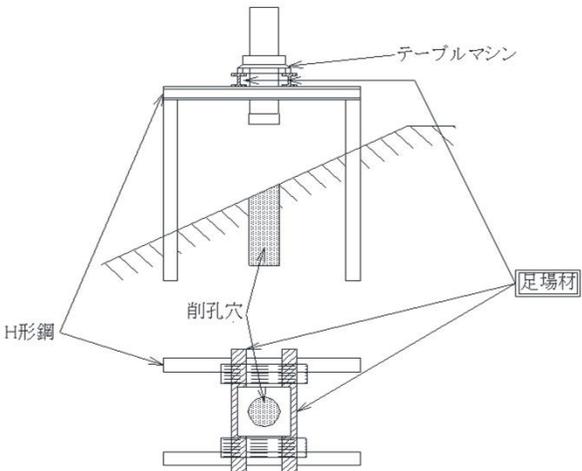
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																														
ダウンザホールハンマエ	<p style="text-align: center;">表7.2 やぐらの設置・撤去歩掛(索道使用の場合) (1基1回当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>ウインチ運転</td> <td>開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m</td> <td>日</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>発動発電機運転</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75kVA</td> <td>〃</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 発動発電機は、賃料とする。 2. 索道の設置・撤去が必要な場合は、別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	土木一般世話役		人	1.0	とび工		〃	3.0	特殊作業員		〃	2.5	普通作業員		〃	3.5	ウインチ運転	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	日	1.5	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75kVA	〃	1.5	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: red; font-weight: bold;">} 削除</div> <p style="margin-top: 20px;">8. ビット等損耗費</p> <p>杭1本当たりビット等損耗費は、ダウンザホールハンマエに取付けるビット等の費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する(やぐら設置・撤去の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない)。なお、ビット等損耗費については、杭1本当たりで算出する。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 ビット等損耗費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">工 法</th> <th style="width: 10%;">砂質土 粘性土 レキ質土</th> <th style="width: 10%;">軟 岩</th> <th style="width: 10%;">中硬岩</th> <th style="width: 10%;">硬 岩</th> <th style="width: 10%;">岩塊・玉石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A工法</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>43</td> <td>48</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>B・C工法</td> <td>27</td> <td>46</td> <td>57</td> <td>64</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ビット等損耗費率は、掘削する土質毎に損耗費率を加重平均して算出する。 $\text{損耗費率}P = \frac{P_1 \times L_{a1} + P_2 \times L_{a2} + \dots}{L_{a1} + L_{a2} + \dots}$ ここで、P_n : 各土質のビット損耗費率 L_{an} : 各土質の掘削長 (m) 2. Pは小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位とする。 (例) A工法、砂質土5m、レキ質土13m、軟岩4m、岩塊・玉石3mの場合 $P = \frac{20\% \times 5m + 20\% \times 13m + 34\% \times 4m + 57\% \times 3m}{5m + 13m + 4m + 3m} = 26.68 \dots \approx 26.7\%$ 3. 補助ラフテレーンクレーン賃料、やぐらの設置・撤去及び作業架台等の設置・撤去の費用は、ビット等損耗費の対象額としない。</p>	工 法	砂質土 粘性土 レキ質土	軟 岩	中硬岩	硬 岩	岩塊・玉石	A工法	20	34	43	48	57	B・C工法	27	46	57	64	76	
名 称	規 格	単 位	数 量																																														
土木一般世話役		人	1.0																																														
とび工		〃	3.0																																														
特殊作業員		〃	2.5																																														
普通作業員		〃	3.5																																														
ウインチ運転	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	日	1.5																																														
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75kVA	〃	1.5																																														
工 法	砂質土 粘性土 レキ質土	軟 岩	中硬岩	硬 岩	岩塊・玉石																																												
A工法	20	34	43	48	57																																												
B・C工法	27	46	57	64	76																																												

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																		
<p>ダウンザホールハンマエ</p>	<p>8. 諸 雑 費 諸雑費は、大口径ボーリングマシンの足場材（B工法のみ）、テーブルマシンの足場材（C工法のみ）、溶接材、ボルト・ナット、電気溶接機、インパクトレンチ、トルクレンチ、注入管、高圧ホース、やぐら装置（B工法のみ）、グラウトポンプ（モルタル圧送用）、コンクリートバケット、土砂ホッパ、レシーパタンク、リーダ・減速機（A工法のみ）、テーブルマシン（C工法のみ）の損料、電力に関する経費、ビット等の損耗費用であり、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 諸雑費率(A工法, B工法, C工法) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 敷鉄板が必要な場合は、別途計上する。 2. 補助ウインチ損料、補助ラフテレーンクレーン賃料、やぐらの設置・撤去及び仮設足場等の設置・撤去の費用は、諸雑費の対象額としない。</p> <p>9. 掘削土の処理費 掘削土等の処理費用については、別途計上する。</p>	諸 雑 費 率	29	<p>9. 諸 雑 費 9-1 A工法 諸雑費は、定規材（設計杭径430mm超えのみ）、吊ワイヤ、吊金具、溶接材、ボルト・ナット、電気溶接機、インパクトレンチ、トルクレンチ、注入管、高圧ホース、グラウトポンプ（モルタル圧送用）、コンクリートバケット、土砂ホッパ、レシーパタンク、減速機（設計杭径430mm超えのみ）、共回り防止ワイヤ（設計杭径430mm超えのみ）、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表9.1 諸雑費率(A工法) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 杭 径</td> <td style="text-align: center;">170mm以上 430mm以下</td> <td style="text-align: center;">430mm超え 580mm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ビット等損耗費は、諸雑費対象額としない。 2. 敷鉄板が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>9-2 B工法 諸雑費は、吊ワイヤ、吊金具、溶接材、ボルト・ナット、電気溶接機、インパクトレンチ、トルクレンチ、注入管、高圧ホース、やぐら装置、グラウトポンプ（モルタル圧送用）、コンクリートバケット、土砂ホッパ、レシーパタンク、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表9.2 諸雑費率(B工法) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 杭 径</td> <td style="text-align: center;">170mm以上 580mm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ビット等損耗費は、諸雑費対象額としない。 2. 敷鉄板が必要な場合は、別途計上する。 3. 補助ラフテレーンクレーン賃料、やぐらの設置・撤去及び作業架台等の設置・撤去の費用は、諸雑費の対象額としない。</p> <p>9-3 C工法 諸雑費は、テーブルマシンの足場材、吊ワイヤ、吊金具、溶接材、ボルト・ナット、電気溶接機、インパクトレンチ、トルクレンチ、注入管、高圧ホース、グラウトポンプ（モルタル圧送用）、コンクリートバケット、土砂ホッパ、レシーパタンク、テーブルマシンの損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表9.3 諸雑費率(C工法) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 杭 径</td> <td style="text-align: center;">170mm以上 360mm以下</td> <td style="text-align: center;">360mm超え 580mm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ビット等損耗費は、諸雑費対象額としない。 2. 敷鉄板が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>10. 掘削土の処理費 掘削土等の積み・運搬及び処分費については、別途計上する。</p>	設 計 杭 径	170mm以上 430mm以下	430mm超え 580mm以下	諸 雑 費 率	9	15	設 計 杭 径	170mm以上 580mm以下	諸 雑 費 率	10	設 計 杭 径	170mm以上 360mm以下	360mm超え 580mm以下	諸 雑 費 率	37	27	
諸 雑 費 率	29																				
設 計 杭 径	170mm以上 430mm以下	430mm超え 580mm以下																			
諸 雑 費 率	9	15																			
設 計 杭 径	170mm以上 580mm以下																				
諸 雑 費 率	10																				
設 計 杭 径	170mm以上 360mm以下	360mm超え 580mm以下																			
諸 雑 費 率	37	27																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
<p>ダウンザホールハンマエ</p>	<p>(B工法：足場概念図) 諸雑費に含まれる足場材料は の範囲とする。</p>  <p>(C工法：作業架台概念図) 諸雑費に含まれる作業架台の足場材は の範囲とする。</p> 	<p>(C工法：作業架台概念図) 諸雑費に含まれる作業架台の足場材は の範囲とする。</p> 	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																	
ダウンザホールハンマ工	10. 単 価 表 (1) 杭1本当り単価表 (A工法)	11. 単 価 表 (1) 杭1本当り単価表 (A工法)																																																																																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>表4.1 (継杭の場合に計上)</td> </tr> <tr> <td>中 詰 材 料</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式6.1～式6.4</td> </tr> <tr> <td>鋼 管 ・ H 形 鋼 等</td> <td></td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン(掘削用)運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_c</td> <td>図3-1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ダウンザホールハンマ運転</td> <td>空圧式</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機運転</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.6 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>鋼管杭・H形鋼杭建込用掘削機組立・分解用機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$T_c \times 1$	表4.1	と び 工		〃	$T_c \times 1$	〃	特 殊 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃	普 通 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃	溶 接 工		〃	$T_c \times 1$	表4.1 (継杭の場合に計上)	中 詰 材 料		m ³		式6.1～式6.4	鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1		クレーン(掘削用)運転		日	T_c	図3-1 機械損料	ダウンザホールハンマ運転	空圧式	〃	T_c	表3.5 機械損料	空気圧縮機運転	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	T_c	表3.6 機械賃料	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	〃	T_c	鋼管杭・H形鋼杭建込用掘削機組立・分解用機械損料	諸 雑 費		式	1	表8.1	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>表4.1 (継杭の場合に計上)</td> </tr> <tr> <td>中 詰 材 料</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式6.1～式6.4</td> </tr> <tr> <td>鋼 管 ・ H 形 鋼 等</td> <td></td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン(A工法掘削用)運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_c</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ダウンザホールハンマ運転</td> <td>[空圧式]</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.4 機械損料</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>鋼管杭・H形鋼杭等建込用掘削機組立・分解用機械損料</td> </tr> <tr> <td>ピット等損耗費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$T_c \times 1$	表4.1	と び 工		〃	$T_c \times 1$	〃	特 殊 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃	普 通 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃	溶 接 工		〃	$T_c \times 1$	表4.1 (継杭の場合に計上)	中 詰 材 料		m ³		式6.1～式6.4	鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1		クレーン(A工法掘削用)運転		日	T_c	表3.1 機械損料	ダウンザホールハンマ運転	[空圧式]	〃	T_c	表3.4 機械損料	空気圧縮機運転		〃	T_c	表3.5 機械損料	ラフテレーンクレーン運転	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	T_c	鋼管杭・H形鋼杭等建込用掘削機組立・分解用機械損料	ピット等損耗費		式	1	表8.1	諸 雑 費		〃	1	表9.1	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																															
	土 木 一 般 世 話 役		人	$T_c \times 1$	表4.1																																																																																																																																															
	と び 工		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																															
	特 殊 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																															
	普 通 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																															
	溶 接 工		〃	$T_c \times 1$	表4.1 (継杭の場合に計上)																																																																																																																																															
	中 詰 材 料		m ³		式6.1～式6.4																																																																																																																																															
	鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1																																																																																																																																																
クレーン(掘削用)運転		日	T_c	図3-1 機械損料																																																																																																																																																
ダウンザホールハンマ運転	空圧式	〃	T_c	表3.5 機械損料																																																																																																																																																
空気圧縮機運転	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	T_c	表3.6 機械賃料																																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	〃	T_c	鋼管杭・H形鋼杭建込用掘削機組立・分解用機械損料																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	表8.1																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
土 木 一 般 世 話 役		人	$T_c \times 1$	表4.1																																																																																																																																																
と び 工		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																																
溶 接 工		〃	$T_c \times 1$	表4.1 (継杭の場合に計上)																																																																																																																																																
中 詰 材 料		m ³		式6.1～式6.4																																																																																																																																																
鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1																																																																																																																																																	
クレーン(A工法掘削用)運転		日	T_c	表3.1 機械損料																																																																																																																																																
ダウンザホールハンマ運転	[空圧式]	〃	T_c	表3.4 機械損料																																																																																																																																																
空気圧縮機運転		〃	T_c	表3.5 機械損料																																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン運転	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	T_c	鋼管杭・H形鋼杭等建込用掘削機組立・分解用機械損料																																																																																																																																																
ピット等損耗費		式	1	表8.1																																																																																																																																																
諸 雑 費		〃	1	表9.1																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
	(注) T_c : 杭1本当り施工日数(日/本)	(注) T_c : 杭1本当り施工日数(日/本)																																																																																																																																																		
	(2) 杭1本当り単価表 (B工法)	(2) 杭1本当り単価表 (B工法)																																																																																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>表4.1 (継杭の場合に計上)</td> </tr> <tr> <td>中 詰 材 料</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式6.1～式6.4</td> </tr> <tr> <td>鋼 管 ・ H 形 鋼 等</td> <td></td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大口径ボーリングマシン運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_c</td> <td>図3-2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ダウンザホールハンマ運転</td> <td>空圧式</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機運転</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.6 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>必要に応じて計上 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$T_c \times 1$	表4.1	と び 工		〃	$T_c \times 1$	〃	特 殊 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃	普 通 作 業 員		〃	$T_c \times 2$	〃	溶 接 工		〃	$T_c \times 1$	表4.1 (継杭の場合に計上)	中 詰 材 料		m ³		式6.1～式6.4	鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1		大口径ボーリングマシン運転		日	T_c	図3-2 機械損料	ダウンザホールハンマ運転	空圧式	〃	T_c	表3.5 機械損料	空気圧縮機運転	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	T_c	表3.6 機械賃料	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	〃	T_c	必要に応じて計上 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表8.1	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_c \times 1$</td> <td>表4.1 (継杭の場合に計上)</td> </tr> <tr> <td>中 詰 材 料</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式6.1～式6.4</td> </tr> <tr> <td>鋼 管 ・ H 形 鋼 等</td> <td></td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大口径ボーリングマシン運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_c</td> <td>表3.2、図3-1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ダウンザホールハンマ運転</td> <td>[空圧式]</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.4 機械損料</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>必要に応じて計上 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>ピット等損耗費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表9.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$T_c \times 1$	表4.1	と び 工		〃	$T_c \times 1$	〃	特 殊 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃	普 通 作 業 員		〃	$T_c \times 2$	〃	溶 接 工		〃	$T_c \times 1$	表4.1 (継杭の場合に計上)	中 詰 材 料		m ³		式6.1～式6.4	鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1		大口径ボーリングマシン運転		日	T_c	表3.2、図3-1 機械損料	ダウンザホールハンマ運転	[空圧式]	〃	T_c	表3.4 機械損料	空気圧縮機運転		〃	T_c	表3.5 機械損料	ラフテレーンクレーン運転	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	T_c	必要に応じて計上 機械賃料	ピット等損耗費		式	1	表8.1	諸 雑 費		〃	1	表9.2	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
土 木 一 般 世 話 役		人	$T_c \times 1$	表4.1																																																																																																																																																
と び 工		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	$T_c \times 2$	〃																																																																																																																																																
溶 接 工		〃	$T_c \times 1$	表4.1 (継杭の場合に計上)																																																																																																																																																
中 詰 材 料		m ³		式6.1～式6.4																																																																																																																																																
鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1																																																																																																																																																	
大口径ボーリングマシン運転		日	T_c	図3-2 機械損料																																																																																																																																																
ダウンザホールハンマ運転	空圧式	〃	T_c	表3.5 機械損料																																																																																																																																																
空気圧縮機運転	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	T_c	表3.6 機械賃料																																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	〃	T_c	必要に応じて計上 機械賃料																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	表8.1																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
土 木 一 般 世 話 役		人	$T_c \times 1$	表4.1																																																																																																																																																
と び 工		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	$T_c \times 1$	〃																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	$T_c \times 2$	〃																																																																																																																																																
溶 接 工		〃	$T_c \times 1$	表4.1 (継杭の場合に計上)																																																																																																																																																
中 詰 材 料		m ³		式6.1～式6.4																																																																																																																																																
鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1																																																																																																																																																	
大口径ボーリングマシン運転		日	T_c	表3.2、図3-1 機械損料																																																																																																																																																
ダウンザホールハンマ運転	[空圧式]	〃	T_c	表3.4 機械損料																																																																																																																																																
空気圧縮機運転		〃	T_c	表3.5 機械損料																																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン運転	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	T_c	必要に応じて計上 機械賃料																																																																																																																																																
ピット等損耗費		式	1	表8.1																																																																																																																																																
諸 雑 費		〃	1	表9.2																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
	(注) T_c : 杭1本当り施工日数(日/本)	(注) T_c : 杭1本当り施工日数(日/本)																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																							
ダウンザホールハンマエ	(3) 杭1本当り単価表 (C工法) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_c×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c×1</td> <td>表4.1 (継杭の場合に計上)</td> </tr> <tr> <td>中詰材料</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式6.1～式6.4</td> </tr> <tr> <td>鋼管・H形鋼等</td> <td></td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン(掘削用)運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_c</td> <td>図3-1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ダウンザホールハンマ運転</td> <td>空圧式</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機運転</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.6 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) T_c: 杭1本当り施工日数(日/本)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	T _c ×1	表4.1	とび工		〃	T _c ×1	〃	特殊作業員		〃	T _c ×1	〃	普通作業員		〃	T _c ×1	〃	溶接工		〃	T _c ×1	表4.1 (継杭の場合に計上)	中詰材料		m ³		式6.1～式6.4	鋼管・H形鋼等		本	1		クレーン(掘削用)運転		日	T _c	図3-1 機械損料	ダウンザホールハンマ運転	空圧式	〃	T _c	表3.5 機械損料	空気圧縮機運転	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	T _c	表3.6 機械賃料	諸雑費		式	1	表8.1	計					(3) 杭1本当り単価表 (C工法) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_c×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c×1</td> <td>表4.1 (継杭の場合に計上)</td> </tr> <tr> <td>中詰材料</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式6.1～式6.4</td> </tr> <tr> <td>鋼管・H形鋼等</td> <td></td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン(C工法掘削用)運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_c</td> <td>表3.3 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ダウンザホールハンマ運転</td> <td>[空圧式]</td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.4 機械損料</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_c</td> <td>表3.5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ピット等損耗費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) T_c: 杭1本当り施工日数(日/本)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	T _c ×1	表4.1	とび工		〃	T _c ×1	〃	特殊作業員		〃	T _c ×1	〃	普通作業員		〃	T _c ×1	〃	溶接工		〃	T _c ×1	表4.1 (継杭の場合に計上)	中詰材料		m ³		式6.1～式6.4	鋼管・H形鋼等		本	1		クレーン(C工法掘削用)運転		日	T _c	表3.3 機械損料	ダウンザホールハンマ運転	[空圧式]	〃	T _c	表3.4 機械損料	空気圧縮機運転		〃	T _c	表3.5 機械損料	ピット等損耗費		式	1	表8.1	諸雑費		〃	1	表9.3	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																					
	土木一般世話役		人	T _c ×1	表4.1																																																																																																																																					
	とび工		〃	T _c ×1	〃																																																																																																																																					
	特殊作業員		〃	T _c ×1	〃																																																																																																																																					
	普通作業員		〃	T _c ×1	〃																																																																																																																																					
	溶接工		〃	T _c ×1	表4.1 (継杭の場合に計上)																																																																																																																																					
	中詰材料		m ³		式6.1～式6.4																																																																																																																																					
	鋼管・H形鋼等		本	1																																																																																																																																						
	クレーン(掘削用)運転		日	T _c	図3-1 機械損料																																																																																																																																					
	ダウンザホールハンマ運転	空圧式	〃	T _c	表3.5 機械損料																																																																																																																																					
	空気圧縮機運転	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	T _c	表3.6 機械賃料																																																																																																																																					
	諸雑費		式	1	表8.1																																																																																																																																					
	計																																																																																																																																									
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	T _c ×1	表4.1																																																																																																																																						
とび工		〃	T _c ×1	〃																																																																																																																																						
特殊作業員		〃	T _c ×1	〃																																																																																																																																						
普通作業員		〃	T _c ×1	〃																																																																																																																																						
溶接工		〃	T _c ×1	表4.1 (継杭の場合に計上)																																																																																																																																						
中詰材料		m ³		式6.1～式6.4																																																																																																																																						
鋼管・H形鋼等		本	1																																																																																																																																							
クレーン(C工法掘削用)運転		日	T _c	表3.3 機械損料																																																																																																																																						
ダウンザホールハンマ運転	[空圧式]	〃	T _c	表3.4 機械損料																																																																																																																																						
空気圧縮機運転		〃	T _c	表3.5 機械損料																																																																																																																																						
ピット等損耗費		式	1	表8.1																																																																																																																																						
諸雑費		〃	1	表9.3																																																																																																																																						
計																																																																																																																																										
	(4) やぐらの設置・撤去1基1回当り単価表 (ラフテレーンクレーン使用の場合) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表7.1	とび工		〃		〃	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	日		表7.1 機械賃料	諸雑費		式	1		計					(4) やぐらの設置・撤去1基1回当り単価表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊]</td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表7.1	とび工		〃		〃	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊]	日		表7.1 機械賃料	諸雑費		式	1		計																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																						
土木一般世話役		人		表7.1																																																																																																																																						
とび工		〃		〃																																																																																																																																						
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																						
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	日		表7.1 機械賃料																																																																																																																																						
諸雑費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																						
土木一般世話役		人		表7.1																																																																																																																																						
とび工		〃		〃																																																																																																																																						
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																						
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊]	日		表7.1 機械賃料																																																																																																																																						
諸雑費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										
	(5) やぐらの設置・撤去1基1回当り単価表 (索道使用の場合) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ウィンチ運転</td> <td>開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m</td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>発動発電機運転</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値)定格容量75 kVA</td> <td>〃</td> <td></td> <td>表7.2 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表7.2	とび工		〃		〃	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ウィンチ運転	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	日		表7.2 機械損料	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値)定格容量75 kVA	〃		表7.2 機械賃料	諸雑費		式	1		計					<div style="font-size: 2em; color: red; font-weight: bold;">削除</div>																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																						
土木一般世話役		人		表7.2																																																																																																																																						
とび工		〃		〃																																																																																																																																						
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																						
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																						
ウィンチ運転	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	日		表7.2 機械損料																																																																																																																																						
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値)定格容量75 kVA	〃		表7.2 機械賃料																																																																																																																																						
諸雑費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																														
ダウンザホールハンマエ	(6) 機械運転単価表	(5) 機械運転単価表																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 60%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大口径ボーリングマシン</td> <td>図3-2</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→ 1.29</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">空 気 圧 縮 機</td> <td rowspan="3">表3.6</td> <td rowspan="3">機-16</td> <td>燃料消費量→下記のとおりとする</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">規 格 数 量</td> </tr> <tr> <td>7.5~7.8m³/min 59</td> </tr> <tr> <td>18~19m³/min 114</td> </tr> <tr> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td>空圧式 表3.5</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→ 1.38</td> </tr> <tr> <td>ウ イ ン チ (やぐら設置・撤去用)</td> <td>開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→ 1.57</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75kVA</td> <td>機-16</td> <td>燃 料 消 費 量 → 51 機 械 賃 料 数 量 → 1.18</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (掘削用)</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 84 機 械 損 料 数 量 → 1.65</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (掘削用)</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55t吊</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 60 機 械 損 料 数 量 → 1.09</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭建込用, 掘削機組立・分解用)</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 84 機 械 損 料 数 量 → 1.03</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	大口径ボーリングマシン	図3-2	機-25	機械損料数量→ 1.29	空 気 圧 縮 機	表3.6	機-16	燃料消費量→下記のとおりとする	規 格 数 量	7.5~7.8m ³ /min 59	18~19m ³ /min 114	ダウンザホールハンマ	空圧式 表3.5	機-25	機械損料数量→ 1.38	ウ イ ン チ (やぐら設置・撤去用)	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	機-25	機械損料数量→ 1.57	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75kVA	機-16	燃 料 消 費 量 → 51 機 械 賃 料 数 量 → 1.18	ラフテレーンクレーン (掘削用)	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 84 機 械 損 料 数 量 → 1.65	クローラクレーン (掘削用)	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 60 機 械 損 料 数 量 → 1.09	ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭建込用, 掘削機組立・分解用)	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 84 機 械 損 料 数 量 → 1.03	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 60%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大口径ボーリングマシン</td> <td>図3-1</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→ 1.40</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">空 気 圧 縮 機</td> <td rowspan="4">表3.5</td> <td rowspan="4">機-24</td> <td>燃料消費量→下記のとおりとする</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">規 格 数 量</td> </tr> <tr> <td>21~25.5 m³/min 186</td> </tr> <tr> <td>37~41 m³/min 378</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>機 械 損 料 数 量 → 1.44</td> </tr> <tr> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td>[空圧式] 表3.4</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→ 1.54</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ (A工法掘削用)</td> <td>[アースオーガ(油圧式)及び モンケン架装]ベースマシン 35t吊</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 126 機 械 損 料 数 量 → 1.65</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (C工法掘削用)</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 90 機 械 損 料 数 量 → 1.65</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (A・C工法掘削用)</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 96 機 械 損 料 数 量 → 1.38</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭等建込用, 掘削機組立・分解用)</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 90 機 械 損 料 数 量 → 1.40</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	大口径ボーリングマシン	図3-1	機-25	機械損料数量→ 1.40	空 気 圧 縮 機	表3.5	機-24	燃料消費量→下記のとおりとする	規 格 数 量	21~25.5 m ³ /min 186	37~41 m ³ /min 378				機 械 損 料 数 量 → 1.44	ダウンザホールハンマ	[空圧式] 表3.4	機-25	機械損料数量→ 1.54	ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ (A工法掘削用)	[アースオーガ(油圧式)及び モンケン架装]ベースマシン 35t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 126 機 械 損 料 数 量 → 1.65	ラフテレーンクレーン (C工法掘削用)	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力25t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 90 機 械 損 料 数 量 → 1.65	クローラクレーン (A・C工法掘削用)	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 96 機 械 損 料 数 量 → 1.38	ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭等建込用, 掘削機組立・分解用)	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 90 機 械 損 料 数 量 → 1.40	
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																													
	大口径ボーリングマシン	図3-2	機-25	機械損料数量→ 1.29																																																																													
	空 気 圧 縮 機	表3.6	機-16	燃料消費量→下記のとおりとする																																																																													
				規 格 数 量																																																																													
				7.5~7.8m ³ /min 59																																																																													
	18~19m ³ /min 114																																																																																
	ダウンザホールハンマ	空圧式 表3.5	機-25	機械損料数量→ 1.38																																																																													
	ウ イ ン チ (やぐら設置・撤去用)	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	機-25	機械損料数量→ 1.57																																																																													
	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75kVA	機-16	燃 料 消 費 量 → 51 機 械 賃 料 数 量 → 1.18																																																																													
	ラフテレーンクレーン (掘削用)	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 84 機 械 損 料 数 量 → 1.65																																																																													
	クローラクレーン (掘削用)	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 60 機 械 損 料 数 量 → 1.09																																																																													
	ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭建込用, 掘削機組立・分解用)	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 84 機 械 損 料 数 量 → 1.03																																																																													
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																													
大口径ボーリングマシン	図3-1	機-25	機械損料数量→ 1.40																																																																														
空 気 圧 縮 機	表3.5	機-24	燃料消費量→下記のとおりとする																																																																														
			規 格 数 量																																																																														
			21~25.5 m ³ /min 186																																																																														
			37~41 m ³ /min 378																																																																														
			機 械 損 料 数 量 → 1.44																																																																														
ダウンザホールハンマ	[空圧式] 表3.4	機-25	機械損料数量→ 1.54																																																																														
ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ (A工法掘削用)	[アースオーガ(油圧式)及び モンケン架装]ベースマシン 35t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 126 機 械 損 料 数 量 → 1.65																																																																														
ラフテレーンクレーン (C工法掘削用)	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 最大吊上能力25t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 90 機 械 損 料 数 量 → 1.65																																																																														
クローラクレーン (A・C工法掘削用)	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 96 機 械 損 料 数 量 → 1.38																																																																														
ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭等建込用, 掘削機組立・分解用)	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 90 機 械 損 料 数 量 → 1.40																																																																														

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ニューマチックケーソン工	<p>④ ニューマチックケーソン工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、掘削深度が40m未満でかつ掘削面積が40m²以上300m²未満までのニューマチックケーソン工事に適用する。 なお、次項の掘削条件等の場合、又は現場条件により本資料により難い場合は、別途考慮する。 (1) 函内作業気圧（函内作業気圧とはゲージ圧力（絶対圧力：大気圧）をいう）が、0.4MPaを超えて施工する場合 (2) 工期等により3組以上で施工する場合 なお、「組」については、「第1編 4.土木工事工事費積算要領及び基準の運用」第2章工事費の積算 3.労務費を参照 (3) ケーソン1基に対し、2艀装（マンロック（空気減圧対応型）又はマンロック（酸素減圧対応型）1艀装、マテリアルロック1艀装）以外で施工する場合</p> <p>2. 施工概要 2-1 工法説明 ニューマチックケーソン工法は、ケーソンを構築し底部に作業室を設けて、送気設備より地下水に対抗する圧力の空気を送り、ドライに近い状態の室内へ作業員が入り、土砂を掘削、排出してケーソンを所定の支持地盤まで沈下させる工法である。</p>	<p>④ ニューマチックケーソン工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、掘削深度が40m未満でかつ掘削面積が40m²以上300m²未満までのニューマチックケーソン工事に適用する。 なお、次項の掘削条件等の場合、又は現場条件により本資料により難い場合は、別途考慮する。 (1) 函内作業気圧（函内作業気圧とはゲージ圧力（絶対圧力：大気圧）をいう）が、0.4MPaを超えて施工する場合 (2) 工期等により3組以上で施工する場合 なお、「組」については、「第1編 4.土木工事工事費積算要領及び基準の運用」第2章工事費の積算 3.労務費を参照 (3) ケーソン1基に対し、2艀装（マンロック（空気減圧対応型）又はマンロック（酸素減圧対応型）1艀装、マテリアルロック1艀装）以外で施工する場合</p> <p>2. 施工概要 2-1 工法説明 ニューマチックケーソン工法は、ケーソンを構築し底部に作業室を設けて、送気設備より地下水に対抗する圧力の空気を送り、ドライに近い状態の室内で天井走行式ショベルを作業員の直接操作または遠隔操作により、土砂を掘削、排出してケーソンを所定の支持地盤まで沈下させる工法である。</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																
<p>ニューマチックケーソン工</p>	<p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 埋戻工，コンタクトグラウト打設，止水壁撤去が必要な場合は，別途計上する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 掘削工法及び構築 掘削工法及び構築は，次表を標準とする。</p> <p>表3.1 掘削工法及び構築数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン1基の掘削面積</th> <th>工 法</th> <th>構築数</th> <th>構築内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40m²以上300m²未満</td> <td>機械掘削</td> <td>2</td> <td>マンロック(空気減圧対応型)又はマンロック(酸素減圧対応型)1構築，マテリアルロック1構築</td> </tr> </tbody> </table>	ケーソン1基の掘削面積	工 法	構築数	構築内訳	40m ² 以上300m ² 未満	機械掘削	2	マンロック(空気減圧対応型)又はマンロック(酸素減圧対応型)1構築，マテリアルロック1構築	<p>2-2 施工フロー 施工フローは，下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは，実線部分のみである。 2. 埋戻工，コンタクトグラウト打設，止水壁撤去が必要な場合は，別途計上する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 掘削工法及び構築 掘削工法及び構築は，次表を標準とする。</p> <p>表3.1 掘削工法及び構築数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン1基の掘削面積</th> <th>工 法</th> <th>構築数</th> <th>構築内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40m²以上300m²未満</td> <td>機械掘削</td> <td>2</td> <td>マンロック(空気減圧対応型)又はマンロック(酸素減圧対応型)1構築，マテリアルロック1構築</td> </tr> </tbody> </table>	ケーソン1基の掘削面積	工 法	構築数	構築内訳	40m ² 以上300m ² 未満	機械掘削	2	マンロック(空気減圧対応型)又はマンロック(酸素減圧対応型)1構築，マテリアルロック1構築	
ケーソン1基の掘削面積	工 法	構築数	構築内訳																
40m ² 以上300m ² 未満	機械掘削	2	マンロック(空気減圧対応型)又はマンロック(酸素減圧対応型)1構築，マテリアルロック1構築																
ケーソン1基の掘削面積	工 法	構築数	構築内訳																
40m ² 以上300m ² 未満	機械掘削	2	マンロック(空気減圧対応型)又はマンロック(酸素減圧対応型)1構築，マテリアルロック1構築																

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																				
ニューマチックケーソン工	4. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 減圧方法が空気減圧を行う場合に空気減圧対応型を選定し、酸素減圧対応型を計上しない。 また、減圧方法が酸素減圧を行う場合に酸素減圧対応型を選定し、空気減圧対応型を計上しない。 表4.1 機種 の 選 定 (ケーソン1基当り)	4. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 減圧方法が空気減圧のみの場合は空気減圧対応型を選定する。 また、空気減圧から酸素減圧に切り替える場合は酸素減圧対応型を選定し、空気減圧対応型は計上しない。 天井走行式ショベルについて、すべて有人掘削で行う場合には通常型を選定し、掘進途中から無人掘削を行う場合には、当初から遠隔操作型を選定し、遠隔操作用設備も計上する。																																																																																																																																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表4.1 機種 の 選 定 (ケーソン1基当り)</caption> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">排土設備</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>バケツト</td> <td>1.0m³級</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>1マテリアルロックにつき2個</td> </tr> <tr> <td>土砂ホッパ</td> <td>10m³級</td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">機装設備</td> <td>マテリアルロック</td> <td>通過可能バケツト1.0m³級 径×長さ φ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>機械掘削1基</td> </tr> <tr> <td>マンロック (空気減圧対応型)</td> <td>立型10~12人用 圧力0.4MPa</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む</td> </tr> <tr> <td>マンロック (酸素減圧対応型)</td> <td>立型8人用 圧力0.4MPa</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>暖房、自記気圧計、 自動換気装置、酸素・二酸化 炭素計測装置及び濃度表示 器を含む</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータ (内圧用)</td> <td>3人用 圧力0.4MPa</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)</td> <td>3人用 圧力0.4MPa</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>”</td> </tr> <tr> <td>マテリアルシャフト</td> <td>径×長さ φ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>必要数量</td> </tr> <tr> <td>マンシャフト</td> <td>径×長さ φ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td> <td>”</td> <td>1</td> <td>”</td> </tr> <tr> <td>スペシャルシャフト</td> <td>径×長さ φ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa</td> <td>個</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポットムドア</td> <td>径1.4m級 圧力0.4MPa</td> <td>”</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動圧力調整装置</td> <td>径φ100mm級 圧力0.4MPa</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧ホース</td> <td>径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa</td> <td>本</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送気管</td> <td>径φ100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td></td> <td>ゲージ設備からケーソンまで</td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">掘削設備</td> <td>天井走行式 ショベル</td> <td>バケツト容量 山積0.15m³(平積0.13m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>掘削面積 40m²以上100m²未満 の場合</td> </tr> <tr> <td>走行レール (天井走行式ショベル用)</td> <td>長さ2m級×1本</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>掘削面積100m²以上300m²未満 の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">安全設備</td> <td>酸素集合装置</td> <td>{マンロック、ホスピタルロック 用} 酸素容量28m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上 (注)2</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸装置</td> <td></td> <td>台</td> <td>10</td> <td>マンロック用 必要に応じて別途計上 (注)2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">安全管理・連絡設備</td> <td>ガス検知器</td> <td>携帯用</td> <td>個</td> <td>1</td> <td>(注)3</td> </tr> <tr> <td>ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)</td> <td>[3点(酸素、メタン、H2S)計測用] [5点(酸素、メタン、H2S、CO、CO2)計測用]</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>(注)3,4</td> </tr> <tr> <td>電話又はインターホン</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>(注)3</td> </tr> <tr> <td>ブザー</td> <td></td> <td>”</td> <td>1</td> <td>”</td> </tr> <tr> <td>函内TV</td> <td></td> <td>”</td> <td>1</td> <td>”</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	排土設備	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	台	1	(注)1	バケツト	1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個	土砂ホッパ	10m ³ 級	基	1		機装設備	マテリアルロック	通過可能バケツト1.0m ³ 級 径×長さ φ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	”	1	機械掘削1基	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用 圧力0.4MPa	”	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む	マンロック (酸素減圧対応型)	立型8人用 圧力0.4MPa	”	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置、酸素・二酸化 炭素計測装置及び濃度表示 器を含む	ケーソン用エレベータ (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	”	1	必要に応じて別途計上	ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	式	1	”	マテリアルシャフト	径×長さ φ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	”	1	必要数量	マンシャフト	径×長さ φ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	”	1	”	スペシャルシャフト	径×長さ φ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2		ポットムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	”	2		自動圧力調整装置	径φ100mm級 圧力0.4MPa	”	1		高圧ホース	径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7		送気管	径φ100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m		ゲージ設備からケーソンまで	照明設備		式	1		掘削設備	天井走行式 ショベル	バケツト容量 山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	台	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満 の場合	走行レール (天井走行式ショベル用)	長さ2m級×1本	式	1	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満 の場合	安全設備	酸素集合装置	{マンロック、ホスピタルロック 用} 酸素容量28m ³	基	1	必要に応じて別途計上 (注)2	酸素呼吸装置		台	10	マンロック用 必要に応じて別途計上 (注)2	安全管理・連絡設備	ガス検知器	携帯用	個	1	(注)3	ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)	[3点(酸素、メタン、H2S)計測用] [5点(酸素、メタン、H2S、CO、CO2)計測用]	台	1	(注)3,4	電話又はインターホン		式	1	(注)3	ブザー		”	1	”	函内TV		”	1	”	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表4.1(1) 機種 の 選 定 (ケーソン1基当り)</caption> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共通設備</td> <td>クローラクレーン</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>(注)1 掘削排土、機装設備組立解体、 仮設備組立解体、足場 設置撤去で使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クローラクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表4.1(2) 機種 の 選 定 (ケーソン1基当り)</caption> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">排土設備</td> <td>バケツト</td> <td>バケツト容量1.0m³</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>1マテリアルロックにつき2個</td> </tr> <tr> <td>土砂ホッパ</td> <td>ホッパ投入容量10m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	共通設備	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	台	1	(注)1 掘削排土、機装設備組立解体、 仮設備組立解体、足場 設置撤去で使用	種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	排土設備	バケツト	バケツト容量1.0m ³	個	2	1マテリアルロックにつき2個	土砂ホッパ	ホッパ投入容量10m ³	基	1	
種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																		
排土設備	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	台	1	(注)1																																																																																																																																																																		
	バケツト	1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個																																																																																																																																																																		
	土砂ホッパ	10m ³ 級	基	1																																																																																																																																																																			
機装設備	マテリアルロック	通過可能バケツト1.0m ³ 級 径×長さ φ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	”	1	機械掘削1基																																																																																																																																																																		
	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用 圧力0.4MPa	”	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む																																																																																																																																																																		
	マンロック (酸素減圧対応型)	立型8人用 圧力0.4MPa	”	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置、酸素・二酸化 炭素計測装置及び濃度表示 器を含む																																																																																																																																																																		
	ケーソン用エレベータ (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	”	1	必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																		
	ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	式	1	”																																																																																																																																																																		
	マテリアルシャフト	径×長さ φ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	”	1	必要数量																																																																																																																																																																		
	マンシャフト	径×長さ φ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	”	1	”																																																																																																																																																																		
	スペシャルシャフト	径×長さ φ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2																																																																																																																																																																			
	ポットムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	”	2																																																																																																																																																																			
	自動圧力調整装置	径φ100mm級 圧力0.4MPa	”	1																																																																																																																																																																			
	高圧ホース	径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7																																																																																																																																																																			
	送気管	径φ100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m		ゲージ設備からケーソンまで																																																																																																																																																																		
	照明設備		式	1																																																																																																																																																																			
掘削設備	天井走行式 ショベル	バケツト容量 山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	台	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満 の場合																																																																																																																																																																		
	走行レール (天井走行式ショベル用)	長さ2m級×1本	式	1	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満 の場合																																																																																																																																																																		
安全設備	酸素集合装置	{マンロック、ホスピタルロック 用} 酸素容量28m ³	基	1	必要に応じて別途計上 (注)2																																																																																																																																																																		
	酸素呼吸装置		台	10	マンロック用 必要に応じて別途計上 (注)2																																																																																																																																																																		
安全管理・連絡設備	ガス検知器	携帯用	個	1	(注)3																																																																																																																																																																		
	ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)	[3点(酸素、メタン、H2S)計測用] [5点(酸素、メタン、H2S、CO、CO2)計測用]	台	1	(注)3,4																																																																																																																																																																		
	電話又はインターホン		式	1	(注)3																																																																																																																																																																		
	ブザー		”	1	”																																																																																																																																																																		
	函内TV		”	1	”																																																																																																																																																																		
種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																		
共通設備	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	台	1	(注)1 掘削排土、機装設備組立解体、 仮設備組立解体、足場 設置撤去で使用																																																																																																																																																																		
種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																		
排土設備	バケツト	バケツト容量1.0m ³	個	2	1マテリアルロックにつき2個																																																																																																																																																																		
	土砂ホッパ	ホッパ投入容量10m ³	基	1																																																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																													
ニューマチックケーソン工		<p style="text-align: center; color: red;">表4.1(3) 機種を選定(ケーソン1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">機 装 設 備</td> <td>マテリアルロック</td> <td>通過可能バケット1.0m³ 内径φ1,800~1,900mm長さ5.5m 最大圧力0.4MPa</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>機械掘削1基</td> </tr> <tr> <td>マテリアルロック用騒音対策設備(II型)</td> <td>[II型] 騒音低減率35%相当</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンロック(空気減圧対応型)</td> <td>[立型] 収容人員12人 最大圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>暖房, 自記気圧計, 自動換気装置を含む</td> </tr> <tr> <td>マンロック(酸素減圧対応型)</td> <td>[立型] 収容人員8人 最大圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>暖房, 自記気圧計, 自動換気装置, 酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータ(内圧用)</td> <td>[3人用] 最大圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータシャフト(内圧用)</td> <td>[3人用] 最大圧力0.4MPa</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>マテリアルシャフト</td> <td>内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要数量</td> </tr> <tr> <td>マンシャフト</td> <td>内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スペシャルシャフト</td> <td>内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa</td> <td>個</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボトムドア</td> <td>内径φ1,400mm最大圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動圧力調整装置</td> <td>送気管径φ100mm最大圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧ホース</td> <td>口径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa</td> <td>本</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送気管</td> <td>口径φ100mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td></td> <td>ゲージ設備から作業室まで</td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. 酸素減圧を行う場合, 酸素集合装置, 酸素呼吸装置について, 共通仮設費の安全費で別途計上する。 2. 現場条件により上表により難しい場合は, 別途考慮する。</p>	種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	機 装 設 備	マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 内径φ1,800~1,900mm長さ5.5m 最大圧力0.4MPa	基	1	機械掘削1基	マテリアルロック用騒音対策設備(II型)	[II型] 騒音低減率35%相当	〃	1		マンロック(空気減圧対応型)	[立型] 収容人員12人 最大圧力0.4MPa	〃	1	暖房, 自記気圧計, 自動換気装置を含む	マンロック(酸素減圧対応型)	[立型] 収容人員8人 最大圧力0.4MPa	〃	1	暖房, 自記気圧計, 自動換気装置, 酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む	ケーソン用エレベータ(内圧用)	[3人用] 最大圧力0.4MPa	〃	1	必要に応じて別途計上	ケーソン用エレベータシャフト(内圧用)	[3人用] 最大圧力0.4MPa	式	1	〃	マテリアルシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	〃	1	必要数量	マンシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	〃	1	〃	スペシャルシャフト	内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa	個	2		ボトムドア	内径φ1,400mm最大圧力0.4MPa	〃	2		自動圧力調整装置	送気管径φ100mm最大圧力0.4MPa	〃	1		高圧ホース	口径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa	本	7		送気管	口径φ100mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m		ゲージ設備から作業室まで	照明設備		式	1		
		種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																									
機 装 設 備	マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 内径φ1,800~1,900mm長さ5.5m 最大圧力0.4MPa	基	1	機械掘削1基																																																																											
	マテリアルロック用騒音対策設備(II型)	[II型] 騒音低減率35%相当	〃	1																																																																												
	マンロック(空気減圧対応型)	[立型] 収容人員12人 最大圧力0.4MPa	〃	1	暖房, 自記気圧計, 自動換気装置を含む																																																																											
	マンロック(酸素減圧対応型)	[立型] 収容人員8人 最大圧力0.4MPa	〃	1	暖房, 自記気圧計, 自動換気装置, 酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む																																																																											
	ケーソン用エレベータ(内圧用)	[3人用] 最大圧力0.4MPa	〃	1	必要に応じて別途計上																																																																											
	ケーソン用エレベータシャフト(内圧用)	[3人用] 最大圧力0.4MPa	式	1	〃																																																																											
	マテリアルシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	〃	1	必要数量																																																																											
	マンシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	〃	1	〃																																																																											
	スペシャルシャフト	内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa	個	2																																																																												
	ボトムドア	内径φ1,400mm最大圧力0.4MPa	〃	2																																																																												
	自動圧力調整装置	送気管径φ100mm最大圧力0.4MPa	〃	1																																																																												
	高圧ホース	口径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa	本	7																																																																												
	送気管	口径φ100mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m		ゲージ設備から作業室まで																																																																											
照明設備		式	1																																																																													
		<p style="text-align: center; color: red;">表4.1(4) 機種を選定(ケーソン1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">掘 削 設 備</td> <td rowspan="2">天井走行式シヨベ</td> <td rowspan="2">バケット容量0.15m³</td> <td rowspan="2">台</td> <td>1</td> <td>掘削面積 40m²以上100m²未満の場合</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>掘削面積100m²以上300m²未満の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天井走行式シヨベ(遠隔操作型)</td> <td rowspan="2">[中大断面用] バケット容量0.15m³</td> <td rowspan="2">〃</td> <td>1</td> <td>掘削面積 40m²以上100m²未満の場合</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>掘削面積100m²以上300m²未満の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遠隔操作用設備</td> <td rowspan="2">[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器</td> <td rowspan="2">〃</td> <td>1</td> <td>掘削面積 40m²以上100m²未満の場合 (注) 1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>掘削面積100m²以上300m²未満の場合 (注) 1</td> </tr> <tr> <td>走行レベル(天井走行式シヨベ用)</td> <td>長さ2m×1本</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要数量</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. 遠隔操作用設備の建屋が必要な場合には別途計上する。 2. 現場条件により上表により難しい場合は, 別途考慮する。</p>	種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘 削 設 備	天井走行式シヨベ	バケット容量0.15m ³	台	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満の場合	2	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満の場合	天井走行式シヨベ(遠隔操作型)	[中大断面用] バケット容量0.15m ³	〃	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満の場合	2	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満の場合	遠隔操作用設備	[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器	〃	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満の場合 (注) 1	2	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満の場合 (注) 1	走行レベル(天井走行式シヨベ用)	長さ2m×1本	式	1	必要数量																																													
種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																											
掘 削 設 備	天井走行式シヨベ	バケット容量0.15m ³	台	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満の場合																																																																											
				2	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満の場合																																																																											
	天井走行式シヨベ(遠隔操作型)	[中大断面用] バケット容量0.15m ³	〃	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満の場合																																																																											
				2	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満の場合																																																																											
	遠隔操作用設備	[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器	〃	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満の場合 (注) 1																																																																											
2				掘削面積100m ² 以上300m ² 未満の場合 (注) 1																																																																												
走行レベル(天井走行式シヨベ用)	長さ2m×1本	式	1	必要数量																																																																												

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																			
ニューマチックケーソン工		<p>表4.1(5) 機種の選定(ケーソン1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">安全設備</td> <td>酸素集合装置</td> <td>[マンロック、ホスピタルロック用] 酸素容量28m3</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸装置</td> <td>酸素呼吸マスク一式</td> <td>台</td> <td>10</td> <td>マンロック用 (注) 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置について、共通仮設費の安全費で別途計上する。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	安全設備	酸素集合装置	[マンロック、ホスピタルロック用] 酸素容量28m3	基	1	(注) 1	酸素呼吸装置	酸素呼吸マスク一式	台	10	マンロック用 (注) 1																			
		種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																															
安全設備	酸素集合装置	[マンロック、ホスピタルロック用] 酸素容量28m3	基	1	(注) 1																																	
	酸素呼吸装置	酸素呼吸マスク一式	台	10	マンロック用 (注) 1																																	
<p>表4.1(6) 機種の選定(ケーソン1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">安全管理・連絡設備</td> <td>ガス検知器</td> <td>[携帯式] 検知対象 O₂, HC, H₂, H₂S, CO</td> <td>個</td> <td>1</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)</td> <td>検知対象 [5点(酸素, H₂, H₂S, CO, CO₂)計測用]</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>電話又はインターホン</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ブザー</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>函内T V</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>送気用設備監視機器</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 送気用設備監視機器を除く安全管理・連絡設備は、共通仮設費(率分)に含まれる。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	安全管理・連絡設備	ガス検知器	[携帯式] 検知対象 O ₂ , HC, H ₂ , H ₂ S, CO	個	1	(注) 1	ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)	検知対象 [5点(酸素, H ₂ , H ₂ S, CO, CO ₂)計測用]	台	1	"	電話又はインターホン		式	1	"	ブザー		"	1	"	函内T V		"	1	"	送気用設備監視機器		"	1		
種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																	
安全管理・連絡設備	ガス検知器	[携帯式] 検知対象 O ₂ , HC, H ₂ , H ₂ S, CO	個	1	(注) 1																																	
	ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)	検知対象 [5点(酸素, H ₂ , H ₂ S, CO, CO ₂)計測用]	台	1	"																																	
	電話又はインターホン		式	1	"																																	
	ブザー		"	1	"																																	
	函内T V		"	1	"																																	
	送気用設備監視機器		"	1																																		

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																															
ニューマチックケーソン工	表4. 2 機種を選定(1工事当り機械設備)	表4. 2 機種を選定(1工事当り機械設備)																																																																																																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">送 気 設 備</td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>吐出量29/36m³/min 圧力0.4MPa</td> <td>台</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気清浄機</td> <td>処理量 1,100m³/h圧力0.8MPa</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td>クーリングタワー</td> <td>40~60t/h</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注)3,4,5</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ</td> <td>口径φ80mm・全揚程30m</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注)4,6</td> </tr> <tr> <td>レシーバタンク</td> <td>容量2.5m³ 圧力0.7~0.9MPa</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td>送 気 管</td> <td>径φ150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td>空気圧縮機から ゲージ設備まで</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">救 急 設 備</td> <td>ホスピタルロック (空気再圧対応型)</td> <td>[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>(注) 7</td> </tr> <tr> <td>ホスピタルロック (酸素再圧対応型)</td> <td>[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注)7,8</td> </tr> <tr> <td>酸素集合装置</td> <td>[マンロック、ホスピタルロック 用] 酸素容量28m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>(注)7,8 必要に応じて 別途計上</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸装置</td> <td></td> <td>台</td> <td>4</td> <td>ホスピタル ロック用 (注)7,8 必要に応じて 別途計上</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気清浄機</td> <td>処理量 650m³/h圧力0.49MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">予 備 設 備</td> <td>高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器</td> <td>[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量30級</td> <td>個</td> <td>4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・ スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m³/min 10.5~11 m³/min 18~19 m³/min } の中から選定</td> <td>台</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 9</td> </tr> <tr> <td>電 力 設 備</td> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量35kVA</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	送 気 設 備	空 気 圧 縮 機	吐出量29/36m ³ /min 圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ /h圧力0.8MPa	〃	必要台数	(注) 2	クーリングタワー	40~60t/h	〃	必要台数	(注)3,4,5	循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注)4,6	レシーバタンク	容量2.5m ³ 圧力0.7~0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2	送 気 管	径φ150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m	空気圧縮機から ゲージ設備まで		救 急 設 備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	台	1	(注) 7	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	〃	1	(注)7,8	酸素集合装置	[マンロック、ホスピタルロック 用] 酸素容量28m ³	基	1	(注)7,8 必要に応じて 別途計上	酸素呼吸装置		台	4	ホスピタル ロック用 (注)7,8 必要に応じて 別途計上	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ /h圧力0.49MPa	〃	1	(注) 7	予 備 設 備	高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器	[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量30級	個	4	〃	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・ スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m ³ /min 10.5~11 m ³ /min 18~19 m ³ /min } の中から選定	台	必要台数	(注) 9	電 力 設 備	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量35kVA	〃	必要台数	〃	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">送 気 設 備</td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>吐出量 (50/60Hz) 29/36m³/min 最大圧力0.4MPa</td> <td>台</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気清浄機</td> <td>処理量 1,100m³/h 最大圧力0.8MPa</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td>クーリングタワー</td> <td>冷却トン数 40~60RT</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注)3,4,5</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ</td> <td>口径φ80mm・全揚程30m</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注)4,6</td> </tr> <tr> <td>レシーバタンク</td> <td>容量2.5m³ 最大圧力0.9MPa</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td>送 気 管</td> <td>径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td>空気圧縮機から ゲージ設備まで</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">救 急 設 備</td> <td>ホスピタルロック (空気再圧対応型)</td> <td>[中型] 内径 φ1,900mm長さ 4m 最大圧力0.5MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>(注) 7</td> </tr> <tr> <td>ホスピタルロック (酸素再圧対応型)</td> <td>[中型] 内径 φ1,900mm長さ 4m 最大圧力0.5MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注)7,8</td> </tr> <tr> <td>酸素集合装置</td> <td>[マンロック、ホスピタルロック 用] 酸素容量28m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>(注)7,8 必要に応じて 別途計上</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸装置</td> <td>酸素呼吸マスク一式</td> <td>台</td> <td>4</td> <td>ホスピタルロ ック用(注)7,8 必要に応じて 別途計上</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気清浄機</td> <td>処理量 650m³/h 最大圧力0.49MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">予 備 設 備</td> <td>高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器</td> <td>[半閉鎖循環式] 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量3L</td> <td>個</td> <td>4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>[可搬式・エンジン駆動・ スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 7.5~7.8m³/min 10.5~11 m³/min 18~19 m³/min } の中から選定</td> <td>台</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 9</td> </tr> <tr> <td>電 力 設 備</td> <td>発 動 発 電 機</td> <td>[ディーゼルエンジン駆動(超低 騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 定格容量(50/60Hz)37/45kVA</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	送 気 設 備	空 気 圧 縮 機	吐出量 (50/60Hz) 29/36m ³ /min 最大圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ /h 最大圧力0.8MPa	〃	必要台数	(注) 2	クーリングタワー	冷却トン数 40~60RT	〃	必要台数	(注)3,4,5	循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注)4,6	レシーバタンク	容量2.5m ³ 最大圧力0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2	送 気 管	径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m	空気圧縮機から ゲージ設備まで		救 急 設 備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 内径 φ1,900mm長さ 4m 最大圧力0.5MPa	台	1	(注) 7	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 内径 φ1,900mm長さ 4m 最大圧力0.5MPa	〃	1	(注)7,8	酸素集合装置	[マンロック、ホスピタルロック 用] 酸素容量28m ³	基	1	(注)7,8 必要に応じて 別途計上	酸素呼吸装置	酸素呼吸マスク一式	台	4	ホスピタルロ ック用(注)7,8 必要に応じて 別途計上	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ /h 最大圧力0.49MPa	〃	1	(注) 7	予 備 設 備	高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器	[半閉鎖循環式] 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量3L	個	4	〃	空 気 圧 縮 機	[可搬式・エンジン駆動・ スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 7.5~7.8m ³ /min 10.5~11 m ³ /min 18~19 m ³ /min } の中から選定	台	必要台数	(注) 9	電 力 設 備	発 動 発 電 機	[ディーゼルエンジン駆動(超低 騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 定格容量(50/60Hz)37/45kVA	〃	必要台数	〃
種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																													
送 気 設 備	空 気 圧 縮 機	吐出量29/36m ³ /min 圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1																																																																																																																																																													
	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ /h圧力0.8MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																													
	クーリングタワー	40~60t/h	〃	必要台数	(注)3,4,5																																																																																																																																																													
	循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注)4,6																																																																																																																																																													
	レシーバタンク	容量2.5m ³ 圧力0.7~0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																													
	送 気 管	径φ150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m	空気圧縮機から ゲージ設備まで																																																																																																																																																														
救 急 設 備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	台	1	(注) 7																																																																																																																																																													
	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	〃	1	(注)7,8																																																																																																																																																													
	酸素集合装置	[マンロック、ホスピタルロック 用] 酸素容量28m ³	基	1	(注)7,8 必要に応じて 別途計上																																																																																																																																																													
	酸素呼吸装置		台	4	ホスピタル ロック用 (注)7,8 必要に応じて 別途計上																																																																																																																																																													
	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ /h圧力0.49MPa	〃	1	(注) 7																																																																																																																																																													
予 備 設 備	高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器	[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量30級	個	4	〃																																																																																																																																																													
	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・ スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m ³ /min 10.5~11 m ³ /min 18~19 m ³ /min } の中から選定	台	必要台数	(注) 9																																																																																																																																																													
電 力 設 備	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量35kVA	〃	必要台数	〃																																																																																																																																																													
種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																													
送 気 設 備	空 気 圧 縮 機	吐出量 (50/60Hz) 29/36m ³ /min 最大圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1																																																																																																																																																													
	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ /h 最大圧力0.8MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																													
	クーリングタワー	冷却トン数 40~60RT	〃	必要台数	(注)3,4,5																																																																																																																																																													
	循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注)4,6																																																																																																																																																													
	レシーバタンク	容量2.5m ³ 最大圧力0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																													
	送 気 管	径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m	空気圧縮機から ゲージ設備まで																																																																																																																																																														
救 急 設 備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 内径 φ1,900mm長さ 4m 最大圧力0.5MPa	台	1	(注) 7																																																																																																																																																													
	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 内径 φ1,900mm長さ 4m 最大圧力0.5MPa	〃	1	(注)7,8																																																																																																																																																													
	酸素集合装置	[マンロック、ホスピタルロック 用] 酸素容量28m ³	基	1	(注)7,8 必要に応じて 別途計上																																																																																																																																																													
	酸素呼吸装置	酸素呼吸マスク一式	台	4	ホスピタルロ ック用(注)7,8 必要に応じて 別途計上																																																																																																																																																													
	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ /h 最大圧力0.49MPa	〃	1	(注) 7																																																																																																																																																													
予 備 設 備	高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器	[半閉鎖循環式] 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量3L	個	4	〃																																																																																																																																																													
	空 気 圧 縮 機	[可搬式・エンジン駆動・ スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 7.5~7.8m ³ /min 10.5~11 m ³ /min 18~19 m ³ /min } の中から選定	台	必要台数	(注) 9																																																																																																																																																													
電 力 設 備	発 動 発 電 機	[ディーゼルエンジン駆動(超低 騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)] 定格容量(50/60Hz)37/45kVA	〃	必要台数	〃																																																																																																																																																													
	<p>(注) 1. 必要空気量を求め、それに見合う空気圧縮機の台数を計上する。</p> <p>2. 圧縮空気清浄機、レシーバタンクは、空気圧縮機の容量に見合う台数を計上する。</p> <p>3. クーリングタワー用補給水として、清水(水道水、ろ過河川水等)を次の量補給する。 40 t/h …… 7ℓ/min</p> <p>4. 空気圧縮機動力100kW当り180ℓ/minの清水が得られる場合は、その取水設備を計上し、クーリングタワーと循環水ポンプは計上しない。</p> <p>5. クーリングタワー用の補給水について、水道水等による補給が出来ず運搬を伴う場合には別途考慮する。</p> <p>6. 循環水ポンプについては、必要台数に予備ポンプを含める。</p> <p>7. 救急設備は、共通仮設費の安全費で別途計上する。</p> <p>8. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置について、共通仮設費の安全費で別途計上する。</p> <p>9. 予備設備の空気圧縮機、発動発電機は、賃料とする。</p> <p>10. 現場条件により上表により難しい場合は、必要により別途考慮する。なお、空気圧縮機用の仮設建屋の費用は共通仮設費において、別途計上する。</p>	<p>(注) 1. 必要空気量を求め、それに見合う空気圧縮機の台数を計上する。</p> <p>2. 圧縮空気清浄機、レシーバタンクは、空気圧縮機の容量に見合う台数を計上する。</p> <p>3. クーリングタワー用補給水として、清水(水道水、ろ過河川水等)を次の量補給する。 40~60RT …… 7ℓ/min</p> <p>4. 空気圧縮機動力100kW当り180ℓ/minの清水が得られる場合は、その取水設備を計上し、クーリングタワーと循環水ポンプは計上しない。</p> <p>5. クーリングタワー用の補給水について、水道水等による補給が出来ず運搬を伴う場合には別途考慮する。</p> <p>6. 循環水ポンプについては、必要台数に予備ポンプを含める。</p> <p>7. 救急設備は、共通仮設費の安全費で別途計上する。</p> <p>8. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置について、共通仮設費の安全費で別途計上する。</p> <p>9. 予備設備の空気圧縮機、発動発電機は、賃料とする。</p> <p>10. 現場条件により上表により難しい場合は、必要により別途考慮する。なお、空気圧縮機用の仮設建屋の費用は共通仮設費において、別途計上する。</p>																																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																				
ニューマチツクケーソン工	5. 掘削編成人員 5-1 函内作業 ケーソン1基当りの函内作業の編成人員は、次表を標準とする。	5. 掘削編成人員 5-1 函内作業 ケーソン1基当りの函内作業の編成人員は、次表を標準とする。																																					
	表5.1 函内編成人員 (人/基)	表5.1 函内編成人員 (人/基)																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘削工法</th> <th>掘削面積</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">機械掘削</td> <td>40㎡以上100㎡未満</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>天井走行式ショベル1台</td> </tr> <tr> <td>100㎡以上300㎡未満</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>天井走行式ショベル2台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 機械掘削の場合の函内掘削機械の運転は、潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。</p>	掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘 要	機械掘削	40㎡以上100㎡未満	1	5	天井走行式ショベル1台	100㎡以上300㎡未満	1	7	天井走行式ショベル2台	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘削工法</th> <th>掘削面積</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">有人 機械掘削</td> <td>40㎡以上100㎡未満</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>天井走行式ショベル1台</td> </tr> <tr> <td>100㎡以上300㎡未満</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>天井走行式ショベル2台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無人 機械掘削</td> <td>40㎡以上100㎡未満</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>天井走行式ショベル1台</td> </tr> <tr> <td>100㎡以上300㎡未満</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>天井走行式ショベル2台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 有人機械掘削の場合の函内掘削機械の運転は、潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。 2. 無人機械掘削の場合の函内掘削機械の運転は、遠隔操作室から潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。 3. 無人機械掘削の場合の函内掘削機械の点検・管理は函内にて潜かん世話役もしくは潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。</p>	掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘 要	有人 機械掘削	40㎡以上100㎡未満	1	5	天井走行式ショベル1台	100㎡以上300㎡未満	1	7	天井走行式ショベル2台	無人 機械掘削	40㎡以上100㎡未満	1	2	天井走行式ショベル1台	100㎡以上300㎡未満	1	4	天井走行式ショベル2台
掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘 要																																			
機械掘削	40㎡以上100㎡未満	1	5	天井走行式ショベル1台																																			
	100㎡以上300㎡未満	1	7	天井走行式ショベル2台																																			
掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘 要																																			
有人 機械掘削	40㎡以上100㎡未満	1	5	天井走行式ショベル1台																																			
	100㎡以上300㎡未満	1	7	天井走行式ショベル2台																																			
無人 機械掘削	40㎡以上100㎡未満	1	2	天井走行式ショベル1台																																			
	100㎡以上300㎡未満	1	4	天井走行式ショベル2台																																			
5-2 函外作業 ケーソン1基当りの函外作業の編成人員は、次表を標準とする。	5-2 函外作業 ケーソン1基当りの函外作業の編成人員は、次表を標準とする。																																						
表5.2 函外編成人員 (人/基)	表5.2 函外編成人員 (人/基)																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>服装数</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1 (0)</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 函内作業気圧が0MPa(素掘)の場合は、特殊作業員は計上しない。</p>	服装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘 要	2	1	1	1 (0)	2		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>服装数</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1 (0)</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 函内作業気圧が0MPa(素掘)の場合は、特殊作業員は計上しない。</p>	服装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘 要	2	1	1	1 (0)	2															
服装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘 要																																		
2	1	1	1 (0)	2																																			
服装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘 要																																		
2	1	1	1 (0)	2																																			
5-3 送気用設備 送気用設備の運転の編成人員は、別途計上する。	5-3 送気用設備 送気用設備の運転の編成人員は、別途計上する。	5-3 送気用設備 1現場当りの送気用設備の運転の編成人員は、次表を標準とする。																																					
表5.3 送気用設備編成人員 (人/現場)	表5.3 送気用設備編成人員 (人/現場)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>特殊作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	特殊作業員	1																																			
特殊作業員																																							
1																																							
	なお、送気用設備運転1日当りの保守点検作業は、次表を標準とする。																																						
表5.4 送気用設備保守点検歩掛 (運転1日当り)	表5.4 送気用設備保守点検歩掛 (運転1日当り)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 工</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	数 量	電 工	人	0.3																															
名 称	単 位	数 量																																					
電 工	人	0.3																																					
	送気用設備の運転の諸雑費は、送気用設備監視機器(空気圧縮機・クーリングタワー異常温度警報装置、送気本管・函内圧力警報装置及び水位観測用カメラ・モニタ類)の費用等であり、労務費(送気用設備の運転および保守点検作業)の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。																																						
表5.5 送気用設備諸雑費率 (%)	表5.5 送気用設備諸雑費率 (%)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	諸 雑 費 率	3																																			
諸 雑 費 率																																							
3																																							

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																															
<p>ニューマチックケーソン工</p>	<p>6. 作業時間等</p> <p>6-1 函内作業及び函外作業 函内作業及び函外作業に従事する作業員の1組当たり作業時間（賃金対象時間）は8時間とし、1日2交替（2組）とする。</p> <p>6-2 送気用設備 送気用設備の運転に従事する作業員の作業時間は別途計上する。</p> <p>7. 設備等の供用日数 設備等の供用日数は、積上げて算出することを原則とする。</p>	<p>6. 作業時間等</p> <p>6-1 函内作業及び函外作業 函内作業及び函外作業に従事する作業員の1組当たり作業時間（賃金対象時間）は8時間とし、1日2方（2組）を標準とするが、現場条件等により1日1方（1組）とすることもできる。</p> <p>6-2 送気用設備 送気用設備の運転に従事する特殊作業員の作業時間は、全日（24時間）とし、1日3方（3組）で従事するものとする。 なお、運転日数は、送気開始日から終了日までとする。</p> <p>7. 設備等の供用日数 設備等の供用日数は、次表のとおり算定することを標準とする。なお、標準とは、休日に土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇を含んでいる工事とする。 ただし、供用日数が標準以外の場合には、積上げて算出することとする。なお、標準以外とは、以下のような工事を想定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急性の高い工事などで工期の短縮が必要な場合 ・工事中止などで標準工期よりも長期間の工期を必要とする場合 ・掘削工と構築工の並行作業（昼間構築・夜間掘削など）を導入する場合 <p style="text-align: center;">表7.1 供用日数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">設 備 等</th> <th style="width: 30%;">供 用 日 数</th> <th style="width: 20%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共通設備</td> <td>$(A+B+C+E) \times 1.54$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>掘削設備（遠隔操作設備を除く）</td> <td>$(A+B+E) \times 1.54$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>掘削設備（遠隔操作設備）</td> <td>$(A+B+E) \times 1.54$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦装設備</td> <td>$(A+B+C+E) \times 1.54$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外側足場</td> <td>$(A+B) \times 1.54$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内側足場</td> <td>$(A_1+B_1) \times 1.54$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全設備</td> <td>$(A+B+C+E) \times 1.54$</td> <td rowspan="3">ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。</td> </tr> <tr> <td>送気設備</td> <td>$(A+B+C+D+E) \times 1.54$</td> </tr> <tr> <td>緊急設備</td> <td>$(A+B+C+E) \times 1.54$</td> </tr> <tr> <td>予備設備</td> <td>$(A+B+C+E) \times 1.54$</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、A：ケーソン構築日数（縦装日数含む） A₁：ケーソン部構築日数（ピアケーソンのピア部を含まず） B：掘削沈下日数 B₁：ケーソン部掘削沈下日数（ピアケーソンのピア部を含まず） C：中埋コンクリート打設・養生日数（支持力テスト含む） D：定置式空気圧縮機組立・解体日数 E：天井走行式ショベル組立・解体日数 E'：遠隔操作設備組立・解体日数</p> <p>(注) 1. 送気用空気圧縮機は、最大容量分を同時に掘付・撤去する。 2. 送気用空気圧縮機は、各ロットの掘削又は構築作業毎に運転台数を求め計上する。 3. 縦装用シャフトは、ケーソン1基当たり全使用本数の1/2に全供用日数を計上し、残り1/2に全供用日数の1/2を計上する。 4. 内側足場は、ケーソン1基当たり全内側足場掛m²の1/2に全供用日数を計上し、残り1/2に全供用日数の1/2を計上する。 5. 掘削沈下日数は、有人掘削と無人掘削の合計とする。 6. 遠隔操作設備のケーソン構築日数及び掘削沈下日数は、無人掘削開始からの日数を計上する。 7. 供用日数は整数止めとし、小数点以下第1位を切り上げるものとする。</p>	設 備 等	供 用 日 数	摘 要	共通設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$		掘削設備（遠隔操作設備を除く）	$(A+B+E) \times 1.54$		掘削設備（遠隔操作設備）	$(A+B+E) \times 1.54$		縦装設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$		外側足場	$(A+B) \times 1.54$		内側足場	$(A_1+B_1) \times 1.54$		安全設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。	送気設備	$(A+B+C+D+E) \times 1.54$	緊急設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$	予備設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$		
設 備 等	供 用 日 数	摘 要																																
共通設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$																																	
掘削設備（遠隔操作設備を除く）	$(A+B+E) \times 1.54$																																	
掘削設備（遠隔操作設備）	$(A+B+E) \times 1.54$																																	
縦装設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$																																	
外側足場	$(A+B) \times 1.54$																																	
内側足場	$(A_1+B_1) \times 1.54$																																	
安全設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。																																
送気設備	$(A+B+C+D+E) \times 1.54$																																	
緊急設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$																																	
予備設備	$(A+B+C+E) \times 1.54$																																	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																						
ニューマチックケーソン工	<p>8. 施 工 歩 掛</p> <p>8-1 刃口金物製作・据付</p> <p>8-1-1 刃口金物の材料費 刃口金物の材料費（製作費含む）は、一般管理費等のみ対象とする。</p> <p>8-1-2 刃口金物の据付け 刃口金物の据付けは、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 刃口金物据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5×T₁</td> <td rowspan="4">T₁: 1基当り刃口金物質量 (t)</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>1.0×T₁</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.8×T₁</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td>0.24×T₁</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 据付地盤の整地は含まない。 2. 溶接工には、機械工を含む。 3. 電気溶接機の運転を含む。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 諸雑費は、電力に関する経費、溶接機の損料、燃料・油脂及び溶接ワイヤー等の費用であり、労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-2 沈下掘削</p> <p>8-2-1 機械掘削</p> <p>施工1日(2組)当りの掘削量(D_c)は、次式による。</p> $D_c = \beta \times D_{c,1}$ <p style="margin-left: 20px;">D_c: 1日(2組)当りの掘削量 (m³・地山/日) β: 補正係数 D_{c,1}: 機械掘削1日(2組)当りの掘削量 (m³・地山/日)</p> <p style="text-align: center;">表8.2 機械掘削1日(2組)当りの掘削量(D_{c,1}) (m³・地山/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>掘削面積 (m²) / 両内作業気圧 (MPa)</th> <th>40以上60未満</th> <th>60以上100未満</th> <th>100以上300未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0 (素掘)</td><td>53.4 (-)</td><td>61.4 (-)</td><td>96.3 (-)</td></tr> <tr><td>0 を超え0.10以下</td><td>51.9 (-)</td><td>59.6 (-)</td><td>93.6 (-)</td></tr> <tr><td>0.10を超え0.14以下</td><td>42.0 (45.0)</td><td>48.2 (51.8)</td><td>75.7 (81.2)</td></tr> <tr><td>0.14を超え0.18以下</td><td>30.5 (36.6)</td><td>35.1 (42.1)</td><td>55.1 (66.1)</td></tr> <tr><td>0.18を超え0.22以下</td><td>19.8 (26.7)</td><td>22.8 (30.7)</td><td>35.8 (48.2)</td></tr> <tr><td>0.22を超え0.26以下</td><td>16.0 (22.9)</td><td>18.4 (26.3)</td><td>28.9 (41.3)</td></tr> <tr><td>0.26を超え0.30以下</td><td>12.2 (18.3)</td><td>14.0 (21.1)</td><td>22.0 (33.0)</td></tr> <tr><td>0.30を超え0.34以下</td><td>(14.5)</td><td>(16.7)</td><td>(26.2)</td></tr> <tr><td>0.34を超え0.36以下</td><td>(11.4)</td><td>(13.2)</td><td>(20.6)</td></tr> <tr><td>0.36を超え0.38以下</td><td>(9.9)</td><td>(11.4)</td><td>(17.9)</td></tr> <tr><td>0.38を超え0.40以下</td><td>(9.9)</td><td>(11.4)</td><td>(17.9)</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 酸素減圧を行う場合は、()内の数値を計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.5×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量 (t)	溶 接 工		"	1.0×T ₁	普 通 作 業 員		"	0.8×T ₁	ラフテレーンクレーン運	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	0.24×T ₁	諸 雑 費 率		%	7		掘削面積 (m ²) / 両内作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	0 (素掘)	53.4 (-)	61.4 (-)	96.3 (-)	0 を超え0.10以下	51.9 (-)	59.6 (-)	93.6 (-)	0.10を超え0.14以下	42.0 (45.0)	48.2 (51.8)	75.7 (81.2)	0.14を超え0.18以下	30.5 (36.6)	35.1 (42.1)	55.1 (66.1)	0.18を超え0.22以下	19.8 (26.7)	22.8 (30.7)	35.8 (48.2)	0.22を超え0.26以下	16.0 (22.9)	18.4 (26.3)	28.9 (41.3)	0.26を超え0.30以下	12.2 (18.3)	14.0 (21.1)	22.0 (33.0)	0.30を超え0.34以下	(14.5)	(16.7)	(26.2)	0.34を超え0.36以下	(11.4)	(13.2)	(20.6)	0.36を超え0.38以下	(9.9)	(11.4)	(17.9)	0.38を超え0.40以下	(9.9)	(11.4)	(17.9)	<p>8. 施 工 歩 掛</p> <p>8-1 刃口金物製作・据付</p> <p>8-1-1 刃口金物の材料費 刃口金物の材料費（製作費含む）は、一般管理費等のみ対象とする。</p> <p>8-1-2 刃口金物の据付け 刃口金物の据付けは、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 刃口金物据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6×T₁</td> <td rowspan="4">T₁: 1基当り刃口金物質量 (t)</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>1.1×T₁</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.9×T₁</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)】 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td>0.31×T₁</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 据付地盤の整地は含まない。 2. 電気溶接機の運転を含む。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は、電力に関する経費、溶接機の損料、燃料・油脂及び溶接ワイヤー等の費用であり、労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-2 沈下掘削</p> <p>8-2-1 機械掘削1日(2組)</p> <p>施工1日(2組)当りの掘削量(D_c)は、次式による。</p> $D_c = \beta \times D_{c,1}$ <p style="margin-left: 20px;">D_c: 1日(2組)当りの掘削量 (m³・地山/日) β: 補正係数 D_{c,1}: 機械掘削1日(2組)当りの掘削量 (m³・地山/日)</p> <p style="text-align: center;">表8.2 有人機械掘削1日(2組)当りの掘削量(D_{c,1}) (m³・地山/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>掘削面積 (m²) / 両内作業気圧 (MPa)</th> <th>40以上60未満</th> <th>60以上100未満</th> <th>100以上300未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0 (素掘)</td><td>53.4</td><td>61.4</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>0 を超え0.10以下</td><td>51.9 (注)</td><td>59.6 (注)</td><td>93.6 (注)</td></tr> <tr><td>0.10を超え0.14以下</td><td>45.0</td><td>51.8</td><td>81.2</td></tr> <tr><td>0.14を超え0.18以下</td><td>36.6</td><td>42.1</td><td>66.1</td></tr> <tr><td>0.18を超え0.22以下</td><td>26.7</td><td>30.7</td><td>48.2</td></tr> <tr><td>0.22を超え0.26以下</td><td>22.9</td><td>26.3</td><td>41.3</td></tr> <tr><td>0.26を超え0.30以下</td><td>18.3</td><td>21.1</td><td>33.0</td></tr> <tr><td>0.30を超え0.34以下</td><td>14.5</td><td>16.7</td><td>26.2</td></tr> <tr><td>0.34を超え0.36以下</td><td>11.4</td><td>13.2</td><td>20.6</td></tr> <tr><td>0.36を超え0.38以下</td><td>9.9</td><td>11.4</td><td>17.9</td></tr> <tr><td>0.38を超え0.40以下</td><td>9.9</td><td>11.4</td><td>17.9</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) OMPaを超え0.10MPa以下のみ空気減圧とし、以降は酸素減圧を標準とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.6×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量 (t)	溶 接 工		"	1.1×T ₁	普 通 作 業 員		"	0.9×T ₁	ラフテレーンクレーン運	【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)】 最大吊上能力25t吊	日	0.31×T ₁	諸 雑 費 率		%	10		掘削面積 (m ²) / 両内作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	0 (素掘)	53.4	61.4	96.3	0 を超え0.10以下	51.9 (注)	59.6 (注)	93.6 (注)	0.10を超え0.14以下	45.0	51.8	81.2	0.14を超え0.18以下	36.6	42.1	66.1	0.18を超え0.22以下	26.7	30.7	48.2	0.22を超え0.26以下	22.9	26.3	41.3	0.26を超え0.30以下	18.3	21.1	33.0	0.30を超え0.34以下	14.5	16.7	26.2	0.34を超え0.36以下	11.4	13.2	20.6	0.36を超え0.38以下	9.9	11.4	17.9	0.38を超え0.40以下	9.9	11.4	17.9	
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																				
土 木 一 般 世 話 役		人	0.5×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量 (t)																																																																																																																																																					
溶 接 工		"	1.0×T ₁																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		"	0.8×T ₁																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン運	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	0.24×T ₁																																																																																																																																																						
諸 雑 費 率		%	7																																																																																																																																																						
掘削面積 (m ²) / 両内作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																																																																																																																																						
0 (素掘)	53.4 (-)	61.4 (-)	96.3 (-)																																																																																																																																																						
0 を超え0.10以下	51.9 (-)	59.6 (-)	93.6 (-)																																																																																																																																																						
0.10を超え0.14以下	42.0 (45.0)	48.2 (51.8)	75.7 (81.2)																																																																																																																																																						
0.14を超え0.18以下	30.5 (36.6)	35.1 (42.1)	55.1 (66.1)																																																																																																																																																						
0.18を超え0.22以下	19.8 (26.7)	22.8 (30.7)	35.8 (48.2)																																																																																																																																																						
0.22を超え0.26以下	16.0 (22.9)	18.4 (26.3)	28.9 (41.3)																																																																																																																																																						
0.26を超え0.30以下	12.2 (18.3)	14.0 (21.1)	22.0 (33.0)																																																																																																																																																						
0.30を超え0.34以下	(14.5)	(16.7)	(26.2)																																																																																																																																																						
0.34を超え0.36以下	(11.4)	(13.2)	(20.6)																																																																																																																																																						
0.36を超え0.38以下	(9.9)	(11.4)	(17.9)																																																																																																																																																						
0.38を超え0.40以下	(9.9)	(11.4)	(17.9)																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
土 木 一 般 世 話 役		人	0.6×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量 (t)																																																																																																																																																					
溶 接 工		"	1.1×T ₁																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		"	0.9×T ₁																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン運	【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)】 最大吊上能力25t吊	日	0.31×T ₁																																																																																																																																																						
諸 雑 費 率		%	10																																																																																																																																																						
掘削面積 (m ²) / 両内作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																																																																																																																																						
0 (素掘)	53.4	61.4	96.3																																																																																																																																																						
0 を超え0.10以下	51.9 (注)	59.6 (注)	93.6 (注)																																																																																																																																																						
0.10を超え0.14以下	45.0	51.8	81.2																																																																																																																																																						
0.14を超え0.18以下	36.6	42.1	66.1																																																																																																																																																						
0.18を超え0.22以下	26.7	30.7	48.2																																																																																																																																																						
0.22を超え0.26以下	22.9	26.3	41.3																																																																																																																																																						
0.26を超え0.30以下	18.3	21.1	33.0																																																																																																																																																						
0.30を超え0.34以下	14.5	16.7	26.2																																																																																																																																																						
0.34を超え0.36以下	11.4	13.2	20.6																																																																																																																																																						
0.36を超え0.38以下	9.9	11.4	17.9																																																																																																																																																						
0.38を超え0.40以下	9.9	11.4	17.9																																																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																										
ニューマチックケーソン工	<p style="text-align: center;">表8.3 土質による補正係数(β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>砂、砂質土、粘性土及び粘土</th> <th>レキ及びレキ質土</th> <th>玉石混じり砂レキ</th> <th>軟岩 (I)</th> <th>軟岩 (II)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補 正 係 数</td> <td>1.00</td> <td>0.84</td> <td>0.56</td> <td>0.35</td> <td>0.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 刃口掘付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩 (I) は、ピックハンマ等による掘削、軟岩 (II) は発破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩 (II) の場合、掘削10m³当り火薬2.1kg、雷管13個を計上する。 4. 軟岩 (II) の場合は削岩機を、軟岩 (I) の場合はピックハンマを次の台数計上する。 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機 (削岩機用) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] ×1台 掘削面積 100m²以上300m²未満3台 空気圧縮機 (削岩機用) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] ×1台 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機 (ピックハンマ) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] ×1台 掘削面積 100m²以上300m²未満3台 空気圧縮機 (ピックハンマ) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] ×1台 5. 軟岩 (I) で亀裂が少なくブレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩 (II) において中硬岩に近く相当に発破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。</p>	土 質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混じり砂レキ	軟岩 (I)	軟岩 (II)	補 正 係 数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17	<p style="text-align: center;">表8.3 有人機械掘削における土質による補正係数(β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>砂、砂質土、粘性土及び粘土</th> <th>レキ及びレキ質土</th> <th>玉石混じり砂レキ</th> <th>軟岩 (I)</th> <th>軟岩 (II)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補 正 係 数</td> <td>1.00</td> <td>0.84</td> <td>0.56</td> <td>0.35</td> <td>0.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 刃口掘付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩 (I) は、ピックハンマ等による掘削、軟岩 (II) は発破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩 (II) の場合、掘削10m³当り含水爆薬3.2kg、導火管付き雷管32個を計上する。 4. 軟岩 (II) の場合はレッグドリル (空圧式)を、軟岩 (I) の場合はピックハンマを次の台数計上する。 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機 (レッグドリル (空圧式) 用) 7.5~7.8 m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)] ×1台 掘削面積 100 m²以上300 m²未満3台 空気圧縮機 (レッグドリル (空圧式) 用) 7.5~7.8 m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)] ×1台 掘削面積 40 m²以上100 m²未満2台 空気圧縮機 (ピックハンマ) 7.5~7.8 m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)] ×1台 掘削面積 100 m²以上300 m²未満3台 空気圧縮機 (ピックハンマ) 7.5~7.8 m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)] ×1台 5. 軟岩 (I) で亀裂が少なくブレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩 (II) において中硬岩に近く相当に発破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。 6. 空気圧縮機は賃料とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.4 無人機械掘削1日(2組)当りの掘削量(D₀1) (m³・地山/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">掘削面積 (m²) / 掘削作業気圧 (MPa)</th> <th>40以上60未満</th> <th>60以上100未満</th> <th>100以上300未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0以上0.40以下</td> <td>32.0</td> <td>36.8</td> <td>57.8</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表8.5 無人機械掘削における土質による補正係数(β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>砂、砂質土、粘性土及び粘土</th> <th>レキ及びレキ質土</th> <th>玉石混じり砂レキ</th> <th>軟岩 (I)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補 正 係 数</td> <td>1.00</td> <td>0.84</td> <td>0.56</td> <td>0.33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 刃口掘付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。</p>	土 質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混じり砂レキ	軟岩 (I)	軟岩 (II)	補 正 係 数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17	掘削面積 (m ²) / 掘削作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	0以上0.40以下	32.0	36.8	57.8	土 質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混じり砂レキ	軟岩 (I)	補 正 係 数	1.00	0.84	0.56	0.33	
土 質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混じり砂レキ	軟岩 (I)	軟岩 (II)																																								
補 正 係 数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17																																								
土 質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混じり砂レキ	軟岩 (I)	軟岩 (II)																																								
補 正 係 数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17																																								
掘削面積 (m ²) / 掘削作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																										
0以上0.40以下	32.0	36.8	57.8																																										
土 質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混じり砂レキ	軟岩 (I)																																									
補 正 係 数	1.00	0.84	0.56	0.33																																									

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																				
ニューマチツクケーソン工	<p>8-3 沈下促進工法</p> <p>8-3-1 載荷工法</p> <p>(1) 材料</p> <p>水荷重 (ポンプによる注排水) を標準とするが、現場条件等によりその他の工法が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2) 水荷重 (ポンプによる注排水) 作業</p> <p>水荷重 (ポンプによる注排水) 作業は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.4 水荷重(ポンプによる注排水)作業歩掛 (1 t 当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 注排水は、工事用水中モータポンプ [普通型 (潜水ポンプ)] 口径φ100mmを必要台数計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	特 殊 作 業 員	人	0.02	<p>8-2-2 機械掘削1日 (1組)</p> <p>施工1日 (1組) 当りの掘削量 (D_c) は、次式による。</p> $D_c = \beta \times D_{c1}$ <p>D_c: 1日 (1組) 当りの掘削量 (m³・地山/日)</p> <p>β: 補正係数 (表8.3及び表8.5による)</p> <p>D_{c1}: 機械掘削1日 (1組) 当りの掘削量 (m³・地山/日)</p> <p style="text-align: center;">表8.6 有人機械掘削1日 (1組) 当りの掘削量 (D_{c1}) (m³・地山/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>掘削面積 (m²) 函内 作業気圧 (MPa)</th> <th>40以上60未満</th> <th>60以上100未満</th> <th>100以上300未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 (素掘)</td> <td>26.7</td> <td>30.7</td> <td>48.2</td> </tr> <tr> <td>0 を超え0.10以下</td> <td>25.9 (注)</td> <td>29.9 (注)</td> <td>46.8 (注)</td> </tr> <tr> <td>0.10を超え0.14以下</td> <td>22.5</td> <td>25.9</td> <td>40.6</td> </tr> <tr> <td>0.14を超え0.18以下</td> <td>18.3</td> <td>21.1</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td>0.18を超え0.22以下</td> <td>13.3</td> <td>15.4</td> <td>24.1</td> </tr> <tr> <td>0.22を超え0.26以下</td> <td>11.4</td> <td>13.2</td> <td>20.6</td> </tr> <tr> <td>0.26を超え0.30以下</td> <td>9.1</td> <td>10.5</td> <td>16.5</td> </tr> <tr> <td>0.30を超え0.34以下</td> <td>7.2</td> <td>8.3</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>0.34を超え0.36以下</td> <td>5.7</td> <td>6.6</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td>0.36を超え0.38以下</td> <td>5.0</td> <td>5.7</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>0.38を超え0.40以下</td> <td>5.0</td> <td>5.7</td> <td>8.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 0MPaを超え0.10MPa以下のみ空気減圧とし、以降は酸素減圧を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.7 無人機械掘削1日 (1組) 当りの掘削量 (D_{c1}) (m³・地山/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>掘削面積 (m²) 函内 作業気圧 (MPa)</th> <th>40以上60未満</th> <th>60以上100未満</th> <th>100以上300未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0以上0.40以下</td> <td>16.0</td> <td>18.4</td> <td>28.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>8-3 沈下促進工法</p> <p>8-3-1 載荷工法</p> <p>(1) 材料</p> <p>水荷重 (ポンプによる注排水) を標準とするが、現場条件等によりその他の工法が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2) 水荷重 (ポンプによる注排水) 作業</p> <p>水荷重 (ポンプによる注排水) 作業は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.8 水荷重(ポンプによる注排水)作業歩掛 (1t当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 注排水は、工事用水中モータポンプ [普通型 (潜水ポンプ)] 口径φ100mmを必要台数計上する。 2. 水の数量は水荷重として必要数量 (t) とする。</p>	掘削面積 (m ²) 函内 作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	0 (素掘)	26.7	30.7	48.2	0 を超え0.10以下	25.9 (注)	29.9 (注)	46.8 (注)	0.10を超え0.14以下	22.5	25.9	40.6	0.14を超え0.18以下	18.3	21.1	33.0	0.18を超え0.22以下	13.3	15.4	24.1	0.22を超え0.26以下	11.4	13.2	20.6	0.26を超え0.30以下	9.1	10.5	16.5	0.30を超え0.34以下	7.2	8.3	13.1	0.34を超え0.36以下	5.7	6.6	10.3	0.36を超え0.38以下	5.0	5.7	8.9	0.38を超え0.40以下	5.0	5.7	8.9	掘削面積 (m ²) 函内 作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	0以上0.40以下	16.0	18.4	28.9	名 称	単 位	数 量	特 殊 作 業 員	人	0.02	
名 称	単 位	数 量																																																																					
特 殊 作 業 員	人	0.02																																																																					
掘削面積 (m ²) 函内 作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																																																				
0 (素掘)	26.7	30.7	48.2																																																																				
0 を超え0.10以下	25.9 (注)	29.9 (注)	46.8 (注)																																																																				
0.10を超え0.14以下	22.5	25.9	40.6																																																																				
0.14を超え0.18以下	18.3	21.1	33.0																																																																				
0.18を超え0.22以下	13.3	15.4	24.1																																																																				
0.22を超え0.26以下	11.4	13.2	20.6																																																																				
0.26を超え0.30以下	9.1	10.5	16.5																																																																				
0.30を超え0.34以下	7.2	8.3	13.1																																																																				
0.34を超え0.36以下	5.7	6.6	10.3																																																																				
0.36を超え0.38以下	5.0	5.7	8.9																																																																				
0.38を超え0.40以下	5.0	5.7	8.9																																																																				
掘削面積 (m ²) 函内 作業気圧 (MPa)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																																																				
0以上0.40以下	16.0	18.4	28.9																																																																				
名 称	単 位	数 量																																																																					
特 殊 作 業 員	人	0.02																																																																					

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																		
<p>ニューマチックケーソン工</p>	<p>8-4 構築工 8-4-1 ケーソン本体及び止水壁の製作 ケーソン本体及び止水壁は、鉄筋コンクリート構造を標準とする。</p> <p>(1) ケーソン本体及び止水壁の構築日数 コンクリートは早強セメント使用を標準とし、1リフト(ロット)当り標準構築日数は、艀装の組立・解体を含めて10日(普通セメント使用の場合12日)とする。なお、止水壁の製作は止水壁ケーソンを使用する場合のみ適用する。</p> <p>(2) 投入打設工 投入打設工は、「第5編5章コンクリート工①コンクリート工(鉄筋構造物)」により別途計上する。</p> <p>(3) 足場工 ① 足場は手摺先行型枠組足場を標準とし、掛面積は、次式による。 外側足場掛面積(ケーソ部) (掛m²) = 初期2ロット分外周面積×1.3 (掛m²) 外側足場掛面積(ピア部) (掛m²) = 1ロット分外周面積×1.3 (掛m²) 内側足場掛面積(掛m²) = 必要ロット分外周面積×0.55 (掛m²) ② 外側足場材の設置・撤去は、止水壁ケーソン及びピアケーソンのケーソン部の構築において、1回分のみ計上し、ピアケーソンのピア部は1ロット毎に計上する。ただし、ピアケーソンのピア部の外側足場については、1ロット分の掛面積とする。 ③ 内側足場材の設置・撤去は、止水壁ケーソン及びピアケーソンのケーソン部の構築において、1回分のみ計上する。 ④ 足場材の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.5 足場材設置・撤去歩掛 (100掛m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>外側足場</th> <th>内側足場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.5</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6.1</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊</td> <td>日</td> <td>1.8</td> <td>2.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クローラクレーンは、賃料とする。 2. 足場の架台及び支持杭が必要な場合には別途計上する。 3. 上記歩掛には、安全ネットの設置撤去手間が含まれている。</p> <p>⑤ 足場材の賃料を計上する場合、次式の通り算定することができる。 賃料 = L × (M1 × T + M2) × A (円) ……式 8. 1 L : 賃料係数 (1.3) M1 : 先行据置2段手すりの1日当たりの賃料 (円/日) M2 : 先行据置2段手すりの基本料金 (円) T : 足場材の供用日数 (日) A : 足場の掛面積 (掛m²)</p> <p>足場材は、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、先行据置2段手すり、幅木、階段、養生ネット(メッシュシート)、安全ネット等である。</p> <p>(4) 型枠工 型枠工は、「第5編5章コンクリート工②型枠工」による。</p>	名 称	規 格	単 位	外側足場	内側足場	土 木 一 般 世 話 役		人	1.5	2.6	と び 工		〃	6.1	6.5	普 通 作 業 員		〃	1.1	2.1	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	日	1.8	2.6	<p>8-4 構築工 8-4-1 ケーソン本体及び止水壁の製作 ケーソン本体及び止水壁は、鉄筋コンクリート構造を標準とする。</p> <p>(1) ケーソン本体及び止水壁の構築日数 コンクリートは早強セメント使用を標準とし、1リフト(ロット)当り標準構築日数は、艀装の組立・解体を含めて10日(普通セメント使用の場合12日)とする。なお、止水壁の製作は止水壁ケーソンを使用する場合のみ適用する。</p> <p>(2) 投入打設工 投入打設工は、「第5編5章コンクリート工①コンクリート工(鉄筋構造物)」により別途計上する。</p> <p>(3) 足場工 ① 足場は手摺先行型枠組足場を標準とし、掛面積は、次式による。 外側足場掛面積(ケーソ部) (掛m²) = 初期2ロット分外周面積×1.3 (掛m²) 外側足場掛面積(ピア部) (掛m²) = 1ロット分外周面積×1.3 (掛m²) 内側足場掛面積(掛m²) = 必要ロット分外周面積×0.55 (掛m²) ② 外側足場材の設置・撤去は、止水壁ケーソン及びピアケーソンのケーソン部の構築において、1回分のみ計上し、ピアケーソンのピア部は1ロット毎に計上する。ただし、ピアケーソンのピア部の外側足場については、1ロット分の掛面積とする。 ③ 内側足場材の設置・撤去は、止水壁ケーソン及びピアケーソンのケーソン部の構築において、1回分のみ計上する。 ④ 足場材の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.9 足場材設置・撤去歩掛 (100掛m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>外側足場</th> <th>内側足場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.7</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6.7</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン燃料</td> <td>〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td>167</td> <td>245</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クローラクレーンの賃料は共通設備で計上する。 2. 足場の架台及び支持杭が必要な場合には別途計上する。 3. 上記歩掛には、安全ネットの設置撤去手間が含まれている。</p> <p>⑤ 足場材の賃料を計上する場合、次式の通り算定することができる。 賃料 = L × (M1 × T + M2) × A (円) ……式 8. 1 L : 賃料係数 (1.49) M1 : 先行据置2段手すりの1日当たりの賃料 (円/日) M2 : 先行据置2段手すりの基本料金 (円) T : 足場材の供用日数 (日) A : 足場の掛面積 (掛m²)</p> <p>足場材は、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、先行据置2段手すり、幅木、階段、養生ネット(メッシュシート)、安全ネット等である。</p> <p>(4) 型枠工 型枠工は、「第5編5章コンクリート工②型枠工」による。</p>	名 称	規 格	単 位	外側足場	内側足場	土 木 一 般 世 話 役		人	1.7	2.9	と び 工		〃	6.7	7.2	普 通 作 業 員		〃	1.2	2.3	クローラクレーン燃料	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力70t吊	L	167	245	
名 称	規 格	単 位	外側足場	内側足場																																																	
土 木 一 般 世 話 役		人	1.5	2.6																																																	
と び 工		〃	6.1	6.5																																																	
普 通 作 業 員		〃	1.1	2.1																																																	
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	日	1.8	2.6																																																	
名 称	規 格	単 位	外側足場	内側足場																																																	
土 木 一 般 世 話 役		人	1.7	2.9																																																	
と び 工		〃	6.7	7.2																																																	
普 通 作 業 員		〃	1.2	2.3																																																	
クローラクレーン燃料	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力70t吊	L	167	245																																																	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																												
<p>ニューマチックケーソン工</p>	<p>(5) 支保工 支保工は、「第2編6章仮設工⑥支保工」による。</p> <p>(6) 鉄筋工 鉄筋工は、「市場単価 鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。</p> <p>(7) 養生工 養生工は、「第5編5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>8-4-2 埋戻工 現場条件により埋戻工が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>8-4-3 止水壁撤去 止水壁撤去が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>8-4-4 中埋コンクリート打設 (1) 中埋コンクリート工 中埋コンクリート工は作業室内を充填するコンクリートの打設を対象とする。作業室天井のシャフト部を中埋コンクリートと異なるコンクリートで充填する場合は、別途計上する。中埋コンクリート打設歩掛、コンクリートポンプ車の運転経費は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.6 中埋コンクリート打設歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 かん 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) コンクリートポンプ車圧送のスランブ値及び粗骨材の最大寸法は、次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表8.7 コンクリートポンプ車圧送のコンクリートの標準範囲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>スランブ (cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18 ～ 21</td> <td>25 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 中埋コンクリート打設量 中埋コンクリートの使用量は、次式による。 中埋コンクリート使用量 = 設計量 × (1 + K) ……式8.2</p> <p>設計量：作業室中埋コンクリート量 (m³) K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表8.8 ロス率(K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>K：ロス率</td> <td>+0.04</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	潜 かん 世 話 役		人	0.15	潜 かん 工		〃	0.15	コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.11	スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	18 ～ 21	25 以下	K：ロス率	+0.04	<p>(5) 支保工 支保工は、「第2編6章仮設工⑥支保工」による。</p> <p>(6) 鉄筋工 鉄筋工は、「第2編5章コンクリート工⑥鉄筋工」による。</p> <p>(7) 養生工 養生工は、「第5編5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>8-4-2 埋戻工 現場条件により埋戻工が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>8-4-3 止水壁撤去 止水壁撤去が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>8-4-4 中埋コンクリート打設 (1) 中埋コンクリート工 中埋コンクリート工は作業室内を充填するコンクリートの打設を対象とする。作業室天井のシャフト部を中埋コンクリートと異なるコンクリートで充填する場合は、別途計上する。中埋コンクリート打設歩掛、コンクリートポンプ車の運転経費は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.10 中埋コンクリート打設歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 かん 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) コンクリートポンプ車圧送のスランブ値及び粗骨材の最大寸法は、次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表8.11 コンクリートポンプ車圧送のコンクリートの標準範囲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>スランブ (cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18 ～ 21</td> <td>25 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 中埋コンクリート打設量 中埋コンクリートの使用量は、次式による。 中埋コンクリート使用量 = 設計量 × (1 + K) ……式8.2</p> <p>設計量：作業室中埋コンクリート量 (m³) K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表8.12 ロス率(K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>K：ロス率</td> <td>+0.04</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	潜 かん 世 話 役		人	0.17	潜 かん 工		〃	0.17	コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.11	スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	18 ～ 21	25 以下	K：ロス率	+0.04	
名 称	規 格	単 位	数 量																																												
潜 かん 世 話 役		人	0.15																																												
潜 かん 工		〃	0.15																																												
コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.11																																												
スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																														
18 ～ 21	25 以下																																														
K：ロス率	+0.04																																														
名 称	規 格	単 位	数 量																																												
潜 かん 世 話 役		人	0.17																																												
潜 かん 工		〃	0.17																																												
コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.11																																												
スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																														
18 ～ 21	25 以下																																														
K：ロス率	+0.04																																														

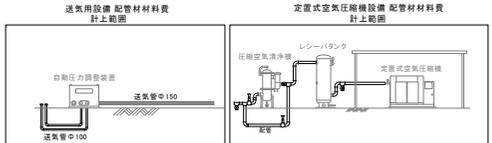
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																		
ニューマチックケーソン工	<p>(3) ブローパイプバルブ調整 ケーソン1基当りのブローパイプのバルブ調整は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.9 ブローパイプバルブ調整 (1基当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">潜 か ん 工</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">6.3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バルブ調整は中埋コンクリートの打設量に関係ない。 2. 諸雑費はボールバルブ、フランジの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-4-5 コンタクトグラウト打設 コンタクトグラウト打設が必要な場合は、別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	潜 か ん 工	人	6.3	諸 雑 費 率	%	21	<p>(3) ブローパイプバルブ調整 ケーソン1基当りのブローパイプのバルブ調整は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.13 ブローパイプバルブ調整 (1基当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">潜 か ん 工</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">6.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バルブ調整は中埋コンクリートの打設量に関係ない。 2. 諸雑費はボールバルブ、フランジの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-4-5 コンタクトグラウト打設 コンタクトグラウト打設が必要な場合は、別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	潜 か ん 工	人	6.9	諸 雑 費 率	%	27	
名 称	単 位	数 量																			
潜 か ん 工	人	6.3																			
諸 雑 費 率	%	21																			
名 称	単 位	数 量																			
潜 か ん 工	人	6.9																			
諸 雑 費 率	%	27																			

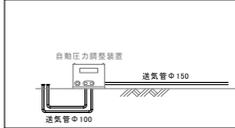
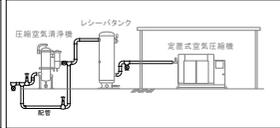
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ニューマチックケーソン工	<p>9. 仮 設 備 工</p> <p>9-1 仮設備の組立・解体 仮設備の組立・解体は、次表を標準とする。 ただし、定置式空気圧縮機設備、土砂ホッパ等を同場所に同時に2台以上組立・解体する場合は、次表に台数分を乗じて計上する。</p> <p style="text-align: center;">表9.1 仮設備の組立・解体歩掛 (1台当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">定置式空気圧縮機設備 (29/36m³/min)</th> <th colspan="2">土砂ホッパ (10m³級)</th> <th colspan="2">天井走行式 ショベル 山車0.15t(平機0.13t)</th> <th colspan="2">クーリングタワー 設備 (40~60t/h)</th> <th colspan="2">ホスピタルロック</th> </tr> <tr> <th>組立 7.0日</th> <th>解体 5.0日</th> <th>組立 —</th> <th>解体 —</th> <th>組立 3.2日</th> <th>解体 3.2日</th> <th>組立 —</th> <th>解体 —</th> <th>組立 —</th> <th>解体 —</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.3</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>#</td> <td>7.0</td> <td>3.0</td> <td>5.2</td> <td>2.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>#</td> <td>14.0</td> <td>5.0</td> <td>3.5</td> <td>1.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>4.0</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>7.9</td> <td>6.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>#</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>11.0</td> <td>5.0</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.7</td> <td>0.3</td> <td>3.3</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>3.2</td> <td>3.2</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">24</td> <td colspan="2">7</td> <td colspan="2">10</td> <td colspan="2">32</td> <td colspan="2">14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 組立材料は、地盤状態のよい水平面上に設置した場合の必要量を計上するものとし、コンクリートの打設歩掛は、組立・解体歩掛に含まれている。 2. 天井走行式ショベルの組立・解体には、[走行レール(天井走行式ショベル用)]の組立・解体を含む。 3. 定置式空気圧縮機設備の歩掛は、レシーバタンク、圧縮空気清浄装置の組立・解体を含む。 4. クーリングタワーの歩掛は、空気圧縮機等からの配管を含む。 5. 天井走行式ショベルの解体歩掛は、函内作業気圧0.22MPa(酸素減圧の場合は0.26MPa)までを標準とし、それ以上については別途考慮する。 6. 諸雑費は組立に必要な配管、ボルトナット、バルブ、パッキン、土砂ホッパの足下に設置するH形鋼、ホスピタルロックの建屋材等であり、労務費、組立材料費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 定置式空気圧縮機設備の基礎コンクリートの撤去については、「土木工事標準歩掛」構造物とりこわし工により別途計上する。 8. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>9-2 送気用配管設備 配管は、一般配管用鋼管(ガス管)とし、空気圧縮機からゲージ設備まではφ150mm、ゲージ設備からケーソンまではφ100mmを標準とし、配管歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.2 配管歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="4">管 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">100</th> <th colspan="2">150</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>組立</th> <th>解体</th> <th>組立</th> <th>解体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>配管工</td> <td>#</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2">21</td> <td colspan="2">16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費はパッキン、ボルトナット、ティー、バルブの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		土砂ホッパ (10m ³ 級)		天井走行式 ショベル 山車0.15t(平機0.13t)		クーリングタワー 設備 (40~60t/h)		ホスピタルロック		組立 7.0日	解体 5.0日	組立 —	解体 —	組立 3.2日	解体 3.2日	組立 —	解体 —	組立 —	解体 —	土木一般世話役		人	3.3	2.0	1.5	0.5	2.2	2.2	—	—	1.0	1.0	とび工		#	7.0	3.0	5.2	2.5	—	—	—	—	3.0	1.0	溶接工		#	14.0	5.0	3.5	1.3	—	—	1.0	0.5	4.0	1.1	潜かん工		#	—	—	—	—	7.9	6.3	—	—	—	—	電工		#	3.0	1.0	0.4	0.2	1.0	1.0	—	—	—	—	普通作業員		#	11.0	5.0	0.6	0.4	—	—	0.7	0.3	3.3	2.0	コンクリート		m ³	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	2.0	1.0	1.5	1.0	3.2	3.2	0.3	0.2	1.0	1.0	諸雑費率		%	24		7		10		32		14		名 称	単 位	管 径 (mm)				100		150				組立	解体	組立	解体	土木一般世話役	人	1.0	0.5	1.0	0.6	普通作業員	#	3.0	2.0	4.0	2.0	配管工	#	3.0	2.0	5.0	3.0	諸雑費率	%	21		16		<p>9. 仮 設 備 工</p> <p>9-1 仮設備の組立・解体 9-1-1 組立・解体歩掛 仮設備の組立・解体は、次表を標準とする。 ただし、定置式空気圧縮機設備、土砂ホッパ等を同場所に同時に2台以上組立・解体する場合は、次表に台数分を乗じて計上する。</p> <p style="text-align: center;">表9.1 仮設備の組立・解体歩掛 (1台当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">土砂ホッパ(ホッパ投入容量10m³)</th> <th colspan="2">天井走行式 遠隔操作設備 シヨベル バケツ容量0.15m³</th> <th colspan="2">遠隔操作設備</th> </tr> <tr> <th>組立</th> <th>解体</th> <th>組立</th> <th>解体</th> <th>組立</th> <th>解体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.7</td> <td>0.5</td> <td>2.4</td> <td>2.4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>潜かん世話役</td> <td></td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.8</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>#</td> <td>5.7</td> <td>2.8</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>#</td> <td>3.9</td> <td>1.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8.7</td> <td>6.9</td> <td>9.8</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td>10.0</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.7</td> <td>0.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>7.8</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>[油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td>1.9</td> <td>1.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>クローラン料</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>412</td> <td>412</td> <td>180</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">10</td> <td colspan="2">23</td> <td colspan="2">7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表9.2 配管歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">定置式空気圧縮機設備 (29/36m³/min)</th> <th colspan="2">クーリングタワー 設備 (冷却トン数40~60RT)</th> <th colspan="2">ホスピタルロック</th> </tr> <tr> <th>組立 7.7日</th> <th>解体 5.5日</th> <th>組立</th> <th>解体</th> <th>組立</th> <th>解体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.6</td> <td>2.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>#</td> <td>7.7</td> <td>3.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3.3</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>#</td> <td>15.4</td> <td>5.5</td> <td>1.1</td> <td>0.6</td> <td>4.4</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>#</td> <td>3.3</td> <td>1.1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>12.1</td> <td>5.5</td> <td>0.8</td> <td>0.3</td> <td>3.6</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>[油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td>2.5</td> <td>1.2</td> <td>0.37</td> <td>0.25</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>クローラン料</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">6</td> <td colspan="2">24</td> <td colspan="2">18</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	土砂ホッパ(ホッパ投入容量10m ³)		天井走行式 遠隔操作設備 シヨベル バケツ容量0.15m ³		遠隔操作設備		組立	解体	組立	解体	組立	解体	土木一般世話役		人	1.7	0.5	2.4	2.4	—	—	潜かん世話役		#	—	—	—	—	1.8	1.3	とび工		#	5.7	2.8	—	—	—	—	溶接工		#	3.9	1.4	—	—	1.0	0.7	潜かん工		#	—	—	8.7	6.9	9.8	6.8	電工		#	0.4	0.2	1.1	1.1	10.0	3.3	特殊作業員		#	—	—	—	—	1.9	—	普通作業員		#	0.7	0.4	—	—	7.8	7.2	ラフテレーンクレーン運転	[油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	日	1.9	1.2	—	—	—	—	クローラン料	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	L	—	—	412	412	180	69	諸雑費率		%	10		23		7		名 称	規 格	単 位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		クーリングタワー 設備 (冷却トン数40~60RT)		ホスピタルロック		組立 7.7日	解体 5.5日	組立	解体	組立	解体	土木一般世話役		人	3.6	2.2	—	—	1.1	1.1	とび工		#	7.7	3.3	—	—	3.3	1.1	溶接工		#	15.4	5.5	1.1	0.6	4.4	1.2	電工		#	3.3	1.1	—	—	—	—	普通作業員		#	12.1	5.5	0.8	0.3	3.6	2.2	コンクリート		m ³	12	—	—	—	—	—	ラフテレーンクレーン運転	[油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	日	2.5	1.2	0.37	0.25	1.2	1.2	クローラン料	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	L	—	—	—	—	—	—	諸雑費率		%	6		24		18		
	名 称				規 格	単 位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		土砂ホッパ (10m ³ 級)		天井走行式 ショベル 山車0.15t(平機0.13t)		クーリングタワー 設備 (40~60t/h)		ホスピタルロック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
組立 7.0日		解体 5.0日	組立 —	解体 —			組立 3.2日	解体 3.2日	組立 —	解体 —	組立 —	解体 —																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人	3.3	2.0	1.5	0.5	2.2	2.2	—	—	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
とび工		#	7.0	3.0	5.2	2.5	—	—	—	—	3.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
溶接工		#	14.0	5.0	3.5	1.3	—	—	1.0	0.5	4.0	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
潜かん工		#	—	—	—	—	7.9	6.3	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
電工		#	3.0	1.0	0.4	0.2	1.0	1.0	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		#	11.0	5.0	0.6	0.4	—	—	0.7	0.3	3.3	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
コンクリート		m ³	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	2.0	1.0	1.5	1.0	3.2	3.2	0.3	0.2	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
諸雑費率		%	24		7		10		32		14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	単 位	管 径 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		100		150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		組立	解体	組立	解体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
土木一般世話役	人	1.0	0.5	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
普通作業員	#	3.0	2.0	4.0	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
配管工	#	3.0	2.0	5.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
諸雑費率	%	21		16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	土砂ホッパ(ホッパ投入容量10m ³)		天井走行式 遠隔操作設備 シヨベル バケツ容量0.15m ³		遠隔操作設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			組立	解体	組立	解体	組立	解体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
土木一般世話役		人	1.7	0.5	2.4	2.4	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
潜かん世話役		#	—	—	—	—	1.8	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
とび工		#	5.7	2.8	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
溶接工		#	3.9	1.4	—	—	1.0	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
潜かん工		#	—	—	8.7	6.9	9.8	6.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
電工		#	0.4	0.2	1.1	1.1	10.0	3.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
特殊作業員		#	—	—	—	—	1.9	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
普通作業員		#	0.7	0.4	—	—	7.8	7.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン運転	[油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	日	1.9	1.2	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
クローラン料	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	L	—	—	412	412	180	69																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
諸雑費率		%	10		23		7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		クーリングタワー 設備 (冷却トン数40~60RT)		ホスピタルロック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			組立 7.7日	解体 5.5日	組立	解体	組立	解体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
土木一般世話役		人	3.6	2.2	—	—	1.1	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
とび工		#	7.7	3.3	—	—	3.3	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
溶接工		#	15.4	5.5	1.1	0.6	4.4	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
電工		#	3.3	1.1	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
普通作業員		#	12.1	5.5	0.8	0.3	3.6	2.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリート		m ³	12	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン運転	[油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	日	2.5	1.2	0.37	0.25	1.2	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
クローラン料	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	L	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
諸雑費率		%	6		24		18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																												
ニューマチックケーソン工	<p>9-2 送気用配管設備</p> <p>配管は、一般配管用鋼管（ガス管）とし、空気圧縮機からゲージ設備まではφ150mm、ゲージ設備からケーソンまではφ100mmを標準とし、配管歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.2 配管歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">管 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">100</th> <th colspan="2">150</th> </tr> <tr> <th>組 立</th> <th>解 体</th> <th>組 立</th> <th>解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>配管工</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">21</td> <td colspan="2">16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費はバックリン、ボルトナット、ティー、バルブの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	管 径 (mm)				100		150		組 立	解 体	組 立	解 体	土木一般世話役	人	1.0	0.5	1.0	0.6	普通作業員	〃	3.0	2.0	4.0	2.0	配管工	〃	3.0	2.0	5.0	3.0	諸 雑 費 率	%	21		16		<p>(注) 1. 組立材料は、地盤状態のよい水平面上に設置した場合の必要量を計上するものとし、コンクリートの打設歩掛は、組立・解体歩掛に含まれている。</p> <p>2. 天井走行式ショベルの組立・解体には、[走行レール（天井走行式ショベル用）]の組立・解体を含む。</p> <p>3. 天井走行式ショベルの組立・解体は、天井走行式ショベル [遠隔操作型] にも適用できる。</p> <p>4. 定置式空気圧縮機設備の歩掛は、レシーバタンク、圧縮空気清浄装置の組立・解体を含む。</p> <p>5. クーリングタワーの歩掛は、空気圧縮機等からの配管を含む。</p> <p>6. 天井走行式ショベルの解体歩掛及び遠隔操作設備の解体歩掛は、図内作業気圧0.26MPaまでを標準とし、それ以上については別途考慮する。</p> <p>7. 諸雑費は組立に必要なボルトナット、バックリン、土砂ホッパーの足下に設置するH形鋼、ホスピタルロックの建屋材等であり、労務費、機械賃料、燃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、クローラクレーンの賃料は対象外とする。</p> <p>8. 定置式空気圧縮機設備の基礎コンクリートの撤去については、「土木工事標準単価」構造物とりこわし工により別途計上する。</p> <p>9. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>10. クローラクレーンの賃料は共通設備で計上する。</p> <p>9-1-2 配管材料費</p> <p>(1) 定置式空気圧縮機設備</p> <p>定置式空気圧縮機設備で使用する配管材料費は、必要な配管、バルブ、エアホース等の費用を計上する。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(2) クーリングタワー設備</p> <p>クーリングタワー設備で使用する配管材料費は、必要な配管、バルブ等の費用を計上する。</p> <p>(3) ホスピタルロック</p> <p>ホスピタルロックで使用する配管材料費は、必要なエアホース等の費用を計上する。</p> <p>9-2 送気用配管設備</p> <p>9-2-1 配管歩掛</p> <p>配管は、一般配管用鋼管（ガス管）とし、空気圧縮機からゲージ設備まではφ150mm、ゲージ設備から作業室まではφ100mmを標準とし、配管歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.2 配管歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">管 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">100</th> <th colspan="2">150</th> </tr> <tr> <th>組 立</th> <th>解 体</th> <th>組 立</th> <th>解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td>0.6</td> <td>1.1</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>3.3</td> <td>2.2</td> <td>4.4</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>配管工</td> <td>〃</td> <td>3.3</td> <td>2.2</td> <td>5.5</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">9</td> <td colspan="2">11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費はバックリン、ボルトナットの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	管 径 (mm)				100		150		組 立	解 体	組 立	解 体	土木一般世話役	人	1.1	0.6	1.1	0.7	普通作業員	〃	3.3	2.2	4.4	2.2	配管工	〃	3.3	2.2	5.5	3.3	諸 雑 費 率	%	9		11		
名 称	単 位			管 径 (mm)																																																																											
				100		150																																																																									
		組 立	解 体	組 立	解 体																																																																										
土木一般世話役	人	1.0	0.5	1.0	0.6																																																																										
普通作業員	〃	3.0	2.0	4.0	2.0																																																																										
配管工	〃	3.0	2.0	5.0	3.0																																																																										
諸 雑 費 率	%	21		16																																																																											
名 称	単 位	管 径 (mm)																																																																													
		100		150																																																																											
		組 立	解 体	組 立	解 体																																																																										
土木一般世話役	人	1.1	0.6	1.1	0.7																																																																										
普通作業員	〃	3.3	2.2	4.4	2.2																																																																										
配管工	〃	3.3	2.2	5.5	3.3																																																																										
諸 雑 費 率	%	9		11																																																																											

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																
ニューマチックケーソン工	<p>9-3 艀装設備組立・解体 潜函のシャフト（たて管）、送気管、排気管及び配電管等の設備機械の艀装は、1リフト（ロット）毎に組立・解体を行い、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.3 組立・解体歩掛 （人/1艀装・1リフト（ロット）当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 沈下完了後の解体労務は、上記歩掛に含まれている。 2. 艀装組立・解体日数は、1艀装1リフト（ロット）当り1日とする。 3. クローラクレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は艀装に伴うボルトナット、送排気管、パッキンであり、労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	土木一般世話役		人	1.0	潜 かん 工		〃	3.0	溶 接 工		〃	5.5	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	日	1.0	諸 雑 費 率		%	6	<p>9-2-2 配管材料費 (1) 管径100mm 送気配管（管径100mm）で使用する配管材料費は、必要なバルブ、フランジ及びエルボ等の費用を計上する。 (2) 管径150mm 送気配管（管径150mm）で使用する配管材料費は、必要なバルブ、フランジ及びエルボ等の費用を計上する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>送気用設備 配管材料費 計上範囲</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>定置式空圧圧縮機設備 配管材料費 計上範囲</p>  </div> </div> <p>9-3 艀装設備組立・解体 潜函のシャフト（たて管）、送気管、排気管及び配電管等の設備機械の艀装は、1リフト（ロット）毎に組立・解体を行い、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.3 組立・解体歩掛 （人/1艀装・1リフト（ロット）当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 燃</td> <td>〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 沈下完了後の解体労務は、上記歩掛に含まれている。 2. 艀装組立・解体は、マテリアルロック及びマンロックをそれぞれ1艀装として計上する。 3. クローラクレーンの賃料は共通設備で計上する。 4. 諸雑費は艀装に伴うボルトナット、送排気管、パッキンであり、労務費、燃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	土木一般世話役		人	1.1	潜 かん 工		〃	3.3	溶 接 工		〃	6.1	クローラクレーン 燃	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力70t吊	L	98	諸 雑 費 率		%	24	
名 称	規 格	単 位	数 量																																																
土木一般世話役		人	1.0																																																
潜 かん 工		〃	3.0																																																
溶 接 工		〃	5.5																																																
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	日	1.0																																																
諸 雑 費 率		%	6																																																
名 称	規 格	単 位	数 量																																																
土木一般世話役		人	1.1																																																
潜 かん 工		〃	3.3																																																
溶 接 工		〃	6.1																																																
クローラクレーン 燃	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力70t吊	L	98																																																
諸 雑 費 率		%	24																																																

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																				
<p>ニューマチックケーソン工</p>	<p>10. 参 考 資 料</p> <p>10-1 函内照明設備 函内照明は40W蛍光灯とし、個数は次式による。</p> $N > (1 + \frac{L}{6}) S + 0.14A$ <p>N : ケーソン内40W蛍光灯個数 (個) L : マンシャフト長 (m) S : マンロック数 (基) A : 掘 削 面 積 (m²)</p> <p>10-2 1組当り掘削実作業時間 1組当りの掘削実作業時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10. 1 1組当り掘削実作業時間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>函内作業気圧 (MPa)</th> <th>1組当り掘削実作業時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0 (素掘)</td><td>7.0 (-)</td></tr> <tr><td>0 を超え0.10以下</td><td>6.8 (-)</td></tr> <tr><td>0.10を超え0.14以下</td><td>5.5 (5.9)</td></tr> <tr><td>0.14を超え0.18以下</td><td>4.0 (4.8)</td></tr> <tr><td>0.18を超え0.22以下</td><td>2.6 (3.5)</td></tr> <tr><td>0.22を超え0.26以下</td><td>2.1 (3.0)</td></tr> <tr><td>0.26を超え0.30以下</td><td>1.6 (2.4)</td></tr> <tr><td>0.30を超え0.34以下</td><td>(1.9)</td></tr> <tr><td>0.34を超え0.36以下</td><td>(1.5)</td></tr> <tr><td>0.36を超え0.38以下</td><td>(1.3)</td></tr> <tr><td>0.38を超え0.40以下</td><td>(1.3)</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の1組当り掘削実作業時間は、平成27年4月「高気圧作業安全衛生規則」の改正により、高圧下の時間（高圧室内作業者に加圧を開始した時から減圧を開始するまでの時間）を基礎に純作業時間を考慮し示したものである。 2. ()内は酸素減圧を行った場合の作業時間を示す。</p>	函内作業気圧 (MPa)	1組当り掘削実作業時間 (h)	0 (素掘)	7.0 (-)	0 を超え0.10以下	6.8 (-)	0.10を超え0.14以下	5.5 (5.9)	0.14を超え0.18以下	4.0 (4.8)	0.18を超え0.22以下	2.6 (3.5)	0.22を超え0.26以下	2.1 (3.0)	0.26を超え0.30以下	1.6 (2.4)	0.30を超え0.34以下	(1.9)	0.34を超え0.36以下	(1.5)	0.36を超え0.38以下	(1.3)	0.38を超え0.40以下	(1.3)	<p>10. 参 考 資 料</p> <p>10-1 函内照明設備 函内照明は40W相当のLED照明とし、個数は次式による。</p> $N > (1 + \frac{L}{6}) S + 0.14A$ <p>N : ケーソン内40W相当のLED照明個数 (個) L : マンシャフト長 (m) S : マンロック数 (基) A : 掘 削 面 積 (m²)</p> <p>10-2 1組当り掘削実作業時間 1組当りの掘削実作業時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10. 1 1組当り掘削実作業時間(有人掘削)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>函内作業気圧 (MPa)</th> <th>1組当り掘削実作業時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0 (素掘)</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>0 を超え0.10以下</td><td>6.8 (注)2</td></tr> <tr><td>0.10を超え0.14以下</td><td>5.9</td></tr> <tr><td>0.14を超え0.18以下</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>0.18を超え0.22以下</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>0.22を超え0.26以下</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>0.26を超え0.30以下</td><td>2.4</td></tr> <tr><td>0.30を超え0.34以下</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>0.34を超え0.36以下</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>0.36を超え0.38以下</td><td>1.3</td></tr> <tr><td>0.38を超え0.40以下</td><td>1.3</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の1組当り掘削実作業時間は、平成27年4月「高気圧作業安全衛生規則」の改正により、高圧下の時間（高圧室内作業者に加圧を開始した時から減圧を開始するまでの時間）を基礎に純作業時間を考慮し示したものである。 2. 0MPaを超え0.10MPa以下のみ空気減圧とし、以降は酸素減圧の時間を示す。</p> <p style="text-align: center;">表10. 2 1組当り掘削実作業時間(無人掘削)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>函内作業気圧 (MPa)</th> <th>1組当り掘削実作業時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0以上0.40以下</td><td>7.0</td></tr> </tbody> </table>	函内作業気圧 (MPa)	1組当り掘削実作業時間 (h)	0 (素掘)	7.0	0 を超え0.10以下	6.8 (注)2	0.10を超え0.14以下	5.9	0.14を超え0.18以下	4.8	0.18を超え0.22以下	3.5	0.22を超え0.26以下	3.0	0.26を超え0.30以下	2.4	0.30を超え0.34以下	1.9	0.34を超え0.36以下	1.5	0.36を超え0.38以下	1.3	0.38を超え0.40以下	1.3	函内作業気圧 (MPa)	1組当り掘削実作業時間 (h)	0以上0.40以下	7.0	
函内作業気圧 (MPa)	1組当り掘削実作業時間 (h)																																																						
0 (素掘)	7.0 (-)																																																						
0 を超え0.10以下	6.8 (-)																																																						
0.10を超え0.14以下	5.5 (5.9)																																																						
0.14を超え0.18以下	4.0 (4.8)																																																						
0.18を超え0.22以下	2.6 (3.5)																																																						
0.22を超え0.26以下	2.1 (3.0)																																																						
0.26を超え0.30以下	1.6 (2.4)																																																						
0.30を超え0.34以下	(1.9)																																																						
0.34を超え0.36以下	(1.5)																																																						
0.36を超え0.38以下	(1.3)																																																						
0.38を超え0.40以下	(1.3)																																																						
函内作業気圧 (MPa)	1組当り掘削実作業時間 (h)																																																						
0 (素掘)	7.0																																																						
0 を超え0.10以下	6.8 (注)2																																																						
0.10を超え0.14以下	5.9																																																						
0.14を超え0.18以下	4.8																																																						
0.18を超え0.22以下	3.5																																																						
0.22を超え0.26以下	3.0																																																						
0.26を超え0.30以下	2.4																																																						
0.30を超え0.34以下	1.9																																																						
0.34を超え0.36以下	1.5																																																						
0.36を超え0.38以下	1.3																																																						
0.38を超え0.40以下	1.3																																																						
函内作業気圧 (MPa)	1組当り掘削実作業時間 (h)																																																						
0以上0.40以下	7.0																																																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																															
ニューマチックケーソン工	<p>10-3 酸素使用量 酸素使用量は、以下を標準とする。</p> <p>(1) 酸素使用量 酸素使用量は、次式による。 $\text{酸素使用量 (m}^3\text{)} = \Sigma (a \times b \times c)$ 酸素使用量：1組当り酸素使用量 (m³) a：区分毎の1人当り酸素使用量 (m³/人) b：区分毎の1組当り函内編成人員 (人/組) c：区分毎の交替数 (組)</p>	<p>10-3 酸素使用量 酸素使用量は、以下を標準とする。</p> <p>(1) 酸素使用量 酸素使用量は、次式による。 $\text{酸素使用量 (m}^3\text{)} = \Sigma (a \times b \times c)$ 酸素使用量：1組当り酸素使用量 (m³) a：区分毎の1人当り酸素使用量 (m³/人) b：区分毎の1組当り函内編成人員 (人/組) c：区分毎の方数 (組)</p>																																																																																																
	<p style="text-align: center;">表10.2 酸素使用量 (m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">1人当り 酸素使用量 a (m³/人)</th> <th style="width: 20%;">1組当り 函内編成人員 b (人/組)</th> <th style="width: 20%;">交替数 c (組)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>函内作業気圧 (MPa)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="9">掘削 作業時</td> <td>0.10を超え 0.14以下</td> <td>2.1</td> <td>編成人員(表5.1)</td> </tr> <tr> <td>0.14を超え 0.18以下</td> <td>3.8</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.18を超え 0.22以下</td> <td>3.6</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.22を超え 0.26以下</td> <td>4.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.26を超え 0.30以下</td> <td>4.4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.30を超え 0.34以下</td> <td>4.7</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.34を超え 0.36以下</td> <td>4.3</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.36を超え 0.38以下</td> <td>4.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.38を超え 0.40以下</td> <td>4.4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>作業室内設備解体</td> <td>(注)3</td> <td>4人/組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地耐力試験</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中埋コンクリート確認</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 酸素使用量には、酸素ポンペ内の圧力低下によるロス率25%を含む。 2. 酸素(医療用)費用については、共通仮設費の安全費で別途計上する。 3. 函内作業気圧時の酸素使用量を用いる。</p>	区 分	1人当り 酸素使用量 a (m ³ /人)	1組当り 函内編成人員 b (人/組)	交替数 c (組)	函内作業気圧 (MPa)				掘削 作業時	0.10を超え 0.14以下	2.1	編成人員(表5.1)	0.14を超え 0.18以下	3.8	〃	0.18を超え 0.22以下	3.6	〃	0.22を超え 0.26以下	4.5	〃	0.26を超え 0.30以下	4.4	〃	0.30を超え 0.34以下	4.7	〃	0.34を超え 0.36以下	4.3	〃	0.36を超え 0.38以下	4.0	〃	0.38を超え 0.40以下	4.4	〃	そ の 他	作業室内設備解体	(注)3	4人/組		地耐力試験	〃	〃		中埋コンクリート確認	〃	〃	<p style="text-align: center;">表10.3 酸素使用量 (m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">1人当り 酸素使用量 a (m³/人)</th> <th style="width: 20%;">1組当り 函内編成人員 b (人/組)</th> <th style="width: 20%;">方数 c (組)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>函内作業気圧 (MPa)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="9">掘削 作業時</td> <td>0.10を超え 0.14以下</td> <td>2.1</td> <td>編成人員(表5.1)</td> </tr> <tr> <td>0.14を超え 0.18以下</td> <td>3.8</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.18を超え 0.22以下</td> <td>3.6</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.22を超え 0.26以下</td> <td>4.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.26を超え 0.30以下</td> <td>4.4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.30を超え 0.34以下</td> <td>4.7</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.34を超え 0.36以下</td> <td>4.3</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.36を超え 0.38以下</td> <td>4.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.38を超え 0.40以下</td> <td>4.4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>作業室内設備解体</td> <td>(注)3</td> <td>4人/組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地耐力試験</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中埋コンクリート確認</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 酸素使用量には、酸素ポンペ内の圧力低下によるロス率25%を含む。 2. 酸素(医療用)費用については、共通仮設費の安全費で別途計上する。 3. 函内作業気圧時の酸素使用量を用いる。</p>	区 分	1人当り 酸素使用量 a (m ³ /人)	1組当り 函内編成人員 b (人/組)	方数 c (組)	函内作業気圧 (MPa)				掘削 作業時	0.10を超え 0.14以下	2.1	編成人員(表5.1)	0.14を超え 0.18以下	3.8	〃	0.18を超え 0.22以下	3.6	〃	0.22を超え 0.26以下	4.5	〃	0.26を超え 0.30以下	4.4	〃	0.30を超え 0.34以下	4.7	〃	0.34を超え 0.36以下	4.3	〃	0.36を超え 0.38以下	4.0	〃	0.38を超え 0.40以下	4.4	〃	そ の 他	作業室内設備解体	(注)3	4人/組		地耐力試験	〃	〃		中埋コンクリート確認	〃	〃
区 分	1人当り 酸素使用量 a (m ³ /人)	1組当り 函内編成人員 b (人/組)	交替数 c (組)																																																																																															
函内作業気圧 (MPa)																																																																																																		
掘削 作業時	0.10を超え 0.14以下	2.1	編成人員(表5.1)																																																																																															
	0.14を超え 0.18以下	3.8	〃																																																																																															
	0.18を超え 0.22以下	3.6	〃																																																																																															
	0.22を超え 0.26以下	4.5	〃																																																																																															
	0.26を超え 0.30以下	4.4	〃																																																																																															
	0.30を超え 0.34以下	4.7	〃																																																																																															
	0.34を超え 0.36以下	4.3	〃																																																																																															
	0.36を超え 0.38以下	4.0	〃																																																																																															
	0.38を超え 0.40以下	4.4	〃																																																																																															
そ の 他	作業室内設備解体	(注)3	4人/組																																																																																															
	地耐力試験	〃	〃																																																																																															
	中埋コンクリート確認	〃	〃																																																																																															
区 分	1人当り 酸素使用量 a (m ³ /人)	1組当り 函内編成人員 b (人/組)	方数 c (組)																																																																																															
函内作業気圧 (MPa)																																																																																																		
掘削 作業時	0.10を超え 0.14以下	2.1	編成人員(表5.1)																																																																																															
	0.14を超え 0.18以下	3.8	〃																																																																																															
	0.18を超え 0.22以下	3.6	〃																																																																																															
	0.22を超え 0.26以下	4.5	〃																																																																																															
	0.26を超え 0.30以下	4.4	〃																																																																																															
	0.30を超え 0.34以下	4.7	〃																																																																																															
	0.34を超え 0.36以下	4.3	〃																																																																																															
	0.36を超え 0.38以下	4.0	〃																																																																																															
	0.38を超え 0.40以下	4.4	〃																																																																																															
そ の 他	作業室内設備解体	(注)3	4人/組																																																																																															
	地耐力試験	〃	〃																																																																																															
	中埋コンクリート確認	〃	〃																																																																																															
	<p>10-4 酸素集合装置設置・撤去 (マンロック・ホスピタルロック用) 酸素集合装置設置・撤去は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10.3 酸素集合装置設置・撤去(マンロック・ホスピタルロック用) (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">設 置</th> <th style="width: 10%;">撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記には、酸素集合装置の設置及び配管を含む。 2. 諸雑費は、設置に伴う配管材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	設 置	撤 去	特 殊 作 業 員		人	2.0	1.0	普 通 作 業 員		〃	1.0	0.5	諸 雑 費 率		%	30		<p>10-4 酸素集合装置設置・撤去 (マンロック・ホスピタルロック用) 酸素集合装置設置・撤去は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10.4 酸素集合装置設置・撤去(マンロック・ホスピタルロック用) (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">設 置</th> <th style="width: 10%;">撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.2</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.1</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">34</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記には、酸素集合装置の設置及び配管を含む。 2. 諸雑費は、設置に伴う配管材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	設 置	撤 去	特 殊 作 業 員		人	2.2	1.1	普 通 作 業 員		〃	1.1	0.6	諸 雑 費 率		%	34																																																									
名 称	規 格	単 位	設 置	撤 去																																																																																														
特 殊 作 業 員		人	2.0	1.0																																																																																														
普 通 作 業 員		〃	1.0	0.5																																																																																														
諸 雑 費 率		%	30																																																																																															
名 称	規 格	単 位	設 置	撤 去																																																																																														
特 殊 作 業 員		人	2.2	1.1																																																																																														
普 通 作 業 員		〃	1.1	0.6																																																																																														
諸 雑 費 率		%	34																																																																																															

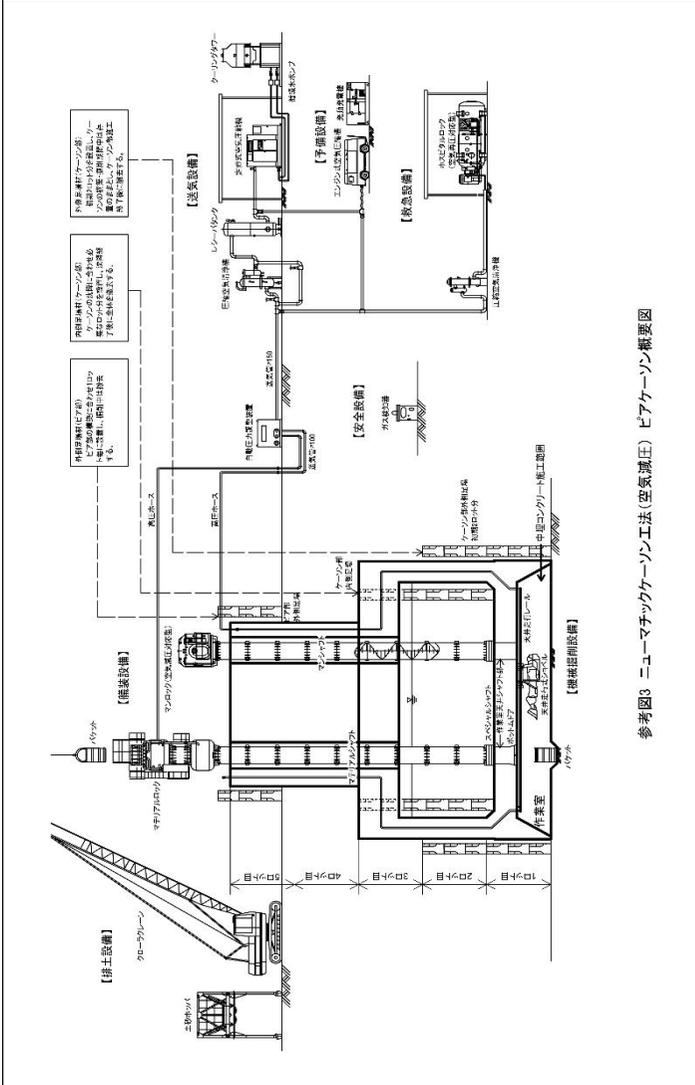
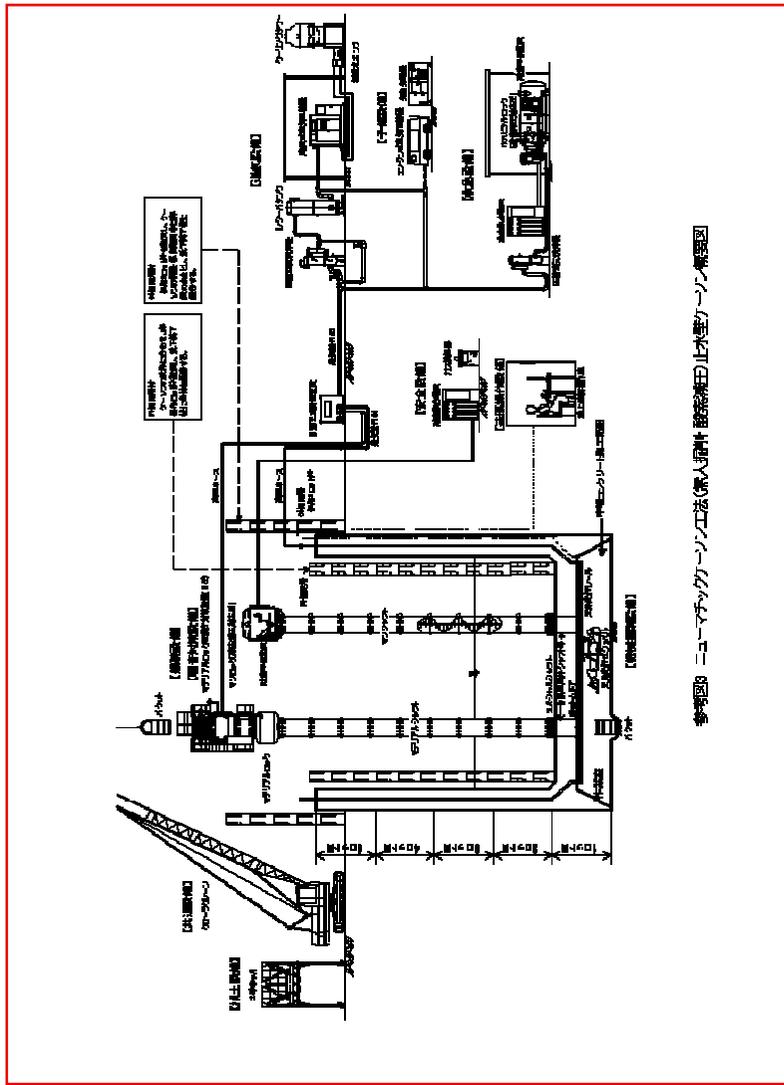
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ニューマチックケーソン工			適用

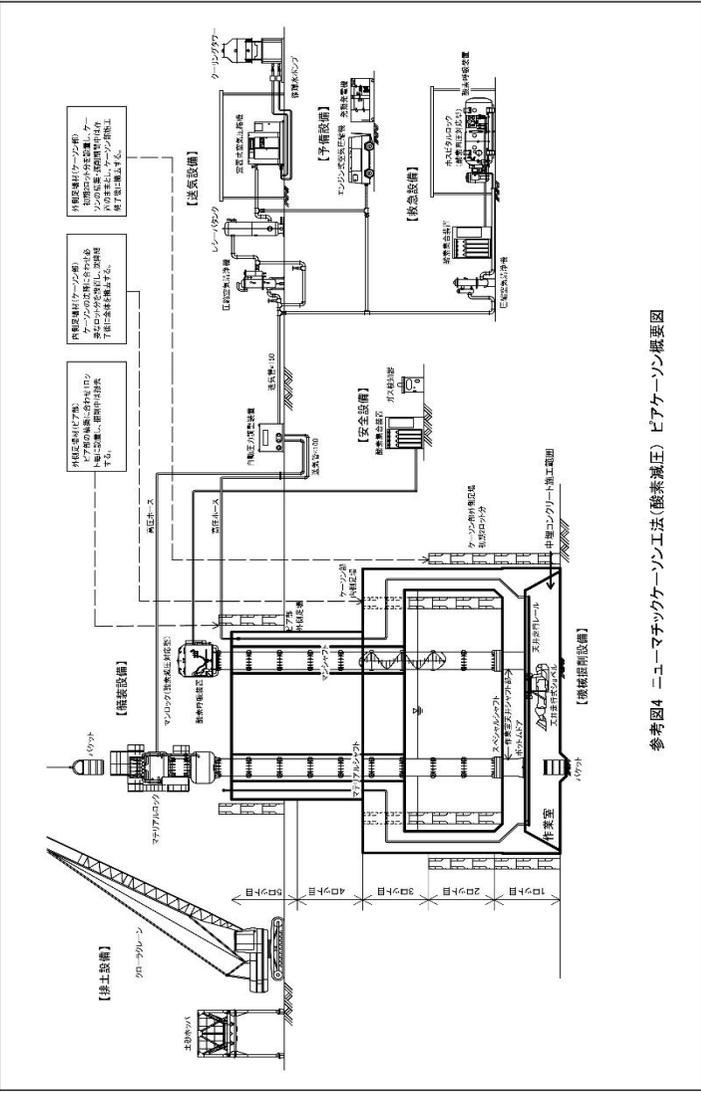
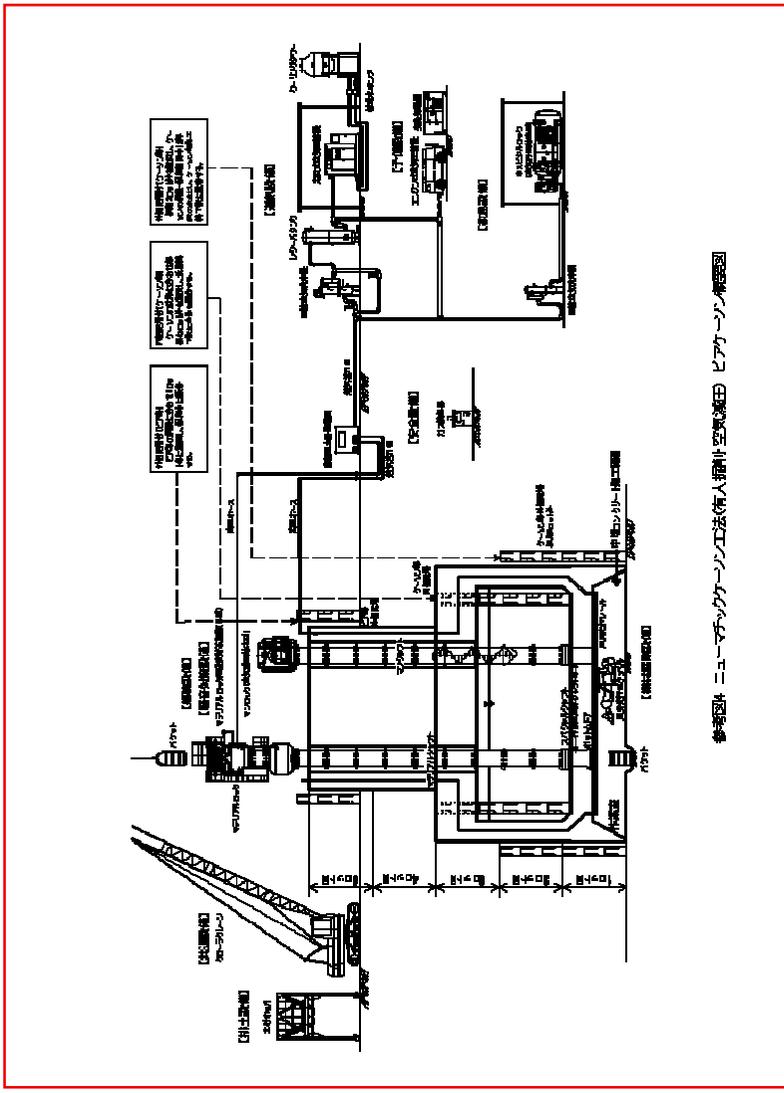
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ニューマチックケーソン工	<p>参考図2 ニューマチックケーソン工法(酸素減圧)止水壁ケーソン概要図</p>	<p>参考図4 ニューマチックケーソン工法(酸素減圧)止水壁ケーソン概要図</p>	適用

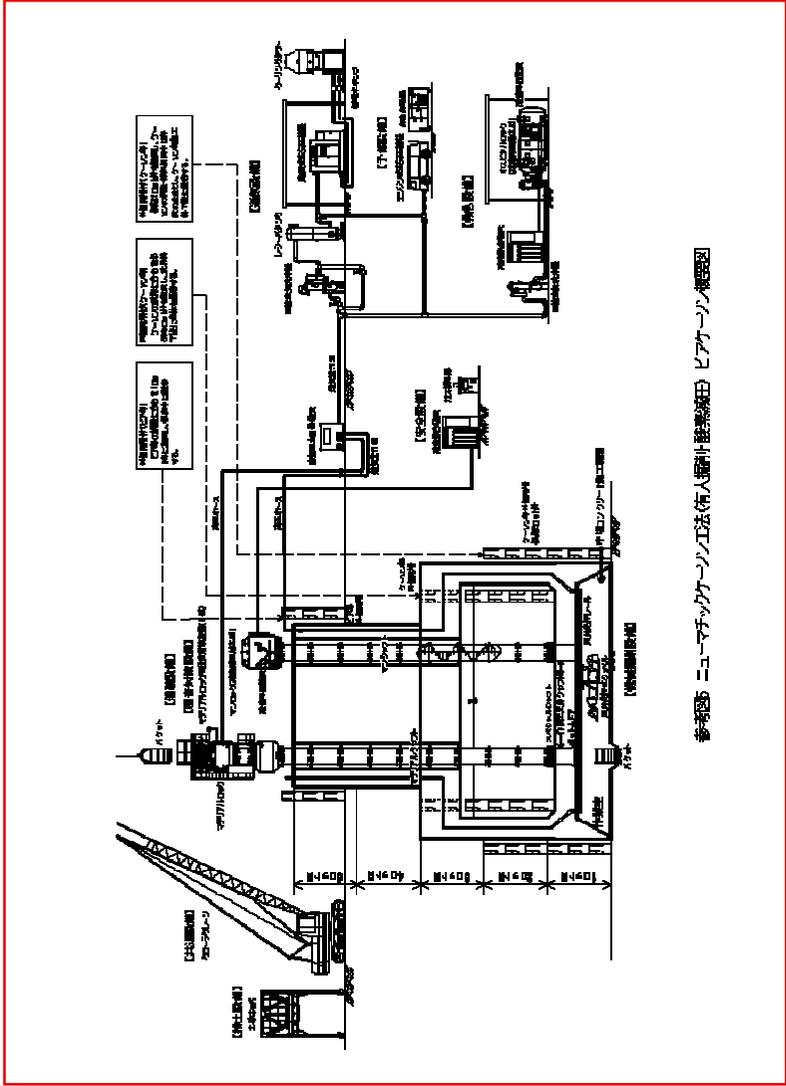
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ニューマチックケーソン工	 <p>参考図3 ニューマチックケーソン工法(空気減圧) ピアケーソン概要図</p>	 <p>参考図4 ニューマチックケーソン工法(保水) 止水壁ケーソン概要図</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ニューマチックケーソン工	 <p>参考図4 ニューマチックケーソン工法(減圧)ピアケーソン概要図</p>	 <p>参考図5 ニューマチックケーソン工法(減圧)空減圧ピアケーソン概要図</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
ニューマチックケーソン工		 <p data-bbox="1832 571 1861 1066">参考図 ニューマチックケーソン工法(法人顧問・藤島純田 ヒアケーソン)概要図</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																							
ニューマチックケーソン工	<p>11. 単 価 表</p> <p>(1) 刃口金物材料費1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材 料 費</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 刃口金物据付1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表8.1, 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械掘削10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 かん 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$M \times 2 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$M \times 2 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$M \times 2 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$M \times 2 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シヨベル電力</td> <td></td> <td>kWh</td> <td>Hw</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊</td> <td>日</td> <td>$10 / D_c$</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発 破 経 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. M=表5. 1人員+表5. 2人員 2. Hw: シヨベル電力 $Hw = P_s \times Q_s \times D \times 2 \times H \times 10 / D_c$ P_s: 天井走行式シヨベル電力 (kW) Q_s: 天井走行式シヨベル燃料消費率 (kWh/kW) D: 天井走行式シヨベル台数 (台) H: 1組当り掘削実作業時間……表10. 1 D_c: 機械掘削1日(2組)当り掘削量 3. 函内作業気圧が0MPa(素掘)の場合は, 特殊作業員は計上しない。 4. 軟岩 (I), 軟岩 (II) の場合は, 削岩機, ビックハンマ, 空気圧縮機 (排出ガス対策型 (第1次基準値)), 火薬, 雷管を必要数計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	材 料 費		t			諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表8.1	溶 接 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表8.1, 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表8.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	潜 かん 世 話 役		人	$M \times 2 \times 10 / D_c$		潜 かん 工		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$		特殊作業員		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$		普通作業員		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$		シヨベル電力		kWh	Hw		クローラクレーン 運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	日	$10 / D_c$	機械賃料	発 破 経 費		式	1	必要に応じて別途計上	諸 雑 費		〃	1		計					<p>11. 単 価 表</p> <p>(1) 刃口金物材料費1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材 料 費</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 刃口金物据付1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表8.1, 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械掘削10m³当り単価表 ①2方施工の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 かん 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$M \times 2 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$M \times 2 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$M \times 2 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$M \times 2 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シヨベル電力</td> <td></td> <td>kWh</td> <td>Hw</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 燃 (1の組)</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td>$98 \times 10 / D_c$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運 (2の組)</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>日</td> <td>$10 / D_c$</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発 破 経 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. M=表5. 1人員+表5. 2人員 2. Hw: シヨベル電力 $Hw = P_s \times Q_s \times D \times 2 \times H \times 10 / D_c$ P_s: 天井走行式シヨベル電力 (kW) Q_s: 天井走行式シヨベル燃料消費率 (kWh/kW) D: 天井走行式シヨベル台数 (台) H: 1組当り掘削実作業時間……表10. 1, 表10. 2 D_c: 機械掘削1日(2組)当り掘削量 3. 函内作業気圧が0MPa(素掘)の場合は, 特殊作業員は計上しない。 4. 軟岩 (I), 軟岩 (II) の場合は, レッグドリル (空圧式), ビックハンマ, 空気圧縮機 (排出ガス対策型 (第3次基準値)), 含水爆薬, 導火管付き雷管を必要数計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	材 料 費		t			諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表8.1	溶 接 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力25t吊	日		表8.1, 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表8.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	潜 かん 世 話 役		人	$M \times 2 \times 10 / D_c$		潜 かん 工		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$		特殊作業員		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$		普通作業員		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$		シヨベル電力		kWh	Hw		クローラクレーン 燃 (1の組)	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	L	$98 \times 10 / D_c$		クローラクレーン 運 (2の組)	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	日	$10 / D_c$	機械賃料	発 破 経 費		式	1	必要に応じて別途計上	諸 雑 費		〃	1		計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																					
	材 料 費		t																																																																																																																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																						
土木一般世話役		人		表8.1																																																																																																																																																																																																																						
溶 接 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																						
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表8.1, 機械賃料																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表8.1																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																						
潜 かん 世 話 役		人	$M \times 2 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
潜 かん 工		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
特殊作業員		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
普通作業員		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
シヨベル電力		kWh	Hw																																																																																																																																																																																																																							
クローラクレーン 運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	日	$10 / D_c$	機械賃料																																																																																																																																																																																																																						
発 破 経 費		式	1	必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																						
材 料 費		t																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																						
土木一般世話役		人		表8.1																																																																																																																																																																																																																						
溶 接 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																						
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力25t吊	日		表8.1, 機械賃料																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表8.1																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																						
潜 かん 世 話 役		人	$M \times 2 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
潜 かん 工		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
特殊作業員		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
普通作業員		〃	$M \times 2 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
シヨベル電力		kWh	Hw																																																																																																																																																																																																																							
クローラクレーン 燃 (1の組)	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	L	$98 \times 10 / D_c$																																																																																																																																																																																																																							
クローラクレーン 運 (2の組)	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	日	$10 / D_c$	機械賃料																																																																																																																																																																																																																						
発 破 経 費		式	1	必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																
ニューマチックケーソン工	<p>(4) 足場材設置・撤去100掛m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.5</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表8.5、機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 足場材賃料一式当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足 場 材 賃 料</td> <td>手摺先行型枠組足場</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>式8.1 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表8.5	とび工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	クローラクレーン 運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	日		表8.5、機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	足 場 材 賃 料	手摺先行型枠組足場	式	1	式8.1 (必要数量計上)	諸 雑 費		式	1		計					<p>②1方施工の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 かん 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シ ョ ベ ル 電 力</td> <td></td> <td>kWh</td> <td>Hw</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 燃 料</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td>98×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 破 経 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. M=表5. 1人員+表5. 2人員 2. Hw: ショベル電力 Hw=P_s×Q_c×D×H×10/D_c P_s: 天井走行式ショベル電力(kW) Q_c: 天井走行式ショベル燃料消費率(kWh/kW) D: 天井走行式ショベル台数(台) H: 1組当り掘削実作業時間……表10. 1, 表10. 2 D_c: 機械掘削1日(1組)当り掘削量 3. 函内作業気圧が0MPa(素掘)の場合は, 特殊作業員は計上しない。 4. 軟岩(Ⅰ), 軟岩(Ⅱ)の場合は, レッグドリル(空圧式), ビックハンマ, 空気圧縮機(排出ガス対策型(第3次基準値)), 含水爆薬, 導火管付き雷管を必要数計上する。</p> <p>(4) 足場材設置・撤去100掛m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.9</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 燃 料</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td></td> <td>表8.9</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 足場材賃料一式当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足 場 材 賃 料</td> <td>手摺先行型枠組足場</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>式8.1 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	潜 かん 世 話 役		人	M×10/D _c		潜 かん 工		〃	M×10/D _c		特 殊 作 業 員		〃	M×10/D _c		普 通 作 業 員		〃	M×10/D _c		シ ョ ベ ル 電 力		kWh	Hw		クローラクレーン 燃 料	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	L	98×10/D _c		発 破 経 費		式	1	必要に応じて別途計上	諸 雑 費		〃	1		計					名称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表8.9	とび工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	クローラクレーン 燃 料	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	L		表8.9	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	足 場 材 賃 料	手摺先行型枠組足場	式	1	式8.1 (必要数量計上)	諸 雑 費		式	1		計					
		名称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																													
		土木一般世話役		人		表8.5																																																																																																																																																													
		とび工		〃		〃																																																																																																																																																													
		普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																													
クローラクレーン 運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	日		表8.5、機械賃料																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																															
足 場 材 賃 料	手摺先行型枠組足場	式	1	式8.1 (必要数量計上)																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																															
潜 かん 世 話 役		人	M×10/D _c																																																																																																																																																																
潜 かん 工		〃	M×10/D _c																																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	M×10/D _c																																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	M×10/D _c																																																																																																																																																																
シ ョ ベ ル 電 力		kWh	Hw																																																																																																																																																																
クローラクレーン 燃 料	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	L	98×10/D _c																																																																																																																																																																
発 破 経 費		式	1	必要に応じて別途計上																																																																																																																																																															
諸 雑 費		〃	1																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																			
名称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人		表8.9																																																																																																																																																															
とび工		〃		〃																																																																																																																																																															
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																															
クローラクレーン 燃 料	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	L		表8.9																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																															
足 場 材 賃 料	手摺先行型枠組足場	式	1	式8.1 (必要数量計上)																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																						
ニューマチックケーソン工	(6) 送気用設備運転1日当り単価表	(6) 送気用設備運転1日当り単価表																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 力 量 (空 気 圧 縮 機 用)</td> <td></td> <td>kWh</td> <td>86kWh (50Hz) 110kWh (60Hz)</td> <td>数量×延運転時間</td> </tr> <tr> <td>電 力 量 (ク ー リ ン グ タ ー 用)</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.91kWh</td> <td>必要に応じて別途計上 数量×延運転時間</td> </tr> <tr> <td>電 力 量 (循 環 水 ポ ン プ 用)</td> <td></td> <td>"</td> <td>5.3kWh</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 運転に必要な労務費については、別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 力 量 (空 気 圧 縮 機 用)		kWh	86kWh (50Hz) 110kWh (60Hz)	数量×延運転時間	電 力 量 (ク ー リ ン グ タ ー 用)		"	0.91kWh	必要に応じて別途計上 数量×延運転時間	電 力 量 (循 環 水 ポ ン プ 用)		"	5.3kWh	"	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1(人)×3(3方)</td> <td>表5.3 (数量×運転日数)</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.3</td> <td>表5.4 (数量×運転日数)</td> </tr> <tr> <td>電 力 量 (空 気 圧 縮 機 用)</td> <td></td> <td>kWh</td> <td>86kWh (50Hz) 110kWh (60Hz)</td> <td>数量×延運転時間</td> </tr> <tr> <td>電 力 量 (ク ー リ ン グ タ ー 用)</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.91kWh</td> <td>必要に応じて別途計上 数量×延運転時間</td> </tr> <tr> <td>電 力 量 (循 環 水 ポ ン プ 用)</td> <td></td> <td>"</td> <td>5.3kWh</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 電工の作業時間帯は昼間を標準とする。 2. 電力量(空気圧縮機用)の数量については、使用する電気の周波数(Hz)に基づいて計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特 殊 作 業 員		人	1(人)×3(3方)	表5.3 (数量×運転日数)	電 工		"	0.3	表5.4 (数量×運転日数)	電 力 量 (空 気 圧 縮 機 用)		kWh	86kWh (50Hz) 110kWh (60Hz)	数量×延運転時間	電 力 量 (ク ー リ ン グ タ ー 用)		"	0.91kWh	必要に応じて別途計上 数量×延運転時間	電 力 量 (循 環 水 ポ ン プ 用)		"	5.3kWh	"	諸 雑 費		式	1	表5.5	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
	電 力 量 (空 気 圧 縮 機 用)		kWh	86kWh (50Hz) 110kWh (60Hz)	数量×延運転時間																																																																				
	電 力 量 (ク ー リ ン グ タ ー 用)		"	0.91kWh	必要に応じて別途計上 数量×延運転時間																																																																				
	電 力 量 (循 環 水 ポ ン プ 用)		"	5.3kWh	"																																																																				
	諸 雑 費		式	1																																																																					
	計																																																																								
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
特 殊 作 業 員		人	1(人)×3(3方)	表5.3 (数量×運転日数)																																																																					
電 工		"	0.3	表5.4 (数量×運転日数)																																																																					
電 力 量 (空 気 圧 縮 機 用)		kWh	86kWh (50Hz) 110kWh (60Hz)	数量×延運転時間																																																																					
電 力 量 (ク ー リ ン グ タ ー 用)		"	0.91kWh	必要に応じて別途計上 数量×延運転時間																																																																					
電 力 量 (循 環 水 ポ ン プ 用)		"	5.3kWh	"																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.5																																																																					
計																																																																									
(7) 水荷重(ポンプによる注排水)作業1t当り単価表	(7) 水荷重(ポンプによる注排水)作業1t当り単価表	(7) 水荷重(ポンプによる注排水)作業1t当り単価表																																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.02</td> <td>表8.4</td> </tr> <tr> <td>工 事 用 水 中 モ ー タ ー ボ ン プ 運 転</td> <td>[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100mm</td> <td>日</td> <td></td> <td>必要台数計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特 殊 作 業 員		人	0.02	表8.4	工 事 用 水 中 モ ー タ ー ボ ン プ 運 転	[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100mm	日		必要台数計上 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.02</td> <td>表8.8</td> </tr> <tr> <td>工 事 用 水 中 モ ー タ ー ボ ン プ 運 転</td> <td>[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100mm</td> <td>日</td> <td></td> <td>必要台数計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特 殊 作 業 員		人	0.02	表8.8	工 事 用 水 中 モ ー タ ー ボ ン プ 運 転	[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100mm	日		必要台数計上 機械損料	諸 雑 費		式	1		計																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
特 殊 作 業 員		人	0.02	表8.4																																																																					
工 事 用 水 中 モ ー タ ー ボ ン プ 運 転	[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100mm	日		必要台数計上 機械損料																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
特 殊 作 業 員		人	0.02	表8.8																																																																					
工 事 用 水 中 モ ー タ ー ボ ン プ 運 転	[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100mm	日		必要台数計上 機械損料																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
(8) 中埋コンクリート打設10m ³ 当り単価表	(8) 中埋コンクリート打設10m ³ 当り単価表	(8) 中埋コンクリート打設10m ³ 当り単価表																																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 か ん 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.15</td> <td>表8.6</td> </tr> <tr> <td>潜 か ん 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.15</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ重 運</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.11</td> <td>表8.6, 機械損料</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.4</td> <td>式8.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	潜 か ん 世 話 役		人	0.15	表8.6	潜 か ん 工		"	0.15	"	コンクリートポンプ重 運	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.11	表8.6, 機械損料	コ ン ク リ ー ト		m ³	10.4	式8.2	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 か ん 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.17</td> <td>表8.10</td> </tr> <tr> <td>潜 か ん 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.17</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ重 運</td> <td>[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.11</td> <td>表8.10, 機械損料</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.4</td> <td>式8.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	潜 か ん 世 話 役		人	0.17	表8.10	潜 か ん 工		"	0.17	"	コンクリートポンプ重 運	[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.11	表8.10, 機械損料	コ ン ク リ ー ト		m ³	10.4	式8.2	諸 雑 費		式	1		計						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
潜 か ん 世 話 役		人	0.15	表8.6																																																																					
潜 か ん 工		"	0.15	"																																																																					
コンクリートポンプ重 運	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.11	表8.6, 機械損料																																																																					
コ ン ク リ ー ト		m ³	10.4	式8.2																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
潜 か ん 世 話 役		人	0.17	表8.10																																																																					
潜 か ん 工		"	0.17	"																																																																					
コンクリートポンプ重 運	[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.11	表8.10, 機械損料																																																																					
コ ン ク リ ー ト		m ³	10.4	式8.2																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
(9) ブローパイプバルブ調整ケーソン1基当り単価表	(9) ブローパイプバルブ調整ケーソン1基当り単価表	(9) ブローパイプバルブ調整ケーソン1基当り単価表																																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 か ん 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>6.3</td> <td>表8.9</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	潜 か ん 工		人	6.3	表8.9	諸 雑 費		式	1	"	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 か ん 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>6.9</td> <td>表8.13</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	潜 か ん 工		人	6.9	表8.13	諸 雑 費		式	1	"	計																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
潜 か ん 工		人	6.3	表8.9																																																																					
諸 雑 費		式	1	"																																																																					
計																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
潜 か ん 工		人	6.9	表8.13																																																																					
諸 雑 費		式	1	"																																																																					
計																																																																									

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																						
ニューマチックケーソン工	(10) 艀装設備組立・解体1艀装1リフト(ロット)当り単価表	(10) 艀装設備組立・解体1艀装1リフト(ロット)当り単価表																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>潜 かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>表9.3, 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1.0	表9.3	潜 かん工		〃	3.0	〃	溶 接 工		〃	5.5	〃	クローラクレーン運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日	1.0	表9.3, 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表9.3	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>潜 かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.3</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6.1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン燃料</td> <td>〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td>98</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1.1	表9.3	潜 かん工		〃	3.3	〃	溶 接 工		〃	6.1	〃	クローラクレーン燃料	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊	L	98	表9.3	諸 雑 費		式	1	表9.3	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
	土木一般世話役		人	1.0	表9.3																																																																				
	潜 かん工		〃	3.0	〃																																																																				
	溶 接 工		〃	5.5	〃																																																																				
	クローラクレーン運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日	1.0	表9.3, 機械賃料																																																																				
	諸 雑 費		式	1	表9.3																																																																				
	計																																																																								
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
	土木一般世話役		人	1.1	表9.3																																																																				
	潜 かん工		〃	3.3	〃																																																																				
	溶 接 工		〃	6.1	〃																																																																				
	クローラクレーン燃料	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊	L	98	表9.3																																																																				
	諸 雑 費		式	1	表9.3																																																																				
計																																																																									
(11) 排土設備ケーソン1基当り単価表	(11-1) 共通設備ケーソン1基当り単価表																																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン運</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.1, 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>バ ケ ッ ト</td> <td>1.0m³級</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>土 砂 ホ ッ バ</td> <td>10m³級</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラクレーン運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	台	1	表4.1, 機械賃料	バ ケ ッ ト	1.0m ³ 級	個	2	表4.1	土 砂 ホ ッ バ	10m ³ 級	基	1	〃	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン料(1の組)</td> <td>〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.1, 機械賃料 注1.2 単価表(11-2)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注) 1.クローラクレーンの賃料のみを対象とし、燃料は各作業の単価表にて計上する。 2.1方施工の場合は1の組のみを使用する。 3.掘削工と構築工の並行作業(昼間構築・夜間掘削など)を行う場合のクローラクレーンの賃料は別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラクレーン料(1の組)	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊	台	1	表4.1, 機械賃料 注1.2 単価表(11-2)	諸 雑 費		式	1		計																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
クローラクレーン運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	台	1	表4.1, 機械賃料																																																																					
バ ケ ッ ト	1.0m ³ 級	個	2	表4.1																																																																					
土 砂 ホ ッ バ	10m ³ 級	基	1	〃																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
クローラクレーン料(1の組)	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊	台	1	表4.1, 機械賃料 注1.2 単価表(11-2)																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
	(11-2) クレーン供用1日当り単価表																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊</td> <td>日</td> <td>0.73</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注) 燃料は、施工歩掛に含まれている。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラクレーン	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊	日	0.73	機械賃料	諸 雑 費		式	1		計																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
クローラクレーン	〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕最大吊上能力70t吊	日	0.73	機械賃料																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
	(12) 排土設備ケーソン1基当り単価表																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ケ ッ ト</td> <td>バケット容量1.0m³</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>土 砂 ホ ッ バ</td> <td>ホッパ投入容量10m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バ ケ ッ ト	バケット容量1.0m ³	個	2	表4.1	土 砂 ホ ッ バ	ホッパ投入容量10m ³	基	1	〃	諸 雑 費		式	1		計																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
バ ケ ッ ト	バケット容量1.0m ³	個	2	表4.1																																																																					
土 砂 ホ ッ バ	ホッパ投入容量10m ³	基	1	〃																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																																																					
ニューマチックケーソン工	<p>(12) 鑿装設備ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マテリアルロック</td> <td>通過可能バケット1.0m³級 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>マンロック (空気減圧対応型)</td> <td>立型10~12人用 圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>マンロック (酸素減圧対応型)</td> <td>立型8人用 圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータ (内圧用)</td> <td>3人用 圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表4.1 (必要に応じて別途計上)</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)</td> <td>3人用 圧力0.4MPa</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>マテリアルシャフト</td> <td>径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表4.1 (必要数量)</td> </tr> <tr> <td>マンシャフト</td> <td>径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>スペシャルシャフト</td> <td>径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>ポットムドア</td> <td>径1.4m級 圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>2</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>自動圧力調整装置</td> <td>径φ100mm級 圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>高圧ホース</td> <td>径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa</td> <td>本</td> <td>7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>送気管</td> <td>径φ100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td></td> <td>表4.1 (ゲージ設備からケーソンまで)</td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(13) 掘削設備ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井走行式ショベル</td> <td>バケット容量山積 0.15m³(平積0.13m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.1 (掘削面積 40m²以上 100m²未満)</td> </tr> <tr> <td>天井走行式ショベル</td> <td>バケット容量山積 0.15m³(平積0.13m³)</td> <td>"</td> <td>2</td> <td>表4.1 (掘削面積100m²以上 300m²未満)</td> </tr> <tr> <td>走行レール (天井走行式ショベル用)</td> <td>長さ2m級×1本</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 級 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	基	1	表4.1	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用 圧力0.4MPa	"	1	"	マンロック (酸素減圧対応型)	立型8人用 圧力0.4MPa	"	1	"	ケーソン用エレベータ (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	"	1	表4.1 (必要に応じて別途計上)	ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	式	1	" (")	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	"	1	表4.1 (必要数量)	マンシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	"	1	" (")	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2	表4.1	ポットムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	"	2	"	自動圧力調整装置	径φ100mm級 圧力0.4MPa	"	1	"	高圧ホース	径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7	"	送気管	径φ100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m		表4.1 (ゲージ設備からケーソンまで)	照明設備		式	1	表4.1	諸雑費		"	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	天井走行式ショベル	バケット容量山積 0.15m ³ (平積0.13m ³)	台	1	表4.1 (掘削面積 40m ² 以上 100m ² 未満)	天井走行式ショベル	バケット容量山積 0.15m ³ (平積0.13m ³)	"	2	表4.1 (掘削面積100m ² 以上 300m ² 未満)	走行レール (天井走行式ショベル用)	長さ2m級×1本	式	1	表4.1 (必要数量計上)	諸雑費		"	1	"	計					<p>(13) 鑿装設備ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マテリアルロック</td> <td>通過可能バケット1.0m³ 内径 φ1,800~1,900mm 長さ 5.5m 最大圧力0.4MPa</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>マテリアルロック用 騒音対策設備 (II型)</td> <td>[II型] 騒音低減率35%相当</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>マンロック (空気減圧対応型)</td> <td>[立型] 収容人員12人 最大圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>マンロック (酸素減圧対応型)</td> <td>[立型] 収容人員8人 最大圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータ (内圧用)</td> <td>[3人用] 最大圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表4.1 (必要に応じて別途計上)</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)</td> <td>[3人用] 最大圧力0.4MPa</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>マテリアルシャフト</td> <td>内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表4.1 (必要数量)</td> </tr> <tr> <td>マンシャフト</td> <td>内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>スペシャルシャフト</td> <td>内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>ポットムドア</td> <td>内径φ1,400mm 最大圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>2</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>自動圧力調整装置</td> <td>送気管径φ100mm 最大圧力0.4MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>高圧ホース</td> <td>径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa</td> <td>本</td> <td>7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>送気管</td> <td>径φ100mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td></td> <td>表4.1 (ゲージ設備から作業室まで)</td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(14) 掘削設備ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井走行式ショベル</td> <td>バケット容量0.15m³</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.1 (掘削面積 40m²以上 100m²未満)</td> </tr> <tr> <td>天井走行式ショベル</td> <td>バケット容量0.15m³</td> <td>"</td> <td>2</td> <td>表4.1 (掘削面積100m²以上 300m²未満)</td> </tr> <tr> <td>天井走行式ショベル (遠隔操作型)</td> <td>バケット容量0.15m³</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.1 (掘削面積 40m²以上 100m²未満)</td> </tr> <tr> <td>天井走行式ショベル (遠隔操作型)</td> <td>バケット容量0.15m³</td> <td>"</td> <td>2</td> <td>表4.1 (掘削面積100m²以上 300m²未満)</td> </tr> <tr> <td>走行レール (天井走行式ショベル用)</td> <td>長さ2m×1本</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>遠隔操作用設備</td> <td>[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.1 (掘削面積 40m²以上 100m²未満)</td> </tr> <tr> <td>遠隔操作用設備</td> <td>[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>表4.1 (掘削面積100m²以上 300m²未満)</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 内径 φ1,800~1,900mm 長さ 5.5m 最大圧力0.4MPa	基	1	表4.1	マテリアルロック用 騒音対策設備 (II型)	[II型] 騒音低減率35%相当	"	1	"	マンロック (空気減圧対応型)	[立型] 収容人員12人 最大圧力0.4MPa	"	1	"	マンロック (酸素減圧対応型)	[立型] 収容人員8人 最大圧力0.4MPa	"	1	"	ケーソン用エレベータ (内圧用)	[3人用] 最大圧力0.4MPa	"	1	表4.1 (必要に応じて別途計上)	ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)	[3人用] 最大圧力0.4MPa	式	1	" (")	マテリアルシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	"	1	表4.1 (必要数量)	マンシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	"	1	" (")	スペシャルシャフト	内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa	個	2	表4.1	ポットムドア	内径φ1,400mm 最大圧力0.4MPa	"	2	"	自動圧力調整装置	送気管径φ100mm 最大圧力0.4MPa	"	1	"	高圧ホース	径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa	本	7	"	送気管	径φ100mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m		表4.1 (ゲージ設備から作業室まで)	照明設備		式	1	表4.1	諸雑費		"	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	天井走行式ショベル	バケット容量0.15m ³	台	1	表4.1 (掘削面積 40m ² 以上 100m ² 未満)	天井走行式ショベル	バケット容量0.15m ³	"	2	表4.1 (掘削面積100m ² 以上 300m ² 未満)	天井走行式ショベル (遠隔操作型)	バケット容量0.15m ³	台	1	表4.1 (掘削面積 40m ² 以上 100m ² 未満)	天井走行式ショベル (遠隔操作型)	バケット容量0.15m ³	"	2	表4.1 (掘削面積100m ² 以上 300m ² 未満)	走行レール (天井走行式ショベル用)	長さ2m×1本	式	1	表4.1 (必要数量計上)	遠隔操作用設備	[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器	台	1	表4.1 (掘削面積 40m ² 以上 100m ² 未満)	遠隔操作用設備	[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器	台	2	表4.1 (掘削面積100m ² 以上 300m ² 未満)	諸雑費		式	1	"	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																			
	マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 級 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	基	1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																			
	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用 圧力0.4MPa	"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																			
	マンロック (酸素減圧対応型)	立型8人用 圧力0.4MPa	"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																			
	ケーソン用エレベータ (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	"	1	表4.1 (必要に応じて別途計上)																																																																																																																																																																																																																																																			
	ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	式	1	" (")																																																																																																																																																																																																																																																			
	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	"	1	表4.1 (必要数量)																																																																																																																																																																																																																																																			
	マンシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	"	1	" (")																																																																																																																																																																																																																																																			
	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																			
	ポットムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	"	2	"																																																																																																																																																																																																																																																			
	自動圧力調整装置	径φ100mm級 圧力0.4MPa	"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																			
	高圧ホース	径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7	"																																																																																																																																																																																																																																																			
	送気管	径φ100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m		表4.1 (ゲージ設備からケーソンまで)																																																																																																																																																																																																																																																			
	照明設備		式	1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																			
諸雑費		"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																				
天井走行式ショベル	バケット容量山積 0.15m ³ (平積0.13m ³)	台	1	表4.1 (掘削面積 40m ² 以上 100m ² 未満)																																																																																																																																																																																																																																																				
天井走行式ショベル	バケット容量山積 0.15m ³ (平積0.13m ³)	"	2	表4.1 (掘削面積100m ² 以上 300m ² 未満)																																																																																																																																																																																																																																																				
走行レール (天井走行式ショベル用)	長さ2m級×1本	式	1	表4.1 (必要数量計上)																																																																																																																																																																																																																																																				
諸雑費		"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																				
マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 内径 φ1,800~1,900mm 長さ 5.5m 最大圧力0.4MPa	基	1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
マテリアルロック用 騒音対策設備 (II型)	[II型] 騒音低減率35%相当	"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																				
マンロック (空気減圧対応型)	[立型] 収容人員12人 最大圧力0.4MPa	"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																				
マンロック (酸素減圧対応型)	[立型] 収容人員8人 最大圧力0.4MPa	"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																				
ケーソン用エレベータ (内圧用)	[3人用] 最大圧力0.4MPa	"	1	表4.1 (必要に応じて別途計上)																																																																																																																																																																																																																																																				
ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)	[3人用] 最大圧力0.4MPa	式	1	" (")																																																																																																																																																																																																																																																				
マテリアルシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	"	1	表4.1 (必要数量)																																																																																																																																																																																																																																																				
マンシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	"	1	" (")																																																																																																																																																																																																																																																				
スペシャルシャフト	内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa	個	2	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
ポットムドア	内径φ1,400mm 最大圧力0.4MPa	"	2	"																																																																																																																																																																																																																																																				
自動圧力調整装置	送気管径φ100mm 最大圧力0.4MPa	"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																				
高圧ホース	径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa	本	7	"																																																																																																																																																																																																																																																				
送気管	径φ100mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m		表4.1 (ゲージ設備から作業室まで)																																																																																																																																																																																																																																																				
照明設備		式	1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
諸雑費		"	1	"																																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																				
天井走行式ショベル	バケット容量0.15m ³	台	1	表4.1 (掘削面積 40m ² 以上 100m ² 未満)																																																																																																																																																																																																																																																				
天井走行式ショベル	バケット容量0.15m ³	"	2	表4.1 (掘削面積100m ² 以上 300m ² 未満)																																																																																																																																																																																																																																																				
天井走行式ショベル (遠隔操作型)	バケット容量0.15m ³	台	1	表4.1 (掘削面積 40m ² 以上 100m ² 未満)																																																																																																																																																																																																																																																				
天井走行式ショベル (遠隔操作型)	バケット容量0.15m ³	"	2	表4.1 (掘削面積100m ² 以上 300m ² 未満)																																																																																																																																																																																																																																																				
走行レール (天井走行式ショベル用)	長さ2m×1本	式	1	表4.1 (必要数量計上)																																																																																																																																																																																																																																																				
遠隔操作用設備	[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器	台	1	表4.1 (掘削面積 40m ² 以上 100m ² 未満)																																																																																																																																																																																																																																																				
遠隔操作用設備	[中大断面用] 遠隔制御盤及び操作機器	台	2	表4.1 (掘削面積100m ² 以上 300m ² 未満)																																																																																																																																																																																																																																																				
諸雑費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																									
ニューマチックケーソン工	(14) 送気設備（空気圧縮機）1工事当り単価表	(15) 送気設備（空気圧縮機）1工事当り単価表																																																																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>吐出量29/36m³/min 圧力0.4MPa</td> <td>台</td> <td></td> <td>表4.2 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	空 気 圧 縮 機	吐出量29/36m ³ /min 圧力0.4MPa	台		表4.2 (必要数量計上)	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>吐出量 (50/60Hz) 29/36m³/min 最大圧力0.4MPa</td> <td>台</td> <td></td> <td>表4.2 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	空 気 圧 縮 機	吐出量 (50/60Hz) 29/36m ³ /min 最大圧力0.4MPa	台		表4.2 (必要数量計上)	諸 雑 費		式	1		計																																																						
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
	空 気 圧 縮 機	吐出量29/36m ³ /min 圧力0.4MPa	台		表4.2 (必要数量計上)																																																																																							
	諸 雑 費		式	1																																																																																								
	計																																																																																											
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
	空 気 圧 縮 機	吐出量 (50/60Hz) 29/36m ³ /min 最大圧力0.4MPa	台		表4.2 (必要数量計上)																																																																																							
	諸 雑 費		式	1																																																																																								
	計																																																																																											
	(15) 送気設備（その他）1工事当り単価表	(16) 送気設備（その他）1工事当り単価表																																																																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧 縮 空 気 清 浄 機</td> <td>処理量 1,100m³/h 圧力0.8MPa</td> <td>台</td> <td></td> <td>表4.2 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>ク ー リ ン グ タ ー</td> <td>40~60t/h</td> <td>"</td> <td></td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>循 環 水 ポ ン プ</td> <td>口径φ80mm・全揚程30m</td> <td>"</td> <td></td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>レ シ ー バ タ ン ク</td> <td>容量φ2.5m³ 圧力0.7~0.9MPa</td> <td>"</td> <td></td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>送 気 管</td> <td>径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td></td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	圧 縮 空 気 清 浄 機	処理量 1,100m ³ /h 圧力0.8MPa	台		表4.2 (必要数量計上)	ク ー リ ン グ タ ー	40~60t/h	"		" (")	循 環 水 ポ ン プ	口径φ80mm・全揚程30m	"		" (")	レ シ ー バ タ ン ク	容量φ2.5m ³ 圧力0.7~0.9MPa	"		" (")	送 気 管	径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m		" (")	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧 縮 空 気 清 浄 機</td> <td>処理量 1,100m³/h 最大圧力0.8MPa</td> <td>台</td> <td></td> <td>表4.2 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>ク ー リ ン グ タ ー</td> <td>冷却トン数 40~60RT</td> <td>"</td> <td></td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>循 環 水 ポ ン プ</td> <td>口径φ80mm・全揚程30m</td> <td>"</td> <td></td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>レ シ ー バ タ ン ク</td> <td>容量2.5m³ 最大圧力0.7~0.9MPa</td> <td>"</td> <td></td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>送 気 管</td> <td>口径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td></td> <td>" (")</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	圧 縮 空 気 清 浄 機	処理量 1,100m ³ /h 最大圧力0.8MPa	台		表4.2 (必要数量計上)	ク ー リ ン グ タ ー	冷却トン数 40~60RT	"		" (")	循 環 水 ポ ン プ	口径φ80mm・全揚程30m	"		" (")	レ シ ー バ タ ン ク	容量2.5m ³ 最大圧力0.7~0.9MPa	"		" (")	送 気 管	口径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m		" (")	諸 雑 費		式	1		計														
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
	圧 縮 空 気 清 浄 機	処理量 1,100m ³ /h 圧力0.8MPa	台		表4.2 (必要数量計上)																																																																																							
	ク ー リ ン グ タ ー	40~60t/h	"		" (")																																																																																							
循 環 水 ポ ン プ	口径φ80mm・全揚程30m	"		" (")																																																																																								
レ シ ー バ タ ン ク	容量φ2.5m ³ 圧力0.7~0.9MPa	"		" (")																																																																																								
送 気 管	径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m		" (")																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																									
計																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
圧 縮 空 気 清 浄 機	処理量 1,100m ³ /h 最大圧力0.8MPa	台		表4.2 (必要数量計上)																																																																																								
ク ー リ ン グ タ ー	冷却トン数 40~60RT	"		" (")																																																																																								
循 環 水 ポ ン プ	口径φ80mm・全揚程30m	"		" (")																																																																																								
レ シ ー バ タ ン ク	容量2.5m ³ 最大圧力0.7~0.9MPa	"		" (")																																																																																								
送 気 管	口径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m		" (")																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																									
計																																																																																												
(16) 安全設備 ケーソン1基当り単価表	(17) 安全設備 ケーソン1基当り単価表																																																																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸 素 集 合 装 置</td> <td>[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>酸 素 呼 吸 装 置</td> <td></td> <td>台</td> <td>10</td> <td>マンロック用 表4.1</td> </tr> <tr> <td>酸 素 (医 療 用)</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表10.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	酸 素 集 合 装 置	[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m ³	基	1	表4.1	酸 素 呼 吸 装 置		台	10	マンロック用 表4.1	酸 素 (医 療 用)		m ³		表10.2	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸 素 集 合 装 置</td> <td>[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>酸 素 呼 吸 装 置</td> <td>酸素呼吸マスク式</td> <td>台</td> <td>10</td> <td>マンロック用 表4.1</td> </tr> <tr> <td>酸 素 (医 療 用)</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表10.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	酸 素 集 合 装 置	[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m ³	基	1	表4.1	酸 素 呼 吸 装 置	酸素呼吸マスク式	台	10	マンロック用 表4.1	酸 素 (医 療 用)		m ³		表10.3	諸 雑 費		式	1		計																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
酸 素 集 合 装 置	[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m ³	基	1	表4.1																																																																																								
酸 素 呼 吸 装 置		台	10	マンロック用 表4.1																																																																																								
酸 素 (医 療 用)		m ³		表10.2																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																									
計																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
酸 素 集 合 装 置	[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m ³	基	1	表4.1																																																																																								
酸 素 呼 吸 装 置	酸素呼吸マスク式	台	10	マンロック用 表4.1																																																																																								
酸 素 (医 療 用)		m ³		表10.3																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																									
計																																																																																												
(注) 酸素(医療用)費用については、共通仮設費の安全費に計上する。	(注) 酸素(医療用)費用については、共通仮設費の安全費に計上する。																																																																																											
(17) 救急設備 1工事当り単価表	(18) 救急設備 1工事当り単価表																																																																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホスピタルロック (空気再圧対応型)</td> <td>[中型] 径×長さ φ1.9 ×4m級・圧力0.5MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>ホスピタルロック (酸素再圧対応型)</td> <td>[中型] 径×長さ φ1.9 ×4m級・圧力0.5MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>酸 素 集 合 装 置</td> <td>[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>表4.2 (必要に応じて別途計上)</td> </tr> <tr> <td>酸 素 呼 吸 装 置</td> <td></td> <td>台</td> <td>4</td> <td>ホスピタルロック用 表4.2 (必要に応じて別途計上)</td> </tr> <tr> <td>圧 縮 空 気 清 浄 機</td> <td>処理量 650m³/h 圧力0.49MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>高気圧下用空気呼吸器</td> <td>[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量30級</td> <td>個</td> <td>4</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9 ×4m級・圧力0.5MPa	台	1	表4.2	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9 ×4m級・圧力0.5MPa	"	1	"	酸 素 集 合 装 置	[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m ³	基	1	表4.2 (必要に応じて別途計上)	酸 素 呼 吸 装 置		台	4	ホスピタルロック用 表4.2 (必要に応じて別途計上)	圧 縮 空 気 清 浄 機	処理量 650m ³ /h 圧力0.49MPa	"	1	表4.2	高気圧下用空気呼吸器	[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量30級	個	4	"	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホスピタルロック (空気再圧対応型)</td> <td>[中型] 内径φ1,900mm 長さ4m 最大圧力0.5MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>ホスピタルロック (酸素再圧対応型)</td> <td>[中型] 内径φ1,900mm 長さ4m 最大圧力0.5MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>酸 素 集 合 装 置</td> <td>[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m³</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>表4.2 (必要に応じて別途計上)</td> </tr> <tr> <td>酸 素 呼 吸 装 置</td> <td>酸素呼吸マスク式</td> <td>台</td> <td>4</td> <td>ホスピタルロック用 表4.2 (必要に応じて別途計上)</td> </tr> <tr> <td>圧 縮 空 気 清 浄 機</td> <td>処理量 650m³/h 最大圧力0.49MPa</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>高気圧下用空気呼吸器</td> <td>[半閉鎖循環式] 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量3L</td> <td>個</td> <td>4</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 内径φ1,900mm 長さ4m 最大圧力0.5MPa	台	1	表4.2	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 内径φ1,900mm 長さ4m 最大圧力0.5MPa	"	1	"	酸 素 集 合 装 置	[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m ³	基	1	表4.2 (必要に応じて別途計上)	酸 素 呼 吸 装 置	酸素呼吸マスク式	台	4	ホスピタルロック用 表4.2 (必要に応じて別途計上)	圧 縮 空 気 清 浄 機	処理量 650m ³ /h 最大圧力0.49MPa	"	1	表4.2	高気圧下用空気呼吸器	[半閉鎖循環式] 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量3L	個	4	"	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9 ×4m級・圧力0.5MPa	台	1	表4.2																																																																																								
ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9 ×4m級・圧力0.5MPa	"	1	"																																																																																								
酸 素 集 合 装 置	[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m ³	基	1	表4.2 (必要に応じて別途計上)																																																																																								
酸 素 呼 吸 装 置		台	4	ホスピタルロック用 表4.2 (必要に応じて別途計上)																																																																																								
圧 縮 空 気 清 浄 機	処理量 650m ³ /h 圧力0.49MPa	"	1	表4.2																																																																																								
高気圧下用空気呼吸器	[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量30級	個	4	"																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																									
計																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 内径φ1,900mm 長さ4m 最大圧力0.5MPa	台	1	表4.2																																																																																								
ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 内径φ1,900mm 長さ4m 最大圧力0.5MPa	"	1	"																																																																																								
酸 素 集 合 装 置	[マンロック、 ホスピタルロック用] 酸素容量28m ³	基	1	表4.2 (必要に応じて別途計上)																																																																																								
酸 素 呼 吸 装 置	酸素呼吸マスク式	台	4	ホスピタルロック用 表4.2 (必要に応じて別途計上)																																																																																								
圧 縮 空 気 清 浄 機	処理量 650m ³ /h 最大圧力0.49MPa	"	1	表4.2																																																																																								
高気圧下用空気呼吸器	[半閉鎖循環式] 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ボンベ内容量3L	個	4	"																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																									
計																																																																																												

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																		
ニューマチツクケーソン工	(18) 仮設備の組立・解体1台当り単価表	(19) 仮設備の組立・解体1台当り単価表																																																																																																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表9.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表9.1	と び 工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	潜 かん 工		〃		〃	電 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	コンクリート		m ³		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	日		表9.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表9.1	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>潜 かん 世話 役</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜 かん 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)]最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表9.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)]最大吊上能力70t吊</td> <td>L</td> <td></td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>配管材料材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表9.1	潜 かん 世話 役		〃		〃	と び 工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	潜 かん 工		〃		〃	電 工		〃		〃	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	コンクリート		m ³		〃	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)]最大吊上能力25t吊	日		表9.1 機械賃料	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)]最大吊上能力70t吊	L		表9.1	配管材料材料費		式	1		諸 雑 費		式	1	表9.1	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
	土木一般世話役		人		表9.1																																																																																																																																
	と び 工		〃		〃																																																																																																																																
	溶 接 工		〃		〃																																																																																																																																
	潜 かん 工		〃		〃																																																																																																																																
	電 工		〃		〃																																																																																																																																
	普通作業員		〃		〃																																																																																																																																
	コンクリート		m ³		〃																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	日		表9.1 機械賃料																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	表9.1																																																																																																																																	
計																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
土木一般世話役		人		表9.1																																																																																																																																	
潜 かん 世話 役		〃		〃																																																																																																																																	
と び 工		〃		〃																																																																																																																																	
溶 接 工		〃		〃																																																																																																																																	
潜 かん 工		〃		〃																																																																																																																																	
電 工		〃		〃																																																																																																																																	
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																	
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																	
コンクリート		m ³		〃																																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)]最大吊上能力25t吊	日		表9.1 機械賃料																																																																																																																																	
クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)]最大吊上能力70t吊	L		表9.1																																																																																																																																	
配管材料材料費		式	1																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表9.1																																																																																																																																	
計																																																																																																																																					
	(19) 予備設備1工事当り単価表	(20) 予備設備1工事当り単価表																																																																																																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)</td> <td>台</td> <td></td> <td>表4.2 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値)定格容量35kVA</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)	台		表4.2 (必要数量計上)	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値)定格容量35kVA	〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)]</td> <td>台</td> <td></td> <td>表4.2 (必要数量計上)</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>[ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)]定格容量(50/60Hz)37/45kVA</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	空気圧縮機	[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)]	台		表4.2 (必要数量計上)	発 動 発 電 機	[ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)]定格容量(50/60Hz)37/45kVA	〃		〃	諸 雑 費		式	1		計																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)	台		表4.2 (必要数量計上)																																																																																																																																	
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値)定格容量35kVA	〃		〃																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																		
計																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
空気圧縮機	[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)]	台		表4.2 (必要数量計上)																																																																																																																																	
発 動 発 電 機	[ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)]定格容量(50/60Hz)37/45kVA	〃		〃																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																		
計																																																																																																																																					
	(20) 送気用配管設備組立・解体100m当り単価表	(21) 送気用配管設備組立・解体100m当り単価表																																																																																																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表9.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>配 管 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表9.2	普通作業員		〃		〃	配 管 工		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表9.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>配 管 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>配管材料材料費</td> <td></td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表9.2	普通作業員		〃		〃	配 管 工		〃		〃	配管材料材料費		m	100		諸 雑 費		式	1	表9.2	計																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
土木一般世話役		人		表9.2																																																																																																																																	
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																	
配 管 工		〃		〃																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																	
計																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
土木一般世話役		人		表9.2																																																																																																																																	
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																	
配 管 工		〃		〃																																																																																																																																	
配管材料材料費		m	100																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表9.2																																																																																																																																	
計																																																																																																																																					

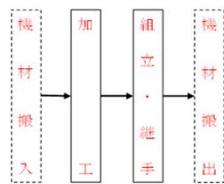
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																						
ニューマチックケーソン工	<p>(21) 酸素集合装置設置・撤去（マンロック・ホスピタルロック用）1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表10.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(22) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ</td> <td>[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100 mm</td> <td>機-14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク ロー ク レ ー ン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊</td> <td>機-16</td> <td>燃 料 消 費 量→122 機 械 賃 料 数 量→ 2.15</td> </tr> <tr> <td>ク ロー ク レ ー ン (艦 装 ・ 足 場 用)</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊</td> <td>機-16</td> <td>燃 料 消 費 量 (艦 装) → 61 (足 場) → 60 機 械 賃 料 数 量 → 1.00</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 79 機 械 損 料 数 量 → 1.00</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特 殊 作 業 員		人		表10.3	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100 mm	機-14		ク ロー ク レ ー ン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	機-16	燃 料 消 費 量→122 機 械 賃 料 数 量→ 2.15	ク ロー ク レ ー ン (艦 装 ・ 足 場 用)	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	機-16	燃 料 消 費 量 (艦 装) → 61 (足 場) → 60 機 械 賃 料 数 量 → 1.00	コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 79 機 械 損 料 数 量 → 1.00	<p>(22) 酸素集合装置設置・撤去（マンロック・ホスピタルロック用）1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表10.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(23) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ</td> <td>[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100 mm</td> <td>機-14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク ロー ク レ ー ン (2 の 組) 掘 削 用</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力70t吊</td> <td>機-16</td> <td>燃 料 消 費 量 → 98 機 械 賃 料 数 量 → 1.00</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車</td> <td>[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m³/h</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 79 機 械 損 料 数 量 → 1.00</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特 殊 作 業 員		人		表10.4	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100 mm	機-14		ク ロー ク レ ー ン (2 の 組) 掘 削 用	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力70t吊	機-16	燃 料 消 費 量 → 98 機 械 賃 料 数 量 → 1.00	コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車	[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m ³ /h	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 79 機 械 損 料 数 量 → 1.00	
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																				
特 殊 作 業 員		人		表10.3																																																																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																					
計																																																																																									
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																						
工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100 mm	機-14																																																																																							
ク ロー ク レ ー ン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	機-16	燃 料 消 費 量→122 機 械 賃 料 数 量→ 2.15																																																																																						
ク ロー ク レ ー ン (艦 装 ・ 足 場 用)	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 50t吊	機-16	燃 料 消 費 量 (艦 装) → 61 (足 場) → 60 機 械 賃 料 数 量 → 1.00																																																																																						
コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 79 機 械 損 料 数 量 → 1.00																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																					
特 殊 作 業 員		人		表10.4																																																																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																					
計																																																																																									
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																						
工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	[普通型(潜水ポンプ)] 口径φ100 mm	機-14																																																																																							
ク ロー ク レ ー ン (2 の 組) 掘 削 用	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力70t吊	機-16	燃 料 消 費 量 → 98 機 械 賃 料 数 量 → 1.00																																																																																						
コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車	[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m ³ /h	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 79 機 械 損 料 数 量 → 1.00																																																																																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
鉄筋工		<p>⑥ 鉄 筋 工</p> <p>1. 適 用 範 囲 本資料は、河川・海岸・道路・水路・橋梁・トンネル等の鉄筋構造物のうち、現場における加工・組立及び継手に適用する。 なお、鉄筋は普通鉄筋、異形棒鋼間わず適用できるものとする。また、鉄筋工の継手は重ね継手を標準とし、ガス圧接継手や機械式継手（グラウト）、機械式継手（ねじ加工）の場合は材料費・設置手間を別途計上する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 1-1-1 加工・組立 (1) 一般構造物（鉄筋径：10mm～51mm） (2) 橋梁用床版（鉄筋径：13mm～25mm） (3) 場所打ち杭の鉄筋かご（鉄筋径：13mm～35mm） (4) トンネル内構造物（鉄筋径：10mm～51mm） (5) 差筋および杭頭処理（鉄筋径：10mm～51mm）</p> <p>1-1-2 継手 (1) 鉄筋構造物の組立作業における手動式（半自動式）のガス圧接継手 (2) 鉄筋径16mm～51mmまでのガス圧接継手 (3) 現場で打設する鉄筋コンクリート構造物の組立作業における軸方向鉄筋の機械式継手工 (4) ロックナットが無く、有機系グラウト材を用いるねじ節鉄筋継手（グラウト固定方式） (5) スリーブ圧着ネジ継手、摩擦圧接ネジ継手 (6) 鉄筋径13mm～51mmまでの機械式継手</p> <p>1-2 適用できない範囲 1-2-1 加工・組立 (1) ダム本体工事における鉄筋工 (2) 鉄筋工の歩掛が個別に設定されている工種（コンクリートブロック積（張）工、コンクリート舗装工、橋梁地覆補修工、ポストテンション桁製作工、PC橋架設工、ポストテンション場所打ホロースラブ橋工、ポストテンション場所打箱桁橋工、伸縮装置工、沓座拡幅工）</p> <p>1-2-2 継手 (1) 熱間押抜法によるガス圧接継手 (2) ブレキャスト（継手内蔵）、コンクリート打継面（鉄筋継手を一断面に集めて配置）の接合 (3) ロックナット付、無機系グラウト材を用いるねじ節鉄筋継手（グラウト固定方式） (4) モルタル充填継手</p> <p>2. 施 工 概 要 2-1 施工内容 2-1-1 加工・組立 鉄筋を設計図に示された形状及び寸法に一致するように、鉄筋加工機等を用いて加工し、鉄筋結束線等により組立てる工法である。</p> <p>2-1-2 ガス圧接継手 2本の鉄筋を酸素とアセチレンなどの可燃性ガスの火炎によって金属端面を高温に加熱し、同時に軸方向の圧力をかけることで接合を行う工法である。</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																	
鉄筋工		<p>2-1-3 機械式継手（グラウト） 2本の鉄筋を、カプラー（スリーブ）と鉄筋の隙間に高強度のグラウト材を注入・硬化させることで接合を行う工法である。</p> <p>2-1-4 機械式継手（ねじ加工） 2本の鉄筋を、グラウトを使わず、ロックナット等をトルクレンチ等で締め付けることで機械的に固定し接合を行う工法である。</p> <p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー図</p> <p>3. 施 工 歩 掛 3-1 加工 3-1-1 施工歩掛 加工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 加工歩掛 (1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="6">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>10~13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td>＃</td> <td></td> <td>2.3</td> <td>1.7</td> <td>1.2</td> <td>1.1</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>＃</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>日</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td></td> <td colspan="6">12</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さを問わず、同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. フック鉄筋以外の定着工法用の鉄筋加工費、鉄筋のねじ切り加工費は別途計上する。 5. フレア溶接を行う場合は、フレア溶接費用を別途計上する。 6. 諸経費は鉄筋曲機・鉄筋切断機・電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 鉄筋加工に伴う現場内小運搬を含む。</p>	名 称	単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)						10~13	16~25	29~32	35	38	41	51	土木一般世話役	人		0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	鉄 筋 工	＃		2.3	1.7	1.2	1.1	1.0	1.0	0.8	普 通 作 業 員	＃		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	ラフテレーン クレーン運転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	諸 雑 費	%		12						
名 称	単 位	規 格				鉄 筋 径 (mm)																																																														
			10~13	16~25	29~32	35	38	41	51																																																											
土木一般世話役	人		0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1																																																											
鉄 筋 工	＃		2.3	1.7	1.2	1.1	1.0	1.0	0.8																																																											
普 通 作 業 員	＃		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1																																																											
ラフテレーン クレーン運転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04																																																											
諸 雑 費	%		12																																																																	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																							
鉄筋工		<p>3-1-2 鉄筋使用量 鉄筋の使用量は次式による。 使用量 (t) = 設計量 (t) × (1+K)式3.1 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロ</td> <td style="text-align: center;">ス</td> <td style="text-align: center;">率</td> <td style="text-align: center;">+0.03</td> </tr> </table> <p>3-2 組立 3-2-1 一般構造物 一般構造物における組立の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 組立歩掛(一般構造物) (1t 当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="7">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>10~13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td>〃</td> <td></td> <td>3.5</td> <td>2.9</td> <td>2.1</td> <td>1.7</td> <td>1.4</td> <td>1.2</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン 運 転</td> <td>日</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">8</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. 組立架台や組立鋼材(形鋼)を必要とする場合には、別途計上する。 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	ロ	ス	率	+0.03	名 称	単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)							10~13	16~25	29~32	35	38	41	51	土木一般世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	鉄 筋 工	〃		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1	普 通 作 業 員	〃		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	ラフテレーン クレーン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	諸 雑 費	%		8				11			
ロ	ス	率	+0.03																																																																							
名 称	単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)																																																																							
			10~13	16~25	29~32	35	38	41	51																																																																	
土木一般世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1																																																																	
鉄 筋 工	〃		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1																																																																	
普 通 作 業 員	〃		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																	
ラフテレーン クレーン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11																																																																	
諸 雑 費	%		8				11																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																		
鉄筋工		<p>3-2-2 橋梁用床版 橋梁用床版における組立の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 組立歩掛(橋梁用床版) (1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="2">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>13</th> <th>16~25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td>#</td> <td></td> <td>3.2</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>#</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>日</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊</td> <td>0.07</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td></td> <td colspan="2">14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. 組立架台や組立鋼材(形鋼)を必要とする場合には、別途計上する。 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-2-3 場所打鉄筋かご 場所打鉄筋かごにおける組立の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 組立歩掛(場所打鉄筋かご) (1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="4">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td>#</td> <td>2.8</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>#</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td colspan="4">6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 組立架台を必要とする場合には、別途計上する。 4. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 5. 場所打杭用かご筋をあらかじめ掘削坑内以外において組立てる場合に適用し、掘削坑内ではかご状に組立てる場合については「一般構造物」を適用する。 6. 固定金具や補強材(補強リング)の設置手間は含むが、材料費は含まない。 7. 場所打杭用かご筋は、固定金具、補強材およびスペーサの重量は含まない。ただし、補強材およびスペーサに異形棒鋼または丸鋼を使用する場合は、補強材およびスペーサの重量を加算する。 8. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)		13	16~25	土木一般世話役	人		0.4	0.4	鉄 筋 工	#		3.2	2.6	普 通 作 業 員	#		0.2	0.2	ラフテレーン クレーン運転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊	0.07	0.07	諸 雑 費	%		14		名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)				13	16~25	29~32	35	土木一般世話役	人	0.4	0.3	0.2	0.2	鉄 筋 工	#	2.8	2.1	1.6	1.1	普 通 作 業 員	#	0.2	0.2	0.1	0.1	諸 雑 費	%	6				
名 称	単 位	規 格				鉄 筋 径 (mm)																																																															
			13	16~25																																																																	
土木一般世話役	人		0.4	0.4																																																																	
鉄 筋 工	#		3.2	2.6																																																																	
普 通 作 業 員	#		0.2	0.2																																																																	
ラフテレーン クレーン運転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊	0.07	0.07																																																																	
諸 雑 費	%		14																																																																		
名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)																																																																			
		13	16~25	29~32	35																																																																
土木一般世話役	人	0.4	0.3	0.2	0.2																																																																
鉄 筋 工	#	2.8	2.1	1.6	1.1																																																																
普 通 作 業 員	#	0.2	0.2	0.1	0.1																																																																
諸 雑 費	%	6																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																							
鉄筋工		<p>3-2-4 トンネル内構造物 トンネル内構造物における組立の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 組立歩掛(トンネル内構造物) (1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="7">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>10~13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td>#</td> <td></td> <td>3.5</td> <td>2.9</td> <td>2.1</td> <td>1.7</td> <td>1.4</td> <td>1.2</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td>#</td> <td></td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td></td> <td colspan="4">8</td> <td colspan="3">11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. 組立架台や組立鋼材(形鋼)を必要とする場合には、別途計上する。 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-2-5 差筋および杭頭処理 差筋および杭頭処理の組立歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 組立歩掛(差筋および杭頭処理) (1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="7">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>10~13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td>#</td> <td>3.3</td> <td>2.8</td> <td>2.0</td> <td>1.6</td> <td>1.3</td> <td>1.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>#</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td colspan="7">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 4. 諸雑費は電気溶接機、電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)							10~13	16~25	29~32	35	38	41	51	トンネル世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	トンネル特殊工	#		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1	トンネル作業員	#		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	ラフテレーンクレーン運転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	諸 雑 費	%		8				11			名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)							10~13	16~25	29~32	35	38	41	51	土木一般世話役	人	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	鉄 筋 工	#	3.3	2.8	2.0	1.6	1.3	1.1	1.0	普 通 作 業 員	#	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	諸 雑 費	%	2							
名 称	単 位	規 格				鉄 筋 径 (mm)																																																																																																																				
			10~13	16~25	29~32	35	38	41	51																																																																																																																	
トンネル世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1																																																																																																																	
トンネル特殊工	#		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1																																																																																																																	
トンネル作業員	#		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン運転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11																																																																																																																	
諸 雑 費	%		8				11																																																																																																																			
名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)																																																																																																																								
		10~13	16~25	29~32	35	38	41	51																																																																																																																		
土木一般世話役	人	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1																																																																																																																		
鉄 筋 工	#	3.3	2.8	2.0	1.6	1.3	1.1	1.0																																																																																																																		
普 通 作 業 員	#	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																																																																		
諸 雑 費	%	2																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																										
鉄筋工		<p>3-3 継手 3-3-1 ガス圧接継手 構造物等によりガス圧接継手を必要とする場合には、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 ガス圧接継手歩掛 (100個所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="6">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>2.5</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td>2.9</td> <td>4.3</td> <td>5.0</td> <td>6.1</td> <td>10.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td>1.0</td> <td>1.3</td> <td>1.6</td> <td>1.9</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>アセチレンガス</td> <td>kg</td> <td>5.0</td> <td>6.5</td> <td>21.0</td> <td>35.0</td> <td>38.5</td> <td>105.0</td> </tr> <tr> <td>酸 素</td> <td>m3</td> <td>5.0</td> <td>6.5</td> <td>14.0</td> <td>23.0</td> <td>27.4</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td colspan="6">8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。 4. 圧接前の配筋および圧接後の鉄筋の切断費用、試験費用は含まない。 5. 諸雑費はガス圧接装置・電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-3-2 機械式継手(グラウト) (1) 施工歩掛 構造物等により機械式継手(グラウト)を必要とする場合には、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 機械式継手(グラウト)歩掛 (100個所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="7">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>〃</td> <td>3.4</td> <td>4.0</td> <td>4.5</td> <td>4.7</td> <td>4.8</td> <td>5.0</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td colspan="7">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。 4. グラウト材については、必要量を計上する。 5. 諸雑費は手動式注入器等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)						16~25	29~32	35	38	41	51	土木一般世話役	人	0.2	0.5	0.6	0.8	0.9	1.5	鉄筋工	〃	0.5	1.3	1.7	2.1	2.5	4.2	溶接工	〃	1.2	2.9	4.3	5.0	6.1	10.2	普通作業員	〃	0.4	1.0	1.3	1.6	1.9	3.2	アセチレンガス	kg	5.0	6.5	21.0	35.0	38.5	105.0	酸 素	m3	5.0	6.5	14.0	23.0	27.4	70.0	諸 雑 費	%	8						名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)							13	16~25	29~32	35	38	41	51	土木一般世話役	人	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	鉄筋工	〃	3.4	4.0	4.5	4.7	4.8	5.0	5.3	普通作業員	〃	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	諸 雑 費	%	1							
名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)																																																																																																																											
		16~25	29~32	35	38	41	51																																																																																																																						
土木一般世話役	人	0.2	0.5	0.6	0.8	0.9	1.5																																																																																																																						
鉄筋工	〃	0.5	1.3	1.7	2.1	2.5	4.2																																																																																																																						
溶接工	〃	1.2	2.9	4.3	5.0	6.1	10.2																																																																																																																						
普通作業員	〃	0.4	1.0	1.3	1.6	1.9	3.2																																																																																																																						
アセチレンガス	kg	5.0	6.5	21.0	35.0	38.5	105.0																																																																																																																						
酸 素	m3	5.0	6.5	14.0	23.0	27.4	70.0																																																																																																																						
諸 雑 費	%	8																																																																																																																											
名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)																																																																																																																											
		13	16~25	29~32	35	38	41	51																																																																																																																					
土木一般世話役	人	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3																																																																																																																					
鉄筋工	〃	3.4	4.0	4.5	4.7	4.8	5.0	5.3																																																																																																																					
普通作業員	〃	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2																																																																																																																					
諸 雑 費	%	1																																																																																																																											

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																								
鉄筋工		<p>(2) グラウト材使用量 グラウト材の使用量は次式による。 使用量(個) = 設計量(個) × (1+K)式3.2 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.10 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">ロ</td> <td style="padding: 2px;">ス</td> <td style="padding: 2px;">率</td> <td style="padding: 2px;">+0.03</td> </tr> </table> <p>3-3-3 機械式継手(ねじ加工) 構造物等により機械式継手(ねじ加工)を必要とする場合には、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 機械式継手(ねじ加工)歩掛 (100個所当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="7">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>#</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>2.5</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。 4. 鉄筋本体の材料費は異形棒鋼を計上する。 5. 諸雑費はトルクレンチ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	ロ	ス	率	+0.03	名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)							13	16~25	29~32	35	38	41	51	土木一般世話役	人	0.8	1.0	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5	鉄筋工	#	1.3	1.7	2.1	2.2	2.4	2.5	2.7	普通作業員	#	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	諸 雑 費	%	1							
ロ	ス	率	+0.03																																																								
名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)																																																									
		13	16~25	29~32	35	38	41	51																																																			
土木一般世話役	人	0.8	1.0	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5																																																			
鉄筋工	#	1.3	1.7	2.1	2.2	2.4	2.5	2.7																																																			
普通作業員	#	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6																																																			
諸 雑 費	%	1																																																									

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																												
鉄筋工		<p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 鉄筋加工1t当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 材 料</td> <td>径〇〇mm</td> <td>t</td> <td></td> <td>式3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 鉄筋組立(一般構造物) 1t当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 鉄筋組立(橋梁用床版) 1t当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 鉄筋組立(場所打鉄筋かご) 1t当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃	油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		〃 機械賃料	鉄 筋 材 料	径〇〇mm	t		式3.1	諸 雑 費		式	1	表3.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.3	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃	油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		〃 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表3.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.4	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃	油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		〃 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表3.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.5	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	表3.5	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																											
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン賃	油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		〃 機械賃料																																																																																																																																											
鉄 筋 材 料	径〇〇mm	t		式3.1																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表3.1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.3																																																																																																																																											
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン賃	油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		〃 機械賃料																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表3.3																																																																																																																																											
計																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.4																																																																																																																																											
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン賃	油圧伸縮ジブ型 排出対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		〃 機械賃料																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表3.4																																																																																																																																											
計																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.5																																																																																																																																											
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表3.5																																																																																																																																											
計																																																																																																																																															

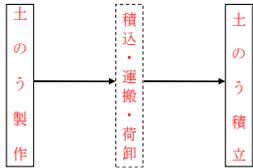
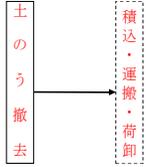
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																						
鉄筋工		<p>(5) 鉄筋組立（トンネル内構造物）1t当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排田対策型（2014年規制） 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 鉄筋組立（差筋および杭頭処理）1t当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.7</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) ガス圧接継手100箇所当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.8</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アセチレンガス</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>酸 素</td> <td></td> <td>m3</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) 機械式継手（グラウト）100箇所当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.9</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>継 手</td> <td></td> <td>セット</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グ ラ ウ ト 材</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>式3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表3.6	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃	油圧伸縮ジブ型 排田対策型（2014年規制） 最大吊上能力25t吊	日		〃 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表3.6	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.7	鉄 筋 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.8	鉄 筋 工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	アセチレンガス		kg		〃	酸 素		m3		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.9	鉄 筋 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	継 手		セット	100		グ ラ ウ ト 材		個		式3.2	諸 雑 費		式	1	表3.9	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
トンネル世話役		人		表3.6																																																																																																																																																					
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																					
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン賃	油圧伸縮ジブ型 排田対策型（2014年規制） 最大吊上能力25t吊	日		〃 機械賃料																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表3.6																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人		表3.7																																																																																																																																																					
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																																					
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人		表3.8																																																																																																																																																					
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																																					
溶 接 工		〃		〃																																																																																																																																																					
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																					
アセチレンガス		kg		〃																																																																																																																																																					
酸 素		m3		〃																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人		表3.9																																																																																																																																																					
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																																					
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																					
継 手		セット	100																																																																																																																																																						
グ ラ ウ ト 材		個		式3.2																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表3.9																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																			
鉄筋工		<p style="color: red; font-size: small;">(9) 機械式継手（ねじ加工）100箇所当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.11</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>継 手</td> <td></td> <td>セット</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.11</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.11	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	継 手		セット	100		諸 雑 費		式	1	表3.11	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																		
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.11																																		
鉄 筋 工		〃		〃																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																		
継 手		セット	100																																			
諸 雑 費		式	1	表3.11																																		
計																																						

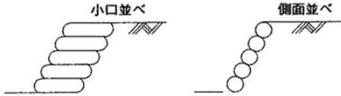
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
土のう工		<p>⑧ 土のう工</p> <p>⑧-1 土のう工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、簡易な仮締切工のうち、1段以上の小口並べまたは側面並べによる土のう積に適用するものとし、製作・積立・撤去の各作業からなるものとする。</p> <p>また、施工基面から1.0m以下の積立作業に適用する。</p> <p>ただし、乱積による土のう積の場合は適用しない。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 製作・積立</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(2) 撤去</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図2.1 施工フロー</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																					
土のう工		<p>3. 施 工 歩 掛</p> <p>3-1 土のう製作・積立歩掛 土のう製作・積立歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3. 1 土のう製作・積立歩掛 (人/100袋当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">土 木 一 般 世 話 役</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">2.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土のうを製作してから積立までの現場内小運搬を含む。 なお、現場内小運搬は10m程度とする。 2. 製作現場と積立現場が異なる場合は、積込、運搬、荷卸などの必要な費用を別途計上する。 3. 諸雑費は、スコップ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3-2 土のう撤去歩掛 土のう撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3. 2 土のう撤去歩掛 (人/100袋当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 撤去は、中詰材排出の有無を問わず適用する。 2. 中詰材排出後の袋材等の現場内小運搬及び、再利用を目的とした仮置き場までの現場内小運搬を含む。なお、現場内小運搬は10m程度とする。 3. 排出した中詰材の積込・運搬が必要な場合は、「第5編第2章土工②土工」により別途計上する。 4. 撤去した既設土のうを再積立する作業や撤去現場と再積立現場が異なる場合の積込、荷卸、運搬などの必要な費用は別途計上する。 5. 中詰材排出後の袋材の運搬及び処分費が必要な場合は、別途計上する。 6. 諸雑費は、カッター等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役	人	0.2	普 通 作 業 員	人	2.9	諸 雑 費 率	%	0.3	名 称	単 位	数 量	普 通 作 業 員	人	1.6	諸 雑 費 率	%	0.2	
名 称	単 位	数 量																						
土 木 一 般 世 話 役	人	0.2																						
普 通 作 業 員	人	2.9																						
諸 雑 費 率	%	0.3																						
名 称	単 位	数 量																						
普 通 作 業 員	人	1.6																						
諸 雑 費 率	%	0.2																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																					
土のう工		<p>3-3 土のう積材料使用数量 材料は化学繊維土のうとし、使用数量については、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3. 3 土のう積材料使用数量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="2">袋数/m2当り</th> <th colspan="2">詰土量・質量/袋</th> </tr> <tr> <th>小口並べ</th> <th>側面並べ</th> <th>m3/袋</th> <th>kg/袋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表3.4</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>0.02</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土のう袋数 = 1 m² 当り袋数 × 直高 (m) × 延長 (m) 2. 複数列設置の場合は各列で面積を算出し合計値を計上すること。 3. 個数管理しかできない場合においては上表1m²当り個数から割り戻した面積値にて計上すること。 4. 規格については、表3.4を適用する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>(注) 詰土量は地山土量とする。 図 3-1 施工図</p> </div> <p style="text-align: center;">表 3. 4 土のう規格表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土のう</td> <td rowspan="2">62cm × 48cm</td> <td>普通</td> </tr> <tr> <td>耐候性</td> </tr> </tbody> </table>	規 格	袋数/m2当り		詰土量・質量/袋		小口並べ	側面並べ	m3/袋	kg/袋	表3.4	17	14	0.02	40	名 称	規 格	種 類	土のう	62cm × 48cm	普通	耐候性	
規 格	袋数/m2当り			詰土量・質量/袋																				
	小口並べ	側面並べ	m3/袋	kg/袋																				
表3.4	17	14	0.02	40																				
名 称	規 格	種 類																						
土のう	62cm × 48cm	普通																						
		耐候性																						

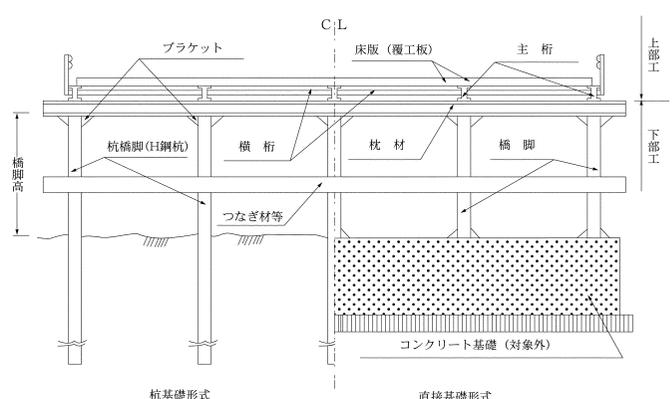
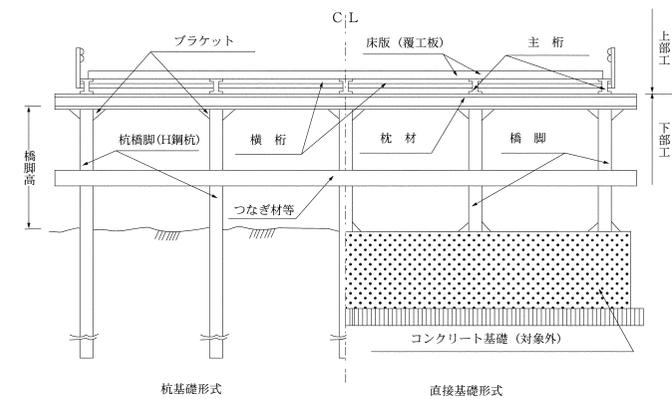
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																			
土のう工		<p style="color: red; margin: 0;">4. 単 価 表</p> <p style="color: red; margin: 0;">(1) 土のう積工 10m² 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>土 の う</td> <td>各種</td> <td>袋</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 砂		m ³		表3.3	土 の う	各種	袋		〃	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1	普 通 作 業 員		人		表3.1, 表3.2	諸 雑 費		式	1	表3.1, 表3.2	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																		
土 砂		m ³		表3.3																																		
土 の う	各種	袋		〃																																		
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1																																		
普 通 作 業 員		人		表3.1, 表3.2																																		
諸 雑 費		式	1	表3.1, 表3.2																																		
計																																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
仮橋・仮栈橋工	<p>⑩ 仮橋・仮栈橋工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼製による仮橋及び仮栈橋の上部工（桁の架設・撤去、覆工板設置・撤去、高欄設置・撤去）と下部工（橋脚設置・撤去、杭橋脚打込・引抜及び設置・撤去）で、支間長39m以下に適用する。 ただし、下部工は橋脚高24m以下とし、橋脚と杭橋脚の区分については、図2-2 仮橋・仮栈橋工概念図による。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	<p>⑨ 仮橋・仮栈橋工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼製による仮橋及び仮栈橋の上部工（桁の架設・撤去、覆工板設置・撤去、高欄設置・撤去）と下部工（橋脚設置・撤去、杭橋脚打込・引抜及び設置・撤去）で、支間長30m以下に適用する。 ただし、下部工は橋脚高24m以下とし、橋脚と杭橋脚の区分については、図2-2 仮橋・仮栈橋工概念図による。 なお、主桁構造はH形鋼主桁及び仮設鉄桁を対象とし、仮設トラス桁は対象外とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																				
仮橋・仮栈橋 工	<p>参考図(概念図) 橋脚、杭橋脚等の区分は、次図による。</p>  <p>図2-2 仮橋・仮栈橋工概念図</p> <p>3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="358 925 1030 1117"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接基礎形式</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) ○○t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭基礎形式</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) ○○t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クレーンは、最大部材質量(地組がある場合は、地組部材質量)、作業半径・吊上げ高及び主桁等の架設・撤去、高欄設置・撤去、覆工板設置・撤去、橋脚設置・撤去、導枠設置・撤去等の工程を配慮し、同一機種で選定することを標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、現場条件に適合した機種とすることが出来る。 2. ラフテレーンクレーンは賃料、クローラクレーンは損料とする。 3. 杭橋脚打込・引抜、導杭打込・引抜については、表4. 8より選定する。 4. ラフテレーンクレーンで35t吊を選定した場合は、排出ガス対策型(2011年規制)とする。</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	直接基礎形式	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) ○○t吊	台	1		杭基礎形式	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) ○○t吊	〃	1		<p>参考図(概念図) 橋脚、杭橋脚等の区分は、次図による。</p>  <p>図2-2 仮橋・仮栈橋工概念図</p> <p>3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="1187 925 1859 1117"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接基礎形式</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力○○t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭基礎形式</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力○○t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クレーンは、最大部材質量(地組がある場合は、地組部材質量)、作業半径・吊上げ高及び主桁等の架設・撤去、高欄設置・撤去、覆工板設置・撤去、橋脚設置・撤去、導枠設置・撤去等の工程を配慮し、同一機種で選定することを標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、現場条件に適合した機種とすることが出来る。 2. ラフテレーンクレーンは賃料、クローラクレーンは損料とする。 3. 杭橋脚打込・引抜、導杭打込・引抜については、表4. 8より選定する。 4. ラフテレーンクレーンで35t吊を選定した場合は、排出ガス対策型(2011年規制)とする。</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	直接基礎形式	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力 ○○t吊	台	1		杭基礎形式	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力 ○○t吊	〃	1		
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																																		
直接基礎形式	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) ○○t吊	台	1																																			
杭基礎形式	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) ○○t吊	〃	1																																			
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																																		
直接基礎形式	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力 ○○t吊	台	1																																			
杭基礎形式	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力 ○○t吊	〃	1																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																								
仮橋・仮栈橋 工	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 上部工</p> <p>4-1-1 架設・撤去工</p> <p style="font-size: small;">上部工の架設・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 架設・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>架 設</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.62</td> <td>0.34</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.1</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.41</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>0.58</td> <td>0.29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 高力ボルトの材料費は、必要数量を別途計上する。 2. 本歩掛には、地組・解体作業及び架設に伴う本締めも含む。 3. 架設・撤去の対象質量は、架設・撤去すべき主桁、横桁の質量で、高力ボルト、覆工板、高欄の質量は含まない。 4. 諸雑費は、電力に関する経費、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、仮固定用の挟締金具、電動レンチ、吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-1-2 覆工板設置・撤去工</p> <p style="font-size: small;">覆工板設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 覆工板設置・撤去工歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.45</td> <td>0.27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>0.80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.27</td> <td>0.12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>0.47</td> <td>0.21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 上表には、路面のすりつけ作業は含まない。 2. 諸雑費は、吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	架 設	撤 去	橋りょう世話役		人	0.62	0.34		橋りょう特殊工		〃	2.1	1.0		溶 接 工		〃	—	0.13		普 通 作 業 員		〃	0.41	0.17		ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連	〇〇t吊	日	0.58	0.29		諸 雑 費 率		%	6	5		名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	土 木 一 般 世 話 役		人	0.45	0.27		と び 工		〃	1.5	0.80		普 通 作 業 員		〃	0.27	0.12		ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連	〇〇t吊	日	0.47	0.21		諸 雑 費 率		%	2	2		<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 上部工</p> <p>4-1-1 架設・撤去工</p> <p style="font-size: small;">上部工の架設・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 架設・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">H 形 鋼 主 桁</th> <th colspan="2">仮 設 鋸 桁</th> </tr> <tr> <th>架 設</th> <th>撤 去</th> <th>架 設</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.63</td> <td>0.36</td> <td>0.81</td> <td>0.46</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> <td>1.4</td> <td>2.7</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.06</td> <td>—</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.52</td> <td>0.41</td> <td>0.60</td> <td>0.47</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連</td> <td>最大吊上能力〇〇t 吊</td> <td>日</td> <td>0.77</td> <td>0.57</td> <td>1.0</td> <td>0.74</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 高力ボルトの材料費は、必要数量を別途計上する。 2. 本歩掛には、地組・解体作業及び架設に伴う本締めも含む。 3. 架設・撤去の対象質量は、架設・撤去すべき主桁、横桁の質量で、高力ボルト、覆工板、高欄の質量は含まない。 4. H形鋼主桁の諸雑費は、電力に関する経費、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、仮固定用の挟締金具、電動レンチ、吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 仮設鋸桁の諸雑費は、電力に関する経費、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、仮固定用の挟締金具、電動レンチ、吊り具、地組用架台（敷鉄板及び山留材賃料）、転倒防止材（ジャックル及びレバーブロック）等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 1橋梁でH形鋼主桁と仮設鋸桁が混在する場合には、各主桁形式の歩掛をそれぞれに適用する。</p> <p>4-1-2 覆工板設置・撤去工</p> <p style="font-size: small;">覆工板設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 覆工板設置・撤去工歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.50</td> <td>0.33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.6</td> <td>0.74</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.45</td> <td>0.29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連</td> <td>最大吊上能力〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>0.57</td> <td>0.44</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 上表には、路面のすりつけ作業は含まない。 2. 諸雑費は、吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量				摘 要	H 形 鋼 主 桁		仮 設 鋸 桁		架 設	撤 去	架 設	撤 去	橋りょう世話役		人	0.63	0.36	0.81	0.46		橋りょう特殊工		〃	2.4	1.4	2.7	1.6		溶 接 工		〃	—	0.06	—	0.07		普 通 作 業 員		〃	0.52	0.41	0.60	0.47		ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連	最大吊上能力〇〇t 吊	日	0.77	0.57	1.0	0.74		諸 雑 費 率		%	5	5	8	9		名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	土 木 一 般 世 話 役		人	0.50	0.33		と び 工		〃	1.6	0.74		普 通 作 業 員		〃	0.45	0.29		ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連	最大吊上能力〇〇t吊	日	0.57	0.44		諸 雑 費 率		%	2	3		
	名 称				規 格	単 位		数 量		摘 要																																																																																																																																																																																	
架 設		撤 去																																																																																																																																																																																									
橋りょう世話役		人	0.62	0.34																																																																																																																																																																																							
橋りょう特殊工		〃	2.1	1.0																																																																																																																																																																																							
溶 接 工		〃	—	0.13																																																																																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	0.41	0.17																																																																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連	〇〇t吊	日	0.58	0.29																																																																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	6	5																																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																						
			設 置	撤 去																																																																																																																																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人	0.45	0.27																																																																																																																																																																																							
と び 工		〃	1.5	0.80																																																																																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	0.27	0.12																																																																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連	〇〇t吊	日	0.47	0.21																																																																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	2	2																																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量				摘 要																																																																																																																																																																																				
			H 形 鋼 主 桁		仮 設 鋸 桁																																																																																																																																																																																						
			架 設	撤 去	架 設	撤 去																																																																																																																																																																																					
橋りょう世話役		人	0.63	0.36	0.81	0.46																																																																																																																																																																																					
橋りょう特殊工		〃	2.4	1.4	2.7	1.6																																																																																																																																																																																					
溶 接 工		〃	—	0.06	—	0.07																																																																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	0.52	0.41	0.60	0.47																																																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連	最大吊上能力〇〇t 吊	日	0.77	0.57	1.0	0.74																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費 率		%	5	5	8	9																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																						
			設 置	撤 去																																																																																																																																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人	0.50	0.33																																																																																																																																																																																							
と び 工		〃	1.6	0.74																																																																																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	0.45	0.29																																																																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 連	最大吊上能力〇〇t吊	日	0.57	0.44																																																																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	2	3																																																																																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																								
仮橋・仮栈橋 工	<p>4-1-3 高欄設置・撤去工 高欄設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 高欄設置・撤去工歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ガードレール型</th> <th colspan="2">単管パイプ型</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.4</td> <td>0.87</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.0</td> <td>2.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>3.8</td> <td>2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.4</td> <td>0.40</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高欄型式は、仮橋はガードレール型、仮栈橋は単管パイプ型を標準とする。 2. 諸雑費は、高欄の組立・解体に必要な器具及び吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-2 下部工 4-2-1 橋脚設置・撤去工 (直接基礎形式) 橋脚設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 橋脚設置・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.7</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.2</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.1</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.6</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.5</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高力ボルトの材料費は、必要数量を別途計上する。 2. 橋脚設置に伴う本締めも含む。 3. 設置・撤去の対象質量は、設置・撤去すべき橋脚、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルトの質量は含まない。 4. 諸雑費は、電力に関する経費、電気溶接機(エンジン付)、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、ドリフトピン、仮締めボルト、インパクトレンチ、トルクレンチ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量				摘 要	ガードレール型		単管パイプ型		設 置	撤 去	設 置	撤 去	土木一般世話役		人	1.4	0.87	1.0	0.6		と び 工		〃	4.0	2.8	-	-		普通作業員		〃	1.0	1.2	3.8	2.1		ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	〇〇t吊	日	1.4	0.40	-	-		諸 雑 費 率		%	1	1	-	-		名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	橋りょう世話役		人	1.7	1.1		橋りょう特殊工		〃	4.2	3.0		溶 接 工		〃	1.1	1.0		普通作業員		〃	2.6	1.4		ラフテレーンクレーン 運	〇〇t吊	日	1.5	0.7		諸 雑 費 率		%	6	1		<p>4-1-3 高欄設置・撤去工 高欄設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 高欄設置・撤去工歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ガードレール型</th> <th colspan="2">単管パイプ型</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.4</td> <td>0.75</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.3</td> <td>2.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td>0.65</td> <td>3.8</td> <td>2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運</td> <td>最大吊上能力 〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.8</td> <td>0.97</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高欄型式は、仮橋はガードレール型、仮栈橋は単管パイプ型を標準とする。 2. 諸雑費は、高欄の組立・解体に必要な器具及び吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-2 下部工 4-2-1 橋脚設置・撤去工 (直接基礎形式) 橋脚設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 橋脚設置・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.1</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.1</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>0.74</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.2</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運</td> <td>最大吊上能力〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.5</td> <td>0.86</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>4</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高力ボルトの材料費は、必要数量を別途計上する。 2. 橋脚設置に伴う本締めも含む。 3. 設置・撤去の対象質量は、設置・撤去すべき橋脚、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルトの質量は含まない。 4. 諸雑費は、電力に関する経費、電気溶接機(エンジン付)、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、ドリフトピン、仮締めボルト、インパクトレンチ、トルクレンチ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量				摘 要	ガードレール型		単管パイプ型		設 置	撤 去	設 置	撤 去	土木一般世話役		人	1.4	0.75	1.0	0.6		と び 工		〃	4.3	2.3	-	-		普通作業員		〃	1.2	0.65	3.8	2.1		ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	最大吊上能力 〇〇t吊	日	1.8	0.97	-	-		諸 雑 費 率		%	2	2	-	-		名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	橋りょう世話役		人	2.1	1.2		橋りょう特殊工		〃	5.1	2.9		溶 接 工		〃	1.3	0.74		普通作業員		〃	3.2	1.8		ラフテレーンクレーン 運	最大吊上能力〇〇t吊	日	1.5	0.86		諸 雑 費 率		%	4	1		
	名 称				規 格	単 位	数 量				摘 要																																																																																																																																																																																																
ガードレール型							単管パイプ型																																																																																																																																																																																																				
設 置		撤 去	設 置	撤 去																																																																																																																																																																																																							
土木一般世話役		人	1.4	0.87	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																					
と び 工		〃	4.0	2.8	-	-																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1.0	1.2	3.8	2.1																																																																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	〇〇t吊	日	1.4	0.40	-	-																																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費 率		%	1	1	-	-																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																																						
			設 置	撤 去																																																																																																																																																																																																							
橋りょう世話役		人	1.7	1.1																																																																																																																																																																																																							
橋りょう特殊工		〃	4.2	3.0																																																																																																																																																																																																							
溶 接 工		〃	1.1	1.0																																																																																																																																																																																																							
普通作業員		〃	2.6	1.4																																																																																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン 運	〇〇t吊	日	1.5	0.7																																																																																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	6	1																																																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量				摘 要																																																																																																																																																																																																				
			ガードレール型		単管パイプ型																																																																																																																																																																																																						
			設 置	撤 去	設 置	撤 去																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1.4	0.75	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																					
と び 工		〃	4.3	2.3	-	-																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1.2	0.65	3.8	2.1																																																																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	最大吊上能力 〇〇t吊	日	1.8	0.97	-	-																																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費 率		%	2	2	-	-																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																																						
			設 置	撤 去																																																																																																																																																																																																							
橋りょう世話役		人	2.1	1.2																																																																																																																																																																																																							
橋りょう特殊工		〃	5.1	2.9																																																																																																																																																																																																							
溶 接 工		〃	1.3	0.74																																																																																																																																																																																																							
普通作業員		〃	3.2	1.8																																																																																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン 運	最大吊上能力〇〇t吊	日	1.5	0.86																																																																																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	4	1																																																																																																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																				
仮橋・仮栈橋工	<p>4-2-2 杭橋脚設置・撤去工（杭基礎形式）</p> <p>4-2-2-1 杭橋脚打込・引抜き</p> <p>(1) 機種を選定</p> <p>H形鋼の打込みに使用する電動式パイプロハンマの機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 機種を選定(打込み)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>パイプロハンマ施工</th> <th>ウォータージェット併用施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大 N 値</td> <td style="text-align: center;">Nmax<50</td> <td style="text-align: center;">50 ≤ Nmax ≤ 80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打込長</td> <td style="text-align: center;">20m以下</td> <td style="text-align: center;">60kW</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25m以下</td> <td style="text-align: center;">90kW</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用ウォータージェット</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">14.7MPa 325 ℓ/min×2台 (14.7MPa 325 ℓ/min×1台)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ウォータージェット併用施工における () 書きは、Nmax<50の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上する。</p> <p>2. 対象地盤の最大N値が50以上のものについては、次式により換算N値を求めたうえで適用する。</p> $\text{換算N値} = \frac{1,500}{\text{落下50回当り貫入量 (cm)}}$ <p>3. 打込長は、地表面よりのH形鋼の打込長であり、H形鋼長とは異なる。</p> <p>4. 本歩掛の適用範囲は、表4.6のとおりとするが、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 打込長</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H 形 鋼 形 式</th> <th>H200・250</th> <th>H300</th> <th>H350・400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">打 込 長 (m)</td> <td>パイプロハンマ施工</td> <td style="text-align: center;">13以下</td> <td style="text-align: center;">20以下</td> <td style="text-align: center;">25以下</td> </tr> <tr> <td>ウォータージェット併用施工</td> <td style="text-align: center;">16以下</td> <td style="text-align: center;">25以下</td> <td style="text-align: center;">25以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>H形鋼の引抜きに使用する電動式パイプロハンマの機械・規格は、N値に関係なく次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 機種を選定(引抜き)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>引 抜 長</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 形 鋼</td> <td style="text-align: center;">25m以下</td> <td style="text-align: center;">60kW</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 引抜長は、地表面よりのH形鋼の引抜長であり、H形鋼長とは異なる。</p>		パイプロハンマ施工	ウォータージェット併用施工	最大 N 値	Nmax<50	50 ≤ Nmax ≤ 80	打込長	20m以下	60kW	25m以下	90kW	杭打ち用ウォータージェット	—	14.7MPa 325 ℓ/min×2台 (14.7MPa 325 ℓ/min×1台)	H 形 鋼 形 式		H200・250	H300	H350・400	打 込 長 (m)	パイプロハンマ施工	13以下	20以下	25以下	ウォータージェット併用施工	16以下	25以下	25以下		引 抜 長	規 格	H 形 鋼	25m以下	60kW	<p>4-2-2 杭橋脚設置・撤去工（杭基礎形式）</p> <p>4-2-2-1 杭橋脚打込・引抜き</p> <p>(1) 機種を選定</p> <p>H形鋼の打込みに使用する電動式パイプロハンマの機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 機種を選定(打込み)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>パイプロハンマ施工</th> <th>ウォータージェット併用施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大 N 値</td> <td style="text-align: center;">Nmax<50</td> <td style="text-align: center;">50 ≤ Nmax ≤ 80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打込長</td> <td style="text-align: center;">20m以下</td> <td style="text-align: center;">60kW</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25m以下</td> <td style="text-align: center;">90kW</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用ウォータージェット</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">14.7MPa 325 ℓ/min×2台 (14.7MPa 325 ℓ/min×1台)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ウォータージェット併用施工における () 書きは、Nmax<50の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上する。</p> <p>2. 対象地盤の最大N値が50以上のものについては、次式により換算N値を求めたうえで適用する。</p> $\text{換算N値} = \frac{1,500}{\text{落下50回当り貫入量 (cm)}}$ <p>3. 打込長は、地表面よりのH形鋼の打込長であり、H形鋼長とは異なる。</p> <p>4. 本歩掛の適用範囲は、表4.6のとおりとするが、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 打込長</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H 形 鋼 形 式</th> <th>H200・250</th> <th>H300</th> <th>H350・400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">打 込 長 (m)</td> <td>パイプロハンマ施工</td> <td style="text-align: center;">13以下</td> <td style="text-align: center;">20以下</td> <td style="text-align: center;">25以下</td> </tr> <tr> <td>ウォータージェット併用施工</td> <td style="text-align: center;">16以下</td> <td style="text-align: center;">25以下</td> <td style="text-align: center;">25以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>H形鋼の引抜きに使用する電動式パイプロハンマの機械・規格は、N値に関係なく次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 機種を選定(引抜き)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>引 抜 長</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 形 鋼</td> <td style="text-align: center;">25m以下</td> <td style="text-align: center;">60kW</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 引抜長は、地表面よりのH形鋼の引抜長であり、H形鋼長とは異なる。</p>		パイプロハンマ施工	ウォータージェット併用施工	最大 N 値	Nmax<50	50 ≤ Nmax ≤ 80	打込長	20m以下	60kW	25m以下	90kW	杭打ち用ウォータージェット	—	14.7MPa 325 ℓ/min×2台 (14.7MPa 325 ℓ/min×1台)	H 形 鋼 形 式		H200・250	H300	H350・400	打 込 長 (m)	パイプロハンマ施工	13以下	20以下	25以下	ウォータージェット併用施工	16以下	25以下	25以下		引 抜 長	規 格	H 形 鋼	25m以下	60kW	
	パイプロハンマ施工	ウォータージェット併用施工																																																																					
最大 N 値	Nmax<50	50 ≤ Nmax ≤ 80																																																																					
打込長	20m以下	60kW																																																																					
	25m以下	90kW																																																																					
杭打ち用ウォータージェット	—	14.7MPa 325 ℓ/min×2台 (14.7MPa 325 ℓ/min×1台)																																																																					
H 形 鋼 形 式		H200・250	H300	H350・400																																																																			
打 込 長 (m)	パイプロハンマ施工	13以下	20以下	25以下																																																																			
	ウォータージェット併用施工	16以下	25以下	25以下																																																																			
	引 抜 長	規 格																																																																					
H 形 鋼	25m以下	60kW																																																																					
	パイプロハンマ施工	ウォータージェット併用施工																																																																					
最大 N 値	Nmax<50	50 ≤ Nmax ≤ 80																																																																					
打込長	20m以下	60kW																																																																					
	25m以下	90kW																																																																					
杭打ち用ウォータージェット	—	14.7MPa 325 ℓ/min×2台 (14.7MPa 325 ℓ/min×1台)																																																																					
H 形 鋼 形 式		H200・250	H300	H350・400																																																																			
打 込 長 (m)	パイプロハンマ施工	13以下	20以下	25以下																																																																			
	ウォータージェット併用施工	16以下	25以下	25以下																																																																			
	引 抜 長	規 格																																																																					
H 形 鋼	25m以下	60kW																																																																					

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																					
仮橋・仮栈橋工	<p>(2) 付属機械 バイプロハンマの付属機器の機械は、次表を標準とし、吊上げ能力については現場条件に適合した規格とすることが出来る。現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 付属機器の機械・規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">機 種</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">バイプロハンマ規格</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">電動式バイプロハンマ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">60kW</td> <td style="text-align: center;">90kW</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制))</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">○○t吊</td> </tr> </table> <p>(3) 編成人員 H形鋼の打込み、引抜作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.9 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施工区分</th> <th style="text-align: center;">土木一般 世話役</th> <th style="text-align: center;">とび工</th> <th style="text-align: center;">普通作業員</th> <th style="text-align: center;">特殊作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">バイプロハンマ施工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ウォータージェット併用施工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 日当り施工本数 H形鋼の日当り打込み、引抜本数(N)は、次表を標準とする。</p> <p>1) 電動式バイプロハンマによる施工 (N_{max}<50)</p> <p style="text-align: center;">表4.10 日当り施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">型式 打込長 (m)</th> <th style="text-align: center;">H200</th> <th style="text-align: center;">H250</th> <th style="text-align: center;">H300</th> <th style="text-align: center;">H350</th> <th style="text-align: center;">H400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">2以下</td><td style="text-align: center;">63</td><td style="text-align: center;">59</td><td style="text-align: center;">55</td><td style="text-align: center;">49</td><td style="text-align: center;">45</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4以下</td><td style="text-align: center;">47</td><td style="text-align: center;">40</td><td style="text-align: center;">35</td><td style="text-align: center;">28</td><td style="text-align: center;">24</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">6以下</td><td style="text-align: center;">38</td><td style="text-align: center;">31</td><td style="text-align: center;">26</td><td style="text-align: center;">20</td><td style="text-align: center;">17</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">8以下</td><td style="text-align: center;">32</td><td style="text-align: center;">25</td><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">16</td><td style="text-align: center;">13</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">10以下</td><td style="text-align: center;">27</td><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">13</td><td style="text-align: center;">10</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">13以下</td><td style="text-align: center;">23</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">14</td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">8</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">16以下</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">12</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">20以下</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">6</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">22以下</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">5</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">25以下</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 継施工が必要な場合、施工本数(N)は別途考慮する。</p>	機 種	バイプロハンマ規格		電動式バイプロハンマ				60kW	90kW	クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制))					○○t吊					施工区分	土木一般 世話役	とび工	普通作業員	特殊作業員	バイプロハンマ施工	1	2	1	-	ウォータージェット併用施工	1	2	1	1	型式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400	2以下	63	59	55	49	45	4以下	47	40	35	28	24	6以下	38	31	26	20	17	8以下	32	25	21	16	13	10以下	27	21	17	13	10	13以下	23	17	14	10	8	16以下	-	-	12	8	7	20以下	-	-	10	7	6	22以下	-	-	-	6	5	25以下	-	-	-	5	4	<p>(2) 付属機械 バイプロハンマの付属機器の機械は、次表を標準とし、吊上げ能力については現場条件に適合した規格とすることが出来る。現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 付属機器の機械・規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">機 種</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">バイプロハンマ規格</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">電動式バイプロハンマ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">60kW</td> <td style="text-align: center;">90kW</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制))</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">最大吊上能力○○t吊</td> </tr> </table> <p>(3) 編成人員 H形鋼の打込み、引抜作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.9 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施工区分</th> <th style="text-align: center;">継施工の有無</th> <th style="text-align: center;">土木一般 世話役</th> <th style="text-align: center;">とび工</th> <th style="text-align: center;">普通作業員</th> <th style="text-align: center;">特殊作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">バイプロハンマ施工</td> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ウォータージェット併用施工</td> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 日当り施工本数 1) 打込み(継施工無し) H形鋼の日当り打込み本数(N)は、次表を標準とする。 ①電動式バイプロハンマによる施工 (N_{max}<50)</p> <p style="text-align: center;">表4.10 日当り施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">型式 打込長 (m)</th> <th style="text-align: center;">H200</th> <th style="text-align: center;">H250</th> <th style="text-align: center;">H300</th> <th style="text-align: center;">H350</th> <th style="text-align: center;">H400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">2以下</td><td style="text-align: center;">63</td><td style="text-align: center;">59</td><td style="text-align: center;">55</td><td style="text-align: center;">49</td><td style="text-align: center;">45</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4以下</td><td style="text-align: center;">47</td><td style="text-align: center;">40</td><td style="text-align: center;">35</td><td style="text-align: center;">28</td><td style="text-align: center;">24</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">6以下</td><td style="text-align: center;">38</td><td style="text-align: center;">31</td><td style="text-align: center;">26</td><td style="text-align: center;">20</td><td style="text-align: center;">17</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">8以下</td><td style="text-align: center;">32</td><td style="text-align: center;">25</td><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">16</td><td style="text-align: center;">13</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">10以下</td><td style="text-align: center;">27</td><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">13</td><td style="text-align: center;">10</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">13以下</td><td style="text-align: center;">23</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">14</td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">8</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">16以下</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">12</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">20以下</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">6</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">22以下</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">5</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">25以下</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </tbody> </table>	機 種	バイプロハンマ規格		電動式バイプロハンマ				60kW	90kW	クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制))					最大吊上能力○○t吊					施工区分	継施工の有無	土木一般 世話役	とび工	普通作業員	特殊作業員	バイプロハンマ施工	無し	1	2	1	-	有り	1	3	1	-	ウォータージェット併用施工	無し	1	2	1	1	有り	1	3	1	1	型式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400	2以下	63	59	55	49	45	4以下	47	40	35	28	24	6以下	38	31	26	20	17	8以下	32	25	21	16	13	10以下	27	21	17	13	10	13以下	23	17	14	10	8	16以下	-	-	12	8	7	20以下	-	-	10	7	6	22以下	-	-	-	6	5	25以下	-	-	-	5	4	
機 種	バイプロハンマ規格		電動式バイプロハンマ																																																																																																																																																																																																																					
			60kW	90kW																																																																																																																																																																																																																				
クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制))																																																																																																																																																																																																																								
○○t吊																																																																																																																																																																																																																								
施工区分	土木一般 世話役	とび工	普通作業員	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																				
バイプロハンマ施工	1	2	1	-																																																																																																																																																																																																																				
ウォータージェット併用施工	1	2	1	1																																																																																																																																																																																																																				
型式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400																																																																																																																																																																																																																			
2以下	63	59	55	49	45																																																																																																																																																																																																																			
4以下	47	40	35	28	24																																																																																																																																																																																																																			
6以下	38	31	26	20	17																																																																																																																																																																																																																			
8以下	32	25	21	16	13																																																																																																																																																																																																																			
10以下	27	21	17	13	10																																																																																																																																																																																																																			
13以下	23	17	14	10	8																																																																																																																																																																																																																			
16以下	-	-	12	8	7																																																																																																																																																																																																																			
20以下	-	-	10	7	6																																																																																																																																																																																																																			
22以下	-	-	-	6	5																																																																																																																																																																																																																			
25以下	-	-	-	5	4																																																																																																																																																																																																																			
機 種	バイプロハンマ規格		電動式バイプロハンマ																																																																																																																																																																																																																					
			60kW	90kW																																																																																																																																																																																																																				
クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制))																																																																																																																																																																																																																								
最大吊上能力○○t吊																																																																																																																																																																																																																								
施工区分	継施工の有無	土木一般 世話役	とび工	普通作業員	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																			
バイプロハンマ施工	無し	1	2	1	-																																																																																																																																																																																																																			
	有り	1	3	1	-																																																																																																																																																																																																																			
ウォータージェット併用施工	無し	1	2	1	1																																																																																																																																																																																																																			
	有り	1	3	1	1																																																																																																																																																																																																																			
型式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400																																																																																																																																																																																																																			
2以下	63	59	55	49	45																																																																																																																																																																																																																			
4以下	47	40	35	28	24																																																																																																																																																																																																																			
6以下	38	31	26	20	17																																																																																																																																																																																																																			
8以下	32	25	21	16	13																																																																																																																																																																																																																			
10以下	27	21	17	13	10																																																																																																																																																																																																																			
13以下	23	17	14	10	8																																																																																																																																																																																																																			
16以下	-	-	12	8	7																																																																																																																																																																																																																			
20以下	-	-	10	7	6																																																																																																																																																																																																																			
22以下	-	-	-	6	5																																																																																																																																																																																																																			
25以下	-	-	-	5	4																																																																																																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																											
仮橋・仮栈橋 工	<p>2) 電動式バイプロハンマとウォータージェット併用による施工</p> <p style="text-align: center;">表4.11 日当り施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">型式 打込長 (m)</th> <th>H200</th> <th>H250</th> <th>H300</th> <th>H350</th> <th>H400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2以下</td><td>60 (65)</td><td>55 (60)</td><td>50 (56)</td><td>43 (49)</td><td>38 (45)</td></tr> <tr><td>4以下</td><td>35 (40)</td><td>30 (35)</td><td>26 (31)</td><td>20 (25)</td><td>18 (22)</td></tr> <tr><td>6以下</td><td>25 (29)</td><td>21 (25)</td><td>17 (21)</td><td>13 (17)</td><td>11 (15)</td></tr> <tr><td>8以下</td><td>19 (23)</td><td>16 (19)</td><td>13 (16)</td><td>10 (13)</td><td>8 (11)</td></tr> <tr><td>10以下</td><td>16 (19)</td><td>13 (16)</td><td>11 (13)</td><td>8 (10)</td><td>7 (9)</td></tr> <tr><td>13以下</td><td>13 (15)</td><td>10 (13)</td><td>8 (11)</td><td>6 (8)</td><td>5 (7)</td></tr> <tr><td>16以下</td><td>10 (13)</td><td>8 (10)</td><td>7 (9)</td><td>5 (7)</td><td>4 (6)</td></tr> <tr><td>20以下</td><td>—</td><td>—</td><td>6 (7)</td><td>4 (5)</td><td>3 (5)</td></tr> <tr><td>22以下</td><td>—</td><td>—</td><td>5 (6)</td><td>4 (5)</td><td>3 (4)</td></tr> <tr><td>25以下</td><td>—</td><td>—</td><td>4 (6)</td><td>3 (4)</td><td>3 (4)</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 継施工が必要な場合、施工本数 (N) は別途考慮する。 2. 上 段: $50 \leq N_{max} \leq 80$ 下段 () 書き: $N_{max} < 50$ で、転石等により、やむを得ずウォータージェットを使用する必要がある場合。</p>	型式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400	2以下	60 (65)	55 (60)	50 (56)	43 (49)	38 (45)	4以下	35 (40)	30 (35)	26 (31)	20 (25)	18 (22)	6以下	25 (29)	21 (25)	17 (21)	13 (17)	11 (15)	8以下	19 (23)	16 (19)	13 (16)	10 (13)	8 (11)	10以下	16 (19)	13 (16)	11 (13)	8 (10)	7 (9)	13以下	13 (15)	10 (13)	8 (11)	6 (8)	5 (7)	16以下	10 (13)	8 (10)	7 (9)	5 (7)	4 (6)	20以下	—	—	6 (7)	4 (5)	3 (5)	22以下	—	—	5 (6)	4 (5)	3 (4)	25以下	—	—	4 (6)	3 (4)	3 (4)	<p>②電動式バイプロハンマとウォータージェット併用による施工</p> <p style="text-align: center;">表4.11 日当り施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">型式 打込長 (m)</th> <th>H200</th> <th>H250</th> <th>H300</th> <th>H350</th> <th>H400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2以下</td><td>60 (65)</td><td>55 (60)</td><td>50 (56)</td><td>43 (49)</td><td>38 (45)</td></tr> <tr><td>4以下</td><td>35 (40)</td><td>30 (35)</td><td>26 (31)</td><td>20 (25)</td><td>18 (22)</td></tr> <tr><td>6以下</td><td>25 (29)</td><td>21 (25)</td><td>17 (21)</td><td>13 (17)</td><td>11 (15)</td></tr> <tr><td>8以下</td><td>19 (23)</td><td>16 (19)</td><td>13 (16)</td><td>10 (13)</td><td>8 (11)</td></tr> <tr><td>10以下</td><td>16 (19)</td><td>13 (16)</td><td>11 (13)</td><td>8 (10)</td><td>7 (9)</td></tr> <tr><td>13以下</td><td>13 (15)</td><td>10 (13)</td><td>8 (11)</td><td>6 (8)</td><td>5 (7)</td></tr> <tr><td>16以下</td><td>10 (13)</td><td>8 (10)</td><td>7 (9)</td><td>5 (7)</td><td>4 (6)</td></tr> <tr><td>20以下</td><td>—</td><td>—</td><td>6 (7)</td><td>4 (5)</td><td>3 (5)</td></tr> <tr><td>22以下</td><td>—</td><td>—</td><td>5 (6)</td><td>4 (5)</td><td>3 (4)</td></tr> <tr><td>25以下</td><td>—</td><td>—</td><td>4 (6)</td><td>3 (4)</td><td>3 (4)</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上 段: $50 \leq N_{max} \leq 80$ 下段 () 書き: $N_{max} < 50$ で、転石等により、やむを得ずウォータージェットを使用する必要がある場合。</p> <p>2) 打込み (継施工有り) H形鋼1本につき1箇所継施工 (打込み) する場合の日当り打込本数 (N) は、次表を標準とする。</p> <p>①電動式バイプロハンマによる施工 ($N_{max} < 50$)</p> <p style="text-align: center;">表4.12 日当り施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">型式 打込長 (m)</th> <th>H250</th> <th>H300</th> <th>H350</th> <th>H400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2以下</td><td>19</td><td>14</td><td>13</td><td>10</td></tr> <tr><td>4以下</td><td>16</td><td>11</td><td>10</td><td>7</td></tr> <tr><td>6以下</td><td>13</td><td>9</td><td>8</td><td>6</td></tr> <tr><td>8以下</td><td>12</td><td>8</td><td>7</td><td>5</td></tr> <tr><td>10以下</td><td>10</td><td>7</td><td>6</td><td>4</td></tr> <tr><td>13以下</td><td>9</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>16以下</td><td>—</td><td>6</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>20以下</td><td>—</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>22以下</td><td>—</td><td>—</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>25以下</td><td>—</td><td>—</td><td>3</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 2箇所以上の継施工が必要な場合、施工本数 (N) は別途考慮する。</p>	型式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400	2以下	60 (65)	55 (60)	50 (56)	43 (49)	38 (45)	4以下	35 (40)	30 (35)	26 (31)	20 (25)	18 (22)	6以下	25 (29)	21 (25)	17 (21)	13 (17)	11 (15)	8以下	19 (23)	16 (19)	13 (16)	10 (13)	8 (11)	10以下	16 (19)	13 (16)	11 (13)	8 (10)	7 (9)	13以下	13 (15)	10 (13)	8 (11)	6 (8)	5 (7)	16以下	10 (13)	8 (10)	7 (9)	5 (7)	4 (6)	20以下	—	—	6 (7)	4 (5)	3 (5)	22以下	—	—	5 (6)	4 (5)	3 (4)	25以下	—	—	4 (6)	3 (4)	3 (4)	型式 打込長 (m)	H250	H300	H350	H400	2以下	19	14	13	10	4以下	16	11	10	7	6以下	13	9	8	6	8以下	12	8	7	5	10以下	10	7	6	4	13以下	9	6	5	4	16以下	—	6	4	4	20以下	—	5	4	3	22以下	—	—	4	3	25以下	—	—	3	2	
	型式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400																																																																																																																																																																																								
2以下	60 (65)	55 (60)	50 (56)	43 (49)	38 (45)																																																																																																																																																																																									
4以下	35 (40)	30 (35)	26 (31)	20 (25)	18 (22)																																																																																																																																																																																									
6以下	25 (29)	21 (25)	17 (21)	13 (17)	11 (15)																																																																																																																																																																																									
8以下	19 (23)	16 (19)	13 (16)	10 (13)	8 (11)																																																																																																																																																																																									
10以下	16 (19)	13 (16)	11 (13)	8 (10)	7 (9)																																																																																																																																																																																									
13以下	13 (15)	10 (13)	8 (11)	6 (8)	5 (7)																																																																																																																																																																																									
16以下	10 (13)	8 (10)	7 (9)	5 (7)	4 (6)																																																																																																																																																																																									
20以下	—	—	6 (7)	4 (5)	3 (5)																																																																																																																																																																																									
22以下	—	—	5 (6)	4 (5)	3 (4)																																																																																																																																																																																									
25以下	—	—	4 (6)	3 (4)	3 (4)																																																																																																																																																																																									
型式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400																																																																																																																																																																																									
2以下	60 (65)	55 (60)	50 (56)	43 (49)	38 (45)																																																																																																																																																																																									
4以下	35 (40)	30 (35)	26 (31)	20 (25)	18 (22)																																																																																																																																																																																									
6以下	25 (29)	21 (25)	17 (21)	13 (17)	11 (15)																																																																																																																																																																																									
8以下	19 (23)	16 (19)	13 (16)	10 (13)	8 (11)																																																																																																																																																																																									
10以下	16 (19)	13 (16)	11 (13)	8 (10)	7 (9)																																																																																																																																																																																									
13以下	13 (15)	10 (13)	8 (11)	6 (8)	5 (7)																																																																																																																																																																																									
16以下	10 (13)	8 (10)	7 (9)	5 (7)	4 (6)																																																																																																																																																																																									
20以下	—	—	6 (7)	4 (5)	3 (5)																																																																																																																																																																																									
22以下	—	—	5 (6)	4 (5)	3 (4)																																																																																																																																																																																									
25以下	—	—	4 (6)	3 (4)	3 (4)																																																																																																																																																																																									
型式 打込長 (m)	H250	H300	H350	H400																																																																																																																																																																																										
2以下	19	14	13	10																																																																																																																																																																																										
4以下	16	11	10	7																																																																																																																																																																																										
6以下	13	9	8	6																																																																																																																																																																																										
8以下	12	8	7	5																																																																																																																																																																																										
10以下	10	7	6	4																																																																																																																																																																																										
13以下	9	6	5	4																																																																																																																																																																																										
16以下	—	6	4	4																																																																																																																																																																																										
20以下	—	5	4	3																																																																																																																																																																																										
22以下	—	—	4	3																																																																																																																																																																																										
25以下	—	—	3	2																																																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																			
仮橋・仮棧橋 工	<p style="text-align: center;">3) 引抜き</p> <p style="text-align: center;">表4.12 日当り施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>引 抜 長 (m)</th> <th>2以下</th> <th>4以下</th> <th>6以下</th> <th>8以下</th> <th>10以下</th> <th>13以下</th> <th>16以下</th> <th>20以下</th> <th>22以下</th> <th>25以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引抜数量 (本/日)</td> <td>56</td> <td>46</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>30</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	引 抜 長 (m)	2以下	4以下	6以下	8以下	10以下	13以下	16以下	20以下	22以下	25以下	引抜数量 (本/日)	56	46	39	34	30	26	22	19	17	16	<p style="text-align: center;">②電動式パイプロハンマとウォータージェット併用による施工</p> <p style="text-align: center;">表4.13 日当り施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>型式 打込長 (m)</th> <th>H250</th> <th>H300</th> <th>H350</th> <th>H400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2以下</td><td>18 (18)</td><td>13 (13)</td><td>12 (12)</td><td>8 (9)</td></tr> <tr><td>4以下</td><td>13 (14)</td><td>9 (11)</td><td>8 (8)</td><td>6 (6)</td></tr> <tr><td>6以下</td><td>11 (12)</td><td>7 (9)</td><td>6 (7)</td><td>5 (5)</td></tr> <tr><td>8以下</td><td>9 (10)</td><td>7 (8)</td><td>5 (6)</td><td>4 (5)</td></tr> <tr><td>10以下</td><td>8 (9)</td><td>6 (7)</td><td>5 (5)</td><td>4 (4)</td></tr> <tr><td>13以下</td><td>7 (8)</td><td>5 (6)</td><td>4 (5)</td><td>3 (4)</td></tr> <tr><td>16以下</td><td>6 (7)</td><td>5 (6)</td><td>4 (5)</td><td>3 (4)</td></tr> <tr><td>20以下</td><td>—</td><td>5 (5)</td><td>3 (4)</td><td>3 (4)</td></tr> <tr><td>22以下</td><td>—</td><td>4 (5)</td><td>3 (4)</td><td>3 (3)</td></tr> <tr><td>25以下</td><td>—</td><td>4 (5)</td><td>3 (3)</td><td>3 (3)</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 2箇所以上の継施工が必要な場合、施工本数(N)は別途考慮する。 2. 上 段: $50 \leq N_{max} \leq 80$ 下段()書き: $N_{max} < 50$で、転石等により、やむを得ずウォータージェットを使用する必要が生じた場合</p> <p>3) 継施工費 継施工が必要な場合の費用は、別途計上する。</p> <p>4) 引抜き H形鋼の日当り打込引抜本数(N)は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.14 日当り施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>引 抜 長 (m)</th> <th>2以下</th> <th>4以下</th> <th>6以下</th> <th>8以下</th> <th>10以下</th> <th>13以下</th> <th>16以下</th> <th>20以下</th> <th>22以下</th> <th>25以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引抜数量 (本/日)</td> <td>56</td> <td>46</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>30</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	型式 打込長 (m)	H250	H300	H350	H400	2以下	18 (18)	13 (13)	12 (12)	8 (9)	4以下	13 (14)	9 (11)	8 (8)	6 (6)	6以下	11 (12)	7 (9)	6 (7)	5 (5)	8以下	9 (10)	7 (8)	5 (6)	4 (5)	10以下	8 (9)	6 (7)	5 (5)	4 (4)	13以下	7 (8)	5 (6)	4 (5)	3 (4)	16以下	6 (7)	5 (6)	4 (5)	3 (4)	20以下	—	5 (5)	3 (4)	3 (4)	22以下	—	4 (5)	3 (4)	3 (3)	25以下	—	4 (5)	3 (3)	3 (3)	引 抜 長 (m)	2以下	4以下	6以下	8以下	10以下	13以下	16以下	20以下	22以下	25以下	引抜数量 (本/日)	56	46	39	34	30	26	22	19	17	16	
引 抜 長 (m)	2以下	4以下	6以下	8以下	10以下	13以下	16以下	20以下	22以下	25以下																																																																																												
引抜数量 (本/日)	56	46	39	34	30	26	22	19	17	16																																																																																												
型式 打込長 (m)	H250	H300	H350	H400																																																																																																		
2以下	18 (18)	13 (13)	12 (12)	8 (9)																																																																																																		
4以下	13 (14)	9 (11)	8 (8)	6 (6)																																																																																																		
6以下	11 (12)	7 (9)	6 (7)	5 (5)																																																																																																		
8以下	9 (10)	7 (8)	5 (6)	4 (5)																																																																																																		
10以下	8 (9)	6 (7)	5 (5)	4 (4)																																																																																																		
13以下	7 (8)	5 (6)	4 (5)	3 (4)																																																																																																		
16以下	6 (7)	5 (6)	4 (5)	3 (4)																																																																																																		
20以下	—	5 (5)	3 (4)	3 (4)																																																																																																		
22以下	—	4 (5)	3 (4)	3 (3)																																																																																																		
25以下	—	4 (5)	3 (3)	3 (3)																																																																																																		
引 抜 長 (m)	2以下	4以下	6以下	8以下	10以下	13以下	16以下	20以下	22以下	25以下																																																																																												
引抜数量 (本/日)	56	46	39	34	30	26	22	19	17	16																																																																																												

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																						
仮橋・仮棧橋 工	(5) 諸雑費 <div style="text-align: center;">表4.13 諸雑費率</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">施 工 区 分</th> <th style="width: 15%;">パイプロハンマ 機種・規格</th> <th style="width: 15%;">諸 雑 費 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">パイプロハンマ単独打込</td> <td rowspan="2">電動式</td> <td>60kW</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>90kW</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウォータージェット併用打込</td> <td rowspan="2">電動式</td> <td>60kW</td> <td>23 (25)</td> </tr> <tr> <td>90kW</td> <td>27 (30)</td> </tr> <tr> <td>引 抜 き</td> <td>電動式</td> <td>60kW</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ウォータージェット併用打込における()書きは、$N_{max} < 50$の場合で、転石等によりやむを得ずウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上する。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、現場内小運搬費用、電気溶接機運搬経費（パイプロハンマ施工時）、ウォータージェット併用施工用付属機器運搬経費及び材料費（電力に関する経費、工事用水中モータポンプ及び電気溶接機運搬経費、水槽及び配管損料、配管バンド及び溶接棒）等の費用であり、打込労務費、杭打機及びウォータージェットの機械損料及び運搬経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	施 工 区 分	パイプロハンマ 機種・規格	諸 雑 費 率 (%)	パイプロハンマ単独打込	電動式	60kW	20	90kW	27	ウォータージェット併用打込	電動式	60kW	23 (25)	90kW	27 (30)	引 抜 き	電動式	60kW	20	(5) 諸雑費 <div style="text-align: center;">表4.15 諸雑費率</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">施 工 区 分</th> <th style="width: 15%;">パイプロハンマ 機種・規格</th> <th style="width: 15%;">諸 雑 費 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">パイプロハンマ単独打込</td> <td rowspan="2">電動式</td> <td>60kW</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>90kW</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウォータージェット併用打込</td> <td rowspan="2">電動式</td> <td>60kW</td> <td>23 (25)</td> </tr> <tr> <td>90kW</td> <td>27 (30)</td> </tr> <tr> <td>引 抜 き</td> <td>電動式</td> <td>60kW</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ウォータージェット併用打込における()書きは、$N_{max} < 50$の場合で、転石等によりやむを得ずウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上する。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、現場内小運搬費用、電気溶接機運搬経費（パイプロハンマ施工時）、ウォータージェット併用施工用付属機器運搬経費及び材料費（電力に関する経費、工事用水中モータポンプ及び電気溶接機運搬経費、水槽及び配管損料、配管バンド及び溶接棒）等の費用であり、打込労務費、杭打機及びウォータージェットの機械損料及び運搬経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>(6) その他 ウォータージェット併用施工時に用いる上水道等が必要な場合は、別途計上する。</p>	施 工 区 分	パイプロハンマ 機種・規格	諸 雑 費 率 (%)	パイプロハンマ単独打込	電動式	60kW	20	90kW	27	ウォータージェット併用打込	電動式	60kW	23 (25)	90kW	27 (30)	引 抜 き	電動式	60kW	20	
施 工 区 分	パイプロハンマ 機種・規格	諸 雑 費 率 (%)																																							
パイプロハンマ単独打込	電動式	60kW	20																																						
		90kW	27																																						
ウォータージェット併用打込	電動式	60kW	23 (25)																																						
		90kW	27 (30)																																						
引 抜 き	電動式	60kW	20																																						
施 工 区 分	パイプロハンマ 機種・規格	諸 雑 費 率 (%)																																							
パイプロハンマ単独打込	電動式	60kW	20																																						
		90kW	27																																						
ウォータージェット併用打込	電動式	60kW	23 (25)																																						
		90kW	27 (30)																																						
引 抜 き	電動式	60kW	20																																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																				
仮橋・仮棧橋工	<p>4-2-2-2 杭橋脚設置・撤去工 杭橋脚設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.14 杭橋脚設置・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.1</td> <td>0.74</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.9</td> <td>1.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.8</td> <td>0.52</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>0.27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.7</td> <td>0.85</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>13</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高力ボルトの材料費は、必要数量を別途計上する。 2. 杭橋脚設置に伴う本締めも含む。 3. 設置・撤去の対象質量は、設置・撤去すべき枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルト及び杭の質量は含まない。 4. 諸雑費は、電力に関する経費、電気溶接機（エンジン付）、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、仮固定用の挟縮金具、電動レンチ、吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-2-3 定規工（導杭・導枠） 杭橋脚（H鋼杭）を水中に打込む場合に計上することを標準とする。</p> <p>(1) 導杭打込・引抜き工 導杭打込・引抜き工は、「4-2-2-1 杭橋脚打込・引抜き工」による。 導杭の規格は、H形鋼（300×300）とし、施工本数は、杭橋脚打込10本当り8本で、打込長は杭橋脚打込長の50%とする。</p> <p>(2) 導枠設置・撤去工 導枠設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.15 導枠設置・撤去工歩掛 (杭橋脚打込10本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.36</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.87</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>0.32</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>23</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、導杭、導枠に使用するH形鋼の賃料、挟縮金具及び吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	橋りょう世話役		人	2.1	0.74		橋りょう特殊工		〃	4.9	1.9		溶 接 工		〃	1.8	0.52		普通作業員		〃	1.3	0.27		クローラクレーン運	〇〇t吊	日	1.7	0.85		諸 雑 費 率		%	13	8		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.36		と び 工		〃	0.87		普通作業員		〃	0.17		クローラクレーン運	〇〇t吊	日	0.32		諸 雑 費 率		%	23		<p>4-2-2-2 杭橋脚設置・撤去工 杭橋脚設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.16 杭橋脚設置・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.1</td> <td>0.74</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.9</td> <td>1.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.8</td> <td>0.52</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>0.27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運</td> <td>最大吊上能力〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.7</td> <td>0.85</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>13</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高力ボルトの材料費は、必要数量を別途計上する。 2. 杭橋脚設置に伴う本締めも含む。 3. 設置・撤去の対象質量は、設置・撤去すべき枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルト及び杭の質量は含まない。 4. 諸雑費は、電力に関する経費、電気溶接機（エンジン付）、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、仮固定用の挟縮金具、電動レンチ、吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-2-3 定規工（導杭・導枠） 陸上・水上施工を問わず、杭橋脚（H鋼杭）を打込む場合に計上することを標準とする。</p> <p>(1) 導杭打込・引抜き工 導杭打込・引抜き工は、「4-2-2-1 杭橋脚打込・引抜き工」による。 導杭の規格は、H形鋼（300×300）とし、施工本数は、杭橋脚打込10本当り8本で、打込長は杭橋脚打込長の50%とする。</p> <p>(2) 導枠設置・撤去工 導枠設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.17 導枠設置・撤去工歩掛 (杭橋脚打込10本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運</td> <td>最大吊上能力〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>0.42</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、導杭、導枠に使用するH形鋼の賃料、挟縮金具及び吊り具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	橋りょう世話役		人	2.1	0.74		橋りょう特殊工		〃	4.9	1.9		溶 接 工		〃	1.8	0.52		普通作業員		〃	1.3	0.27		クローラクレーン運	最大吊上能力〇〇t吊	日	1.7	0.85		諸 雑 費 率		%	13	8		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.25		と び 工		〃	1.1		普通作業員		〃	0.22		クローラクレーン運	最大吊上能力〇〇t吊	日	0.42		諸 雑 費 率		%	20		
名 称	規 格				単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																															
		設 置	撤 去																																																																																																																																																				
橋りょう世話役		人	2.1	0.74																																																																																																																																																			
橋りょう特殊工		〃	4.9	1.9																																																																																																																																																			
溶 接 工		〃	1.8	0.52																																																																																																																																																			
普通作業員		〃	1.3	0.27																																																																																																																																																			
クローラクレーン運	〇〇t吊	日	1.7	0.85																																																																																																																																																			
諸 雑 費 率		%	13	8																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																			
土木一般世話役		人	0.36																																																																																																																																																				
と び 工		〃	0.87																																																																																																																																																				
普通作業員		〃	0.17																																																																																																																																																				
クローラクレーン運	〇〇t吊	日	0.32																																																																																																																																																				
諸 雑 費 率		%	23																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																		
			設 置	撤 去																																																																																																																																																			
橋りょう世話役		人	2.1	0.74																																																																																																																																																			
橋りょう特殊工		〃	4.9	1.9																																																																																																																																																			
溶 接 工		〃	1.8	0.52																																																																																																																																																			
普通作業員		〃	1.3	0.27																																																																																																																																																			
クローラクレーン運	最大吊上能力〇〇t吊	日	1.7	0.85																																																																																																																																																			
諸 雑 費 率		%	13	8																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																			
土木一般世話役		人	0.25																																																																																																																																																				
と び 工		〃	1.1																																																																																																																																																				
普通作業員		〃	0.22																																																																																																																																																				
クローラクレーン運	最大吊上能力〇〇t吊	日	0.42																																																																																																																																																				
諸 雑 費 率		%	20																																																																																																																																																				

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																
仮橋・仮棧橋 工	5. 単 価 表 (1) 架設・撤去工10t 当り単価表	5. 単 価 表 (1) 架設・撤去工10t 当り単価表																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.1 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人		表4.1	橋りょう特殊工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.1 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運</td> <td>最大吊上能力〇〇 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.1 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人		表4.1	橋りょう特殊工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.1 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																														
	橋りょう世話役		人		表4.1																																																																														
	橋りょう特殊工		〃		〃																																																																														
	溶 接 工		〃		〃																																																																														
	普 通 作 業 員		〃		〃																																																																														
	ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.1 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料																																																																														
	諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																														
	計																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
橋りょう世話役		人		表4.1																																																																															
橋りょう特殊工		〃		〃																																																																															
溶 接 工		〃		〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																															
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.1 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																															
計																																																																																			
(2) 覆工板設置・撤去工100m ² 当り単価表	(2) 覆工板設置・撤去工100m ² 当り単価表	(2) 覆工板設置・撤去工100m ² 当り単価表																																																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.2 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.2	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.2 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.2	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運</td> <td>最大吊上能力〇〇 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.2 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.2	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.2 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.2	計																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.2																																																																															
と び 工		〃		〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																															
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.2 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.2																																																																															
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.2																																																																															
と び 工		〃		〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																															
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.2 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.2																																																																															
計																																																																																			
(3) 高欄設置・撤去工100m 当り単価表	(3) 高欄設置・撤去工100m 当り単価表	(3) 高欄設置・撤去工100m 当り単価表																																																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.3 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.3	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.3 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.3	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運</td> <td>最大吊上能力〇〇 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.3 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.3	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.3 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.3	計																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.3																																																																															
と び 工		〃		〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																															
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.3 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.3																																																																															
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.3																																																																															
と び 工		〃		〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																															
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.3 ラフテレーンクレーンは 機械賃料 クローラクレーンは 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.3																																																																															
計																																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																
仮橋・仮棧橋 工	(4) 橋脚設置・撤去工（直接基礎形式）10 t 当り単価表	(4) 橋脚設置・撤去工（直接基礎形式）10 t 当り単価表																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人		表4.4	橋りょう特殊工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>最大吊上能力〇〇 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人		表4.4	橋りょう特殊工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																														
	橋りょう世話役		人		表4.4																																																																														
	橋りょう特殊工		〃		〃																																																																														
	溶 接 工		〃		〃																																																																														
普通作業員		〃		〃																																																																															
ラフテレーンクレーン	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.4 機械賃料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																															
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
橋りょう世話役		人		表4.4																																																																															
橋りょう特殊工		〃		〃																																																																															
溶 接 工		〃		〃																																																																															
普通作業員		〃		〃																																																																															
ラフテレーンクレーン	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.4 機械賃料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																															
計																																																																																			
	(5) 杭橋脚設置・撤去工（杭基礎形式）10 t 当り単価表	(5) 杭橋脚設置・撤去工（杭基礎形式）10 t 当り単価表																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.14</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラークレーン運転</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.14 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人		表4.14	橋りょう特殊工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	クローラークレーン運転	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.14 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.14	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.16</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラークレーン運転</td> <td>最大吊上能力〇〇 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.16 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人		表4.16	橋りょう特殊工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	クローラークレーン運転	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.16 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.16	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
橋りょう世話役		人		表4.14																																																																															
橋りょう特殊工		〃		〃																																																																															
溶 接 工		〃		〃																																																																															
普通作業員		〃		〃																																																																															
クローラークレーン運転	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.14 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.14																																																																															
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
橋りょう世話役		人		表4.16																																																																															
橋りょう特殊工		〃		〃																																																																															
溶 接 工		〃		〃																																																																															
普通作業員		〃		〃																																																																															
クローラークレーン運転	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.16 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.16																																																																															
計																																																																																			
	(6) 導枠設置・撤去工 杭橋脚打込10本当り単価表	(6) 導枠設置・撤去工 杭橋脚打込10本当り単価表																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.15</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラークレーン運転</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.15 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.15	と び 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	クローラークレーン運転	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.15 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.15	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.17</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラークレーン運転</td> <td>最大吊上能力〇〇 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.17 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.17	と び 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	クローラークレーン運転	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.17 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.17	計															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
土木一般世話役		人		表4.15																																																																															
と び 工		〃		〃																																																																															
普通作業員		〃		〃																																																																															
クローラークレーン運転	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.15 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.15																																																																															
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
土木一般世話役		人		表4.17																																																																															
と び 工		〃		〃																																																																															
普通作業員		〃		〃																																																																															
クローラークレーン運転	最大吊上能力〇〇 t吊	日		表3.1, 表4.17 機械損料																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.17																																																																															
計																																																																																			

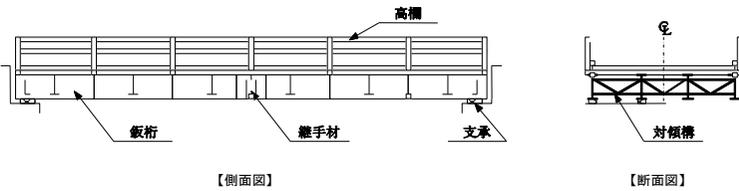
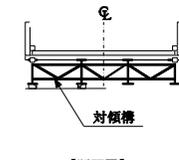
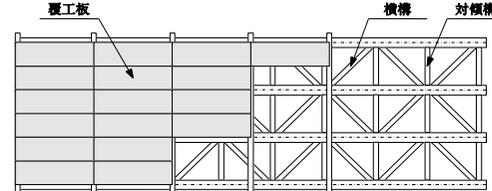
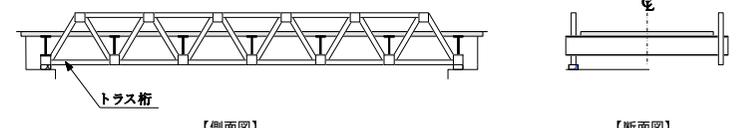
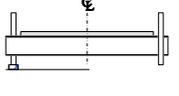
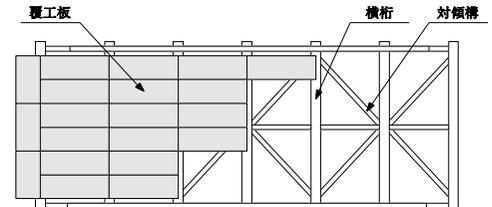
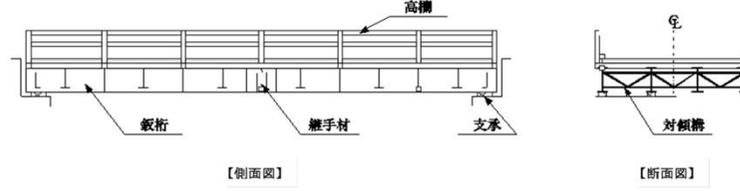
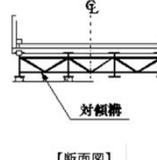
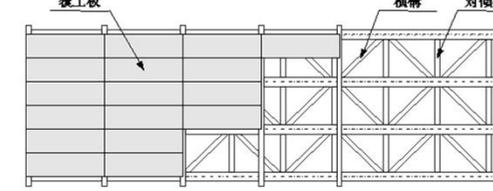
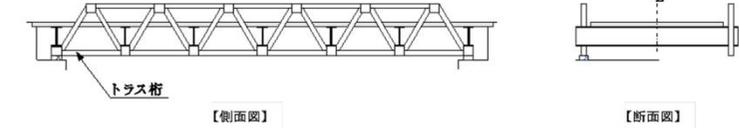
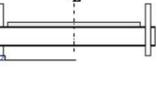
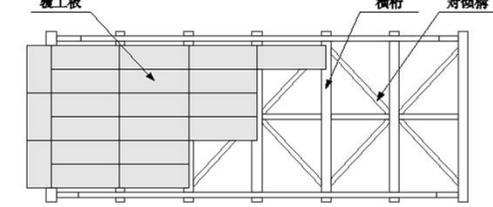
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																															
仮橋・仮栈橋 工	<p>(7) バイプロハンマ施工によるH形鋼の打込み又は引抜き10本当り単価表 (H形鋼打込, 又は引抜き長〇〇m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表4.9～表4.12</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ杭打機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表4.5、表4.8 表4.10～表4.12 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N：日当り施工本数 [本/日]</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表4.9～表4.12	とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	普通作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表4.5、表4.8 表4.10～表4.12 機械損料	諸雑費		式	1	表4.13	計					<p>(7) バイプロハンマ施工によるH形鋼の打込み又は引抜き10本当り単価表 (H形鋼打込, 又は引抜き長〇〇m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表4.9～表4.14</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$ (3)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ杭打機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表4.5、表4.8 表4.10～表4.14 機械損料</td> </tr> <tr> <td>継施工費</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>10</td> <td>(必要に応じて計上)</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N：日当り施工本数 [本/日] () 書き：継施工有りの場合に適用する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表4.9～表4.14	とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$ (3)	〃	普通作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表4.5、表4.8 表4.10～表4.14 機械損料	継施工費		箇所	10	(必要に応じて計上)	諸雑費		式	1	表4.15	計																									
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表4.9～表4.12																																																																																														
とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																														
普通作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																														
バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表4.5、表4.8 表4.10～表4.12 機械損料																																																																																														
諸雑費		式	1	表4.13																																																																																														
計																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																														
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表4.9～表4.14																																																																																														
とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$ (3)	〃																																																																																														
普通作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																														
バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表4.5、表4.8 表4.10～表4.14 機械損料																																																																																														
継施工費		箇所	10	(必要に応じて計上)																																																																																														
諸雑費		式	1	表4.15																																																																																														
計																																																																																																		
	<p>(8) バイプロハンマとウォータージェット併用施工によるH形鋼の打込み10本当り単価表 (H形鋼打込長〇〇m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表4.9～表4.12</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ杭打機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表4.5、表4.8 表4.10～表4.12 機械損料</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用ウォータージェット運転</td> <td>エンジン式 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量325ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times$台数</td> <td>※表4.5 表4.10～表4.12 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N：日当り施工本数 [本/日]</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表4.9～表4.12	とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	特殊作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	普通作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表4.5、表4.8 表4.10～表4.12 機械損料	杭打ち用ウォータージェット運転	エンジン式 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量325ℓ/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	※表4.5 表4.10～表4.12 機械損料	諸雑費		式	1	表4.13	計					<p>(8) バイプロハンマとウォータージェット併用施工によるH形鋼の打込み10本当り単価表 (H形鋼打込長〇〇m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表4.9～表4.14</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$ (3)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バイプロハンマ杭打機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表4.5、表4.8 表4.10～表4.14 機械損料</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用ウォータージェット運転</td> <td>エンジン式 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量325ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times$台数</td> <td>※表4.5 表4.10～表4.14 機械損料</td> </tr> <tr> <td>継施工費</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>10</td> <td>(必要に応じて計上)</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N：日当り施工本数 [本/日] () 書き：継施工有りの場合に適用する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表4.9～表4.14	とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$ (3)	〃	特殊作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	普通作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表4.5、表4.8 表4.10～表4.14 機械損料	杭打ち用ウォータージェット運転	エンジン式 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量325ℓ/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	※表4.5 表4.10～表4.14 機械損料	継施工費		箇所	10	(必要に応じて計上)	諸雑費		式	1	表4.15	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																														
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表4.9～表4.12																																																																																														
とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																														
特殊作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																														
普通作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																														
バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表4.5、表4.8 表4.10～表4.12 機械損料																																																																																														
杭打ち用ウォータージェット運転	エンジン式 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量325ℓ/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	※表4.5 表4.10～表4.12 機械損料																																																																																														
諸雑費		式	1	表4.13																																																																																														
計																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																														
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表4.9～表4.14																																																																																														
とび工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$ (3)	〃																																																																																														
特殊作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																														
普通作業員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																														
バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表4.5、表4.8 表4.10～表4.14 機械損料																																																																																														
杭打ち用ウォータージェット運転	エンジン式 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量325ℓ/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	※表4.5 表4.10～表4.14 機械損料																																																																																														
継施工費		箇所	10	(必要に応じて計上)																																																																																														
諸雑費		式	1	表4.15																																																																																														
計																																																																																																		

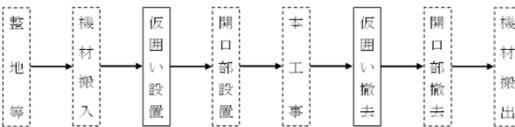
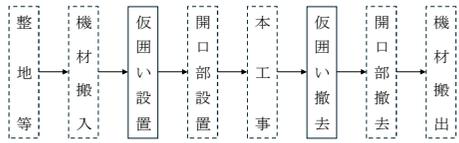
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																				
仮橋・仮栈橋 工	(9) 機械運転単価表																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 60%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 50-55t吊</td> <td rowspan="2">機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32</td> </tr> <tr> <td>70t吊 80t吊 90t吊 100t吊 120t吊 200t吊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パイプロハンマ杭打機</td> <td rowspan="2">電動式・普通型 60kW 90kW</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>運転労務数量→ 1.00 機 械 損 料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.32 機 械 損 料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)) ○○t吊</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用 ウォータージェット</td> <td>エンジン式・排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7 MPa 吐出量325ℓ/min</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→ 136 機械損料数量→ 1.32</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 50-55t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32	70t吊 80t吊 90t吊 100t吊 120t吊 200t吊	パイプロハンマ杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.00 機 械 損 料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.32 機 械 損 料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)) ○○t吊	燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32	杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7 MPa 吐出量325ℓ/min	機-24	燃料消費量→ 136 機械損料数量→ 1.32	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 60%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 50-55t吊</td> <td rowspan="2">機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32</td> </tr> <tr> <td>70t吊 80t吊 90t吊 100t吊 120t吊 200t吊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パイプロハンマ杭打機</td> <td rowspan="2">電動式・普通型 60kW 90kW</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>運転労務数量→ 1.00 機 械 損 料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.32 機 械 損 料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)) 最大吊上能力○○t吊</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32</td> </tr> <tr> <td>杭打ち用 ウォータージェット</td> <td>エンジン式・排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7 MPa 吐出量325ℓ/min</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→ 136 機械損料数量→ 1.32</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 50-55t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32	70t吊 80t吊 90t吊 100t吊 120t吊 200t吊	パイプロハンマ杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.00 機 械 損 料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.32 機 械 損 料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)) 最大吊上能力 ○○t吊	燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32	杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7 MPa 吐出量325ℓ/min	機-24	燃料消費量→ 136 機械損料数量→ 1.32	
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																			
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 50-55t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32																																				
	70t吊 80t吊 90t吊 100t吊 120t吊 200t吊																																						
パイプロハンマ杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.00 機 械 損 料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.32 機 械 損 料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)) ○○t吊																																				
			燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32																																				
杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7 MPa 吐出量325ℓ/min	機-24	燃料消費量→ 136 機械損料数量→ 1.32																																				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																				
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 50-55t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32																																				
	70t吊 80t吊 90t吊 100t吊 120t吊 200t吊																																						
パイプロハンマ杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.00 機 械 損 料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.32 機 械 損 料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)) 最大吊上能力 ○○t吊																																				
			燃料消費量 50-55t → 72 70t → 105 80t → 118 90t → 105 100t → 118 120t → 118 200t → 138 機械損料数量→ 1.32																																				
杭打ち用 ウォータージェット	エンジン式・排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7 MPa 吐出量325ℓ/min	機-24	燃料消費量→ 136 機械損料数量→ 1.32																																				

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
仮橋・仮栈橋 工	<p>6. 参 考 図</p> <p>(1) 鈹桁</p>  <p>【側面図】</p>  <p>【断面図】</p>  <p>【平面図】</p> <p>(2) トラス桁</p>  <p>【側面図】</p>  <p>【断面図】</p>  <p>【平面図】</p>	<p>6. 参 考 図</p> <p>(1) 仮設鈹桁</p>  <p>【側面図】</p>  <p>【断面図】</p>  <p>【平面図】</p> <p>(2) 仮設トラス桁</p>  <p>【側面図】</p>  <p>【断面図】</p>  <p>【平面図】</p> <p>※仮設トラス桁は適用対象外である</p>	

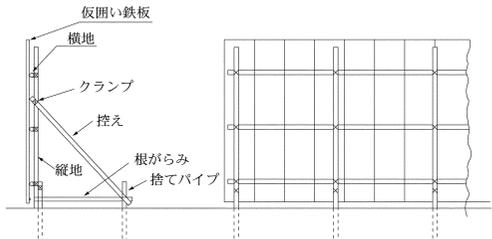
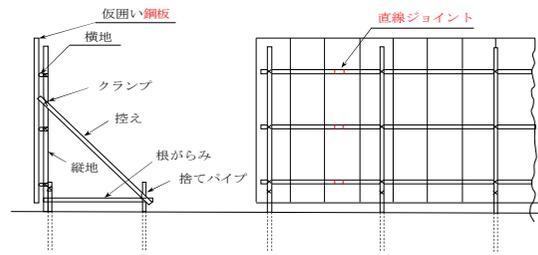
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																						
仮囲い設置・撤去工	<p>⑫ 仮囲い設置・撤去工</p> <p>⑫-1 仮囲い設置・撤去工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、建設工事現場における仮囲いの設置及び撤去に適用する。ただし、塗装及び機材搬出入用等のゲートには適用しない。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 適用範囲</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>適用範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎形式</td> <td>丸パイプ土中打込式</td> </tr> <tr> <td>囲い高さ</td> <td>3m</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p> <p>3. 日当り編成人員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 日当り施工量 日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施 工 区 分</th> <th>単 位</th> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">49</td> </tr> </tbody> </table>	項目	適用範囲	基礎形式	丸パイプ土中打込式	囲い高さ	3m	土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員	1	5	施 工 区 分	単 位	設 置	撤 去	日 当 り 施 工 量	m	35	49	<p>⑪ 仮囲い設置・撤去工</p> <p>⑪-1 仮囲い設置・撤去工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、建設工事現場における仮囲いの設置及び撤去に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 丸パイプ及び固定金具等を用いて鋼板を固定する方法を標準とし、鋼板の囲い高さ3mの場合。 (2) 基礎形式は丸パイプを土中打込する場合。</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 鋼板の囲い高さ3m未満及び3mを超える設置・撤去の場合。 (2) 機材搬出入用ゲート及び仮通用ロドア等の場合。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p> <p>3. 日当り編成人員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 日当り編成人員</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 日当り施工量 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施 工 区 分</th> <th>単 位</th> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	設 置	撤 去	土 木 一 般 世 話 役	1	1	特 殊 作 業 員	2	-	普 通 作 業 員	2	4	施 工 区 分	単 位	設 置	撤 去	日 当 り 施 工 量	m	37	40	
項目	適用範囲																																								
基礎形式	丸パイプ土中打込式																																								
囲い高さ	3m																																								
土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員																																								
1	5																																								
施 工 区 分	単 位	設 置	撤 去																																						
日 当 り 施 工 量	m	35	49																																						
名 称	設 置	撤 去																																							
土 木 一 般 世 話 役	1	1																																							
特 殊 作 業 員	2	-																																							
普 通 作 業 員	2	4																																							
施 工 区 分	単 位	設 置	撤 去																																						
日 当 り 施 工 量	m	37	40																																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用														
仮囲い設置・撤去工	<p>5. 諸 雑 費 諸雑費は、設置及び撤去における、ハンマ、ラチェットレンチ、脚立、フックボルト、クランプ等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </table>	諸 雑 費 率	10	<p>5. 諸 雑 費 諸雑費は、設置における油圧杭打機、油圧パワーユニット、撤去における杭抜き工具、設置及び撤去におけるハンマ、ラチェットレンチ、脚立、フックボルト等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作業区分</th> <th style="text-align: center;">設置</th> <th style="text-align: center;">撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">仮 囲 い</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 仮囲い仮設材の費用 仮囲い仮設材費用の積算は、次式による。 ただし、仮囲いの存置期間が長期となる場合は、購入による比較検討を実施するとともに、適用の有無を確認し、必要額を別途計上する。 仮囲い仮設材の費用 = $(L_1 + L_2 \times X) \times A$ (円)・・・式6.1 L_1 : 基本料係数 (表 6.1) L_2 : 日額賃料係数 (表 6.1) X : 仮設材供用日数 (日) A : 仮囲い延長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表6.1 仮囲い仮設材の各賃料係数 (1m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">仮囲いのタイプ</th> <th style="text-align: center;">L_1</th> <th style="text-align: center;">L_2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">亜鉛めっき鋼板</td> <td style="text-align: center;">453</td> <td style="text-align: center;">10.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 亜鉛めっき鋼板以外の鋼板は、必要額を別途計上する。</p> <p>7. その他 既設舗装版箇所の施工は、舗装版取り壊し又はコア抜き等の施工費及び復旧費を別途計上する。</p>	作業区分	設置	撤去	仮 囲 い	20	14	仮囲いのタイプ	L_1	L_2	亜鉛めっき鋼板	453	10.9	
諸 雑 費 率	10																
作業区分	設置	撤去															
仮 囲 い	20	14															
仮囲いのタイプ	L_1	L_2															
亜鉛めっき鋼板	453	10.9															

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																									
仮囲い設置・撤去工	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 仮囲い設置及び撤去10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.1, 表4.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>仮設材損料</td> <td></td> <td>供用日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>7. 参考図(仮囲い概念図)</p>  <p style="text-align: center;">(注) 縦地及び横地等格子材は丸パイプ</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×10/D	表3.1, 表4.1	普通作業員		〃	5×10/D	〃	仮設材損料		供用日			諸 雑 費		式	1	表5.1	計					<p>8. 単 価 表</p> <p>(1) 仮囲い設置 10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.1 表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(2) 仮囲い撤去 10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.1 表4.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4×10/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(3) 仮囲い仮設材 10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設材賃料</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>式6.1 表6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>9. 仮囲い概念図(参考)</p>  <p style="text-align: center;">(注) 縦地及び横地等格子材は丸パイプ</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×10/D	表3.1 表4.1	特殊作業員		〃	2×10/D	〃 〃	普通作業員		〃	2×10/D	〃 〃	諸 雑 費		式	1	表5.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×10/D	表3.1 表4.1	普通作業員		〃	4×10/D	〃 〃	諸 雑 費		式	1	表5.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	仮設材賃料		日		式6.1 表6.1	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																								
土木一般世話役		人	1×10/D	表3.1, 表4.1																																																																																																								
普通作業員		〃	5×10/D	〃																																																																																																								
仮設材損料		供用日																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表5.1																																																																																																								
計																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																								
土木一般世話役		人	1×10/D	表3.1 表4.1																																																																																																								
特殊作業員		〃	2×10/D	〃 〃																																																																																																								
普通作業員		〃	2×10/D	〃 〃																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表5.1																																																																																																								
計																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																								
土木一般世話役		人	1×10/D	表3.1 表4.1																																																																																																								
普通作業員		〃	4×10/D	〃 〃																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表5.1																																																																																																								
計																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																								
仮設材賃料		日		式6.1 表6.1																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																									
計																																																																																																												

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
濁水処理工 (一般土木工 事)	<p>⑭ 濁水処理工(一般土木工事)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、一般土木工事(ダム・トンネル及び浚渫工事は除く)における濁水処理工に適用する。</p> <p>1-1 濁水処理設備 濁水処理設備は機械処理沈殿方式とし、濁水処理設備能力30~60、100m³/hに適用する。なお、濁水処理設備能力30~60、100m³/h以外を使用する場合は、別途考慮する。</p> <p>1-2 使用薬剤 使用薬剤は、無機凝集剤、高分子凝集剤、炭酸ガスの3種類使用を標準とする。なお、使用数量については、別途計上する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 濁水処理設備の運転時間は、運転日当日8時間を標準とする。 なお、強制排水ポンプが必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	<p>⑬ 濁水処理工(一般土木工事)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、一般土木工事(ダム・トンネル及び浚渫工事は除く)における濁水処理工に適用する。</p> <p>1-1 濁水処理設備 機械処理沈殿方式とし、濁水処理設備能力30~60m³/hに適用する。 濁水処理設備には原水槽、炭酸ガス中和処理装置(凝集沈殿前)、無機凝集剤注入設備、高分子凝集剤注入設備、凝集攪拌設備、シクナ(処理槽)、監視装置(自動測定記録装置)、スラリー槽および、それらに関連する配線・配管を含むものとする。 なお、排水に含まれる浮遊物質量(SS)の日間平均が50mg/L程度となる能力を有する濁水処理設備を想定している。 ただし、高濃度の有機性排水や土壌由来の有機物を非常に多く含む場合等、上記の処理設備では対応が困難で、前処理設備(原水槽の前に設ける沈殿池等)、酸液中和処理装置(凝集沈殿前)、中和処理装置(凝集沈殿後)、油除去設備、重金属処理装置、ろ過設備、生態試験設備が必要となる場合は、別途考慮する。</p> <p>1-2 使用薬剤 使用薬剤は、無機凝集剤、高分子凝集剤、炭酸ガスの3種類使用を標準とする。なお、使用数量については、別途計上する。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 強制排水ポンプが必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p> <p>2-2 処理方法の選定 処理方法は、常時処理又は作業時処理とする。</p> <p>(1) 常時処理とは、昼夜連続的に濁水処理する方法をいう。湧水が常時発生する現場及び常態としてコンクリート養生水等の発生や、降雨により常時濁水の流入・流出が想定される現場における処理方法を指し、濁水処理設備の稼働時間は24時間を標準とする。</p> <p>(2) 作業時処理とは、作業前から濁水処理し始めて、作業終了後には濁水処理を中止する方法をいう。降雨による濁水の流入や流出が想定されない現場で特定の工種・作業における処理方法を指し、濁水処理設備の稼働時間は8時間を標準とする。</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																
濁水処理工 (一般土木工 事)	<p>3. 施 工 歩 掛</p> <p>3-1 濁水処理設備設置・撤去 濁水処理設備設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 濁水処理設備設置・撤去歩掛 (1箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">30～60m²/h</th> <th colspan="2">100m²/h</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上屋の設置・撤去及び設備の基礎については、上記歩掛に含まない。 2. 上記歩掛には、設備の調整に要する費用を含む。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>3-2 濁水処理設備運転 濁水処理装置は、損料とする。</p> <p>3-3 濁水処理設備の保守点検 保守点検の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 濁水処理設備保守点検歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td>人</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 濁水処理設備の保守点検は、濁水処理設備運転日に1回実施を標準とする。 2. 保守点検は、濁水処理設備の日常の運転にかかわる全ての保守・点検を含む。</p> <p>3-4 泥土処理作業 泥土処理作業については、現場条件により別途計上する。</p> <p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 濁水処理設備設置1箇所当り単価表 (処理能力○m³級)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	30～60m ² /h		100m ² /h		設 置	撤 去	設 置	撤 去	土木一般世話役		人	3	2	4	3	電 工		〃	4	1	5	1	設 備 機 械 工		〃	8	5	9	6	普 通 作 業 員		〃	5	2	6	4	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1	1	2	2	名 称	単 位	数 量	設 備 機 械 工	人	0.1	普 通 作 業 員	〃	0.3	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1	電 工		〃		〃	設 備 機 械 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表3.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					<p>3. 施 工 歩 掛</p> <p>3-1 濁水処理設備設置・撤去 濁水処理設備設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 濁水処理設備設置・撤去歩掛 (1箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">30～60m³/h</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.4</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.9</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6.2</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.0</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上屋の設置・撤去及び設備の基礎については、上記歩掛に含まない。 2. 上記歩掛には、設備の調整に要する費用を含む。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>3-2 濁水処理設備運転 濁水処理装置は、賃料とする。</p> <p>3-3 濁水処理設備の保守点検 保守点検の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 濁水処理設備保守点検歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td>人</td> <td>0.27</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.32</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 濁水処理設備の保守点検は、濁水処理設備運転日に1回実施を標準とする。 2. 保守点検は、濁水処理設備の日常の運転にかかわる全ての保守・点検を含む。</p> <p>3-4 泥土処理作業 泥土処理作業については、現場条件により別途計上する。</p> <p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 濁水処理設備設置1箇所当り単価表 (処理能力○m³級)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	30～60m ³ /h		設 置	撤 去	土木一般世話役		人	2.4	1.3	電 工		〃	2.9	0.9	設 備 機 械 工		〃	6.2	3.9	普 通 作 業 員		〃	4.0	1.3	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	0.7	0.6	名 称	単 位	数 量	設 備 機 械 工	人	0.27	普 通 作 業 員	〃	0.32	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1	電 工		〃		〃	設 備 機 械 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		表3.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格				単 位	30～60m ² /h		100m ² /h																																																																																																																																																																											
		設 置	撤 去	設 置		撤 去																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人	3	2	4	3																																																																																																																																																																													
電 工		〃	4	1	5	1																																																																																																																																																																													
設 備 機 械 工		〃	8	5	9	6																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	5	2	6	4																																																																																																																																																																													
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1	1	2	2																																																																																																																																																																													
名 称	単 位	数 量																																																																																																																																																																																	
設 備 機 械 工	人	0.1																																																																																																																																																																																	
普 通 作 業 員	〃	0.3																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																																																															
電 工		〃		〃																																																																																																																																																																															
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																															
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表3.1 機械賃料																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	30～60m ³ /h																																																																																																																																																																																
			設 置	撤 去																																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	2.4	1.3																																																																																																																																																																															
電 工		〃	2.9	0.9																																																																																																																																																																															
設 備 機 械 工		〃	6.2	3.9																																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		〃	4.0	1.3																																																																																																																																																																															
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	0.7	0.6																																																																																																																																																																															
名 称	単 位	数 量																																																																																																																																																																																	
設 備 機 械 工	人	0.27																																																																																																																																																																																	
普 通 作 業 員	〃	0.32																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																																																															
電 工		〃		〃																																																																																																																																																																															
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																															
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		表3.1 機械賃料																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																	
濁水処理工 (一般土木工 事)	<p>(2) 濁水処理設備撤去 1箇所当り単価表 (処理能力〇m³級)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	電 工		〃		〃	設 備 機 械 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表3.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					<p>(2) 濁水処理設備撤去 1箇所当り単価表 (処理能力〇m³級)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制) 最大吊上能力25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	電 工		〃		〃	設 備 機 械 工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制) 最大吊上能力25t吊	日		表3.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計						
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
	土木一般世話役		人		表3.1																																																																															
	電 工		〃		〃																																																																															
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																
普通作業員		〃		〃																																																																																
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表3.1 機械賃料																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																	
計																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																
土木一般世話役		人		表3.1																																																																																
電 工		〃		〃																																																																																
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																
普通作業員		〃		〃																																																																																
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規 制) 最大吊上能力25t吊	日		表3.1 機械賃料																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																	
計																																																																																				
	<p>(3) 濁水処理設備保守・点検 1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	設 備 機 械 工		人		表3.2	普通作業員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>(3) 濁水処理設備保守・点検 1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	設 備 機 械 工		人		表3.2	普通作業員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																
設 備 機 械 工		人		表3.2																																																																																
普通作業員		〃		〃																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																	
計																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																
設 備 機 械 工		人		表3.2																																																																																
普通作業員		〃		〃																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																	
計																																																																																				
	<p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">濁水処理装置 [ポータブル型・ 機械処理沈殿方式]</td> <td>処理能力 30m³/h</td> <td>機-14</td> <td>電力消費量→ 45</td> </tr> <tr> <td>処理能力 40m³/h</td> <td>機-14</td> <td>電力消費量→ 88</td> </tr> <tr> <td>処理能力 60m³/h</td> <td>機-14</td> <td>電力消費量→104</td> </tr> <tr> <td>処理能力100m³/h</td> <td>機-14</td> <td>電力消費量→112</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	濁水処理装置 [ポータブル型・ 機械処理沈殿方式]	処理能力 30m ³ /h	機-14	電力消費量→ 45	処理能力 40m ³ /h	機-14	電力消費量→ 88	処理能力 60m ³ /h	機-14	電力消費量→104	処理能力100m ³ /h	機-14	電力消費量→112	<p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">濁水処理装置 [ポータブル型・ 機械処理沈殿方式]</td> <td rowspan="2">処理能力 30m³/h</td> <td rowspan="2">機-30</td> <td>(常時処理) 電力消費量 →202 機械賃料数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>(作業時処理) 電力消費量 → 67 機械賃料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>処理能力 40m³/h</td> <td>機-30</td> <td>(常時処理) 電力消費量 →264 機械賃料数量→1.00 (作業時処理) 電力消費量 → 88 機械賃料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>処理能力 60m³/h</td> <td>機-30</td> <td>(常時処理) 電力消費量 →312 機械賃料数量→1.00 (作業時処理) 電力消費量 →104 機械賃料数量→1.40</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	濁水処理装置 [ポータブル型・ 機械処理沈殿方式]	処理能力 30m ³ /h	機-30	(常時処理) 電力消費量 →202 機械賃料数量→1.00	(作業時処理) 電力消費量 → 67 機械賃料数量→1.40	処理能力 40m ³ /h	機-30	(常時処理) 電力消費量 →264 機械賃料数量→1.00 (作業時処理) 電力消費量 → 88 機械賃料数量→1.40	処理能力 60m ³ /h	機-30	(常時処理) 電力消費量 →312 機械賃料数量→1.00 (作業時処理) 電力消費量 →104 機械賃料数量→1.40																																																		
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																	
濁水処理装置 [ポータブル型・ 機械処理沈殿方式]	処理能力 30m ³ /h	機-14	電力消費量→ 45																																																																																	
	処理能力 40m ³ /h	機-14	電力消費量→ 88																																																																																	
	処理能力 60m ³ /h	機-14	電力消費量→104																																																																																	
	処理能力100m ³ /h	機-14	電力消費量→112																																																																																	
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																	
濁水処理装置 [ポータブル型・ 機械処理沈殿方式]	処理能力 30m ³ /h	機-30	(常時処理) 電力消費量 →202 機械賃料数量→1.00																																																																																	
			(作業時処理) 電力消費量 → 67 機械賃料数量→1.40																																																																																	
	処理能力 40m ³ /h	機-30	(常時処理) 電力消費量 →264 機械賃料数量→1.00 (作業時処理) 電力消費量 → 88 機械賃料数量→1.40																																																																																	
処理能力 60m ³ /h	機-30	(常時処理) 電力消費量 →312 機械賃料数量→1.00 (作業時処理) 電力消費量 →104 機械賃料数量→1.40																																																																																		

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用				
防塵処理工		<p>⑮ 防塵処理工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、工事施工に伴う防塵対策のうち、現道工事、仮道（切替、工事用含む）、又は現道を運搬作業に使用する とき等の散水車による防塵処理を行う場合に適用する。 なお、塩化カルシウム散布等による防塵処理を行う場合は適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> </div> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">散 水 車</td> <td style="text-align: center;">[トラック架装型] タンク容量3,800L</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 散水車は賃料とする。</p> </div> <p>4. 施工歩掛 4-1 散水作業 散水は1m2当り散水量：0.6L/m2を標準とする。 1回・1台当りの散水時間は次式による。 複数台の散水車を使用する場合は、散水車1台ごとに積算すること。 1箇所（経路）当りの1回の散水において、散水の途中で給水が必要となる場合は、給水1回ごとに区分し、積算すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">1回・1台当りの散水時間 = $0.6 \times \frac{1}{Q} \times A$ (h/1回・1台)</p> <p style="margin-left: 20px;">Q：時間当り散水量(L/h) A：散水面積(m2)</p> <p>散水面積は次式による。 A=L×W L：散水1回当りの散水延長(m) W：1車線当りの散水幅(m) (W=3.5mとする。)</p>	機 械 名	規 格	散 水 車	[トラック架装型] タンク容量3,800L	
機 械 名	規 格						
散 水 車	[トラック架装型] タンク容量3,800L						

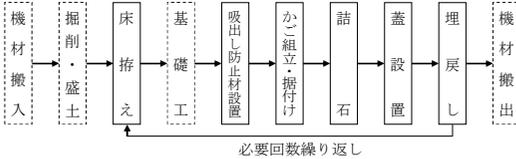
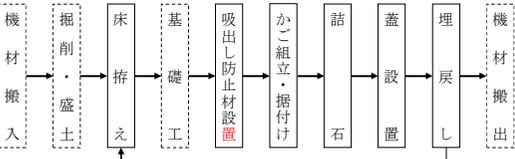
土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																				
防塵処理工		<p>4-2 時間当り散水量 (Q) 散水作業の時間当り散水量の算定は、次式による。 $Q = \frac{60 \times q}{cm}$ q: 散水車のタンク容量 (L)。なお、3,800Lを標準とする。 cm: 1サイクル当り所要時間 (分)</p> <p>4-3 1サイクル当り所要時間 (cm) $cm = \frac{2 \times d}{V} + t_1 + t_2 + t_3 + t_4$ d: 給水場所までの片道距離 (m) V: 走行速度 (m/分) t₁: 給水ホース取付け・取外し時間 (分) t₂: 給水時間 (分) t₃: 待機・現場待時間 (分) t₄: 散水時間 (分)</p> <p>(1) 走行速度 (V) 走行速度は、次表を標準とする。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; color: red;">表4.1 走行速度 (m/分)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">走行速度</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">267</td> </tr> </table> <p>(2) 給水ホース取付け・取外し時間 (t₁) 給水ホース取付け・取外し時間は、次表を標準とする。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; color: red;">表4.2 給水ホース取付け・取外し時間 (分)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">給水ホース取付・取外し時間</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">8</td> </tr> </table> <p>(3) 給水時間 (t₂) 給水時間は、次表を標準とする。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; color: red;">表4.3 給水時間 (分)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">給 水 時 間</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">14</td> </tr> </table> <p>(4) 待機・現場待時間 (t₃) 待機・現場待時間は、次表を標準とする。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; color: red;">表4.4 待機・現場待時間 (分)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">待機・現場待時間</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">1</td> </tr> </table> <p>(5) 散水時間 (t₄) 散水時間は、次表を標準とする。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; color: red;">表4.5 散水時間 (分)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">散 水 時 間</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">10</td> </tr> </table>	表4.1 走行速度 (m/分)		走行速度	267	表4.2 給水ホース取付け・取外し時間 (分)		給水ホース取付・取外し時間	8	表4.3 給水時間 (分)		給 水 時 間	14	表4.4 待機・現場待時間 (分)		待機・現場待時間	1	表4.5 散水時間 (分)		散 水 時 間	10	
表4.1 走行速度 (m/分)																							
走行速度	267																						
表4.2 給水ホース取付け・取外し時間 (分)																							
給水ホース取付・取外し時間	8																						
表4.3 給水時間 (分)																							
給 水 時 間	14																						
表4.4 待機・現場待時間 (分)																							
待機・現場待時間	1																						
表4.5 散水時間 (分)																							
散 水 時 間	10																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																												
防塵処理工		<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 防塵処理（散水作業）1回・1台当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 25%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 15%;">数 量</th> <th style="width: 35%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>散 水 車 運 転</td> <td>[トラック架装型] タンク容量3,800L</td> <td>日</td> <td>$(0.6 \times 1 / Q \times A) / 7.3$</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Q : 時間当り散水量(L/h) A : 散水面積 (m²)</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 25%;">規 格</th> <th style="width: 20%;">単価適用表</th> <th style="width: 40%;">指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>散 水 車</td> <td>[トラック架装型] タンク容量3,800L</td> <td>機-29</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械賃料数量→ 1.40</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	散 水 車 運 転	[トラック架装型] タンク容量3,800L	日	$(0.6 \times 1 / Q \times A) / 7.3$	機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	単価適用表	指定事項	散 水 車	[トラック架装型] タンク容量3,800L	機-29	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械賃料数量→ 1.40	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																											
散 水 車 運 転	[トラック架装型] タンク容量3,800L	日	$(0.6 \times 1 / Q \times A) / 7.3$	機械賃料																											
諸 雑 費		式	1																												
計																															
機 械 名	規 格	単価適用表	指定事項																												
散 水 車	[トラック架装型] タンク容量3,800L	機-29	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械賃料数量→ 1.40																												

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																														
ふとんかご	<p>③ かご工</p> <p>③-1 ふとんかご</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における、ふとんかご（階段式、パネル式、高さ40～100cm、幅120cm・200cm）の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。 2. 吸出し防止材設置は、ふとんかごのみとする。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="398 1129 990 1252"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>クローラ型・ダンプ式 2t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	単位	数量	摘要	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	台	1		不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 2t積	〃	1	必要に応じて計上	<p>③ かご工</p> <p>③-1 ふとんかご</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設の施工における、ふとんかごの設置に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲（以下の全ての条件に該当する場合） (1) 設置高さ：2 m以下 (2) 設置形式：階段式 (3) 構造：パネル式 (4) 寸法：高さ40cm×幅120cm、高さ50cm×幅120cm、高さ50cm×幅200cm、高さ60cm×幅120cm、高さ100cm×幅120cm、高さ100cm×幅200cm</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1220 1157 1863 1321"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m³</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	単位	数量	摘要	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m ³	台	1		不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級	〃	1	必要に応じて計上	
機械名	規格	単位	数量	摘要																													
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	台	1																														
不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 2t積	〃	1	必要に応じて計上																													
機械名	規格	単位	数量	摘要																													
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m ³	台	1																														
不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級	〃	1	必要に応じて計上																													

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																		
ふとんかご	<p>4. 施 工 歩 掛 ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 ふとんかご施工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="347 422 1048 718"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふとんかご規格</th> <th rowspan="2">高さ(cm)</th> <th colspan="2">40</th> <th colspan="2">50</th> <th colspan="2">60</th> <th colspan="2">100</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>幅(cm)</th> <th>単位</th> <th>120</th> <th>200</th> <th>120</th> <th>200</th> <th>120</th> <th>200</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td>規 格</td> <td>単 位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td>4.6</td> <td>5.7</td> <td>9.5</td> <td>6.8</td> <td>11</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> <td>0.8</td> <td>1.3</td> <td>2.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1.3</td> <td>0.9</td> <td>1.5</td> <td>2.6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>3.5</td> <td>2.5</td> <td>4.1</td> <td>7.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>h</td> <td>2.3</td> <td>2.9</td> <td>4.8</td> <td>3.4</td> <td>5.5</td> <td>9.6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>クローラ型・ダンプ式 2t積</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.5</td> <td>0.7</td> <td>1.3</td> <td>必要に応じて計上 (注)1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛は、床拵え、吸出し防止材設置、かご組立・据付け・詰石、蓋設置、埋戻し及び平均運搬距離30mまでの現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合、不整地運搬車を計上する。 2. 本歩掛は、階段式にのみ適用し、スロープ式には適用しない。 3. 詰石量は、ロスを含む(表5.1)。 4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5. 吸出し防止材の設置の有無にかかわらず上表を適用することが出来る。ただし、設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。 6. 不整地運搬車は、賃料とする。 7. ふとんかごの撤去歩掛は、上表の50%とする。</p>	ふとんかご規格	高さ(cm)	40		50		60		100		摘 要	幅(cm)	単位	120	200	120	200	120	200	名 称	規 格	単 位									詰 石		m ³	4.6	5.7	9.5	6.8	11	19			土木一般世話役		人	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	2.3			特殊作業員		〃	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6			普通作業員		〃	1.7	2.1	3.5	2.5	4.1	7.0			バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	h	2.3	2.9	4.8	3.4	5.5	9.6			不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式 2t積	日	0.3	0.4	0.6	0.5	0.7	1.3	必要に応じて計上 (注)1		<p>4. 施 工 歩 掛 ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 ふとんかご施工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="1131 422 1944 730"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="6">ふとんかご規格 (cm)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>高さ40 幅120</th> <th>高さ50 幅120</th> <th>高さ50 幅200</th> <th>高さ60 幅120</th> <th>高さ100 幅120</th> <th>高さ100 幅200</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>1.2</td> <td>0.9</td> <td>1.4</td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>1.4</td> <td>1.0</td> <td>1.7</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.9</td> <td>2.3</td> <td>3.9</td> <td>2.8</td> <td>4.6</td> <td>7.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m³</td> <td>日</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.9</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車 運 転</td> <td>クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級</td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1.4</td> <td>必要に 応じて 計上 (注)1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛は、床拵え、吸出し防止材設置、かご組立・据付け・詰石、蓋設置、埋戻し及び平均運搬距離30mまでの現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合、不整地運搬車を計上する。 2. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 3. 吸出し防止材の設置の有無にかかわらず上表を適用することが出来る。ただし、設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は底面及び背面への設置のみとし、厚さ10mmを標準とする。また、底面及び背面以外への吸出し防止材の設置は、別途考慮すること。 4. バックホウ(クローラ型)、不整地運搬車は、賃料とする。 5. ふとんかごの撤去が必要な場合は、別途考慮すること。</p>	名 称	規 格	単 位	ふとんかご規格 (cm)						摘 要	高さ40 幅120	高さ50 幅120	高さ50 幅200	高さ60 幅120	高さ100 幅120	高さ100 幅200	土木一般世話役		人	0.7	0.8	1.2	0.9	1.4	2.6		特殊作業員		〃	0.7	0.9	1.4	1.0	1.7	2.9		普通作業員		〃	1.9	2.3	3.9	2.8	4.6	7.8		バックホウ (クローラ型)運転	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m ³	日	0.4	0.6	0.9	0.7	1.1	1.8		不整地運搬車 運 転	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級	〃	0.3	0.4	0.7	0.6	0.8	1.4	必要に 応じて 計上 (注)1	
ふとんかご規格	高さ(cm)			40		50		60		100			摘 要																																																																																																																																																								
		幅(cm)	単位	120	200	120	200	120	200																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																																																			
詰 石		m ³	4.6	5.7	9.5	6.8	11	19																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	2.3																																																																																																																																																													
特殊作業員		〃	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6																																																																																																																																																													
普通作業員		〃	1.7	2.1	3.5	2.5	4.1	7.0																																																																																																																																																													
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	h	2.3	2.9	4.8	3.4	5.5	9.6																																																																																																																																																													
不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式 2t積	日	0.3	0.4	0.6	0.5	0.7	1.3	必要に応じて計上 (注)1																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	ふとんかご規格 (cm)						摘 要																																																																																																																																																												
			高さ40 幅120	高さ50 幅120	高さ50 幅200	高さ60 幅120	高さ100 幅120	高さ100 幅200																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人	0.7	0.8	1.2	0.9	1.4	2.6																																																																																																																																																													
特殊作業員		〃	0.7	0.9	1.4	1.0	1.7	2.9																																																																																																																																																													
普通作業員		〃	1.9	2.3	3.9	2.8	4.6	7.8																																																																																																																																																													
バックホウ (クローラ型)運転	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m ³	日	0.4	0.6	0.9	0.7	1.1	1.8																																																																																																																																																													
不整地運搬車 運 転	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級	〃	0.3	0.4	0.7	0.6	0.8	1.4	必要に 応じて 計上 (注)1																																																																																																																																																												

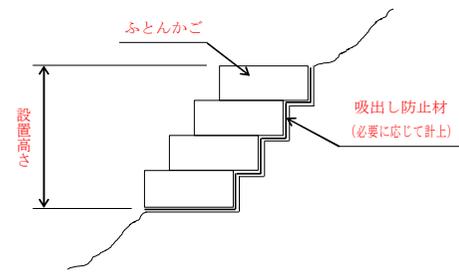


図4-1 地すべり防止工(ふとんかご) 概念図

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																						
ふとんかご	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) ふとんかご10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ふとんかご</td> <td></td> <td>m</td> <td>10</td> <td>パネル式とする</td> </tr> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表4.1, 表5.1, 式5.1</td> </tr> <tr> <td>吸出し防止材</td> <td>t=10mm</td> <td>m²</td> <td></td> <td>表4.1, 表5.1, 式5.2 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>クローラ型・ダンプ式 2t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1 必要に応じて計上 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>クローラ型・ダンプ式 2t積</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.9 機械賃料数量→1.71</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.1	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ふとんかご		m	10	パネル式とする	詰 石		m ³		表4.1, 表5.1, 式5.1	吸出し防止材	t=10mm	m ²		表4.1, 表5.1, 式5.2 必要に応じて計上	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	h		表4.1 機械賃料	不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式 2t積	日		表4.1 必要に応じて計上 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1		不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 2t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.9 機械賃料数量→1.71	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) ふとんかご10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ふとんかご</td> <td></td> <td>m</td> <td>10</td> <td>パネル式とする</td> </tr> <tr> <td>詰 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表5.1, 表5.2, 式5.1</td> </tr> <tr> <td>吸出し防止材</td> <td>t=10mm</td> <td>m²</td> <td></td> <td>表4.1, 表5.3, 式5.2 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m³</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.1 必要に応じて計上 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→64 機械賃料数量→1.50</td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.4 機械賃料数量→1.71</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.1	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ふとんかご		m	10	パネル式とする	詰 石		m ³		表5.1, 表5.2, 式5.1	吸出し防止材	t=10mm	m ²		表4.1, 表5.3, 式5.2 必要に応じて計上	バックホウ (クローラ型)運転	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m ³	日		表4.1 機械賃料	不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級	〃		表4.1 必要に応じて計上 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→64 機械賃料数量→1.50	不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.4 機械賃料数量→1.71	
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																				
	土木一般世話役		人		表4.1																																																																																																																																				
	特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																				
	普通作業員		〃		〃																																																																																																																																				
	ふとんかご		m	10	パネル式とする																																																																																																																																				
	詰 石		m ³		表4.1, 表5.1, 式5.1																																																																																																																																				
	吸出し防止材	t=10mm	m ²		表4.1, 表5.1, 式5.2 必要に応じて計上																																																																																																																																				
	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	h		表4.1 機械賃料																																																																																																																																				
	不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式 2t積	日		表4.1 必要に応じて計上 機械賃料																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																						
計																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																						
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1																																																																																																																																							
不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 2t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.9 機械賃料数量→1.71																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																					
土木一般世話役		人		表4.1																																																																																																																																					
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																					
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																					
ふとんかご		m	10	パネル式とする																																																																																																																																					
詰 石		m ³		表5.1, 表5.2, 式5.1																																																																																																																																					
吸出し防止材	t=10mm	m ²		表4.1, 表5.3, 式5.2 必要に応じて計上																																																																																																																																					
バックホウ (クローラ型)運転	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m ³	日		表4.1 機械賃料																																																																																																																																					
不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級	〃		表4.1 必要に応じて計上 機械賃料																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																						
計																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																						
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.5m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→64 機械賃料数量→1.50																																																																																																																																						
不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式 排出ガス対策型(第3次基準値) 通称2t積級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.4 機械賃料数量→1.71																																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
<p>切削オーバーレイ工 (ICT)</p>	<p>①-3 切削オーバーレイ工 (ICT)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、路面切削機 (ICT機械) によるアスファルト舗装路面の切削作業から概ね切削した舗装厚分を即日で急速施工する作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アスファルト混合物が購入方式の場合 (2) 施工箇所が車道・路肩部の場合 (3) 切削作業がストレートアスファルト、改質アスファルトの場合 <p>1-2 適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アスファルト混合物がプラント方式の場合 (2) 複数の路面切削機による並列切削作業を行う場合 (3) 施工箇所が歩道部の場合 (4) 排水性舗装 (ポーラスアスファルト、開粒度アスファルト) の切削、又は特殊結合材 (エポキシ樹脂) 及び特殊骨材 (エメリー) を含むアスファルト舗装の切削 (5) 排水性舗装の舗設、又は橋面防水工を同時に施工する橋面舗装 (6) シックリフト工法、QRP工法等特殊な工法の場合 (7) 路面切削機を使用しない道路打換え工のための舗装版とりこわし (8) 平均切削深さが12cmを超えるもの <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	<p>①-3 切削オーバーレイ工 (ICT)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、路面切削機 (ICT機械) によるアスファルト舗装路面の切削作業から概ね切削した舗装厚分を即日で急速施工する作業に適用する。ただし、交差点内の施工を含みかつ従道路側の交通規制を伴う交差点部の施工に際し、交差点部を小規模に分割し施工する場合は、当該交差点部分のみ別途考慮する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アスファルト混合物が購入方式の場合 (2) 施工箇所が車道・路肩部の場合 (3) 切削作業がストレートアスファルト、改質アスファルトの場合 (4) 切削作業の対象が排水性舗装 (ポーラスアスファルト、開粒度アスファルト) で、既設導水パイプの撤去を含まない場合 <p>1-2 適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アスファルト混合物がプラント方式の場合 (2) 複数の路面切削機による並列切削作業を行う場合 (3) 施工箇所が歩道部の場合 (4) 特殊結合材 (エポキシ樹脂) 及び特殊骨材 (エメリー) を含むアスファルト舗装の切削 (5) 排水性舗装 (ポーラスアスファルト、開粒度アスファルト) の切削において、路面切削機にて導水パイプを舗装版とまとめて切削する場合 (6) 排水性舗装の舗設、又は橋面防水工を同時に施工する橋面舗装 (7) シックリフト工法、QRP工法等特殊な工法の場合 (8) 路面切削機を使用しない道路打換え工のための舗装版とりこわし (9) 平均切削深さが12cmを超えるもの <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																														
切削オーバーレイ工 (ICT)	<p>3. 機種 の 選 定 切削オーバーレイ工 (ICT) に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削 (ICT)</td> <td>路面切削機 (ICT)</td> <td>ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃材運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積級</td> <td>〃</td> <td>必要数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面清掃</td> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホッパ容量1.5m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合材敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制)・ 舗装幅2.3～6.0m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合材締固め</td> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t 締固め幅2.1m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 編 成 人 員 切削オーバーレイ工 (ICT) の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 日当り施工量 切削オーバーレイ工 (ICT) の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 日当り施工量 (m²/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平均切削深さ</th> <th colspan="2">7cm以下</th> <th colspan="2">7cmを超え12cm以下</th> </tr> <tr> <th>一層</th> <th>二層</th> <th>一層</th> <th>二層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>即日舗設</td> <td style="text-align: center;">910</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">794</td> <td style="text-align: center;">624</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、施工箇所間及び機械待避場所と施工箇所間の自走による移動を含むが、運搬車両による移動は別途計上する。 2. 多層舗設の場合で、他日に表層のみを施工する場合の表層は、「第5編11章道路舗装」により別途計上する。 3. 上表には清掃作業を含む。 4. 平均切削深さは、次式を標準とする。 $H = \frac{Av}{W} \times 100$ H: 1現場の平均切削深さ (cm) Av: 1現場の平均切削断面積 (m²) W: 平均切削幅員 (m) </p> <p>5-2 廃材運搬工 廃材運搬工は、「第5編13章道路維持修繕①-1路面切削工」による。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	路面切削 (ICT)	路面切削機 (ICT)	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm	台	1		廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数		路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホッパ容量1.5m ³	〃	1		合材敷均し	アスファルトフィニッシャー	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制)・ 舗装幅2.3～6.0m	〃	1		合材締固め	ロードローラ	マカダム・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t 締固め幅2.1m	〃	1		タイヤローラ	普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t	〃	1		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1	3	5	平均切削深さ	7cm以下		7cmを超え12cm以下		一層	二層	一層	二層	即日舗設	910	—	794	624	<p>3. 機種 の 選 定 切削オーバーレイ工 (ICT) に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">路面切削 (ICT)</td> <td rowspan="2">路面切削機 (ICT)</td> <td>ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〔切削管理システム〕ICT施工用</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃材運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 通称10t積級</td> <td>台</td> <td>必要数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面清掃</td> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ・四輪式・路面切削工専用 ホッパ収集容量1.5m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合材敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制)・ 舗装幅2.3～6.0m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合材締固め</td> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 編 成 人 員 切削オーバーレイ工 (ICT) の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 日当り施工量 切削オーバーレイ工 (ICT) の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 日当り施工量 (m²/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平均切削深さ</th> <th colspan="2">7cm以下</th> <th colspan="2">7cmを超え12cm以下</th> </tr> <tr> <th>一層</th> <th>二層</th> <th>一層</th> <th>二層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>即日舗設</td> <td style="text-align: center;">910</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">794</td> <td style="text-align: center;">624</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、施工箇所間及び機械待避場所と施工箇所間の自走による移動を含むが、運搬車両による移動は別途計上する。 2. 既設導水パイプの撤去が必要な場合は別途考慮する。 3. 多層舗設の場合で、他日に表層のみを施工する場合の表層は、「第5編11章道路舗装」により別途計上する。 4. 上表には清掃作業を含む。 5. 平均切削深さは、次式を標準とする。 $H = \frac{Av}{W} \times 100$ H: 1現場の平均切削深さ (cm) Av: 1現場の平均切削断面積 (m²) W: 平均切削幅員 (m) </p> <p>5-2 廃材運搬工 廃材運搬工は、「第5編13章道路維持修繕①-1路面切削工」による。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	路面切削 (ICT)	路面切削機 (ICT)	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m	台	1		〔切削管理システム〕ICT施工用	式	1		廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 通称10t積級	台	必要数		路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式・路面切削工専用 ホッパ収集容量1.5m ³	〃	1		合材敷均し	アスファルトフィニッシャー	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制)・ 舗装幅2.3～6.0m	〃	1		合材締固め	ロードローラ	マカダム・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t	〃	1		タイヤローラ	普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t	〃	1		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1	3	5	平均切削深さ	7cm以下		7cmを超え12cm以下		一層	二層	一層	二層	即日舗設	910	—	794	624	
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																												
路面切削 (ICT)	路面切削機 (ICT)	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm	台	1																																																																																																																													
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	〃	必要数																																																																																																																													
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホッパ容量1.5m ³	〃	1																																																																																																																													
合材敷均し	アスファルトフィニッシャー	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制)・ 舗装幅2.3～6.0m	〃	1																																																																																																																													
合材締固め	ロードローラ	マカダム・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t 締固め幅2.1m	〃	1																																																																																																																													
	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t	〃	1																																																																																																																													
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																															
1	3	5																																																																																																																															
平均切削深さ	7cm以下		7cmを超え12cm以下																																																																																																																														
	一層	二層	一層	二層																																																																																																																													
即日舗設	910	—	794	624																																																																																																																													
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																												
路面切削 (ICT)	路面切削機 (ICT)	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m	台	1																																																																																																																													
		〔切削管理システム〕ICT施工用	式	1																																																																																																																													
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 通称10t積級	台	必要数																																																																																																																													
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式・路面切削工専用 ホッパ収集容量1.5m ³	〃	1																																																																																																																													
合材敷均し	アスファルトフィニッシャー	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制)・ 舗装幅2.3～6.0m	〃	1																																																																																																																													
合材締固め	ロードローラ	マカダム・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t	〃	1																																																																																																																													
	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t	〃	1																																																																																																																													
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																															
1	3	5																																																																																																																															
平均切削深さ	7cm以下		7cmを超え12cm以下																																																																																																																														
	一層	二層	一層	二層																																																																																																																													
即日舗設	910	—	794	624																																																																																																																													

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																			
切削オーバーレイ工 (ICT)	5-3 舗装工材料 舗装工材料は、「第2編13章道路維持修繕①-2切削オーバーレイ工」による。	5-3 舗装工材料 舗装工材料は、「第2編13章道路維持修繕①-2切削オーバーレイ工」による。																																																																																																																																				
	6. 諸 雑 費 諸雑費は、切削作業に使用する雑器具（スコップ、ホウキ）の費用、路面切削機のビットの損耗費、路面清掃車のブラシの損耗費、乳剤散布機損料、舗装用器具（レーキ、舗装養生テープ）及び加熱燃料等の費用、切削に伴う段差すりつけ設置、撤去（労務を含む）にかかる費用（必要な場合）であり、労務費と組合せ機械（路面切削機、路面清掃車、アスファルトフィニッシャー、ロードローラー、タイヤローラー）の機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。	6. 諸 雑 費 諸雑費は、切削作業に使用する雑器具（スコップ、ホウキ）の費用、路面切削機のビットの損耗費、路面清掃車のブラシの損耗費、乳剤散布機損料、舗装用器具（レーキ、舗装養生テープ）及び加熱燃料等の費用、切削に伴う段差すりつけ設置、撤去（労務を含む）にかかる費用（必要な場合）であり、労務費と組合せ機械（路面切削機、路面清掃車、アスファルトフィニッシャー、ロードローラー、タイヤローラー）の機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。																																																																																																																																				
	表6.1 諸雑費率 (%)	表6.1 諸雑費率 (%)																																																																																																																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">平均切削深さ</th> <th colspan="2">7cm以下</th> <th colspan="2">7cmを超え12cm以下</th> </tr> <tr> <th colspan="2">16 (設置のみ20, 設置撤去21)</th> <th colspan="2">15 (設置のみ18, 設置撤去19)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">即日舗設</td> <td style="text-align: center;">一層</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">二層</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">13</td> </tr> </tbody> </table>	平均切削深さ		7cm以下		7cmを超え12cm以下		16 (設置のみ20, 設置撤去21)		15 (設置のみ18, 設置撤去19)		即日舗設	一層					二層	-		13		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">平均切削深さ</th> <th colspan="2">7cm以下</th> <th colspan="2">7cmを超え12cm以下</th> </tr> <tr> <th colspan="2">16 (設置のみ20, 設置撤去21)</th> <th colspan="2">15 (設置のみ18, 設置撤去19)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">即日舗設</td> <td style="text-align: center;">一層</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">二層</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">13</td> </tr> </tbody> </table>	平均切削深さ		7cm以下		7cmを超え12cm以下		16 (設置のみ20, 設置撤去21)		15 (設置のみ18, 設置撤去19)		即日舗設	一層					二層	-		13																																																																																											
平均切削深さ				7cm以下		7cmを超え12cm以下																																																																																																																																
		16 (設置のみ20, 設置撤去21)		15 (設置のみ18, 設置撤去19)																																																																																																																																		
即日舗設	一層																																																																																																																																					
	二層	-		13																																																																																																																																		
平均切削深さ		7cm以下		7cmを超え12cm以下																																																																																																																																		
		16 (設置のみ20, 設置撤去21)		15 (設置のみ18, 設置撤去19)																																																																																																																																		
即日舗設	一層																																																																																																																																					
	二層	-		13																																																																																																																																		
	(注) 段差すりつけが必要な場合は、() 内の率を計上する。	(注) 段差すりつけが必要な場合は、() 内の率を計上する。																																																																																																																																				
	7. ICT建設機械経費等 7-1 ICT建設機械経費損料加算額 建設機械（路面切削機）に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用として、機械運転単価表にICT建設機械経費損料加算額を必要日数分計上する。	7. ICT建設機械経費等 7-1 ICT建設機械経費損料加算額 建設機械（路面切削機）に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用として、機械運転単価表にICT建設機械経費損料加算額を必要日数分計上する。																																																																																																																																				
	8. 単 価 表 (1) 切削オーバーレイ100m ² 当り単価表	8. 単 価 表 (1) 切削オーバーレイ100m ² 当り単価表																																																																																																																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>3×100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>5×100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>(注) 1, 3</td> </tr> <tr> <td>瀝青材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>(注) 4</td> </tr> <tr> <td>路面切削機 (ICT) 運転</td> <td>ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>路面清掃車運転</td> <td>ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ容量1.5m³</td> <td>"</td> <td>100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャー運転</td> <td>ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m</td> <td>"</td> <td>100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ロードローラー運転</td> <td>マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t 締固め幅2.1m</td> <td>"</td> <td>100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラー運転</td> <td>普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t</td> <td>"</td> <td>100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	特殊作業員		"	3×100/D	"	普通作業員		"	5×100/D	"	アスファルト混合物		t		(注) 1, 3	瀝青材料		ℓ		(注) 4	路面切削機 (ICT) 運転	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm	日	100/D	表5.1 機械損料	路面清掃車運転	ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ容量1.5m ³	"	100/D	"	アスファルトフィニッシャー運転	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m	"	100/D	"	ロードローラー運転	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t 締固め幅2.1m	"	100/D	"	タイヤローラー運転	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t	"	100/D	"	諸 雑 費		式	1	表6.1	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>3×100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>5×100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>(注) 1, 3</td> </tr> <tr> <td>瀝青材料</td> <td></td> <td>L</td> <td></td> <td>(注) 4</td> </tr> <tr> <td>路面切削機 (ICT) 運転</td> <td>ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m 【切削管理システム】ICT施工用</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>路面清掃車運転</td> <td>ブラシ・四輪式・路面切削工事用 ホッパ収集容量1.5m³</td> <td>"</td> <td>100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャー運転</td> <td>ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m</td> <td>"</td> <td>100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ロードローラー運転</td> <td>マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t</td> <td>"</td> <td>100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラー運転</td> <td>普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t</td> <td>"</td> <td>100/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	特殊作業員		"	3×100/D	"	普通作業員		"	5×100/D	"	アスファルト混合物		t		(注) 1, 3	瀝青材料		L		(注) 4	路面切削機 (ICT) 運転	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m 【切削管理システム】ICT施工用	日	100/D	表5.1 機械損料	路面清掃車運転	ブラシ・四輪式・路面切削工事用 ホッパ収集容量1.5m ³	"	100/D	"	アスファルトフィニッシャー運転	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m	"	100/D	"	ロードローラー運転	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t	"	100/D	"	タイヤローラー運転	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t	"	100/D	"	諸 雑 費		式	1	表6.1	計						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																		
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																																																																																		
特殊作業員		"	3×100/D	"																																																																																																																																		
普通作業員		"	5×100/D	"																																																																																																																																		
アスファルト混合物		t		(注) 1, 3																																																																																																																																		
瀝青材料		ℓ		(注) 4																																																																																																																																		
路面切削機 (ICT) 運転	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm	日	100/D	表5.1 機械損料																																																																																																																																		
路面清掃車運転	ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ容量1.5m ³	"	100/D	"																																																																																																																																		
アスファルトフィニッシャー運転	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m	"	100/D	"																																																																																																																																		
ロードローラー運転	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t 締固め幅2.1m	"	100/D	"																																																																																																																																		
タイヤローラー運転	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t	"	100/D	"																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																																																																																		
計																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																		
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																																																																																		
特殊作業員		"	3×100/D	"																																																																																																																																		
普通作業員		"	5×100/D	"																																																																																																																																		
アスファルト混合物		t		(注) 1, 3																																																																																																																																		
瀝青材料		L		(注) 4																																																																																																																																		
路面切削機 (ICT) 運転	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m 【切削管理システム】ICT施工用	日	100/D	表5.1 機械損料																																																																																																																																		
路面清掃車運転	ブラシ・四輪式・路面切削工事用 ホッパ収集容量1.5m ³	"	100/D	"																																																																																																																																		
アスファルトフィニッシャー運転	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m	"	100/D	"																																																																																																																																		
ロードローラー運転	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t	"	100/D	"																																																																																																																																		
タイヤローラー運転	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t	"	100/D	"																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																																																																																		
計																																																																																																																																						
	(注) 1. 100×厚さ(m)×締固め後密度(t/m ³)×(1+K) 2. D:日当り施工量(m ² /日) 3. 第2編13章道路維持修繕①-2切削オーバーレイ工 表5.2による。 4. 第2編13章道路維持修繕①-2切削オーバーレイ工 表5.3による。	(注) 1. 100×厚さ(m)×締固め後密度(t/m ³)×(1+K) 2. D:日当り施工量(m ² /日) 3. 第2編13章道路維持修繕①-2切削オーバーレイ工 表5.2による。 4. 第2編13章道路維持修繕①-2切削オーバーレイ工 表5.3による。																																																																																																																																				

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																											
切削オーバーレイエ (ICT)	(2) 機械運転単価表	(2) 機械運転単価表																																																																																																																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">適用単価表</th> <th colspan="3">指 定 事 項</th> </tr> <tr> <th colspan="2">7cm以下</th> <th>7cmを超え12cm以下</th> </tr> <tr> <th>一層舗設</th> <th>一層舗設</th> <th>二層舗設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">路面切削機 (ICT)</td> <td rowspan="3">ホイール式・腐材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm</td> <td rowspan="3">機-33</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>184</td> <td>206</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.28</td> <td>1.28</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td>ICT建設機械経費損料加算額</td> <td></td> <td></td> <td>機械損料数量</td> <td>1.28</td> <td>1.28</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路面清掃車</td> <td rowspan="3">ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ容量1.5m³</td> <td rowspan="3">機-19</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">アスファルトフィニッシャ</td> <td rowspan="3">ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>60</td> <td>68</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.28</td> <td>1.41</td> <td>1.41</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ロードローラ</td> <td rowspan="3">マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t締固め幅2.1m</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>30</td> <td>34</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.28</td> <td>1.28</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">タイヤローラ</td> <td rowspan="3">普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.28</td> <td>1.41</td> <td>1.41</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項			7cm以下		7cmを超え12cm以下	一層舗設	一層舗設	二層舗設	路面切削機 (ICT)	ホイール式・腐材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm	機-33	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	184	206	177	機械損料数量	1.28	1.28	1.28	ICT建設機械経費損料加算額			機械損料数量	1.28	1.28	1.28	路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ容量1.5m³	機-19	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	35	39	34	機械損料数量	1.15	1.15	1.15	アスファルトフィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	60	68	67	機械損料数量	1.28	1.41	1.41	ロードローラ	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t締固め幅2.1m	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	30	34	33	機械損料数量	1.28	1.28	1.28	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	23	26	26	機械損料数量	1.28	1.41	1.41	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">適用単価表</th> <th colspan="3">指 定 事 項</th> </tr> <tr> <th colspan="2">7cm以下</th> <th>7cmを超え12cm以下</th> </tr> <tr> <th>一層舗設</th> <th>一層舗設</th> <th>二層舗設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">路面切削機 (ICT)</td> <td rowspan="3">ホイール式・腐材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m 〔切削管理システム〕ICT施工用</td> <td rowspan="3">機-33</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>184</td> <td>206</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> </tr> <tr> <td>ICT建設機械経費損料加算額</td> <td></td> <td></td> <td>機械損料数量</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路面清掃車</td> <td rowspan="3">ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ収集容量1.5m³</td> <td rowspan="3">機-19</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.28</td> <td>1.28</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">アスファルトフィニッシャ</td> <td rowspan="3">ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>60</td> <td>68</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ロードローラ</td> <td rowspan="3">マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>30</td> <td>34</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">タイヤローラ</td> <td rowspan="3">普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td>運転労務数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量</td> <td>1.42</td> <td>1.56</td> <td>1.42</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項			7cm以下		7cmを超え12cm以下	一層舗設	一層舗設	二層舗設	路面切削機 (ICT)	ホイール式・腐材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m 〔切削管理システム〕ICT施工用	機-33	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	184	206	177	機械損料数量	1.42	1.42	1.42	ICT建設機械経費損料加算額			機械損料数量	1.42	1.42	1.42	路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ収集容量1.5m³	機-19	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	35	39	34	機械損料数量	1.28	1.28	1.28	アスファルトフィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	60	68	67	機械損料数量	1.42	1.42	1.42	ロードローラ	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	30	34	33	機械損料数量	1.42	1.42	1.42	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00	燃料消費量	23	26	26	機械損料数量	1.42	1.56	1.42
機 械 名	規 格				適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																								
						7cm以下		7cmを超え12cm以下																																																																																																																																																																																						
		一層舗設	一層舗設	二層舗設																																																																																																																																																																																										
路面切削機 (ICT)	ホイール式・腐材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ23cm	機-33	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	184	206	177																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.28	1.28	1.28																																																																																																																																																																																								
ICT建設機械経費損料加算額			機械損料数量	1.28	1.28	1.28																																																																																																																																																																																								
路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ容量1.5m³	機-19	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	35	39	34																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.15	1.15	1.15																																																																																																																																																																																								
アスファルトフィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	60	68	67																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.28	1.41	1.41																																																																																																																																																																																								
ロードローラ	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t締固め幅2.1m	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	30	34	33																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.28	1.28	1.28																																																																																																																																																																																								
タイヤローラ	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	23	26	26																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.28	1.41	1.41																																																																																																																																																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																											
			7cm以下		7cmを超え12cm以下																																																																																																																																																																																									
			一層舗設	一層舗設	二層舗設																																																																																																																																																																																									
路面切削機 (ICT)	ホイール式・腐材積込装置付・排出ガス対策型(2014年規制) 切削幅2.0m×深さ0.23m 〔切削管理システム〕ICT施工用	機-33	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	184	206	177																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.42	1.42	1.42																																																																																																																																																																																								
ICT建設機械経費損料加算額			機械損料数量	1.42	1.42	1.42																																																																																																																																																																																								
路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工事用・ホッパ収集容量1.5m³	機-19	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	35	39	34																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.28	1.28	1.28																																																																																																																																																																																								
アスファルトフィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型(2014年規制) 舗装幅2.3~6.0m	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	60	68	67																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.42	1.42	1.42																																																																																																																																																																																								
ロードローラ	マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量10t	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	30	34	33																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.42	1.42	1.42																																																																																																																																																																																								
タイヤローラ	普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13~14t	機-18	運転労務数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
			燃料消費量	23	26	26																																																																																																																																																																																								
			機械損料数量	1.42	1.56	1.42																																																																																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用
路上路盤再生工	<p>⑤ 路上路盤再生工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業で、混合深さ40cm以下の再生路盤工に適用する。 なお、既設アスファルト舗装版を同時に混合する場合の既設アスファルト舗装版厚は、15cm以下とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 養生は必要に応じて計上する。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	<p>⑤ 路上路盤再生工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業で、施工面積250m²以上6,000m²以下、平均施工幅2m以上10m以下、混合深さ0.4m以下の再生路盤工に適用する。 なお、既設アスファルト舗装版を同時に混合する場合の既設アスファルト舗装版厚は、15cm以下とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 破砕混合時の水散布の有無によらず適用出来る。 3. 養生は必要に応じて計上する。 4. 事前の路面切削が必要な場合は、「第2編第13章道路維持修繕 路面切削工」により別途計上する。 5. 事前の予備破砕、予備破砕後の搬運搬、処分が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																													
路上路盤再生工	<p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>破 碎 混 合</td> <td>スタビライザ</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">不 陸 整 正</td> <td>モータグレーダ</td> <td>土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締 固 め</td> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) タイヤローラ及び振動ローラ(舗装用)は、賃料とする。</p> <p>4. 編 成 人 員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 日 当 り 施 工 量 路上路盤再生工の標準的な日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 日当り施工量 (m²/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>路 上 路 盤 再 生 工</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">路上路盤再生工</td> <td style="text-align: center;">790</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、混合深さ40cm以下の場合に適用する。 2. 混合回数は、1回を標準とする。 3. 添加剤は、セメント系を標準とする。 4. 混合用乳剤を必要により添加する場合は、材料費のみ計上する。 5. 上表は、添加剤散布、破碎混合、不陸整正、締固め、養生工を全て含んだ標準施工量である。 なお、日当り施工量は、養生工の有無にかかわらず同一とする。</p>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	破 碎 混 合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1	不 陸 整 正	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	1	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t	〃	1	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	〃	1	振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	〃	1	締 固 め	振動ローラ (舗装用)	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	〃	1	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	〃	1	土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員	1	4	路 上 路 盤 再 生 工	数量	路上路盤再生工	790	<p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>添 加 剤 散 布</td> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m³ 吊能力1.7t</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>破 碎 混 合</td> <td>スタビライザ (路盤再生用)</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不 陸 整 正</td> <td>モータグレーダ</td> <td>土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">締 固 め</td> <td rowspan="2">混合深さ 0.2m以下</td> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">混合深さ 0.2mを超え 0.4m以下</td> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6~7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウは、賃料とする。</p> <p>4. 編 成 人 員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 日 当 り 施 工 量 路上路盤再生工の標準的な日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 日当り施工量 (m²/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>路 上 路 盤 再 生 工</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">路上路盤再生工</td> <td style="text-align: center;">700(752)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、混合深さ0.4m以下の場合に適用する。 2. 混合回数は、1回を標準とする。 3. 添加剤は、セメント系(セメントを含む)を標準とする。 4. 混合用乳剤を必要により添加する場合は、材料費のみ計上する。 5. 上表は、添加剤散布、破碎混合(乳剤散布を含む)、不陸整正、締固め、養生工を全て含んだ標準施工量である。 なお、養生工を必要としない場合は、()内を使用する。</p>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	添 加 剤 散 布	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m ³ 吊能力1.7t	台	1	破 碎 混 合	スタビライザ (路盤再生用)	排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	〃	1	不 陸 整 正	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	〃	1	締 固 め	混合深さ 0.2m以下	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t	〃	1	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t	〃	1	混合深さ 0.2mを超え 0.4m以下	振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6~7.5t	〃	1	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t	〃	1	土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	1	3	路 上 路 盤 再 生 工	数量	路上路盤再生工	700(752)	
作業種別	機械名	規 格	単位	数量																																																																																												
破 碎 混 合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1																																																																																												
不 陸 整 正	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	1																																																																																												
	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t	〃	1																																																																																												
	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	〃	1																																																																																												
	振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	〃	1																																																																																												
締 固 め	振動ローラ (舗装用)	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	〃	1																																																																																												
	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	〃	1																																																																																												
土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員																																																																																															
1	4																																																																																															
路 上 路 盤 再 生 工	数量																																																																																															
路上路盤再生工	790																																																																																															
作業種別	機械名	規 格	単位	数量																																																																																												
添 加 剤 散 布	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m ³ 吊能力1.7t	台	1																																																																																												
破 碎 混 合	スタビライザ (路盤再生用)	排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	〃	1																																																																																												
不 陸 整 正	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	〃	1																																																																																												
締 固 め	混合深さ 0.2m以下	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t	〃	1																																																																																											
		タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t	〃	1																																																																																											
	混合深さ 0.2mを超え 0.4m以下	振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6~7.5t	〃	1																																																																																											
		タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t	〃	1																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																																																																														
1	1	3																																																																																														
路 上 路 盤 再 生 工	数量																																																																																															
路上路盤再生工	700(752)																																																																																															

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																										
路上路盤再生工	<p>6. 諸 雑 費 諸雑費は、小器材（スコップ、竹ぼうき等）及び養生工（プライムコート材料、エンジンスプレーヤ等）の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 70%;">混合深さ20cm以下</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">16 (2)</td> </tr> <tr> <td>混合深さ20cmを超え40cm以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 養生工を必要としない場合は、()内の率を計上する。 2. 養生工は、締固め後、一時的に交通解放を行う場合や、長期間放置する場合に計上するものとし、締固め後、直ちに舗装を行う場合は計上しない。 なお、砂の散布が必要な場合は、材料費のみ計上する。</p> <p>7. 単 価 表 (1) 路上路盤再生工100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数量1</th> <th>数量2</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">4×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>添 加 剤</td> <td>セメント系</td> <td>kg</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混 合 用 乳 剤</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td colspan="2"></td> <td>必要により計上する</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="2"></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スタビライザ運転</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ運転</td> <td>土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">100/D</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. D：日当り施工量 (m²/日) 2. 数量1：混合深さ20cm以下の場合 数量2：混合深さ20cmを超え40cm以下の場合</p>	混合深さ20cm以下	16 (2)	混合深さ20cmを超え40cm以下		名 称	規 格	単 位	数量1	数量2	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/D		表4.1, 表5.1	普通作業員		〃	4×100/D		〃	添 加 剤	セメント系	kg				混 合 用 乳 剤		ℓ			必要により計上する	砂		m ³			〃	スタビライザ運転	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	日	100/D		表5.1 機械損料	モータグレーダ運転	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	100/D		表5.1 機械損料	ロードローラ運転	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	100/D	-	表5.1 機械損料	タイヤローラ運転	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	100/D		表5.1 機械賃料	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	-	100/D	表5.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1		表6.1	計						<p>6. 諸 雑 費 諸雑費は、小器材（スコップ、竹ぼうき、レーキ、つるはし等）及び養生工（プライムコート材料、乳剤散布機械運転費用、砂等）の費用であり、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 70%;">混合深さ0.2m以下</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">27 (1)</td> </tr> <tr> <td>混合深さ0.2mを超え0.4m以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 養生工を必要としない場合は、()内の率を計上する。 2. 養生工は、締固め後、一時的に交通解放を行う場合や、長期間放置する場合に計上するものとし、締固め後、直ちに舗装を行う場合は計上しない。</p> <p>7. 単 価 表 (1) 路上路盤再生工100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数量1</th> <th>数量2</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">3×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>添 加 剤</td> <td>セメント系 (セメントを含む)</td> <td>kg</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混 合 用 乳 剤</td> <td></td> <td>L</td> <td colspan="2"></td> <td>必要により計上する</td> </tr> <tr> <td>パ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転</td> <td>後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m³ 吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>スタビライザ (路盤再生用) 運転</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ運転</td> <td>土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">100/D</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13～14t</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6～7.5t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. D：日当り施工量 (m²/日) 2. 数量1：混合深さ0.2m以下の場合 数量2：混合深さ0.2mを超え0.4m以下の場合</p>	混合深さ0.2m以下	27 (1)	混合深さ0.2mを超え0.4m以下		名 称	規 格	単 位	数量1	数量2	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/D		表4.1, 表5.1	特 殊 作 業 員		〃	1×100/D		〃	普通作業員		〃	3×100/D		〃	添 加 剤	セメント系 (セメントを含む)	kg				混 合 用 乳 剤		L			必要により計上する	パ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m³ 吊能力1.7t	日	100/D		表5.1 機械賃料	スタビライザ (路盤再生用) 運転	排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	〃	100/D		表5.1 機械損料	モータグレーダ運転	土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	〃	100/D		表5.1 機械損料	ロードローラ運転	マカダム・ 排出ガス対策型(2014年規制)・ 超低騒音型 運転質量10t	〃	100/D	-	表5.1 機械損料	タイヤローラ運転	普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・ 超低騒音型 運転質量13～14t	〃	100/D		表5.1 機械損料	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6～7.5t	〃	-	100/D	表5.1 機械損料	諸 雑 費		式	1		表6.1	計						
混合深さ20cm以下	16 (2)																																																																																																																																																																												
混合深さ20cmを超え40cm以下																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数量1	数量2	摘 要																																																																																																																																																																								
土木一般世話役		人	1×100/D		表4.1, 表5.1																																																																																																																																																																								
普通作業員		〃	4×100/D		〃																																																																																																																																																																								
添 加 剤	セメント系	kg																																																																																																																																																																											
混 合 用 乳 剤		ℓ			必要により計上する																																																																																																																																																																								
砂		m ³			〃																																																																																																																																																																								
スタビライザ運転	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	日	100/D		表5.1 機械損料																																																																																																																																																																								
モータグレーダ運転	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	100/D		表5.1 機械損料																																																																																																																																																																								
ロードローラ運転	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	100/D	-	表5.1 機械損料																																																																																																																																																																								
タイヤローラ運転	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	100/D		表5.1 機械賃料																																																																																																																																																																								
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	-	100/D	表5.1 機械賃料																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1		表6.1																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																													
混合深さ0.2m以下	27 (1)																																																																																																																																																																												
混合深さ0.2mを超え0.4m以下																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数量1	数量2	摘 要																																																																																																																																																																								
土木一般世話役		人	1×100/D		表4.1, 表5.1																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	1×100/D		〃																																																																																																																																																																								
普通作業員		〃	3×100/D		〃																																																																																																																																																																								
添 加 剤	セメント系 (セメントを含む)	kg																																																																																																																																																																											
混 合 用 乳 剤		L			必要により計上する																																																																																																																																																																								
パ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m³ 吊能力1.7t	日	100/D		表5.1 機械賃料																																																																																																																																																																								
スタビライザ (路盤再生用) 運転	排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	〃	100/D		表5.1 機械損料																																																																																																																																																																								
モータグレーダ運転	土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	〃	100/D		表5.1 機械損料																																																																																																																																																																								
ロードローラ運転	マカダム・ 排出ガス対策型(2014年規制)・ 超低騒音型 運転質量10t	〃	100/D	-	表5.1 機械損料																																																																																																																																																																								
タイヤローラ運転	普通型・ 排出ガス対策型(2014年規制)・ 超低騒音型 運転質量13～14t	〃	100/D		表5.1 機械損料																																																																																																																																																																								
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6～7.5t	〃	-	100/D	表5.1 機械損料																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1		表6.1																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																													

土木工事標準歩掛の改定

工 種 名	現 行	改 定	適 用																																																				
路上路盤再生 工	<p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタビライザ</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→135 機械損料数量→ 1.21</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.47</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.59</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械賃料数量→ 1.62</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械賃料数量→ 1.75</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→135 機械損料数量→ 1.21	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.47	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.59	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械賃料数量→ 1.62	振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械賃料数量→ 1.75	<p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m³ 吊能力1.7t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→ 1.10</td> </tr> <tr> <td>スタビライザ (路盤再生用)</td> <td>排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→116 機械損料数量→ 1.01</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→29 機械損料数量→ 1.04</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→ 1.01</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→ 1.23</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6~7.5t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→ 1.25</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m ³ 吊能力1.7t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→ 1.10	スタビライザ (路盤再生用)	排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→116 機械損料数量→ 1.01	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→29 機械損料数量→ 1.04	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→ 1.01	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→ 1.23	振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6~7.5t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→ 1.25	
	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																			
スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→135 機械損料数量→ 1.21																																																				
モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.47																																																				
ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.59																																																				
タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械賃料数量→ 1.62																																																				
振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械賃料数量→ 1.75																																																				
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																				
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m ³ 吊能力1.7t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→ 1.10																																																				
スタビライザ (路盤再生用)	排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→116 機械損料数量→ 1.01																																																				
モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→29 機械損料数量→ 1.04																																																				
ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→ 1.01																																																				
タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型2014年規制)・超低騒音型 運転質量13~14t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→15 機械損料数量→ 1.23																																																				
振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6~7.5t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→ 1.25																																																				